

柏市

障害者計画策定のための
基礎調査結果報告書（案）

2019年3月

柏市

目次

第1章 調査の概要.....	1
I. はじめに.....	2
II. 調査の概要.....	3
1. アンケート調査（障害者計画策定のためのアンケート調査）概要.....	3
2. 障害福祉課関係団体ヒアリング概要.....	4
3. 委託相談支援事業所ヒアリング概要.....	5
第2章 基礎調査結果のまとめ ～ニーズを中心に～.....	7
I. 柏市に今後望むこと.....	8
II. 分野ごとのまとめ.....	12
第3章 基礎調査結果のまとめ.....	13
I. アンケート調査結果の検証.....	14
II. アンケート調査結果詳細.....	17
1. 質問項目一覧.....	17
2. 報告書を見る際の留意点.....	20
3. 各質問項目の回答結果.....	21
ご本人のことについて.....	21
障害の状況.....	37
情報提供の充実・障害理解・差別解消.....	48
暮らしを支えるサービス.....	63
こども ～小学校入学前（乳幼児期）～.....	98
こども ～小学校入学後（学齢期）～.....	109
就労・社会参加.....	130
相談体制.....	160
健康・医療.....	175
安全・安心な生活環境.....	202
全体を通して.....	225
4. 自由意見のまとめ.....	231
III. 各種ヒアリング結果について.....	247
1. 障害福祉関係団体ヒアリング.....	247
2. 各団体からの意見.....	249
3. 委託相談支援事業所ヒアリング結果概要 エラー! ブックマークが定義されていません。	

第 1 章 調査の概要

1. はじめに

柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現行の障害者計画を見直し、2021年度からスタートする新たな障害者基本計画・障害福祉計画を策定する予定です。この計画の策定にあたって参考として活用するため、障害のある方や支援の必要な方の実情やニーズを把握することを目的として、アンケート調査とヒアリング調査からなる基礎調査を2019年度に実施しました。

本報告書は、2019年度に実施した基礎調査の結果をまとめたものです。

(実施した調査)

- **障害者計画策定のためのアンケート調査** (以下、特に注釈無く「アンケート調査」)
障害者手帳所持者等から無作為抽出された方に加え、障害児及び障害関係団体の所属者(約3,500名)を対象に、アンケート調査を行ったものです。

- **障害福祉関係団体ヒアリング調査**
当事者団体及び家族会等(9団体)を対象に、事前調査票の配布とヒアリングを行ったものです。アンケート調査からは見えてこない障害者の日常生活においての問題点や、当事者団体及び家族会等が抱えている課題を把握することを目的として実施しました。

- **委託相談支援事業所ヒアリング調査**
市内の委託相談支援事業所(5事業所)を対象に、事前調査票の配布とヒアリングを行ったものです。アンケート調査からは見えてこない相談支援事業所の困り感、支援をする当事者及び支援者のニーズや相談支援事業所における課題を把握することを目的として実施しました。

II. 調査の概要

1. アンケート調査（障害者計画策定のためのアンケート調査）概要

- 調査地域：柏市全域
- 調査期間：2019年8月30日（金）～9月27日（金）（返送期日）
- 調査方法：郵送による配布・回収（今回調査からインターネット上での回答も可としましたが、郵送回答分との重複を避ける確認作業を行っています）
- 調査対象者：下表のとおり

種類	対象者	人数
身体障害	身体障害者手帳所持者から無作為抽出	645
知的障害	療育手帳所持者から無作為抽出	544
精神障害	自立支援医療（精神通院）受給者および精神保健福祉手帳所持者から無作為抽出	712
難病患者	特定疾病療養者見舞金受給者から無作為抽出	609
子ども	児童発達支援センター通園者	115
	特別支援学校および市内小・中学校特別支援学級通学者より無作為抽出	385
障害関係団体	市内障害者関係団体会員に配布	468
	合計	3,472

○ 調査票の配布に係る留意点：調査票は、各障害者手帳所持者等から無作為抽出した方や、障害関係団体等の会員に二重に送付されることが無いように配布しました。また、回答した個人が特定されることが無いようにするため、調査票は無記名としました。

○ 調査票の回収に係る留意点：調査票は基本的に障害当事者である宛名のご本人に送付し、ご本人に回答をお願いしていますが、記入できない場合は代理の方がご本人の立場になって記入をお願いしています。しかし、調査票送付の際、障害当事者ではなく、団体の会員である保護者宛に調査票が送付された一部の障害関係団体がありました。無記名のため特定はできませんが、可能性としてはその保護者等が障害があった場合などご自身のことを回答している場合もあります。

○ 回収結果

配布数：3,472票

回収数：1,861票（有効票1,855票・無効票1票・白票5票）

回収率：53.6%（有効回答率53.4%）

（参考）前回（2017年）に実施したアンケート調査の回収結果

配布数：3,086票

回収数：1,526票

回収率：49.4%

2. 障害福祉課関係団体ヒアリング概要

- 調査期間：2019年11月25日（月）～11月29日（金）

- 調査方法：障害関係団体に事前に調査票（別紙●）を配布し、後日詳細について聞き取り調査（ヒアリング）を行いました。聞き取り調査では、事前調査票を元に本市における障害者の実状や各団体のニーズを聞き取ったうえで、優先的に市に取り組んでほしいと各団体が考える事項についての聞き取りも行いました。
（ヒアリング結果のまとめは248ページから記載しています。）

- 調査対象団体：以下の9団体を対象に調査を実施しました。
（カッコ内は報告書内で使用する略称）
 - ・ 柏市肢体不自由児者を育てる会 （育てる会）
 - ・ 柏市手をつなぐ育成会 （育成会）
 - ・ 柏市聴覚障害者協会 （柏聴協）
 - ・ 柏市身体障害者福祉会 （身体）
 - ・ 千葉県中途失聴者難聴者協会柏地区会 （中難協）
 - ・ 柏市視覚障害者協会 （視覚）
 - ・ 柏市自閉症協会 （自閉症）
 - ・ 精神障害者家族会よつば会 （よつば）
 - ・ 東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」 （高次脳）

3. 委託相談支援事業所ヒアリング概要

- 調査期間：2019年10月30日（水）～11月1日（金）

- 調査方法：市内委託相談支援事業所に事前に調査票（別紙●）を配布し、後日詳細について聞き取り調査（ヒアリング）を行いました。聞き取り調査では、事前調査票を元に一般相談を受け付けている中での委託相談支援事業所の困り感や関係機関との連携、及び事業所職員の質の向上に向けた取り組みについて重点的に聞き取りを行いました。（ヒアリング結果のまとめは260ページから記載しています。）

- 調査対象団体：以下の5事業所を対象に調査を実施しました。
 - ・社会福祉法人青葉会 地域生活相談センターシャル
 - ・社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南
 - ・特定非営利活動法人権利擁護あさひ
 - ・社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室
 - ・社会福祉法人ワナーホーム たんぼぼセンター

第2章 基礎調査結果のまとめ

～ニーズを中心に～

I. 柏市に今後望むこと

未就学児

■お子さんのことで現在悩んでいることや困っている事は何ですか

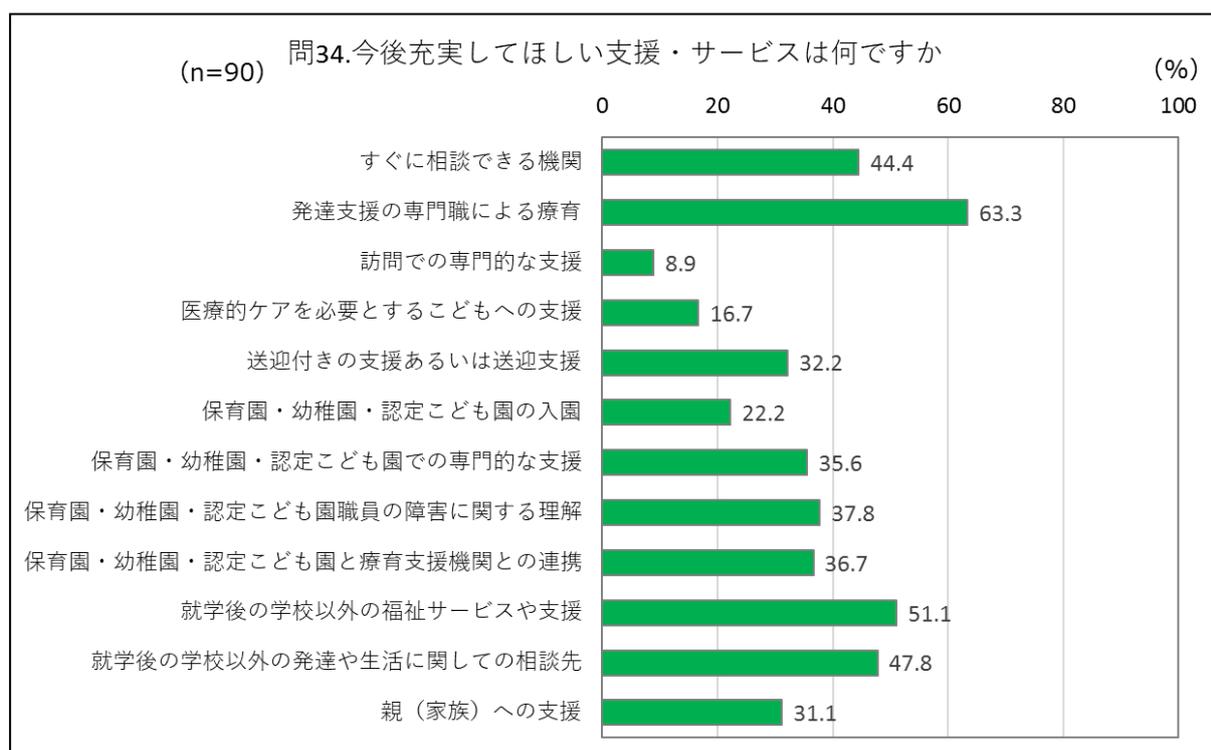
前回	1位	発育や発達の遅れ	81.4%	今回	1位	発育や発達の遅れ	77.8%
	2位	就学への不安がある	72.6%		2位	就学への不安がある	66.7%
	3位	心身が疲れる	30.1%		3位	心身が疲れる	37.8%

前回調査と比べ、「発育や発達の遅れ」が4ポイント低下し、「就学への不安がある」も6ポイント低下する一方、「心身が疲れる」が7ポイント増加しました。障害児の成長に連れて様々な不安や悩みから、保護者の心身を守る支援が必要であることがわかりました。

■今後充実してほしい支援・サービスは何ですか

前回	1位	就学後の学校以外の福祉サービスや支援	59.5%	今回	1位	専門職による療育	63.3%
	2位	専門職による療育	51.4%		2位	就学後の学校以外の福祉サービスや支援	51.1%
	3位	すぐに相談できる機関	47.7%		3位	就学後の学校以外の発達や生活に関する相談先	47.8%

前回調査と比べ、「専門職による療育」が12ポイント増え、「就学後の学校以外の福祉サービスや支援」が8ポイント低下しました。療育に係るサービスのニーズが増えているがわかります。「就学後の学校以外の発達や生活に関する相談先」が4ポイント増え、障害や生活に係る不安に応える相談支援の充実が必要です。



学齢期

■ 学齢期に子育てをする上でどんなことに不安がありますか

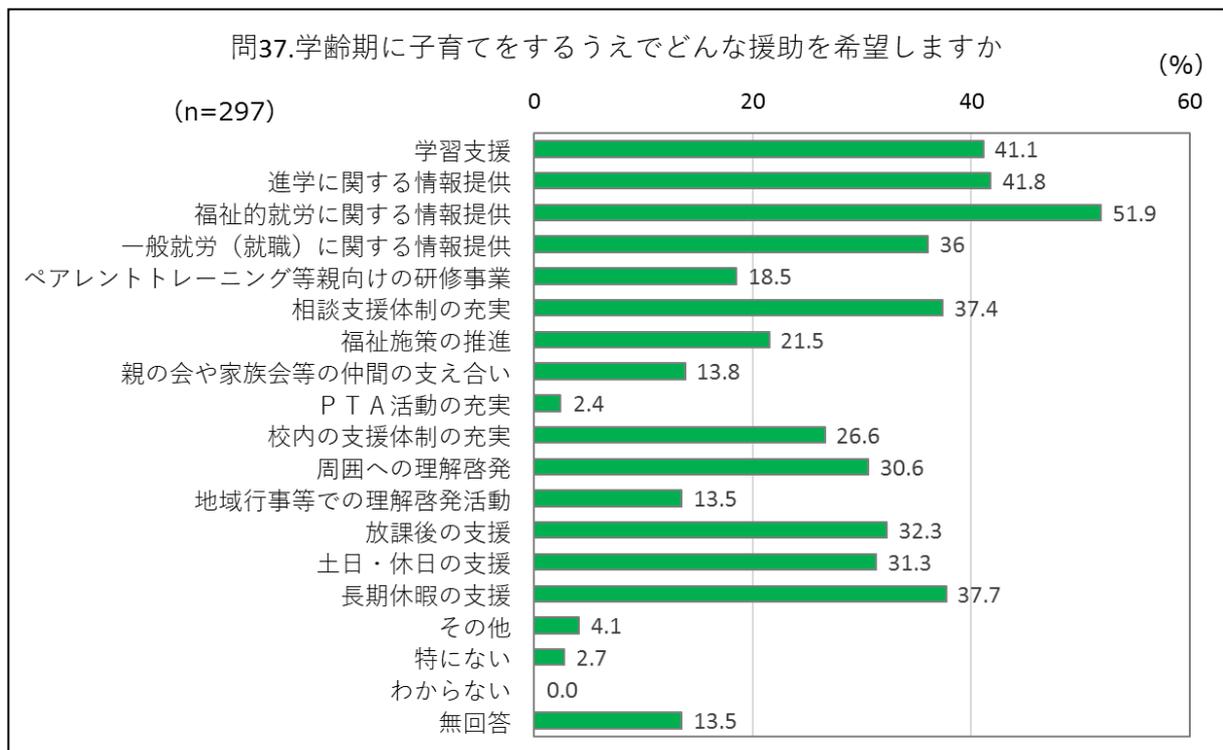
前回	1位	自立	57.7%	今回	1位	自立	66.3%
	2位	学力	49.6%		2位	就労	54.9%
	3位	子どもの友人関係	48.2%		3位	思春期	37.8%

「自立」は6割程度回答しており前回と同じです。「就労」は前回と比べ11ポイント増加しました。「思春期」は前回と0.2ポイント伸びましたが、「学力（13ポイント低下）」「子どもの友人関係（14ポイント低下）」したため前回と比べて傾向が変わりました。

■ 学齢期に子育てをするうえでどんな援助を希望しますか

前回	1位	就労に関する情報提供	51.8%	今回	1位	福祉的就労に関する情報提供	51.9%
	2位	進学に関する情報提供	49.6%		2位	進学に関する情報提供	41.8%
	3位	学習支援	49.3%		3位	学習支援	41.1%

今回から就労に関する選択肢を2つに分けたところ、「福祉的就労に関する情報提供」が約5割を占めました。「進学に関する情報提供」は5ポイント増加し、「学習支援」は12ポイント低下しましたが、子育てに係る支援のニーズは傾向としては変わりませんでした。



成人

■主に相談したいことは何ですか

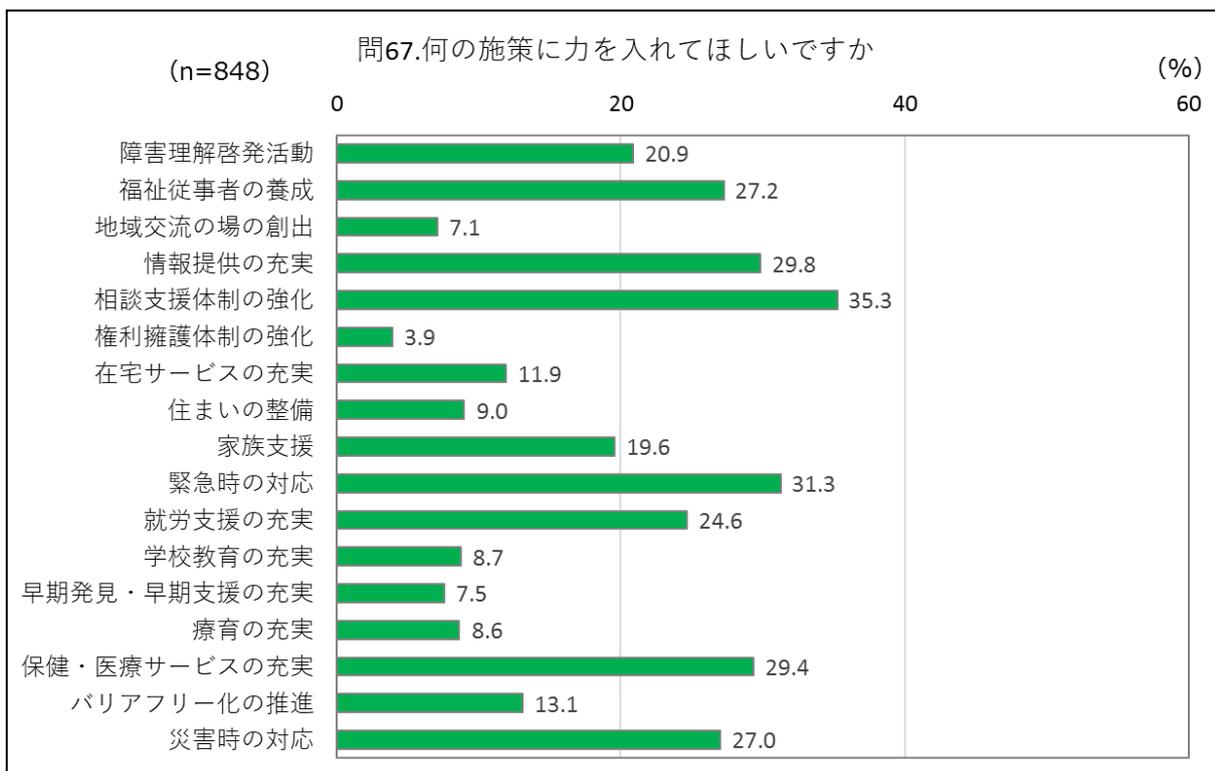
前回	順位	内容	割合	今回	順位	内容	割合
前回	1位	健康のこと	57.7%	今回	1位	将来のこと	43.4%
	2位	将来のこと	49.6%		2位	医療や健康のこと	42.6%
	3位	親亡き後の生活のこと	48.2%		3位	お金関係のこと	43.4%

「将来のこと」は6ポイント低下し、今回調査から選択肢を修正した「医療や健康のこと」を挙げる意見も引き続き多かったです。「お金関係のこと」が0.3ポイント増えました。傾向に変動が見られるのは、発達障害及び精神障害の回答者数が増えた影響とみられます。

■何の施策に力を入れてほしいですか

前回	順位	内容	割合	今回	順位	内容	割合
前回	1位	災害時の対応	36.7%	今回	1位	相談支援体制の強化	35.3%
	2位	相談支援体制の強化	36.3%		2位	緊急時の対応	31.3%
	3位	情報提供の充実	35.5%		3位	情報提供の充実	29.8%

「災害時の対応」が10ポイント低下、「相談支援体制の強化」は1ポイントの低下だったため、傾向に変化が見られました。「相談支援体制の強化」は精神障害が他と比べて多くなっていました。



高齢者

■主に相談したいことは何ですか

前回	1位	健康のこと	46.3%	今回	1位	医療や健康のこと	45.9%
	2位	医療のこと	40.3%		2位	福祉サービスのこと	26.5%
	3位	特にない	25.4%		3位	特にない	20.0%

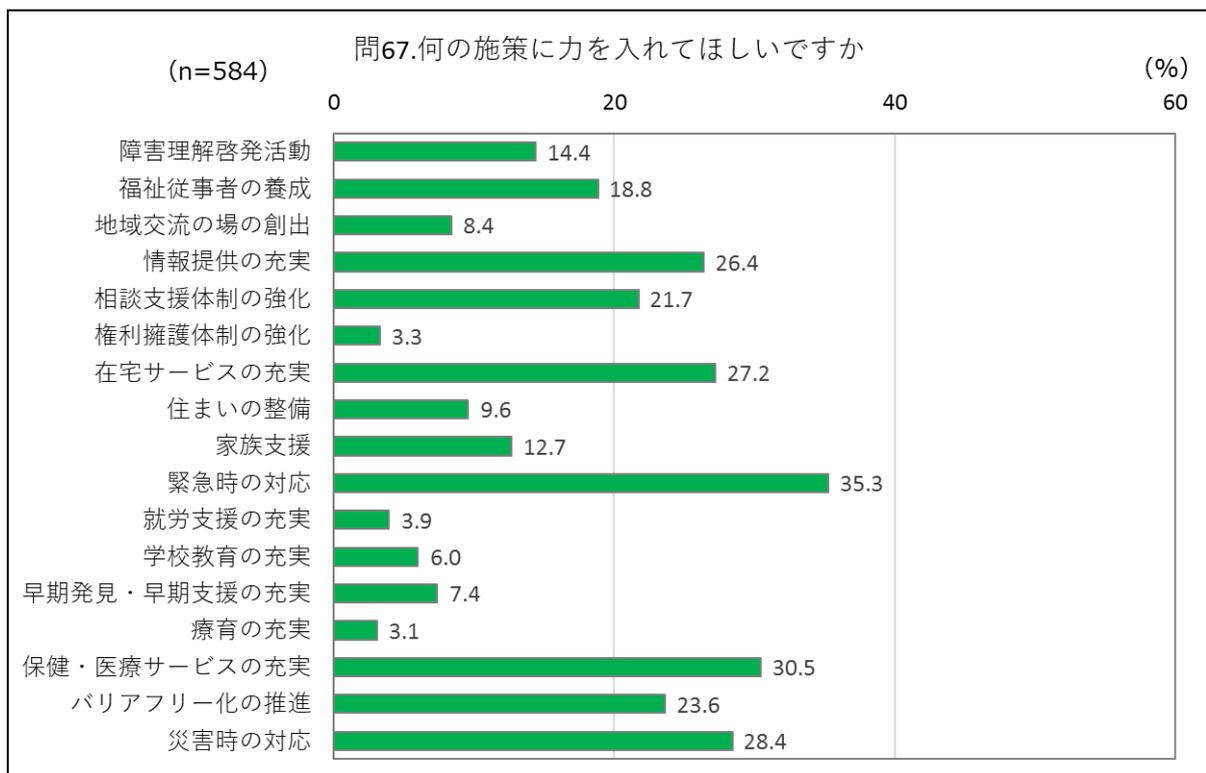
今回調査から選択肢を修正したところ、「医療や健康のこと」が最も多く45ポイントとなりました。「福祉サービスのこと」は前回から6ポイント増加しました。高齢障害者の不安は日常生活の健康維持やサービスの確保にあることがわかりました。

■何の施策に力を入れてほしいですか

前回	1位	災害時の対応	33.3%	今回	1位	緊急時の対応	35.3%
	2位	緊急時の対応	31.6%		2位	保健・医療サービスの充実	31.3%
	3位	情報提供の充実	31.2%		3位	災害時の対応	29.8%

「緊急時の対応」が4ポイント増え、「災害時の対応」が4ポイント低下し、「保健・医療サービスの充実」が2ポイント増加しましたが、傾向に大きな変動はみられませんでした。

「保健・医療サービスの充実」は内部障害で高い割合となり、高齢障害者の要望の傾向に変化をもたらしました。



II. 分野ごとのまとめ

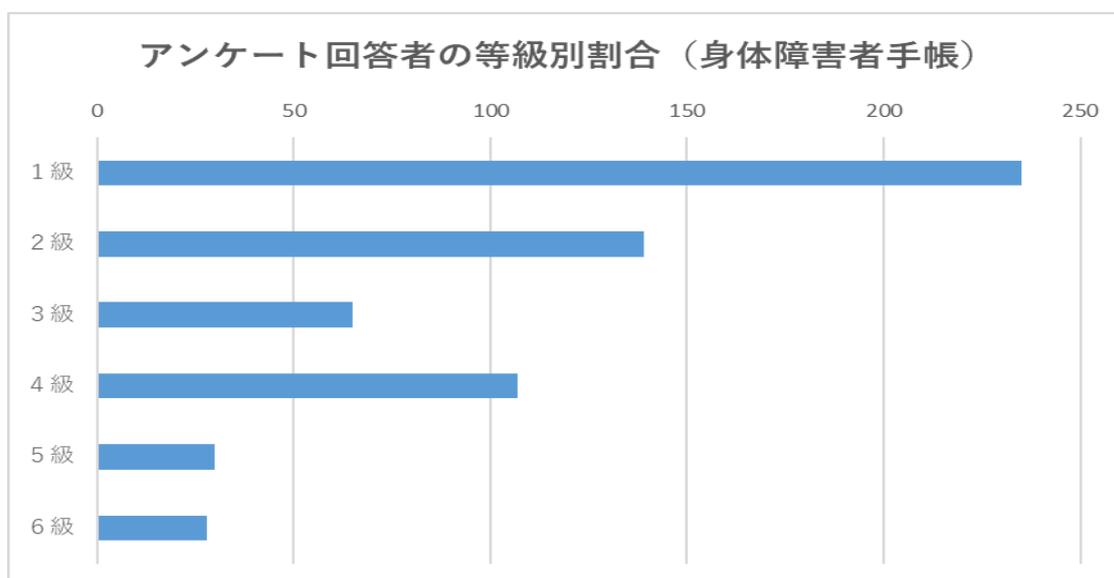
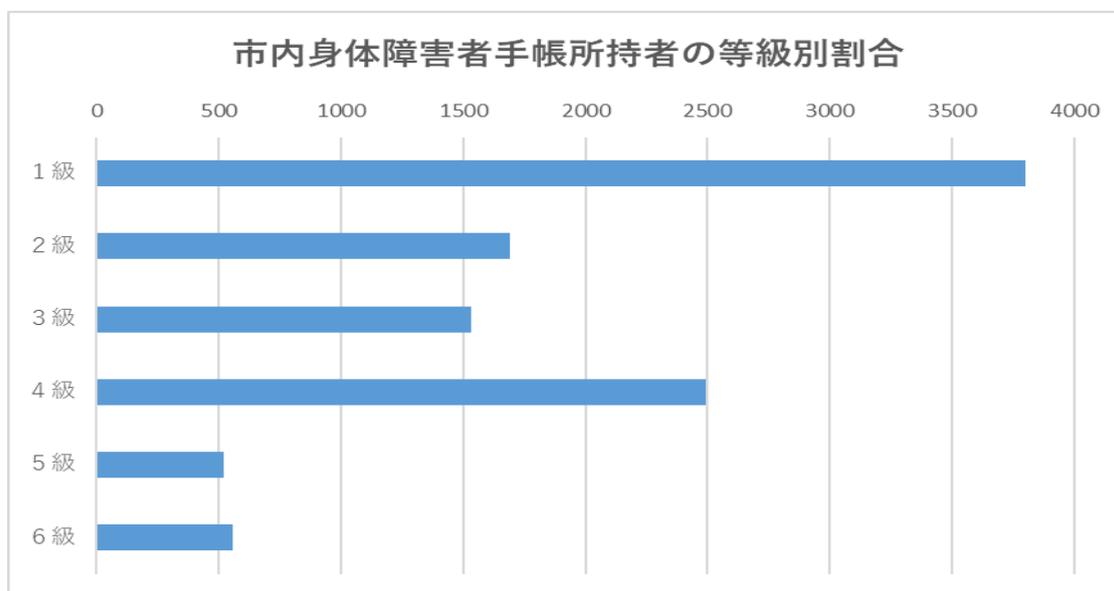
第 3 章 基礎調査結果のまとめ

I. アンケート調査結果の検証

アンケート調査では約 3,500 名を対象に調査票を配布し、1,855 名の方から有効な回答を得ました。本項では、今回のアンケート調査で得られた回答者(以下、「アンケート回答者」)のうち、各障害者手帳を所持していると回答した方について本市の手帳所持者数との比較を行いました。詳細は次の通りです。

1. 身体障害者手帳

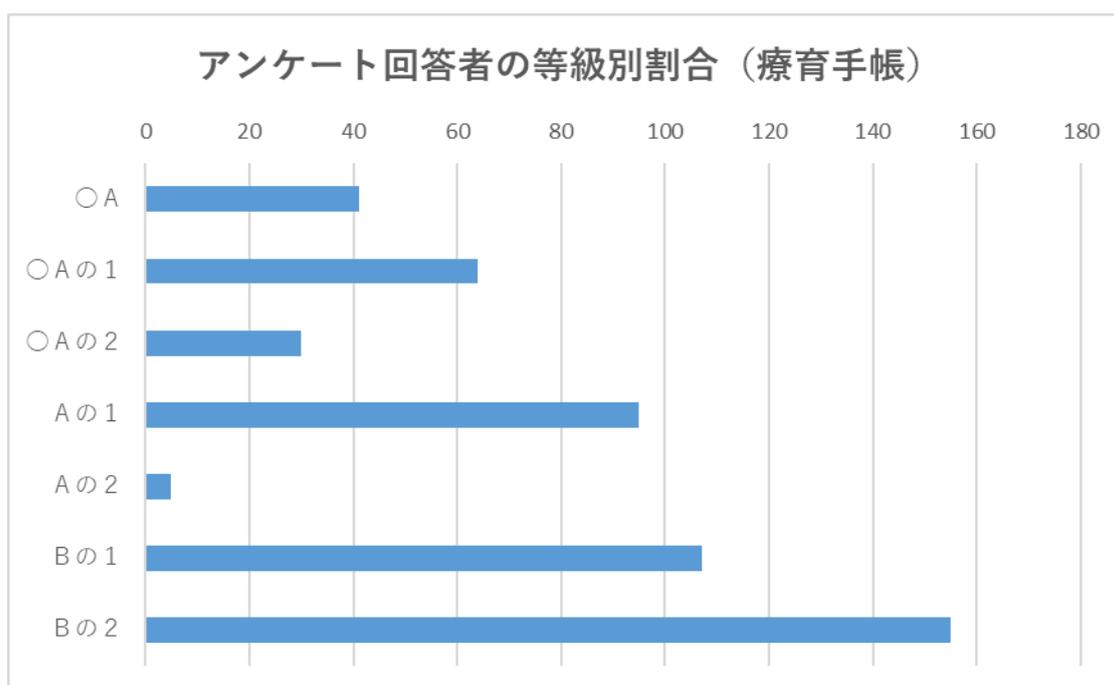
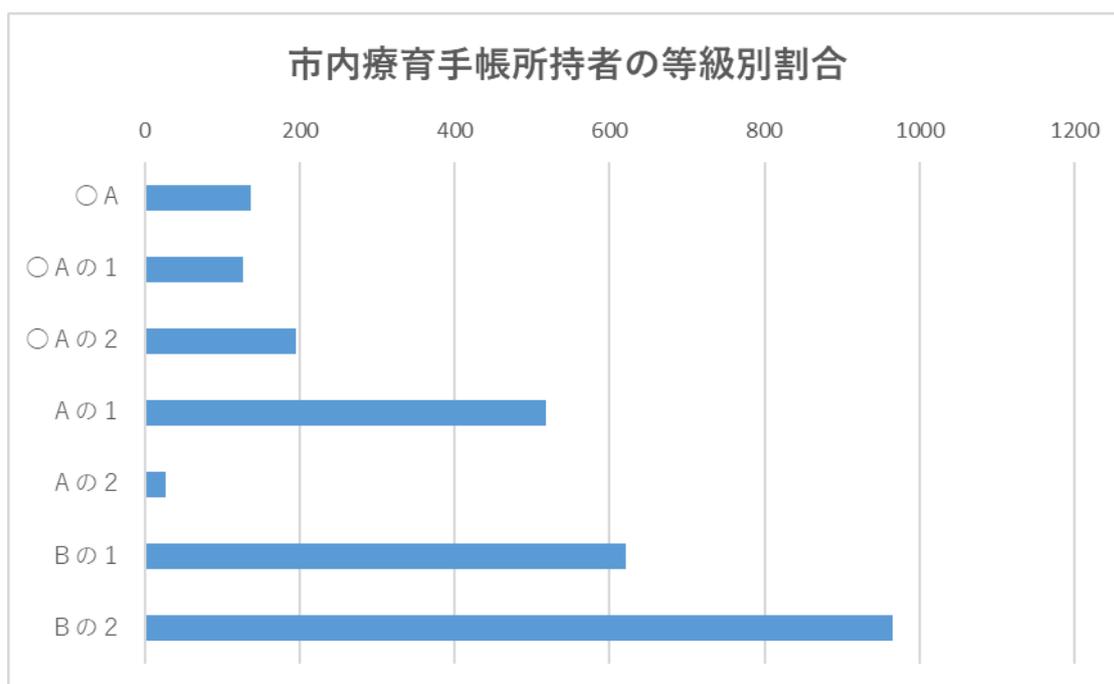
身体障害者手帳所持者について、「市内の所持者数（2019 年 12 月 11 日時点）」と「アンケート回答者のうち問 10 において身体障害者手帳を選択した方」の等級別割合を比較しました。市内の所持者に比べ、アンケート回答者は 2 級が回答者に占める割合が 7 ポイント多く、4 級が回答者に占める割合が 6 ポイント少ないことがわかりました。



2. 療育手帳

療育手帳所持者について、「市内の所持者数（2019年11月29日時点）」と「アンケート回答者のうち問10において療育手帳を選択した方」の等級別割合を比較しました。

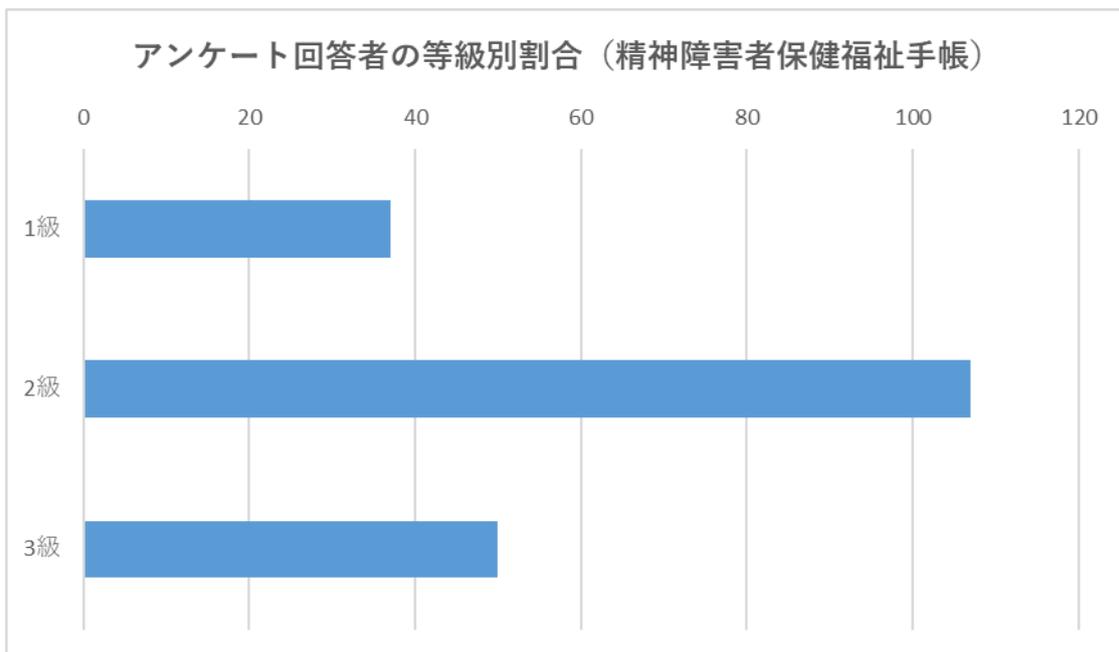
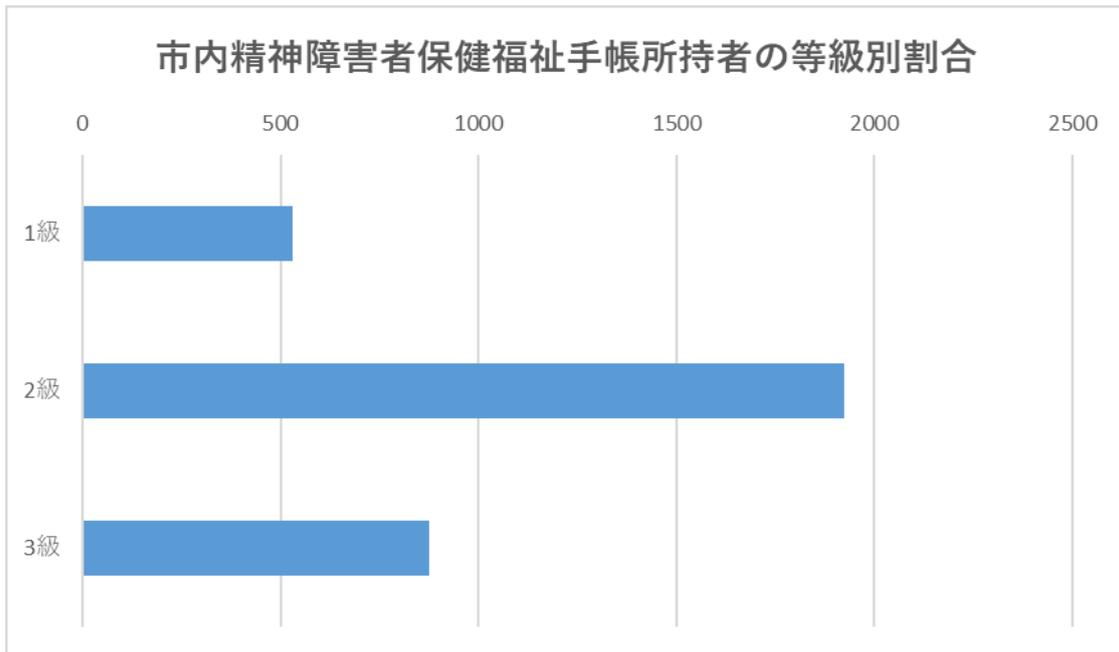
市内の所持者に比べ、アンケート回答者はBの2及び○Aの2が回答者に占める割合が若干少なく、○A及び○Aの1が回答者に占める割合が若干高いことがわかりました。傾向として、市内の所持者数とアンケート回答者の療育手帳所持者の等級別割合に大きな差異は認められませんでした。



3. 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳所持者について、「市内の所持者数（2019年12月1日現在）」と「アンケート回答者のうち問10において精神障害者保健福祉手帳を選択した方」の等級別割合を比較しました。

市内の所持者に比べ、アンケート回答者は1級が回答者に占める割合が4ポイント高く、2級が回答者に占める割合が2ポイント低いことがわかりました。傾向として、市内の所持者数とアンケート回答者の精神障害者保健福祉手帳の等級別割合に大きな差異は認められませんでした。



II. アンケート調査結果詳細

1. 質問項目一覧

各柱に関する質問は下記のとおりです。

ご本人のことについて	問 1. 回答を記入していただく方はどなたですか。
	問 2. あなたは何歳ですか（2019年4月1日現在）
	問 3. あなたの性別をお答えください。
	問 4. 昼間に主に通っているところはどこですか（複数回答）。
	問 5. あなたがお住いの地域はどちらですか。次の4つのエリアからひとつえらんでください。
	問 6. どこで生活していますか。
	問 7. (問6で「1.自宅」と答えた方にお伺いします。) 誰と一緒に暮らしていますか（複数回答）。
	問 8. (問6で「1.自宅」と答えた方にお伺いします。) 主に介護や支援をしている人はどなたですか。
障害の状況	問 9. 障害の種類は何ですか（複数回答）。
	問 10. 障害者手帳や以下の受給者証をお持ちですか（該当する番号と等級を選択）
	問 11. 障害福祉サービス受給者証をお持ちですか（該当する番号と区分を選択）。
	問 12. (40歳以上の方に伺います) 介護保険の要介護認定を受けていますか（該当する番号と区分を選択）。
情報提供の充実・障害理解・差別解消	問 13. 市等の情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか（複数回答）。
	問 14. 障害者差別解消法を知っていますか。
	問 15. 差別を受けたり嫌な思いをする（した）ことがありますか。
	問 16. (問15で「1. よくある」、「2. ときどきある」、「3. ごくまれにある」と答えた方のみお答えください) どのような場所や場面で差別や嫌な思いをしましたか（複数回答）。
	問 17. 障害の有無にかかわらず、全ての人が差別や偏見を持たずに暮らしていくには、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答）。
暮らしを支えるサービス	問 18. 障害福祉サービスを利用したことがありますか。
	問 19. (問18で「2. ある」と答えた方に伺います) 現在利用している障害福祉サービスの満足度について教えてください（使ったことがあるサービスをえらんでください）。使ったことがあるサービスの満足度を5段階で評価してください。
	問 20. 今後どのようなサービスを利用したいですか（複数回答）。
	問 21. 将来どこで暮らしたいですか（複数回答）。17歳以下のお子さん（児童）は成人した時のことを、18歳以上の成人の方は将来の目標

	<p>についてお考えください。</p> <p>問 22. (問 21 で「1. 自宅 (家族や親族と同居)」と答えた方のみお答えください) 将来, 親や親族が病気などで一緒に生活できなくなった時は, どのような生活を希望しますか。</p> <p>問 23. (問 21 で「4. グループホーム」と答えた方のみお答えください) いつ施設を利用したいですか。</p> <p>問 24 . 短期入所 (ショートステイ) のサービスを利用したことがありますか。</p> <p>問 25. (問 24 で「2. ある」と答えた方のみお答えください) 短期入所 (ショートステイ) のサービスを利用したことがある方はどのような目的で利用しましたか (複数回答)。</p> <p>問 26. 外出する際はどのような手段を使いますか (複数回答)。</p> <p>問 27. 外出するために必要だと思うことは何ですか (複数回答)。</p>
こども 小学校入学前 (乳 幼児期)	<p>問 28. 小学校入学前のお子さんのことで, 現在悩んでいることや困っていることは何ですか (複数回答)。</p> <p>問 29. お子さんについての悩みや困っていることをどこかに相談しましたか。</p> <p>問 30. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください) お子さんについての悩みや困っていることをどこに相談しましたか (複数回答)。</p> <p>問 31. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください) 相談に至ったきっかけは何ですか (複数回答)。</p> <p>問 32. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください) 利用している相談先に関して評価していることはありますか (複数回答)。</p> <p>問 33. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください) 利用している相談先に関する不満はありますか (複数回答)。</p> <p>問 34. 今後充実してほしい支援・サービスは何ですか (複数回答)。</p>
こども 小学校入学後 (学 齢期)	<p>問 35. 学校生活で困った, 困っていることはありますか (複数回答)。</p> <p>問 36. 学齢期に子育てをするうえでどのようなことに不安がありますか (複数回答)。</p> <p>問 37. 学齢期に子育てをするうえでどんな援助を希望しますか (複数回答)。</p>
こども 高等部 (または高 等学校) 在学者	<p>問 38. 学校卒業後, どんな進路を希望していますか。</p> <p>問 39. 学校卒業後, どんな支援を希望しますか (複数回答)。</p>

就労・社会参加	問 40. 収入源は何ですか（複数回答）。
	問 41. 現在、仕事に就いていますか。
	問 42. (問 41 で仕事に「3.就いている(福祉的就労)」,「4.就いている(一般就労)」と答えた方のみお答えください) 仕事内容は何ですか。
	問 43. (問 41 で仕事に「3.就いている(福祉的就労)」,「4.就いている(一般就労)」と答えた方のみお答えください) 賃金・工賃は平均でいくらですか（月額でお答えください）。
	問 44. (問 41 で仕事に「1.就いていない」,「2.就職活動中」と答えた方のみお答えください) 就労することが難しい, または就労をしていない理由は何ですか（複数回答）。
	問 45. (問 41 で仕事に「1.就いていない」,「2.就職活動中」と答えた方のみお答えください) 今後, 働きたいですか。
	問 46. (問 41 で仕事に「1.就いていない」,「2.就職活動中」と答えた方のみお答えください) どこで働きたいですか（複数回答）。
	問 47. (問 41 で仕事に「1.就いていない」,「2.就職活動中」と答えた方のみお答えください) 希望する仕事内容は何ですか（複数回答）。
	問 48. (問 41 で仕事に「1.就いていない」,「2.就職活動中」と答えた方のみお答えください) 就職するために必要だと思うことは何ですか（複数回答）。
	問 49. 長期的に働くためにはどのようなことが必要ですか（複数回答）。
	問 50. 今後社会参加するとしたら, どんな活動に参加したいですか(複数回答)。
相談体制	問 51. 社会参加するに当たってどのようなことが必要ですか（複数回答）。
	問 52. 主に相談したい内容は何ですか（複数回答）。
	問 53. 主に誰（どこ）に相談していますか（複数回答）。
健康・医療	問 54. あなたが必要な時に気軽に相談するためにどのようなことが必要だと思いますか（複数回答）。
	問 55. 医療を利用するうえで困ったことはありますか（複数回答）。
	問 56. あなたはどのような医療的ケアを必要としていますか（複数回答）。
	問 57. 障害の重度化予防のために何かしていることや, これからしたいことはありますか（複数回答）。
	問 58. あなたが地域で自立した生活を続けていくためには, どのような支援が必要ですか（複数回答）。
	問 59. 高齢化に伴い不安なことはありますか（複数回答）。

安全・安心な生活環境	問 60. 災害時に近所に助けを求められる人はいますか。
	問 61. (問 60 で「1. いない」と答えた方のみお答えください。) 自分一人で避難することはできますか。
	問 62. (問 60 で「2. いる」と答えた方のみお答えください。) 助けを求められる人は誰ですか (複数回答)。
	問 63. K - N e t に登録していますか。
	問 64. 災害に備えていることはありますか (複数回答)。
	問 65. 災害が起きた時に支援してほしいことは何ですか (複数回答)。
	問 66. 今後バリアフリー化を進めていくうえで力を入れてほしい部分はどこですか (複数回答)。
全体を通して	問 67. 柏市の資源や財源は限られており、特に必要な取組みから優先して実施していかなければなりません。今後、柏市の障害福祉の取組みについて、特に優先して力を入れてほしいものは何ですか (5 つまで選択)。
	問 68. 全体を通して、また、親や介護者の立場として何かご意見があればご自由に記入してください。

2. 報告書を見る際の留意点

- 回答は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示しています。
- 回答の比率 (%) は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると 100%を超えることがあります。
- 回答の比率 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が 100%にならないことがあります。
- 「児童」は17歳以下、「成人」は18～64歳、「高齢者」は65歳以上を指します。
- 割合の表記は、4割「近く」は37～39%、4割「以上」は40～46%、4割「程度」は37～43%を指します。
- クロス集計分析にあたっては、原則として、属性ごとの母数が有効回答数の 1 割以上あるものについて傾向を記載しています。
- 障害種別の集計表の合計数については、重複して障害を持っている方はそれぞれの障害でもカウントするため、全体の合計数にならない場合があります。
- 設問ごとに前回調査の結果と比較している場合があります。この前回調査とは、2017 年度に実施した「障害者計画策定のためのアンケート調査」を指します。
- 問68の自由記述は、代表的な回答を抜粋し概要を記載しています。

3. 各質問項目の回答結果

ご本人のことについて

問1. 回答を記入していただく方はどなたですか（○はひとつ）。※ご本人以外が記入する場合は、基本的には、ご本人の立場になってお答えください。

【児童】

児童全体では、「母」が最も多く8割以上となっています。

前回調査とは選択肢が異なる（前回の選択肢：本人，家族，親族，事業所職員，ヘルパー，知人・友人，その他）ため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。



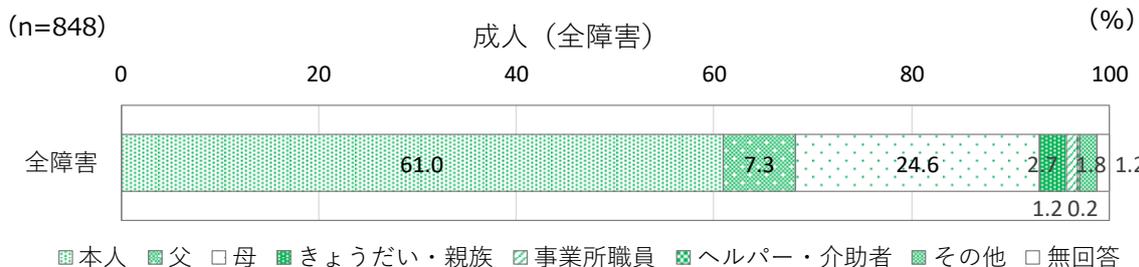
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
本人	6.7	0.0	7.7	3.0	4.1	5.3	0.0	0.0	15.0	9.1	0.0	17.9
父	6.7	0.0	0.0	12.1	5.8	5.8	12.5	0.0	5.0	4.5	4.3	3.6
母	84.8	100.0	92.3	84.8	88.4	87.1	87.5	100.0	80.0	86.4	95.7	75.0
きょうだい・親族	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、「本人」が最も多く6割以上となっており、特に難病、精神障害で多くなっています。一方、知的障害と発達障害は「母」が最も多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なる（前回の選択肢：本人，家族，親族，事業所職員，ヘルパー，知人・友人，その他）ため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。



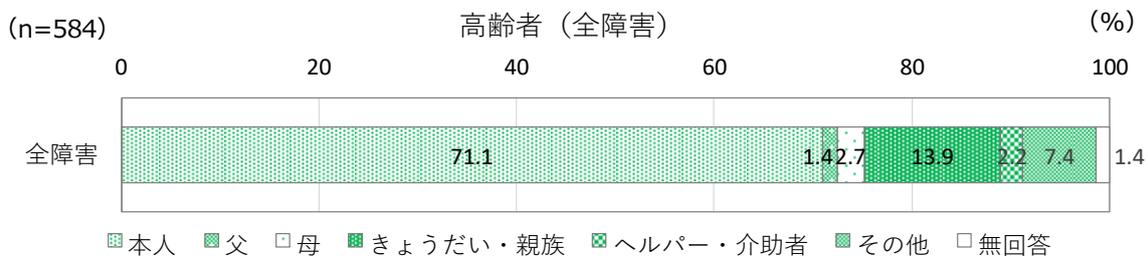
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
本人	61.0	48.6	64.4	49.1	23.3	39.8	77.5	68.8	81.8	86.4	85.7	71.1
父	7.3	2.9	5.1	6.5	14.2	16.3	4.0	-	-	0.9	-	2.6
母	24.6	37.1	20.3	36.1	53.5	41.8	12.0	6.3	18.2	8.2	14.3	15.8
きょうだい・親族	2.7	-	5.1	2.8	3.8	-	3.3	12.5	-	0.9	-	-
事業所職員	1.2	2.9	1.7	0.9	2.4	-	0.7	-	-	-	-	-
ヘルパー・介助者	0.2	-	-	1.9	0.3	-	0.4	-	-	0.9	-	-
その他	1.8	8.6	1.7	1.9	0.7	-	1.8	12.5	-	2.7	-	7.9
無回答	1.2	-	1.7	0.9	1.7	2.0	0.4	-	-	-	-	2.6

【高齢者】

高齢者全体についても、「本人」が最も多く7割以上となっており、特に聴覚障害、内部機能障害では8割を超えています。

前回調査とは選択肢が異なる（前回の選択肢：本人，家族，親族，事業所職員，ヘルパー，知人・友人，その他）ため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。

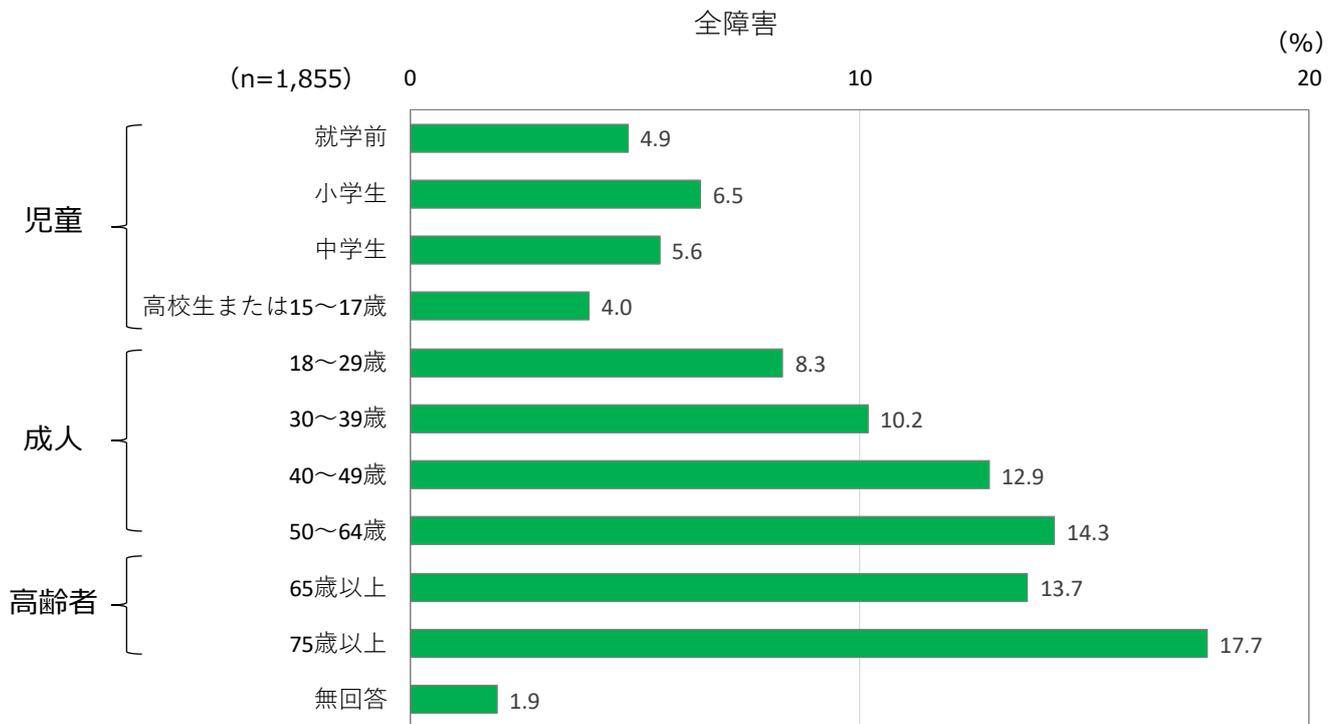


(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
本人	71.1	40.4	83.8	69.7	21.4	25.0	53.3	44.4	82.4	73.5	72.2	74.4
父	1.4	-	-	-	21.4	50.0	5.0	-	0.7	-	-	2.3
母	2.7	-	-	1.9	28.6	25.0	16.7	-	0.7	-	-	-
きょうだい・親族	13.9	21.1	9.5	16.1	21.4	-	16.7	33.3	7.4	17.9	27.8	14.0
ヘルパー・介助者	2.2	12.3	1.4	1.9	-	-	1.7	-	2.9	1.7	-	-
その他	7.4	22.8	5.4	9.7	7.1	-	5.0	22.2	5.9	5.1	-	7.0
無回答	1.4	3.5	-	0.6	-	-	1.7	-	-	1.7	-	2.3

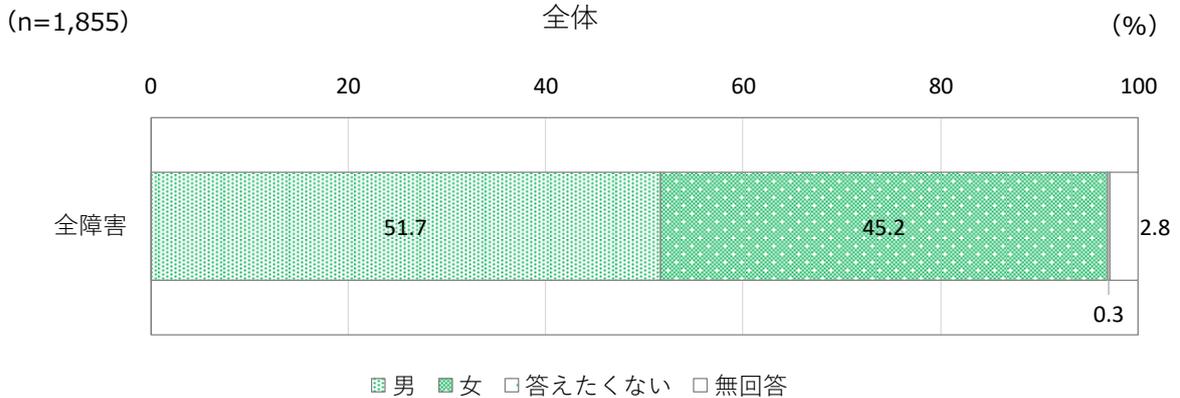
問2. あなたは何歳ですか（2019年4月1日現在）（宛名のご本人についてお答えください）。

「成人」（18～64歳）が最も多く4割以上、次いで、「高齢者」（65歳以上）が3割以上、「児童」（17歳以下）は2割以上となっています。
 前回調査との比較では「児童」が約8ポイント減少し、成人は約10ポイント増加しました。



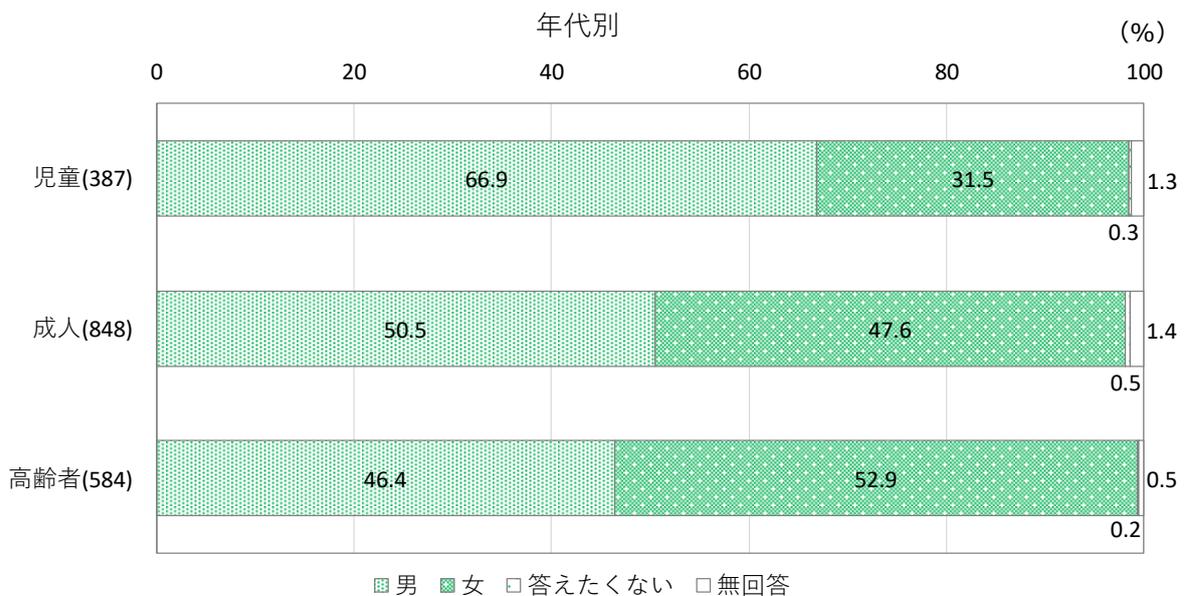
問3. あなたの性別をお答えください（○はひとつ）。

「男性」が5割以上となり、「女性」より多くなっています。
 前回調査との比較では「男性」が約7ポイント減少し、「女性」が約4ポイント増加しています。



年代別にみると、児童は「男性」が最も多く6割以上、成人では「男性」と「女性」がそれぞれ半数程度、高齢者は「女性」が5割以上となっています。

前回調査との比較では、児童は大きな傾向の違いは見られませんが、成人は「男性」が約7ポイント減少し、高齢者も「男性」が約5ポイント減少しています。



問4. 昼間に主に通っているところはどこですか（〇はいくつでも）。

【児童】

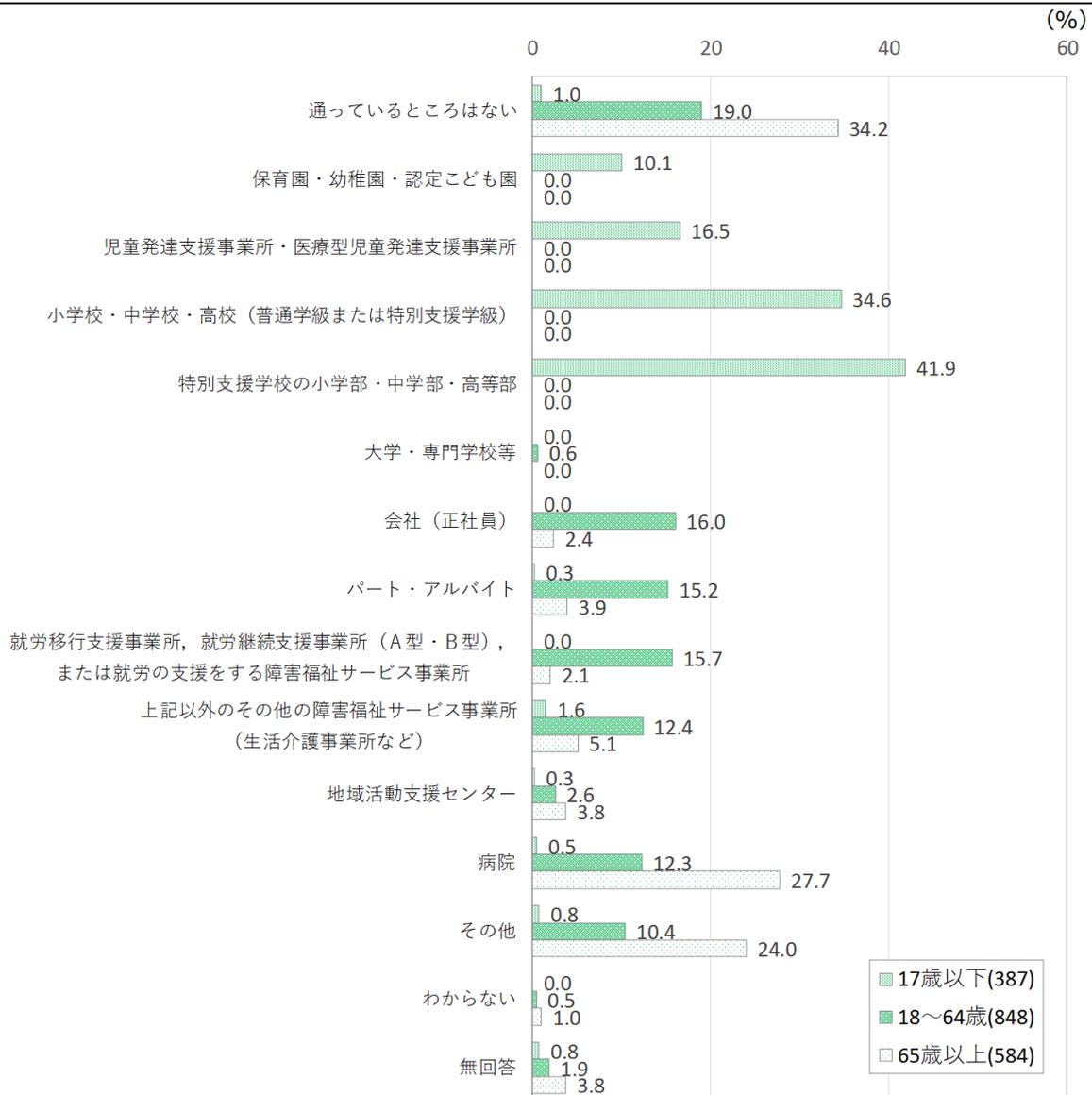
「特別支援学校の小学部・中学部・高等部」が4割以上で最も多く、次いで「小学校・中学校・高校（普通学級または特別支援学級）」が3割以上となっています。前回調査との比較では、「特別支援学校の小学部・中学部・高等部」が20ポイント増加、「小学校・中学校・高校（普通学級または特別支援学級）」が13ポイント減少しています。

【成人】

「通っていないところはない」が最も多く2割近くとなっています。通っている場所としては「会社（正社員）」「パート・アルバイト」（合計3割以上）が、「就労移行支援事業所，就労継続支援事業所」や「その他の障害福祉サービス事業所」（合計3割近く）より多くなっています。前回調査との比較では、「会社（正社員）」「パート・アルバイト」の合計が約8ポイント増加しています。

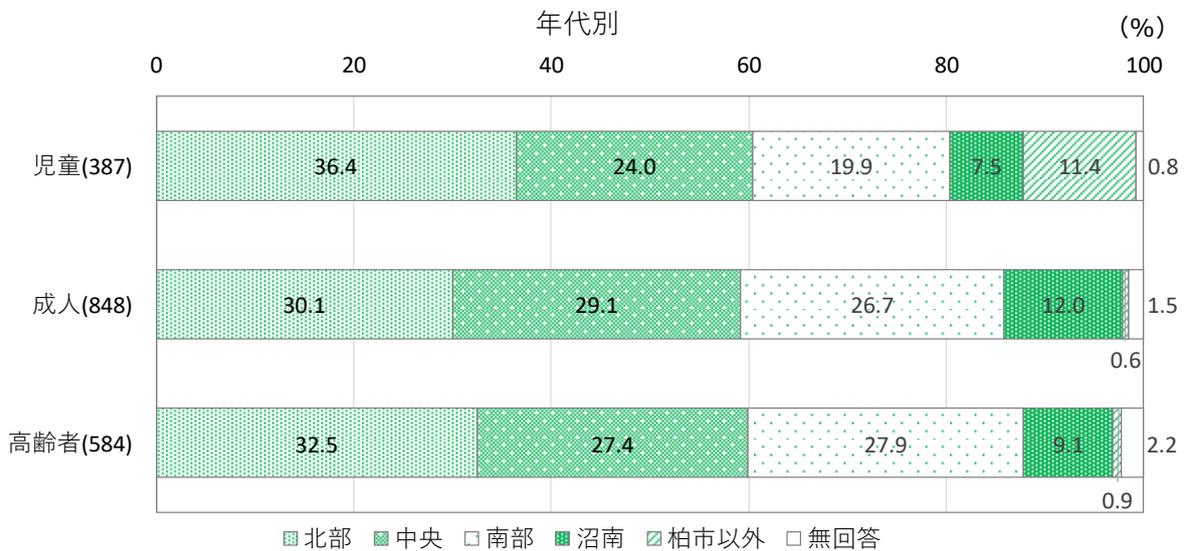
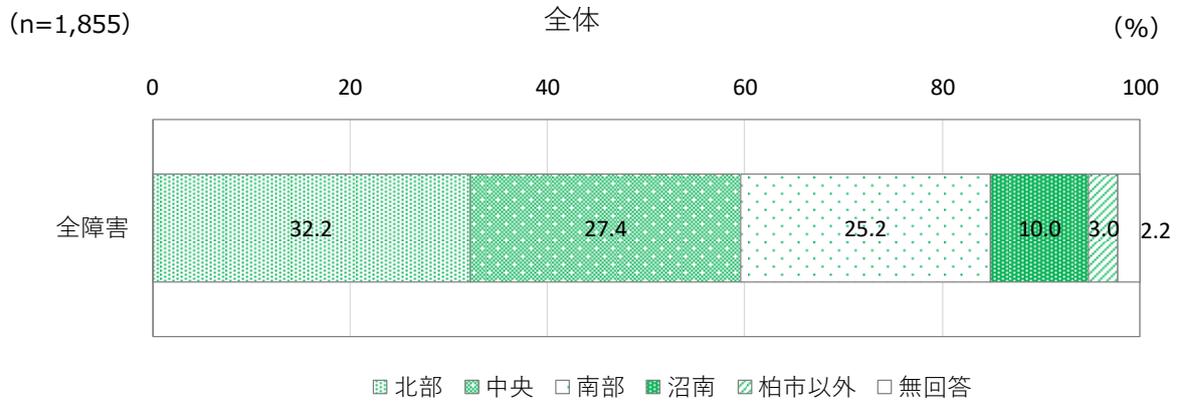
【高齢者】

「通っていないところはない」が3割以上で最も多く、次いで「病院」となっています。前回調査と同様の傾向ですが、「通っていないところはない」は約19ポイント減少しています。



問5. あなたがお住いの地域はどちらですか（○はひとつ）。

「北部」が3割以上で最も多く、次いで「中央」が3割近く、「南部」が2割以上となっています。いずれの年代も同様の傾向ですが、児童は「柏市以外」が1割以上となっています。



《参考》本質問におけるエリアの分類

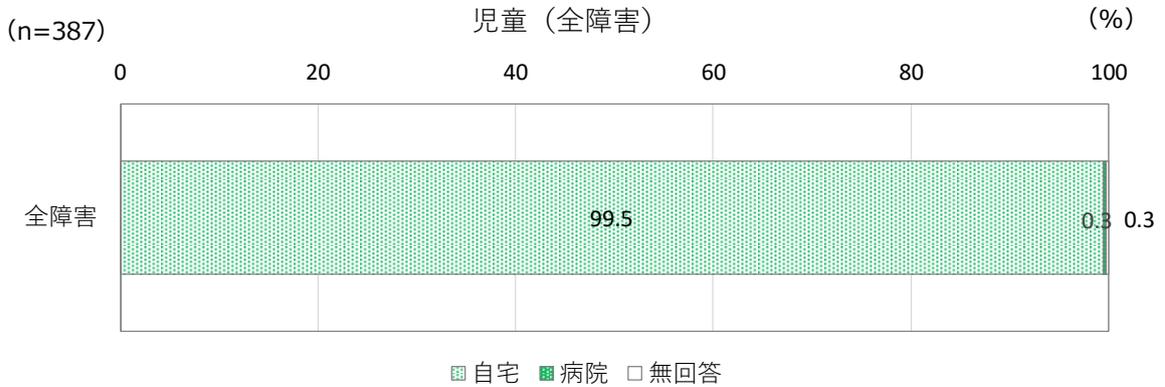
1. 北部	田中, 西原, 富勢, 松葉, 高田, 松ヶ崎等
2. 中央	豊四季台, 新富, 旭町, 柏中央, 新田原, 富里, 永楽台等
3. 南部	増尾, 南部, 藤心, 光ヶ丘, 酒井根等
4. 沼南	手賀, 風早北部, 風早南部等
5. 柏市以外	柏市以外にお住いの方

問6. どこで生活していますか (○はひとつ)。

【児童】

児童全体では、ほとんどの人が「自宅」で生活しています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

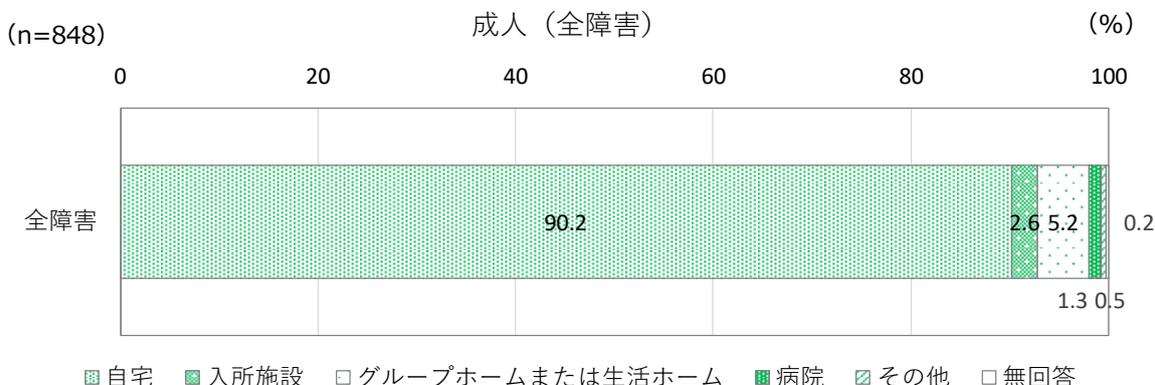


(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
自宅	99.5	100.0	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0	100.0	95.0	100.0	100.0	100.0
病院	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、「自宅」で生活している人が9割以上となっています。知的障害と発達障害は、「グループホームまたは生活ホーム」が1割程度で他の障害と比べて多くなっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



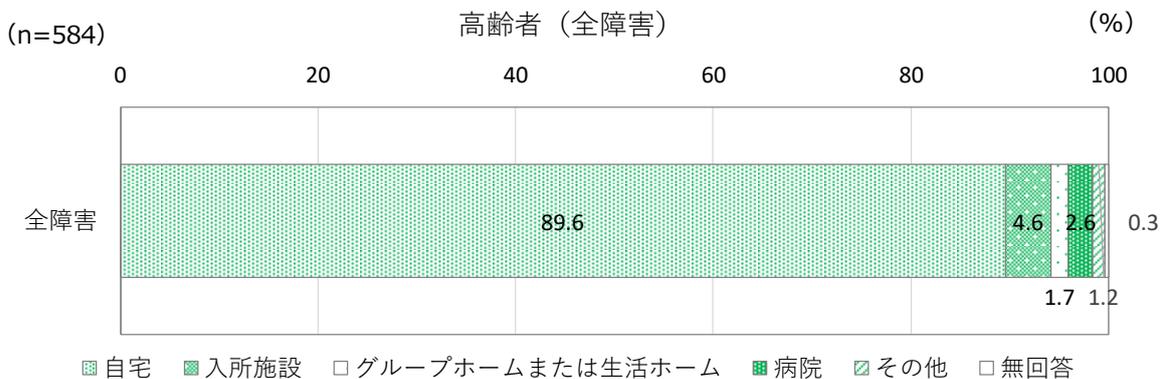
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
自宅	90.2	91.4	93.2	85.2	78.8	89.8	92.4	87.5	97.0	99.1	100.0	94.7
入所施設	2.6	8.6	3.4	7.4	6.6	0.0	0.7	12.5	0.0	0.0	0.0	2.6
グループホームまたは生活ホーム	5.2	0.0	1.7	3.7	11.5	8.2	4.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
病院	1.3	0.0	1.7	1.9	2.1	2.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
その他	0.5	0.0	0.0	1.9	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体についても、「自宅」で生活している人が9割近くとなっています。精神障害は「病院」が1割で他の障害と比べて多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

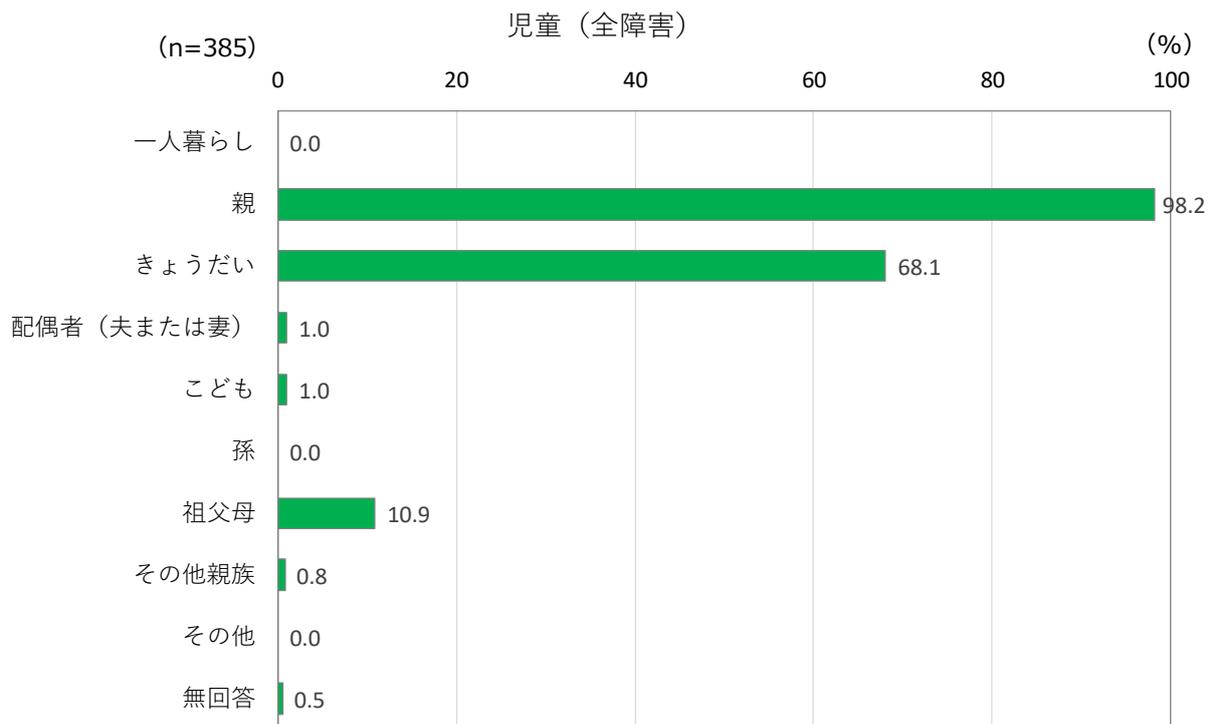
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い そ の 他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
自宅	89.6	89.5	90.5	85.2	64.3	50.0	80.0	77.8	94.1	88.9	94.4	93.0
入所施設	4.6	3.5	2.7	7.1	14.3	0.0	5.0	22.2	2.2	6.8	5.6	0.0
グループホームまたは生活ホーム	1.7	0.0	0.0	2.6	14.3	50.0	1.7	0.0	0.7	0.0	0.0	2.3
病院	2.6	1.8	1.4	3.2	7.1	0.0	10.0	0.0	2.9	3.4	0.0	0.0
その他	1.2	5.3	4.1	1.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.9	0.0	2.3
無回答	0.3	0.0	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

問7. (問6で「1. 自宅」と答えた方にお伺いします。) 誰と一緒に暮らしていますか (〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、ほとんどの人が「親」と暮らしており、「きょうだい」と暮らしている人は7割近くになっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



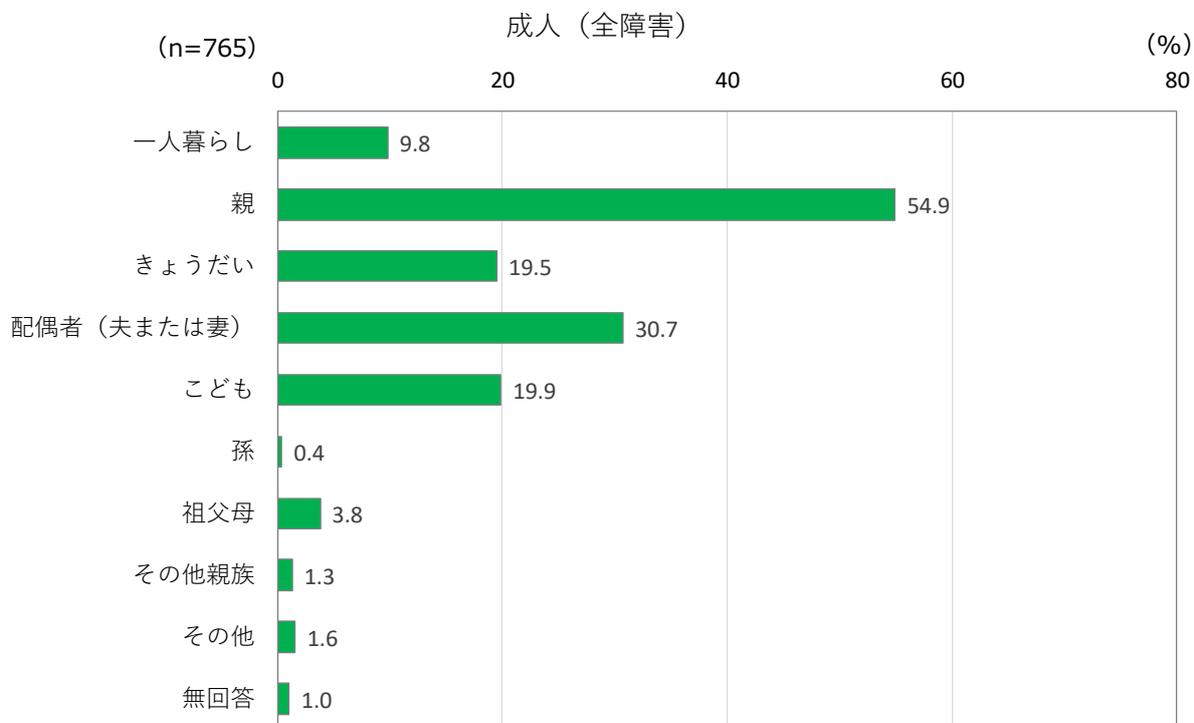
(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ その か ら な い ・ 他 .
有効回答数 (人)	385	3	13	33	241	171	8	1	19	22	23	28
一人暮らし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親	98.2	100.0	100.0	100.0	100.0	98.8	100.0	100.0	94.7	100.0	95.7	92.9
きょうだい	68.1	100.0	76.9	78.8	72.6	69.6	87.5	100.0	63.2	72.7	65.2	50.0
配偶者 (夫または妻)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	4.3	3.6
こども	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	8.7	0.0
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	10.9	0.0	15.4	3.0	12.4	9.9	12.5	100.0	10.5	9.1	13.0	14.3
その他親族	0.8	0.0	7.7	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6

【成人】

成人全体についても、「親」と暮らしている人が5割以上、次いで「配偶者」が3割以上、「こども」と「きょうだい」がそれぞれ2割近くとなっています。特に、知的障害と発達障害は「親」と暮らしている人が8割以上で、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べると、「親」と暮らしている人が約9ポイント減少しています。



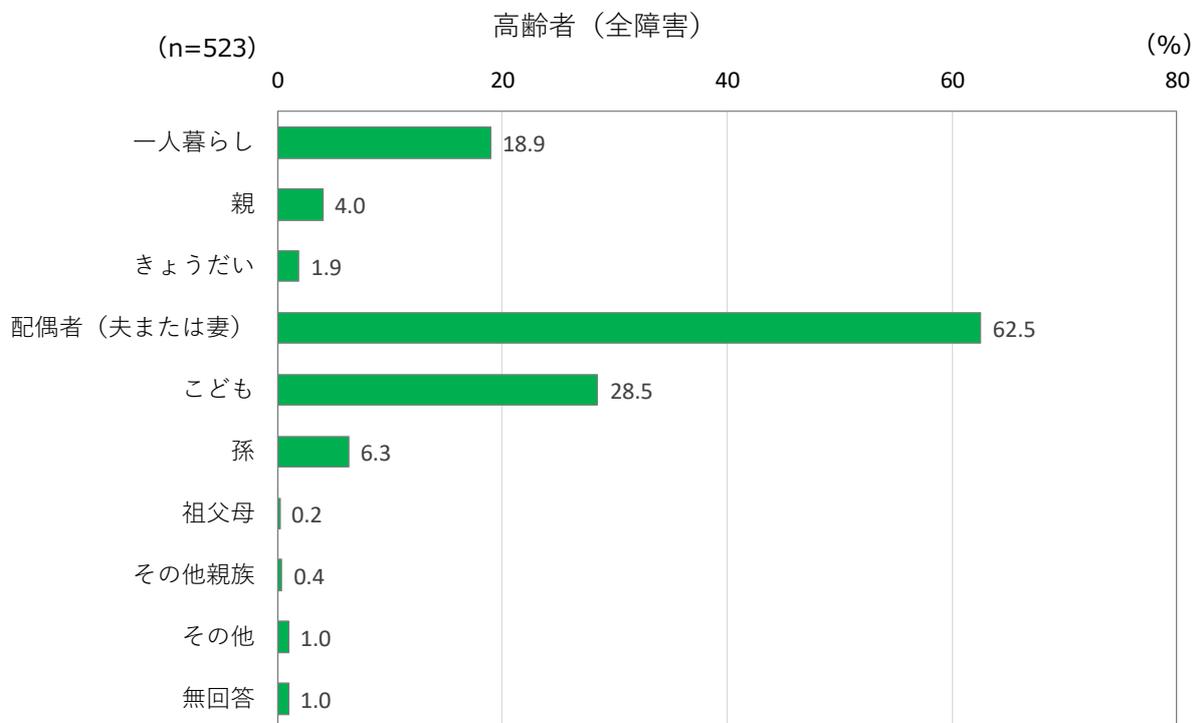
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	765	32	55	92	227	88	254	14	32	109	21	36
一人暮らし	9.8	12.5	23.6	13.0	2.2	8.0	13.8	7.1	9.4	12.8	4.8	11.1
親	54.9	50.0	40.0	48.9	92.1	84.1	45.7	42.9	37.5	30.3	28.6	47.2
きょうだい	19.5	15.6	23.6	17.4	39.2	35.2	9.4	0.0	6.3	8.3	9.5	8.3
配偶者（夫または妻）	30.7	31.3	29.1	39.1	1.3	4.5	32.3	57.1	50.0	56.0	57.1	41.7
こども	19.9	6.3	20.0	17.4	1.8	5.7	22.8	28.6	31.3	35.8	47.6	22.2
孫	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
祖父母	3.8	0.0	0.0	3.3	8.8	4.5	2.0	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8
その他親族	1.3	0.0	3.6	2.2	0.4	0.0	2.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.6	6.3	0.0	1.1	0.9	2.3	2.8	0.0	0.0	0.9	0.0	5.6
無回答	1.0	0.0	0.0	1.1	0.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、「配偶者」と暮らしている人が6割以上、次いで「こども」と暮らしている人が3割近く、「一人暮らし」が2割近くとなっています。

前回調査と比べると、「配偶者」と暮らしている人が約8ポイント減少しています。



(単位：％)

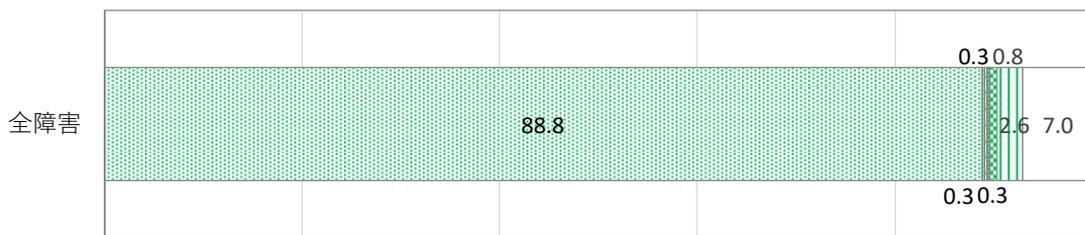
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	523	51	67	132	9	2	48	7	128	104	17	40
一人暮らし	18.9	23.5	14.9	18.9	11.1	50.0	22.9	14.3	18.8	18.3	11.8	17.5
親	4.0	0.0	1.5	3.8	33.3	0.0	22.9	0.0	0.8	1.0	0.0	2.5
きょうだい	1.9	2.0	1.5	2.3	11.1	0.0	10.4	0.0	0.0	1.0	0.0	5.0
配偶者（夫または妻）	62.5	66.7	64.2	66.7	22.2	50.0	41.7	85.7	64.1	67.3	58.8	67.5
こども	28.5	23.5	31.3	24.2	33.3	50.0	22.9	14.3	31.3	32.7	52.9	30.0
孫	6.3	5.9	4.5	8.3	0.0	0.0	0.0	14.3	7.0	9.6	17.6	10.0
祖父母	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
その他	1.0	2.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	2.5
無回答	1.0	0.0	3.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.0	0.0	0.0

問8. (問6で「1. 自宅」と答えた方にお伺いします。) 主に介護や支援をしている人はどなたですか (○はひとつ)。

【児童】

児童全体では、「親」が介護や支援をしていると回答した人が全体の9割近くとなっています。

(n=385) 児童 (全障害) (%)



■ 親 ■ きょうだい □ 配偶者 (夫または妻) ■ こども ■ 祖父母 □ 介護や支援は必要ない □ 無回答

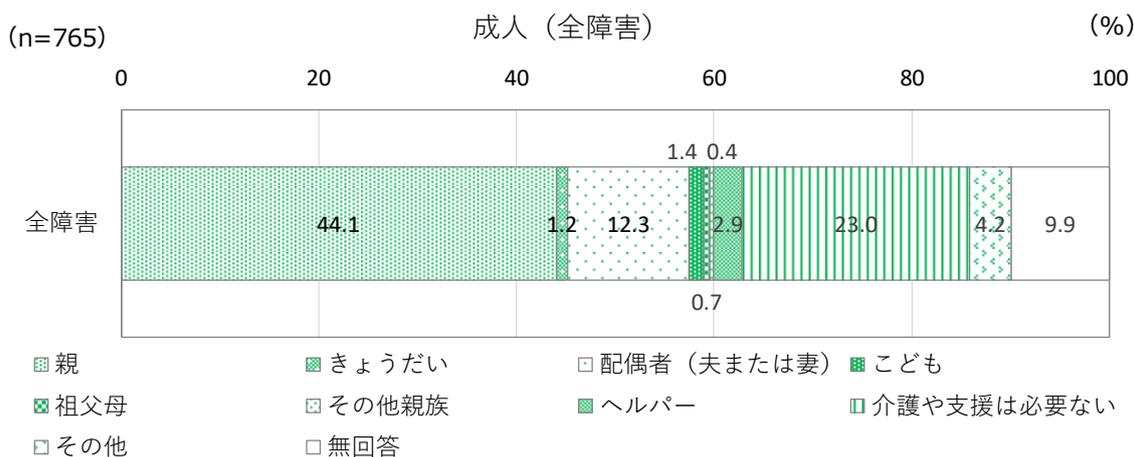
(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	385	3	13	33	241	171	8	1	19	22	23	28
親	88.8	66.7	76.9	90.9	92.1	92.4	87.5	100.0	84.2	81.8	73.9	78.6
きょうだい	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者 (夫または妻)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
こども	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護や支援は必要ない	2.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	10.5	0.0	17.4	10.7
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.0	33.3	23.1	9.1	6.2	5.8	12.5	0.0	5.3	18.2	8.7	7.1

【成人】

成人全体では、「親」が介護や支援をしている人が4割以上、「配偶者」が1割以上となっています。「介護や支援は必要ない」という人は2割以上です。

知的障害と発達障害は「親」が介護している人が7～8割以上となっています。難病は「介護や支援は必要ない」が4割以上となっています。



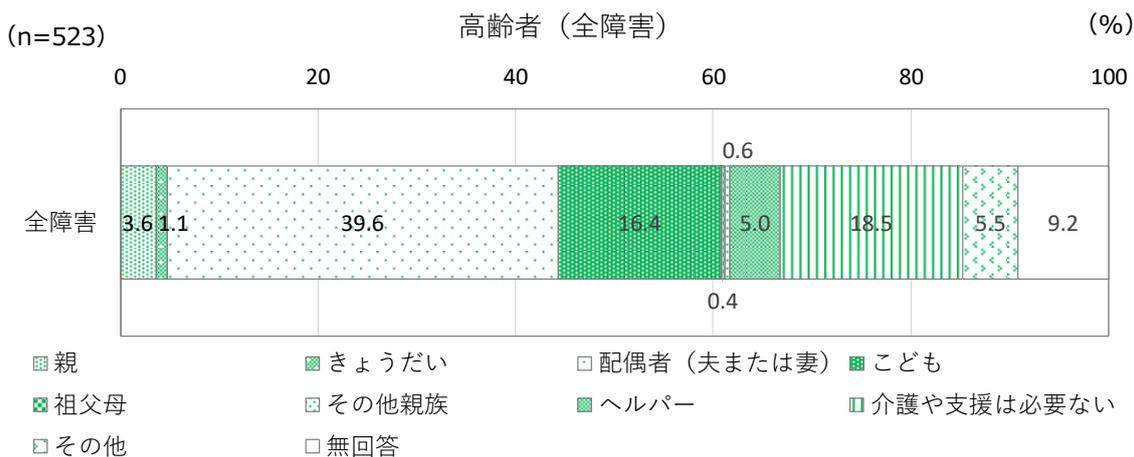
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	765	32	55	92	227	88	254	14	32	109	21	36
親	44.1	40.6	32.7	41.3	81.1	75.0	37.8	28.6	37.5	18.3	9.5	41.7
きょうだい	1.2	0.0	5.5	1.1	1.3	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者 (夫または妻)	12.3	21.9	5.5	21.7	0.4	1.1	15.7	28.6	12.5	17.4	9.5	16.7
こども	1.4	0.0	1.8	2.2	0.0	2.3	0.8	7.1	3.1	0.9	4.8	2.8
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	0.7	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
ヘルパー	2.9	15.6	3.6	8.7	2.2	2.3	3.5	14.3	3.1	2.8	0.0	0.0
介護や支援は必要ない	23.0	15.6	25.5	12.0	4.8	12.5	23.6	0.0	31.3	42.2	71.4	13.9
その他	4.2	0.0	5.5	0.0	2.6	4.5	6.7	0.0	0.0	3.7	0.0	11.1
無回答	9.9	6.3	20.0	12.0	5.7	2.3	9.4	21.4	12.5	13.8	4.8	13.9

【高齢者】

高齢者全体では、「配偶者」が介護や支援をしている人が4割近くで最も多く、次いで「子ども」が1割以上となっています。「介護や支援は必要ない」という人は2割近くです。

視覚障害と肢体不自由では「配偶者」が介護や支援をしている人が肢体不自由で5割近く、視覚障害では5割以上となっており、他の障害と比べ若干ではありますが多くなっています。難病は「介護や支援は必要ない」が2割以上となっています。



(単位：%)

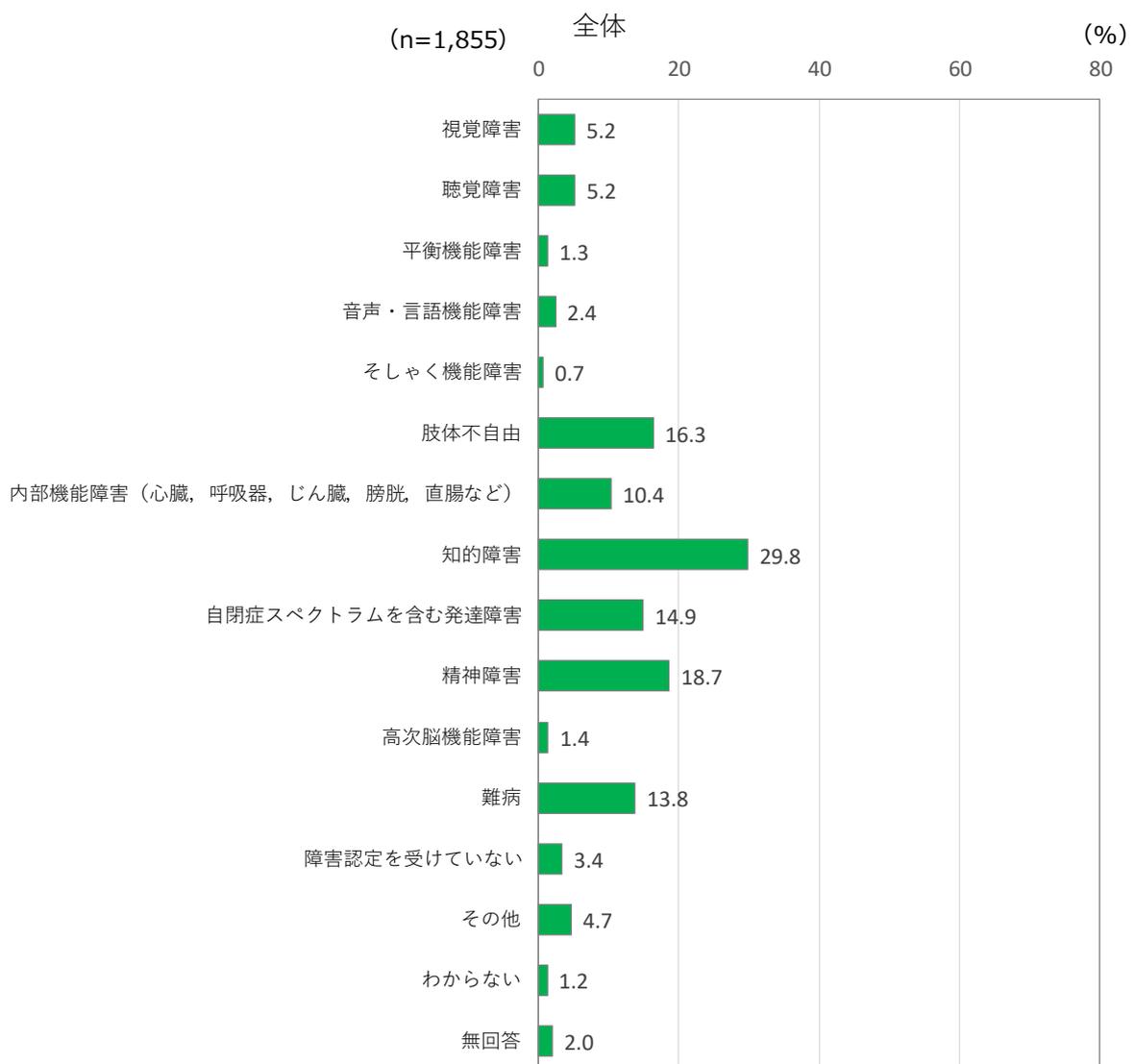
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	523	51	67	132	9	2	48	7	128	104	17	40
親	3.6	0.0	0.0	1.5	44.4	0.0	25.0	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5
きょうだい	1.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.8	0.0	0.0	5.0
配偶者 (夫または妻)	39.6	52.9	40.3	48.5	11.1	50.0	29.2	100.0	39.8	38.5	23.5	32.5
子ども	16.4	7.8	22.4	15.2	22.2	0.0	12.5	0.0	21.1	10.6	23.5	17.5
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.6	2.0	0.0	0.0	11.1	0.0	2.1	0.0	0.0	1.0	5.9	0.0
ヘルパー	5.0	17.6	1.5	6.8	0.0	0.0	2.1	0.0	3.1	5.8	5.9	0.0
介護や支援は必要ない	18.5	9.8	11.9	13.6	0.0	0.0	12.5	0.0	18.0	26.0	41.2	20.0
その他	5.5	2.0	7.5	6.8	0.0	50.0	6.3	0.0	4.7	4.8	0.0	10.0
無回答	9.2	5.9	14.9	7.6	11.1	0.0	4.2	0.0	10.2	13.5	0.0	12.5

障害の状況

問9. 障害の種類は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

全体では、「知的障害」が3割近く、「精神障害」が2割近く、「肢体不自由」が1割以上となっています。

前回調査との比較では、「精神障害」が約6ポイント増加し、「内部機能障害」が約15ポイント減少しています。



【児童】

「知的障害」が6割以上で最も多く、次いで「発達障害」が4割以上です。

前回調査との比較では、「知的障害」が約8ポイント、「発達障害」が約6ポイント増加しています。

【成人】

「知的障害」と「精神障害」がそれぞれ3割以上で上位となっています。

前回調査との比較では、「知的障害」が約5ポイント減少し、一方で「精神障害」が約6ポイント増加しています。

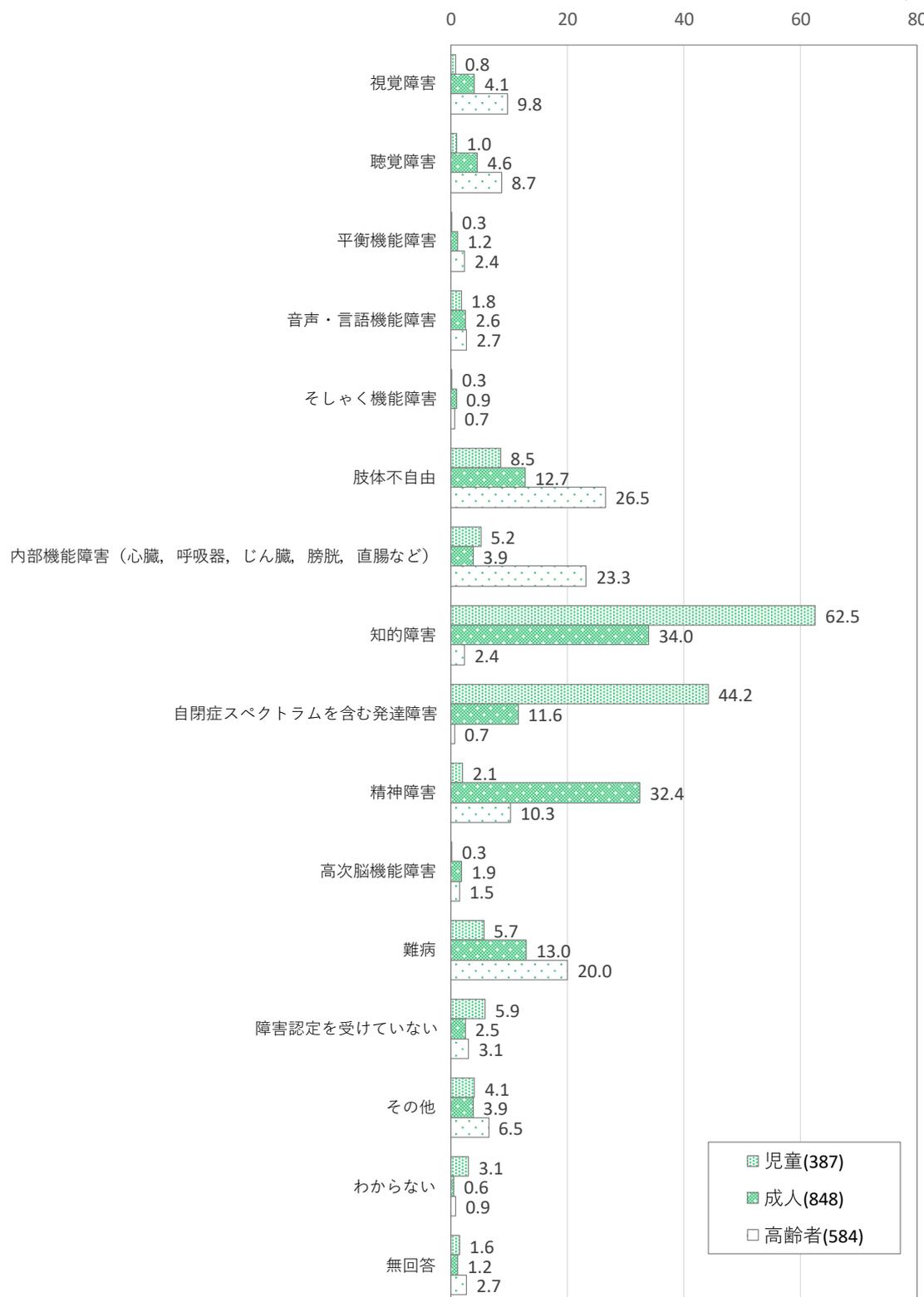
【高齢者】

「肢体不自由」、「内部機能障害」、「難病」がそれぞれ2割以上となっています。

前回調査との比較では、「肢体不自由」は約10ポイント増加、また「難病」は約8ポイント増加し、一方で「内部機能障害」が約25ポイント減少しています。

年代別

(%)

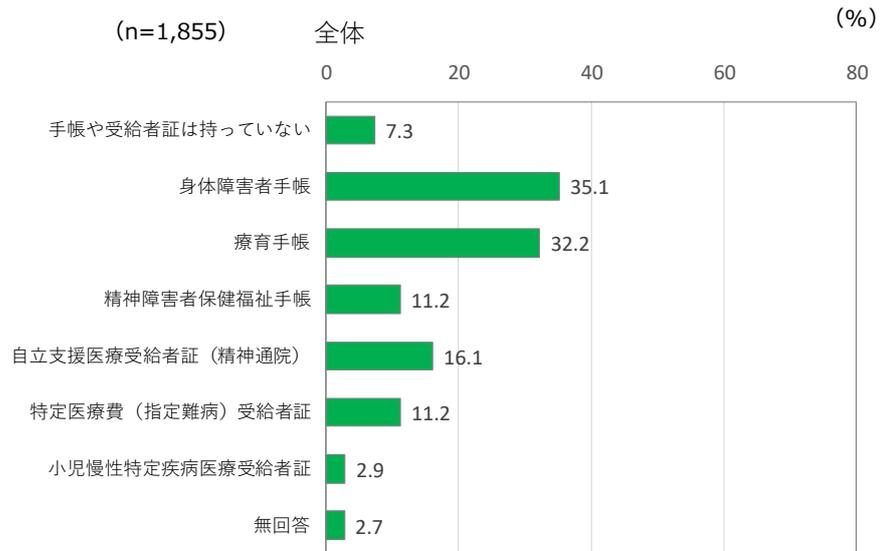


問 10. 障害者手帳や以下の受給者証をお持ちですか（該当する番号と等級に○）。

(1) 手帳の所持

手帳の所持について、全体では、「身体障害者手帳」が最も多く、次いで「療育手帳」で、それぞれ3割以上となっています。

前回調査とは選択肢が異なる（前回の選択肢：手帳は持っていない、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）ため単純な比較はできませんが、「身体障害者手帳」が16ポイント減少しています。



【児童】

「療育手帳」が7割以上で最も多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「療育手帳」が約15ポイント増加しています。

【成人】

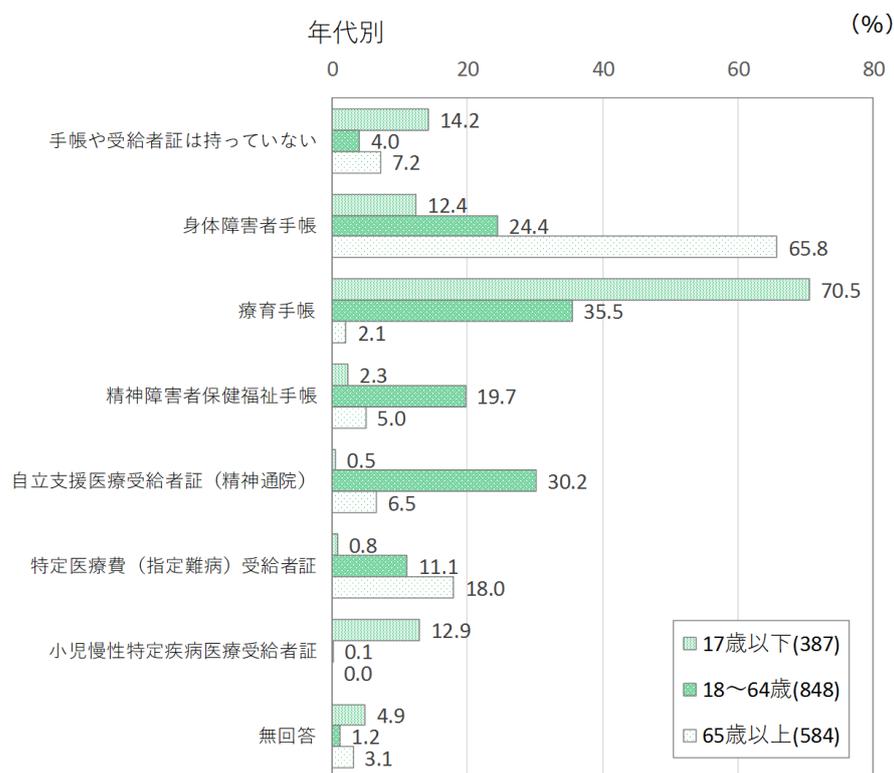
「療育手帳」と「自立支援医療受給者証」がそれぞれ3割を超えているほか、「身体障害者手帳」が2割以上となっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「精神障害者保健福祉手帳」が約5ポイント減少し、今回新設した「自立支援医療受給者証」が上位となっています。

【高齢者】

「身体障害者手帳」が6割以上と最も多くなっています。また、「特定医療費（指定難病）受給者証」が2割近くで、他の年代と比べ多くなっています。

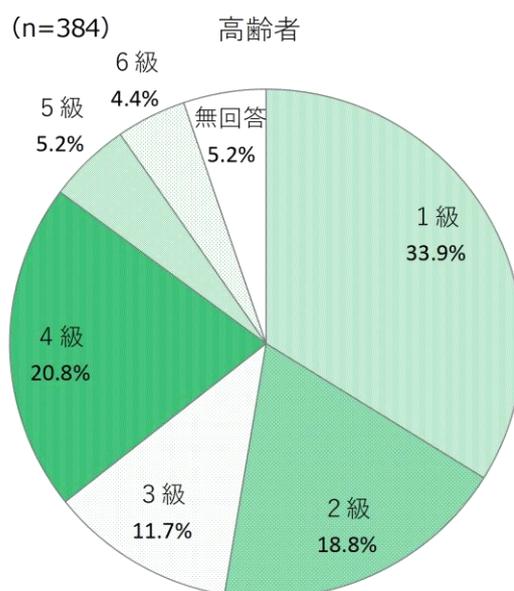
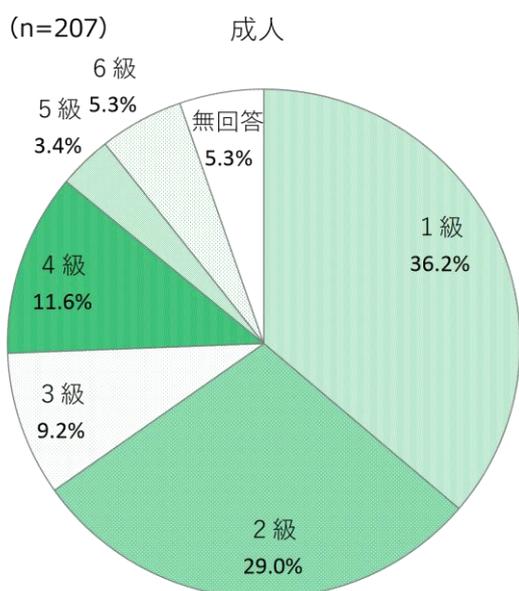
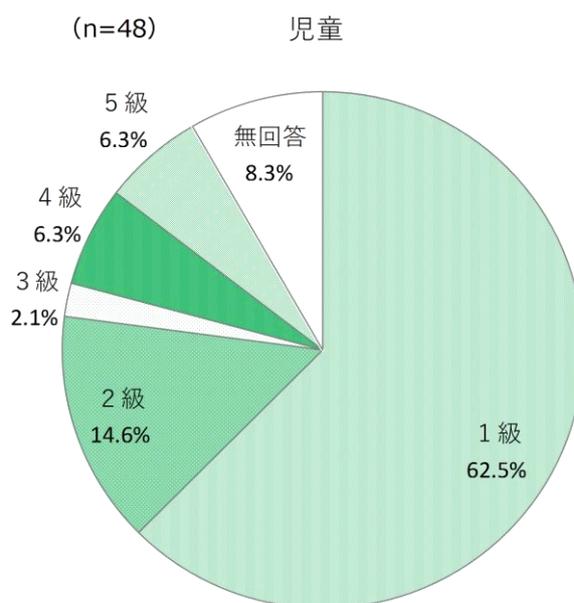
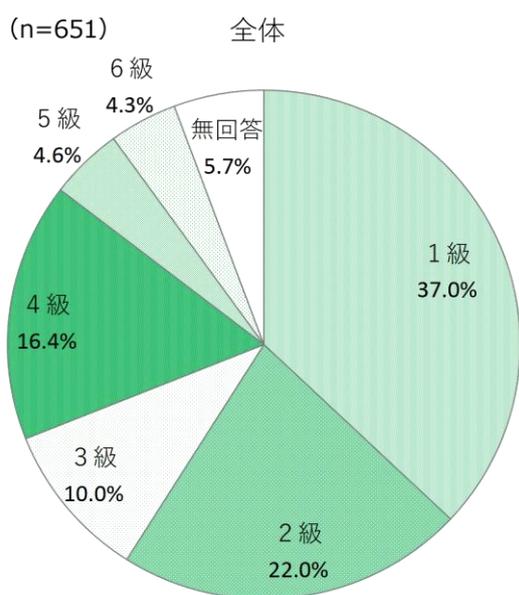
前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「身体障害者手帳」が約20ポイント減少し、今回新設した「特定医療費（指定難病）受給者証」が上位となっています。



(2) 身体障害者手帳

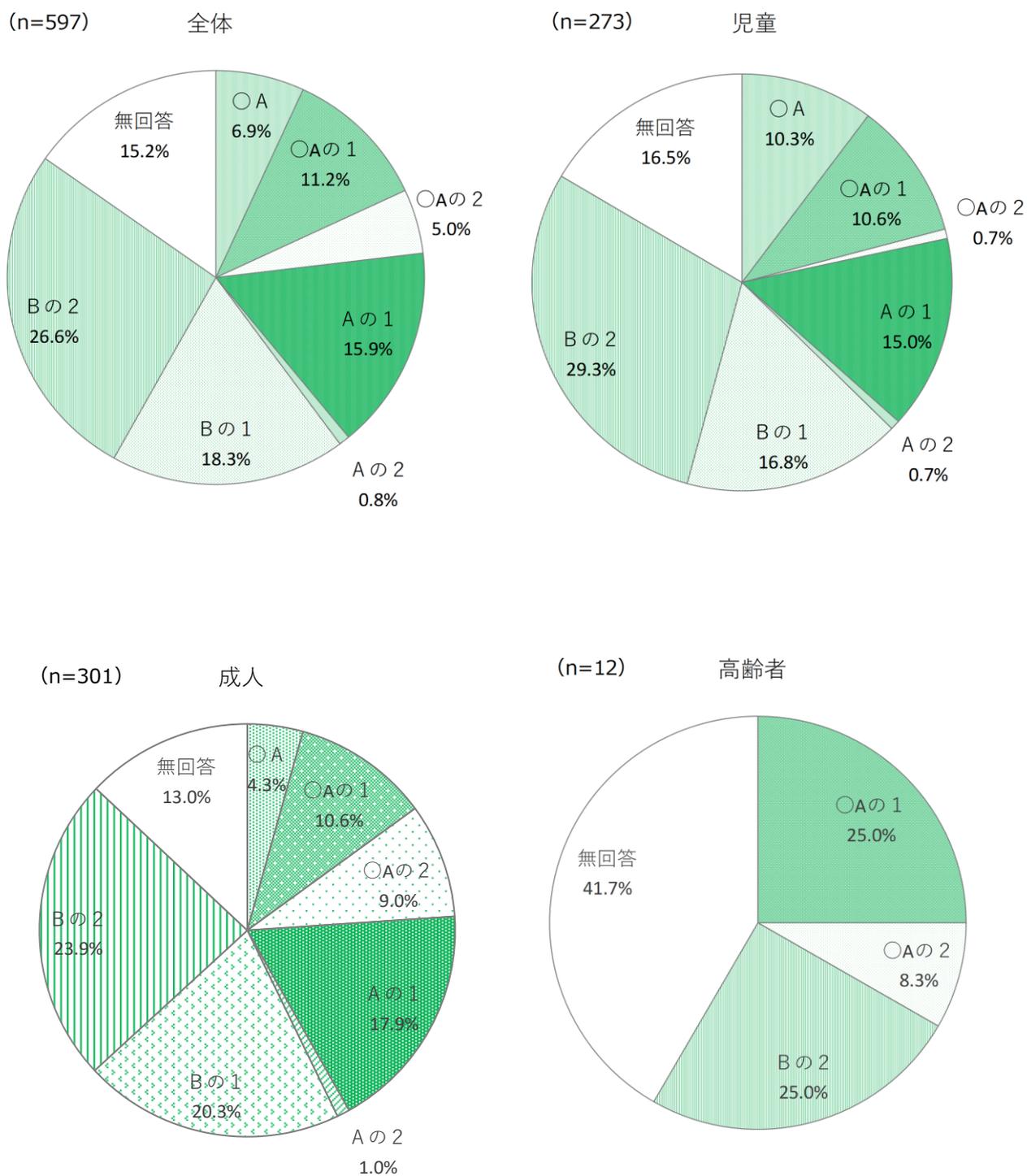
身体障害者手帳について、全体では、「1級」が4割近くで最も多くなっています。特に児童は「1級」が6割以上で、他の年代と比べ多くなっています。

本質問についてはいずれの年代でも前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(3) 療育手帳

療育手帳について、全体では、「Bの2」が3割近くで最も多くなっています。
本質問についてはいずれの年代でも前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

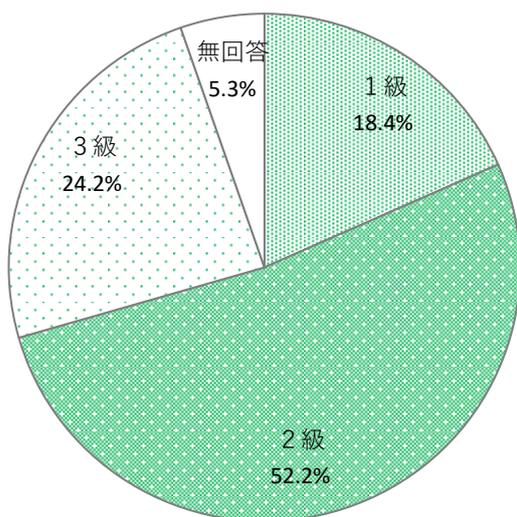


(4) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳について全体では「2級」が5割以上で最も多くなっています。本質問については、いずれの年代でも前回調査と比べ大きな傾向の違いは見られません。

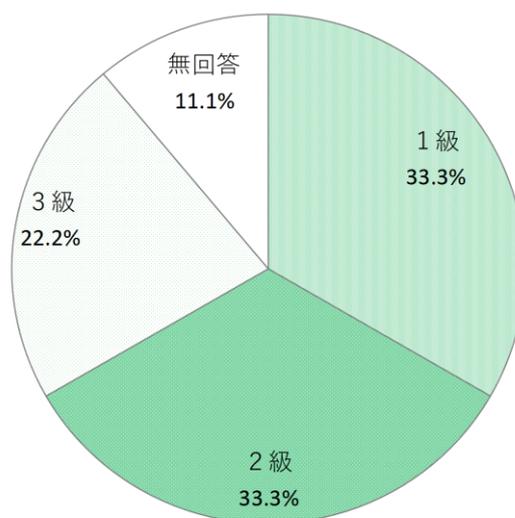
(n=207)

全体



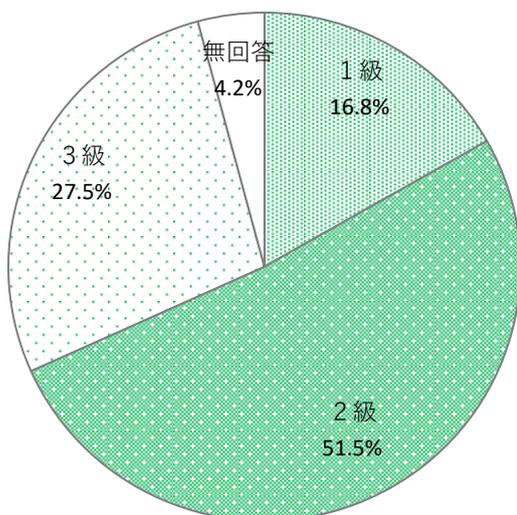
(n=9)

児童



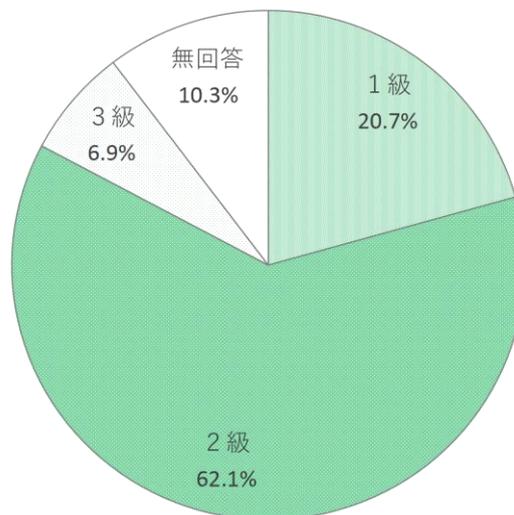
(n=167)

成人



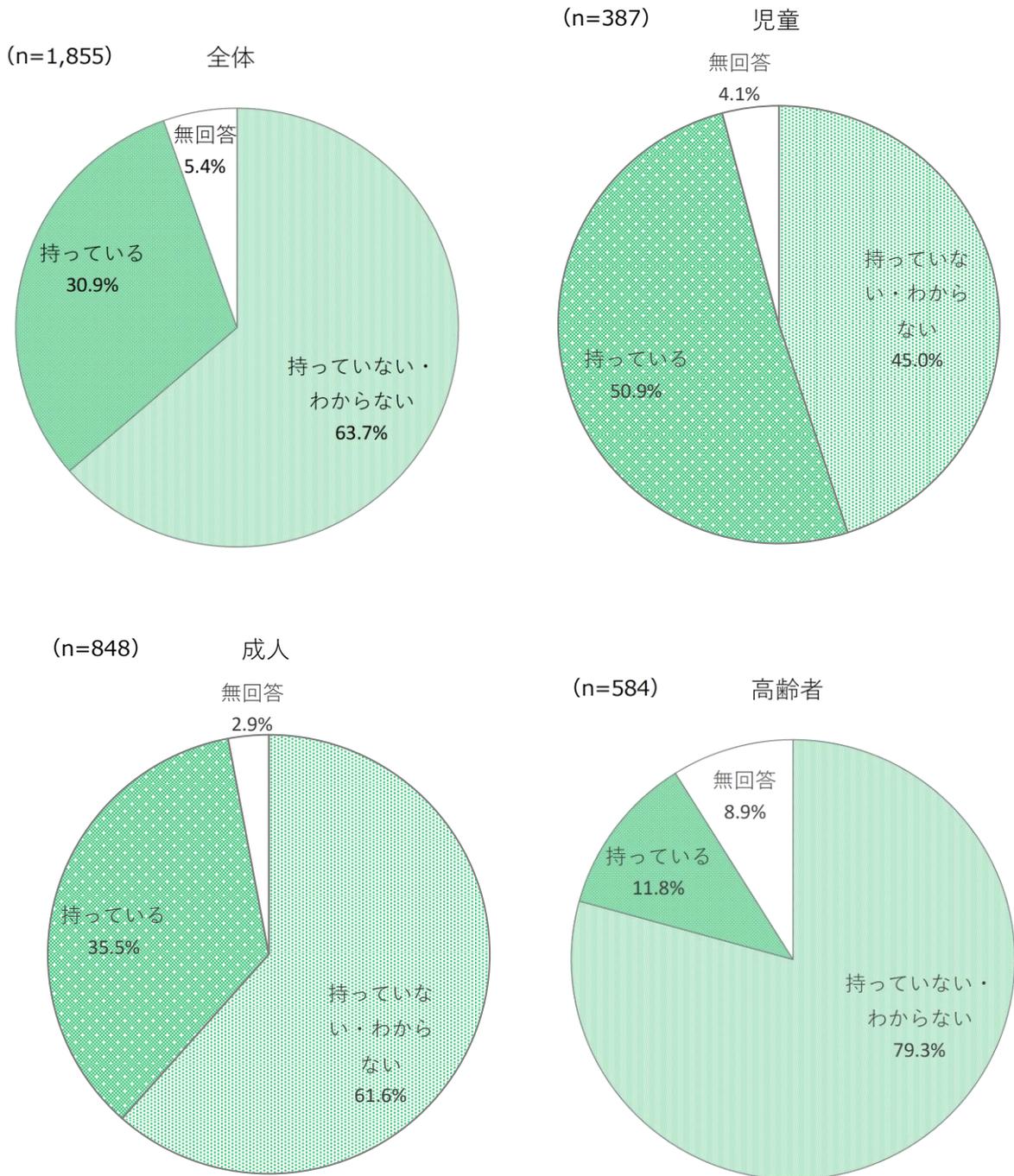
(n=29)

高齢者



問 11. 障害福祉サービス受給者証をお持ちですか（該当する番号と区分に○）。

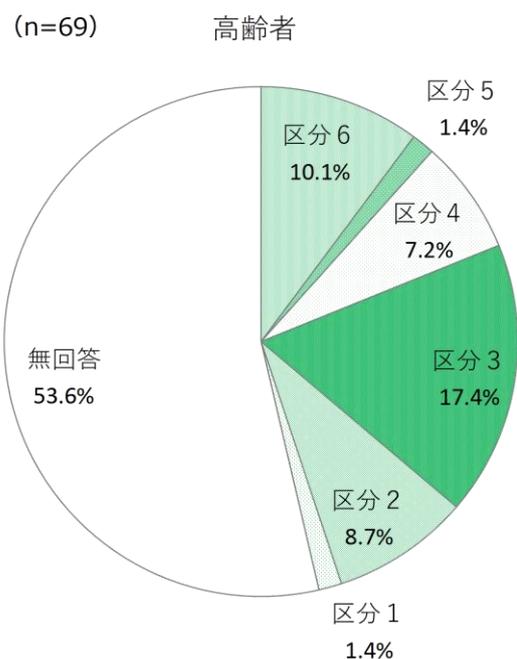
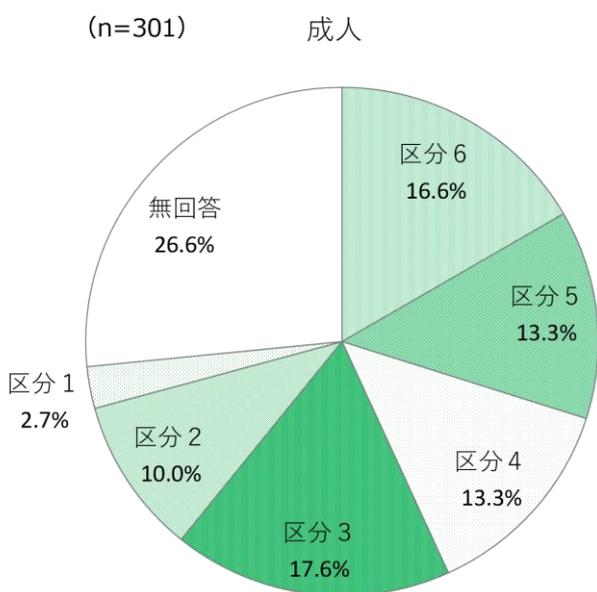
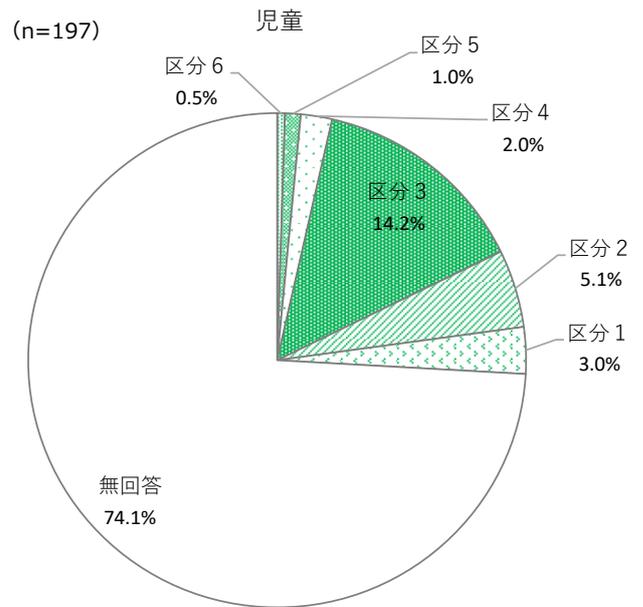
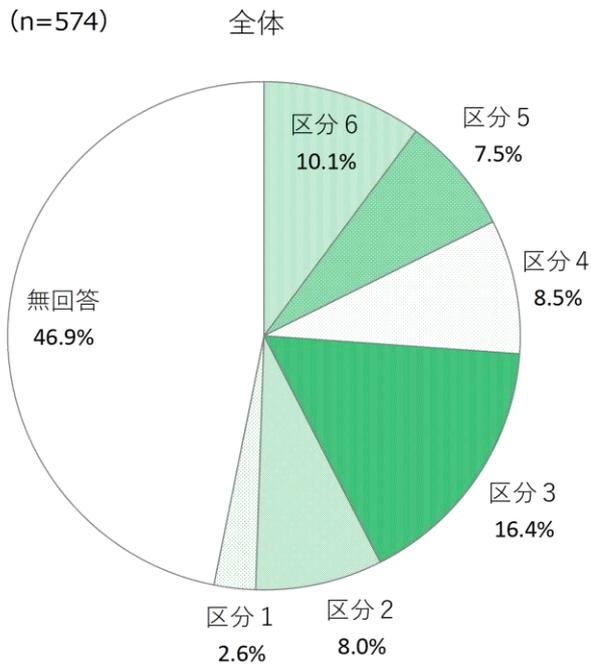
全体では、障害福祉サービス受給者証を「持っていない・わからない」が6割以上となっています。年代別にみると、児童は「持っている」が5割以上で、他の年代と比べ多いという特徴がみられます。反対に、高齢者は「持っていない・わからない」が8割近くであり、他の年代と比べ多くなっています。



【障害福祉サービス受給者証の区分】

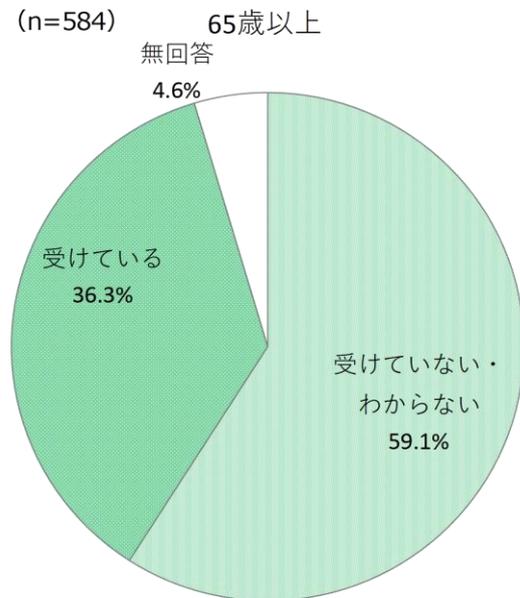
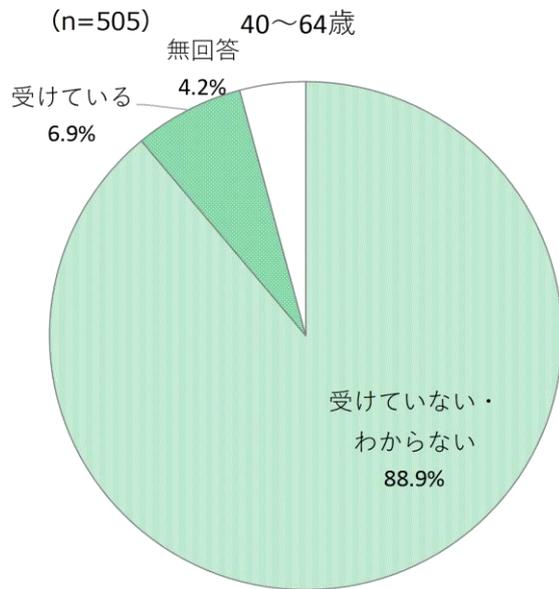
区分について、全体では「区分3」が最も多くなっています。

年代別にみると、成人は「区分6」から「区分3」まで同じような割合であるという特徴がみられます。



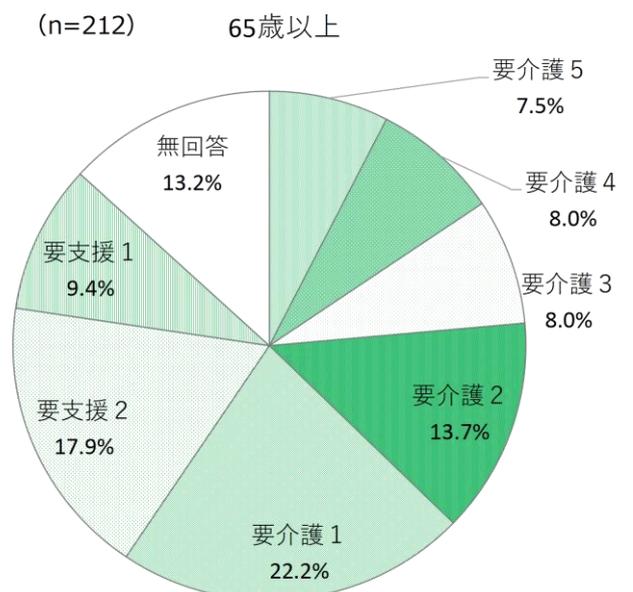
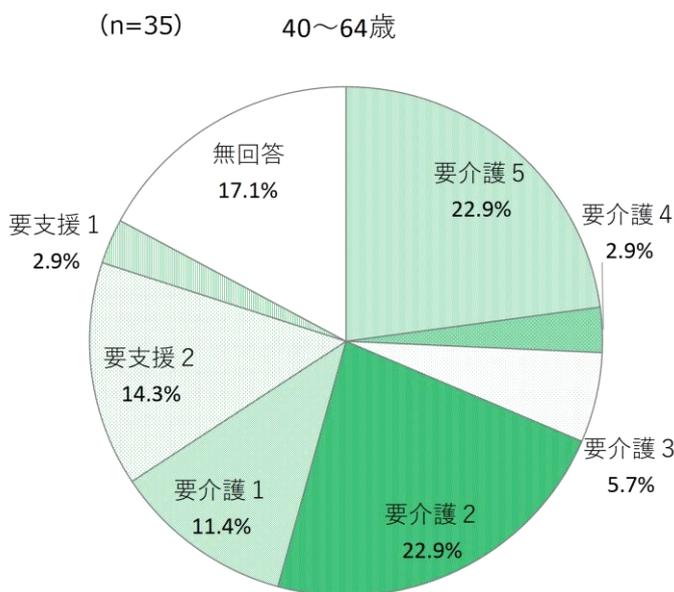
問 12. (40歳以上の方に伺います) 介護保険の要介護認定を受けていますか(該当する番号と区分に○)。

40～64歳では、要介護認定を受けている人が1割未満となっておりますが、65歳以上では3割以上となっております。



【要介護認定の区分】

40～64歳は、「要介護2」と「要介護5」がそれぞれ2割以上となっている特徴がみられます。65歳以上は「要介護1」が最も多く、次いで「要支援2」となっています。



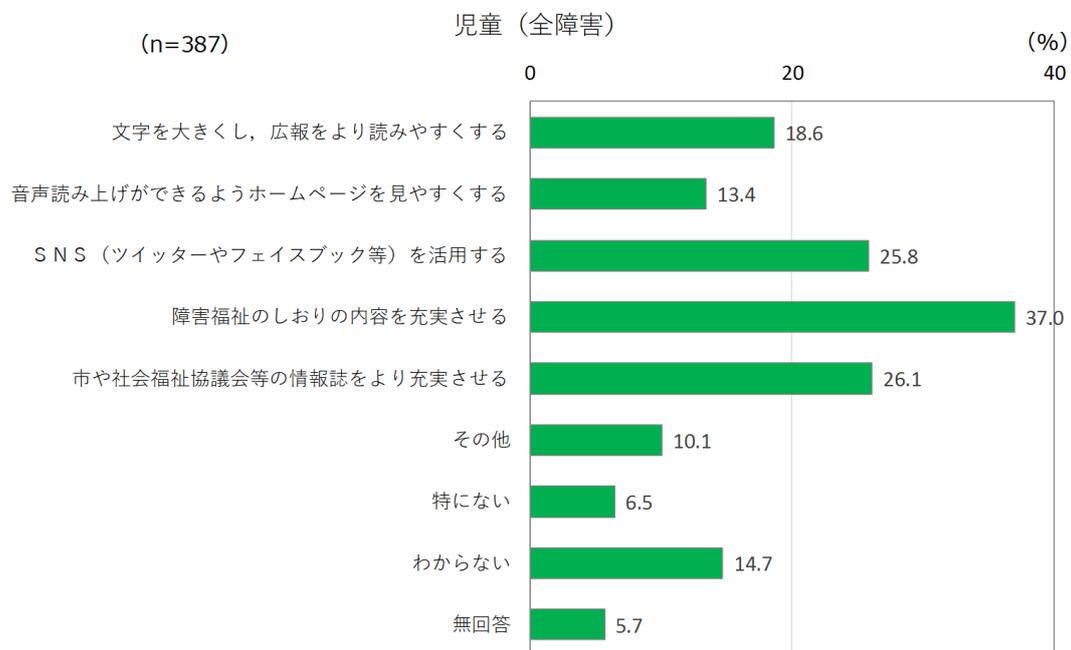
情報提供の充実・障害理解・差別解消

問 13. 市等の情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか (〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が4割近くで最も多く、次いで「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」「SNS (ツイッターやフェイスブック等) を活用する」となっています。発達障害では、他の障害と比べ、上位項目のいずれも多く挙げる傾向がみられます。

前回調査と比べ、児童全体では大きな傾向の違いはみられませんが、発達障害については「SNS (ツイッターやフェイスブック等) を活用する」が約 12 ポイント増加しています。



(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	18.6	0.0	15.4	24.2	18.2	17.0	12.5	100.0	10.0	13.6	21.7	10.7
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	13.4	0.0	15.4	9.1	13.2	15.2	12.5	0.0	10.0	4.5	26.1	10.7
SNS (ツイッターやフェイスブック等) を活用する	25.8	0.0	7.7	24.2	21.5	31.0	25.0	0.0	20.0	27.3	21.7	21.4
障害福祉のしおりの内容を充実させる	37.0	33.3	53.8	57.6	40.9	40.4	50.0	100.0	25.0	40.9	8.7	35.7
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	26.1	0.0	23.1	27.3	26.4	32.2	37.5	0.0	15.0	27.3	13.0	21.4
その他	10.1	0.0	15.4	18.2	11.6	9.4	0.0	0.0	15.0	9.1	4.3	10.7
特にない	6.5	0.0	0.0	6.1	3.7	3.5	25.0	0.0	15.0	18.2	21.7	10.7
わからない	14.7	66.7	15.4	9.1	14.9	13.5	12.5	0.0	5.0	9.1	21.7	28.6
無回答	5.7	0.0	0.0	3.0	6.6	4.7	0.0	0.0	15.0	4.5	4.3	3.6

【成人】

成人全体では、「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が3割以上で最も多く、次いで「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」が3割近くとなっています。

前回調査と比べると、1位と2位が入れ替わっています。



(単位：%)

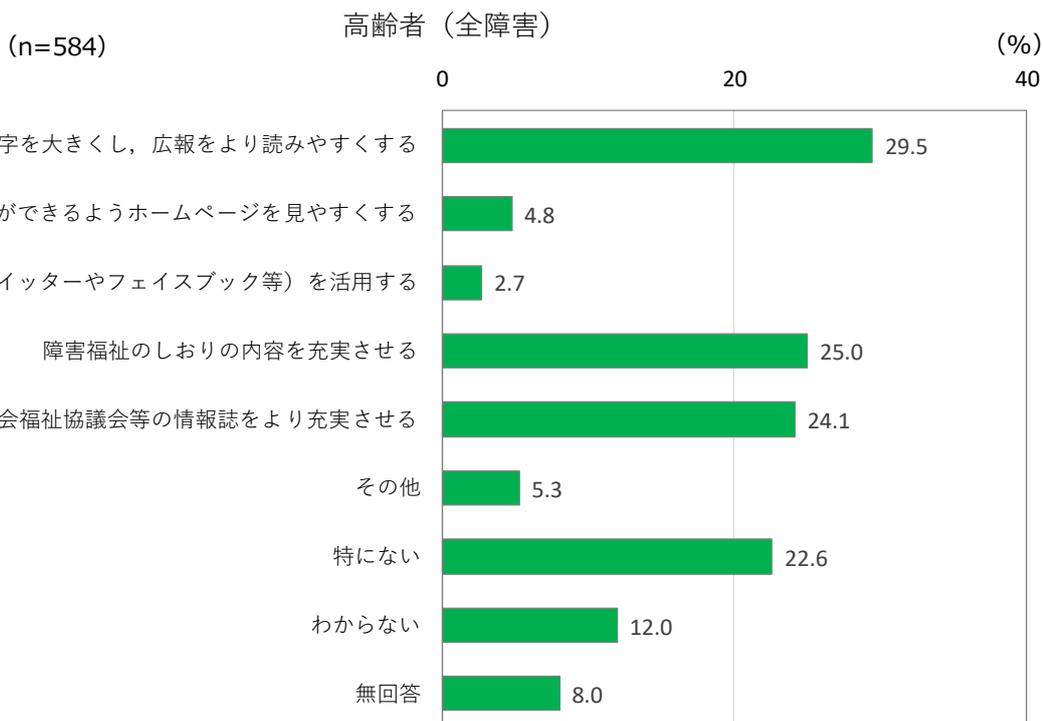
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	19.7	28.6	28.8	17.6	19.4	17.3	18.5	31.3	24.2	27.3	19.0	18.4
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	9.6	20.0	1.7	7.4	8.0	18.4	6.9	12.5	12.1	10.9	14.3	13.2
SNS (ツイッターやフェイスブック等) を活用する	16.4	14.3	20.3	15.7	12.2	21.4	16.7	12.5	30.3	17.3	23.8	18.4
障害福祉のしおりの内容を充実させる	33.5	51.4	44.1	44.4	46.2	37.8	31.6	12.5	30.3	30.0	14.3	23.7
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	28.7	34.3	33.9	32.4	32.6	38.8	23.3	18.8	42.4	29.1	33.3	23.7
その他	6.1	2.9	18.6	8.3	3.8	5.1	6.2	12.5	3.0	8.2	0.0	5.3
特にない	13.1	8.6	3.4	13.0	8.0	6.1	14.9	25.0	6.1	20.0	14.3	18.4
わからない	14.2	8.6	13.6	9.3	14.6	15.3	18.2	18.8	9.1	9.1	14.3	7.9
無回答	9.6	14.3	8.5	10.2	10.8	9.2	8.7	12.5	3.0	5.5	19.0	10.5

【高齢者】

高齢者全体では、「文字を大きくし、広報をより読みやすくする」が3割近くで最も多くなっています。

聴覚障害と精神障害は「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が最も多くなっています。

前回調査と比べ、「文字を大きくし、広報をより読みやすくする」が約10ポイント減少しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数 (人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	29.5	29.8	31.1	28.4	21.4	75.0	23.3	33.3	28.7	31.6	33.3	30.2
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	4.8	24.6	4.1	4.5	-	-	3.3	11.1	0.7	4.3	5.6	4.7
SNS (ツイッターやフェイスブック等) を活用する	2.7	1.8	1.4	1.3	7.1	-	8.3	-	3.7	4.3	5.6	-
障害福祉のしおりの内容を充実させる	25.0	21.1	32.4	26.5	42.9	50.0	33.3	11.1	25.0	15.4	16.7	18.6
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	24.1	17.5	27.0	25.2	50.0	25.0	25.0	33.3	19.9	20.5	33.3	23.3
その他	5.3	5.3	6.8	3.9	-	-	3.3	-	5.1	6.0	16.7	9.3
特にない	22.6	21.1	16.2	18.7	7.1	-	23.3	11.1	27.9	26.5	16.7	23.3
わからない	12.0	12.3	14.9	16.8	14.3	-	15.0	22.2	8.8	13.7	5.6	14.0
無回答	8.0	5.3	10.8	11.0	7.1	-	6.7	11.1	7.4	7.7	-	4.7

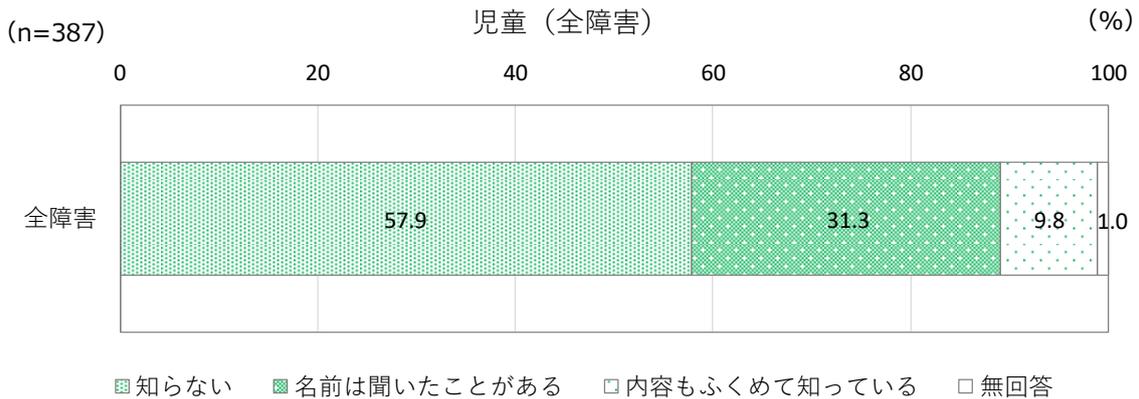
問 14. 障害者差別解消法を知っていますか（○はひとつ）。

【児童】

児童全体では、「知らない」という人が6割近くとなっています。

「内容もふくめて知っている」は、知的障害、発達障害で1割を超えています。

前回調査と比べ、「知らない」が約11ポイント減少し、「内容もふくめて知っている」が約5ポイント増加しています。



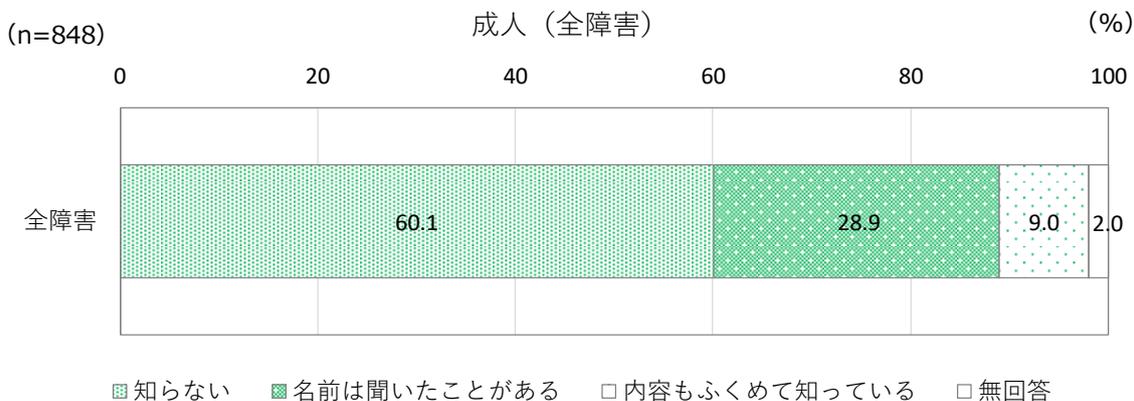
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
知らない	57.9	66.7	61.5	45.5	50.8	51.5	75.0	100.0	70.0	50.0	82.6	75.0
名前は聞いたことがある	31.3	33.3	30.8	51.5	35.5	32.2	25.0	0.0	25.0	36.4	13.0	25.0
内容もふくめて知っている	9.8	0.0	7.7	3.0	12.8	15.2	0.0	0.0	5.0	13.6	0.0	0.0
無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【成人】

成人全体では、「知らない」という人が6割程度となっています。

前回調査と比べ、「知らない」が約8ポイント減少しています。



(単位：%)

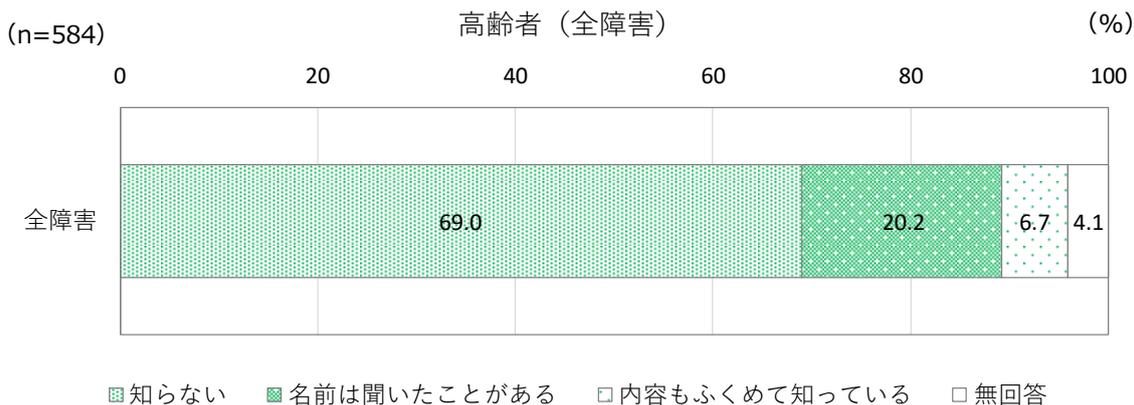
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
知らない	60.1	42.9	40.7	48.1	50.0	49.0	69.1	75.0	57.6	71.8	90.5	68.4
名前は聞いたことがある	28.9	34.3	27.1	35.2	38.9	39.8	22.9	0.0	36.4	22.7	9.5	26.3
内容もふくめて知っている	9.0	20.0	27.1	11.1	9.0	8.2	6.9	18.8	6.1	5.5	0.0	5.3
無回答	2.0	2.9	5.1	5.6	2.1	3.1	1.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、「知らない」という人が7割近くとなり、児童・成人と比べ多くなっています。

視覚障害や聴覚障害では、「内容もふくめて知っている」が1割を超えています。

前回調査と比べ、「知らない」が約6ポイント減少しています。



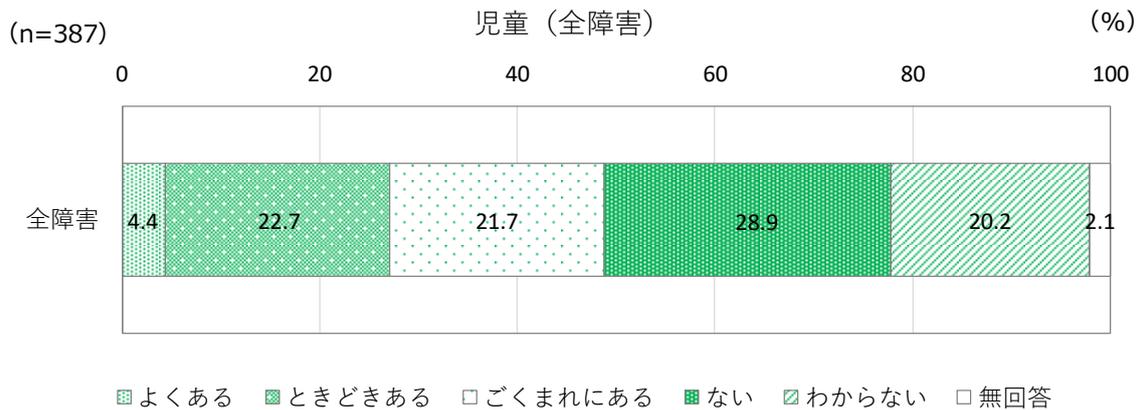
(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
知らない	69.0	52.6	62.2	67.1	57.1	75.0	61.7	100.0	75.7	73.5	66.7	76.7
名前は聞いたことがある	20.2	24.6	18.9	23.9	28.6	0.0	25.0	0.0	18.4	17.9	16.7	14.0
内容もふくめて知っている	6.7	14.0	13.5	3.2	14.3	25.0	8.3	0.0	2.2	3.4	16.7	7.0
無回答	4.1	8.8	5.4	5.8	0.0	0.0	5.0	0.0	3.7	5.1	0.0	2.3

問 15. 差別を受けたり嫌な思いをする（した）ことがありますか（○はひとつ）

【児童】

児童全体では、差別を受けたり嫌な思いをする（した）ことが「ない」という人が3割近くとなっています。一方で、「よくある」「ときどきある」「ごくまれにある」を合計した「ある」と回答した人は5割近くになり、「ない」より上回っています。



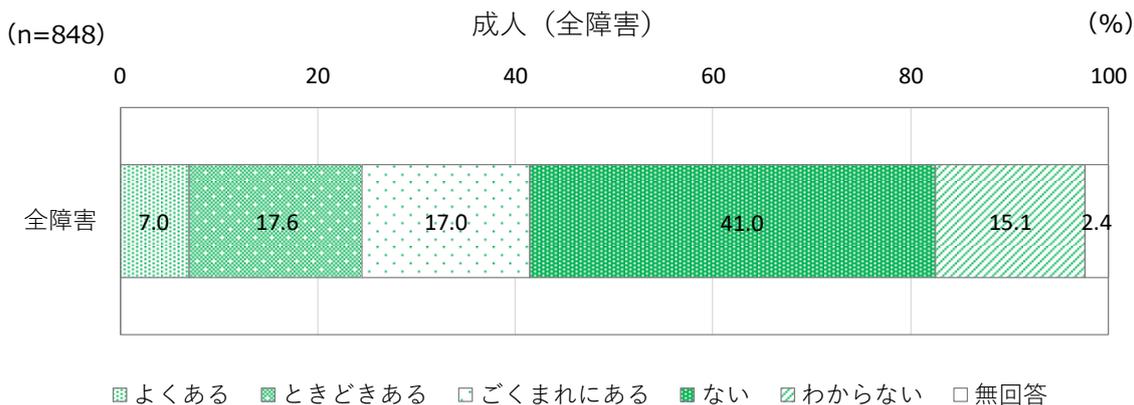
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・ な い
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
よくある	4.4	0.0	7.7	6.1	5.8	5.8	12.5	0.0	5.0	4.5	0.0	3.6
ときどきある	22.7	66.7	23.1	24.2	27.3	26.9	0.0	0.0	20.0	13.6	4.3	25.0
ごくまれにある	21.7	0.0	15.4	33.3	20.7	25.1	12.5	100.0	20.0	27.3	17.4	7.1
ない	28.9	33.3	15.4	27.3	24.4	18.7	37.5	0.0	35.0	36.4	52.2	42.9
わからない	20.2	0.0	38.5	9.1	21.5	20.5	37.5	0.0	20.0	13.6	21.7	14.3
無回答	2.1	0.0	0.0	0.0	0.4	2.9	0.0	0.0	0.0	4.5	4.3	7.1

【成人】

成人全体では、差別を受けたり嫌な思いをする（した）ことが「ない」という人が4割以上となっています。一方、「よくある」「ときどきある」「ごくまれにある」を合計した「ある」と回答した人も4割以上となっています。

知的障害、発達障害では、「ある」という人が5割以上となり、他の障害と比べ多い傾向がみられます。



(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
よくある	7.0	5.7	6.8	6.5	6.9	8.2	9.5	18.8	9.1	2.7	0.0	10.5
ときどきある	17.6	25.7	18.6	16.7	26.0	32.7	14.5	6.3	12.1	7.3	14.3	7.9
ごくまれにある	17.0	14.3	35.6	22.2	20.5	25.5	16.0	18.8	18.2	14.5	0.0	7.9
ない	41.0	42.9	22.0	41.7	27.8	16.3	40.7	43.8	57.6	64.5	71.4	55.3
わからない	15.1	5.7	15.3	9.3	16.3	16.3	17.5	12.5	3.0	9.1	9.5	18.4
無回答	2.4	5.7	1.7	3.7	2.4	1.0	1.8	0.0	0.0	1.8	4.8	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、差別を受けたり嫌な思いをする（した）ことが「ない」という人が6割以上となっています。一方、「ある」という人は2割近くです。

視覚障害、聴覚障害では「ある」という人が3割以上であり他の障害と比べ多い傾向がみられます。



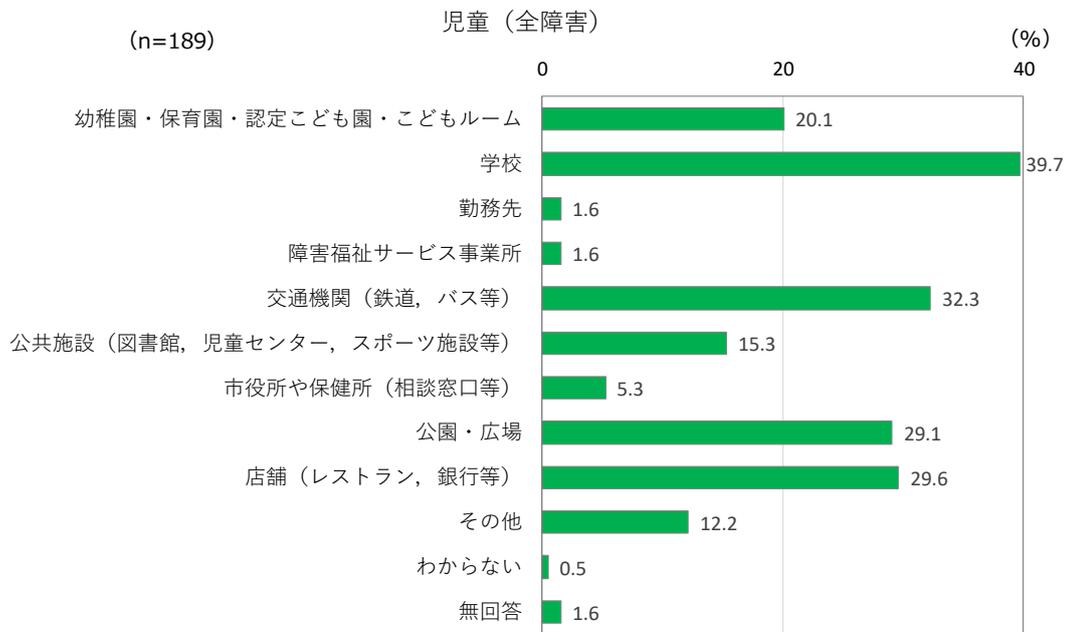
(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
よくある	2.7	8.8	6.8	1.9	7.1	25.0	5.0	0.0	2.2	0.9	0.0	0.0
ときどきある	6.3	7.0	10.8	9.0	21.4	0.0	6.7	0.0	1.5	7.7	5.6	2.3
ごくまれにある	8.6	15.8	13.5	8.4	14.3	25.0	13.3	11.1	5.9	6.8	0.0	2.3
ない	65.9	50.9	51.4	60.6	28.6	50.0	46.7	33.3	80.1	71.8	88.9	74.4
わからない	11.5	8.8	13.5	14.2	14.3	0.0	25.0	55.6	5.9	7.7	5.6	16.3
無回答	5.0	8.8	4.1	5.8	14.3	0.0	3.3	0.0	4.4	5.1	0.0	4.7

問 16. (問 15 で「1. よくある」、「2. ときどきある」、「3. ごくまれにある」と答えた方のみお答えください) どのような場所や場面で差別や嫌な思いをしましたか (〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「学校」が4割近くで最も多く、次いで「交通機関」「公園・広場」「店舗」がそれぞれ3割程度となっています。



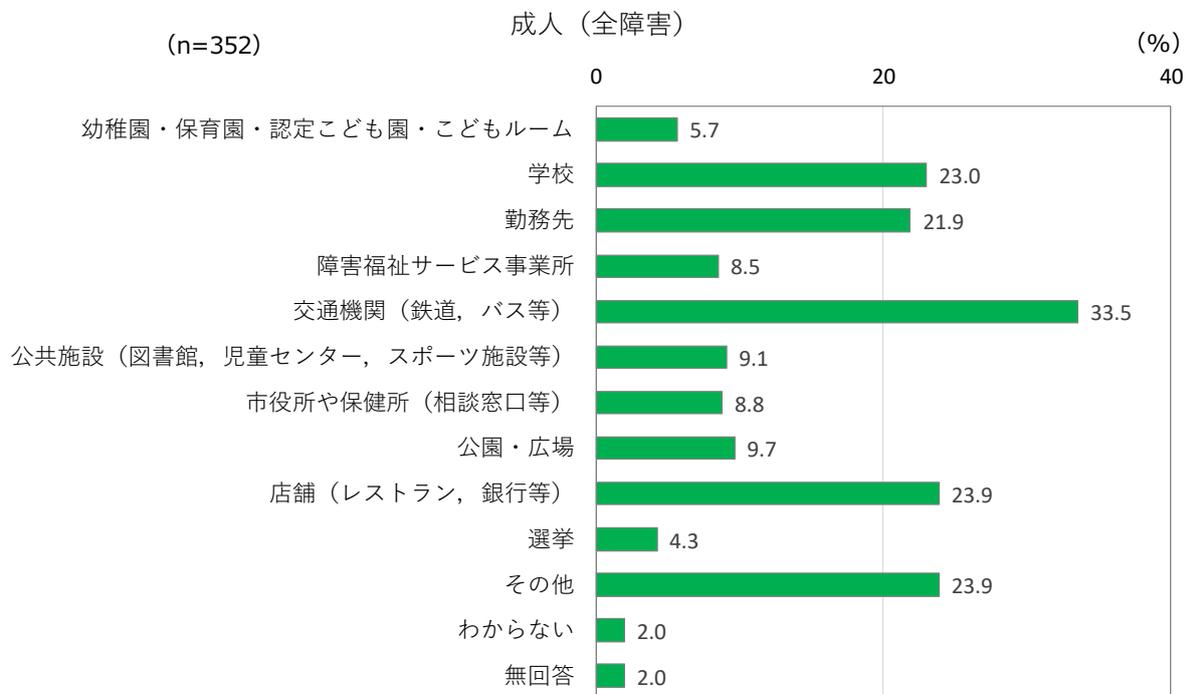
(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	189	2	6	21	130	99	2	1	9	10	5	10
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	20.1	50.0	0.0	19.0	16.9	21.2	0.0	0.0	11.1	0.0	40.0	30.0
学校	39.7	100.0	0.0	23.8	37.7	39.4	50.0	100.0	55.6	40.0	100.0	30.0
勤務先	1.6	0.0	0.0	0.0	1.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害福祉サービス事業所	1.6	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
交通機関 (鉄道, バス等)	32.3	50.0	66.7	52.4	37.7	33.3	0.0	0.0	22.2	40.0	20.0	30.0
公共施設 (図書館, 児童センター, スポーツ施設等)	15.3	0.0	33.3	9.5	16.2	18.2	0.0	0.0	33.3	10.0	0.0	10.0
市役所や保健所 (相談窓口等)	5.3	0.0	0.0	9.5	6.2	3.0	0.0	0.0	22.2	20.0	0.0	10.0
公園・広場	29.1	0.0	66.7	23.8	32.3	31.3	50.0	0.0	44.4	20.0	0.0	40.0
店舗 (レストラン, 銀行等)	29.6	0.0	33.3	47.6	31.5	33.3	0.0	0.0	33.3	40.0	0.0	30.0
選挙	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.2	0.0	33.3	9.5	12.3	13.1	50.0	0.0	11.1	20.0	20.0	30.0
わからない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.6	0.0	0.0	0.0	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、「交通機関」が3割以上と最も多くなっています。次いで「店舗」「学校」「勤務先」がそれぞれ2割以上となっています。

聴覚障害や肢体不自由は「交通機関」や「店舗」、知的障害と発達障害は「学校」、精神障害は「勤務先」が他の障害と比べ多い傾向がみられます。

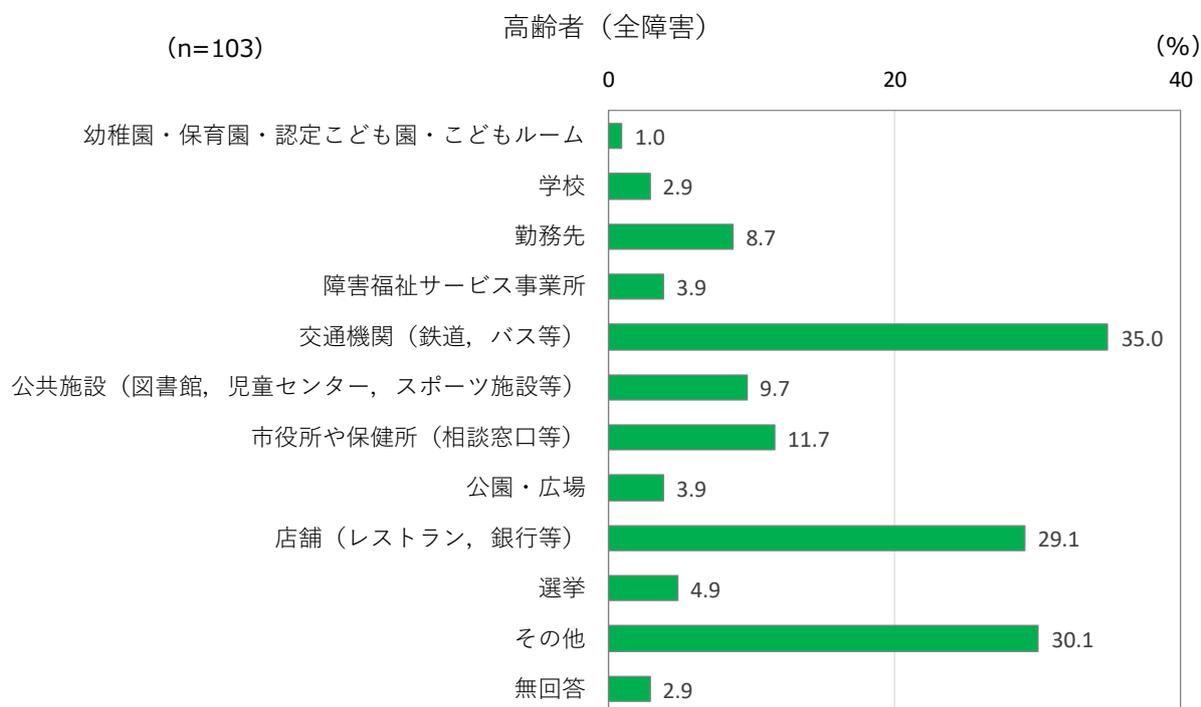


(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	352	16	36	49	154	65	110	7	13	27	3	10
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	5.7	0.0	2.8	8.2	8.4	7.7	2.7	0.0	15.4	3.7	33.3	0.0
学校	23.0	0.0	13.9	10.2	33.1	35.4	15.5	0.0	30.8	11.1	33.3	20.0
勤務先	21.9	18.8	25.0	18.4	16.2	21.5	30.0	28.6	15.4	14.8	0.0	30.0
障害福祉サービス事業所	8.5	25.0	0.0	8.2	8.4	10.8	10.0	28.6	7.7	3.7	0.0	20.0
交通機関（鉄道，バス等）	33.5	37.5	41.7	44.9	39.0	32.3	23.6	57.1	46.2	44.4	0.0	10.0
公共施設（図書館，児童センター，スポーツ施設等）	9.1	18.8	11.1	12.2	11.0	4.6	4.5	14.3	7.7	0.0	0.0	0.0
市役所や保健所（相談窓口等）	8.8	25.0	5.6	8.2	6.5	6.2	11.8	28.6	0.0	11.1	0.0	40.0
公園・広場	9.7	0.0	2.8	8.2	16.9	16.9	5.5	14.3	7.7	7.4	0.0	0.0
店舗（レストラン，銀行等）	23.9	56.3	55.6	32.7	27.9	23.1	14.5	28.6	23.1	25.9	0.0	0.0
選挙	4.3	18.8	8.3	6.1	6.5	3.1	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	10.0
その他	23.9	25.0	25.0	24.5	17.5	24.6	30.0	57.1	7.7	29.6	66.7	60.0
わからない	2.0	0.0	2.8	2.0	1.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.0	0.0	2.8	0.0	1.3	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、「交通機関」が3割を超えて最も多く、次いで「店舗」となっています。
視覚障害、聴覚障害、内部機能障害は「交通機関」が多い傾向がみられます。



(単位：%)

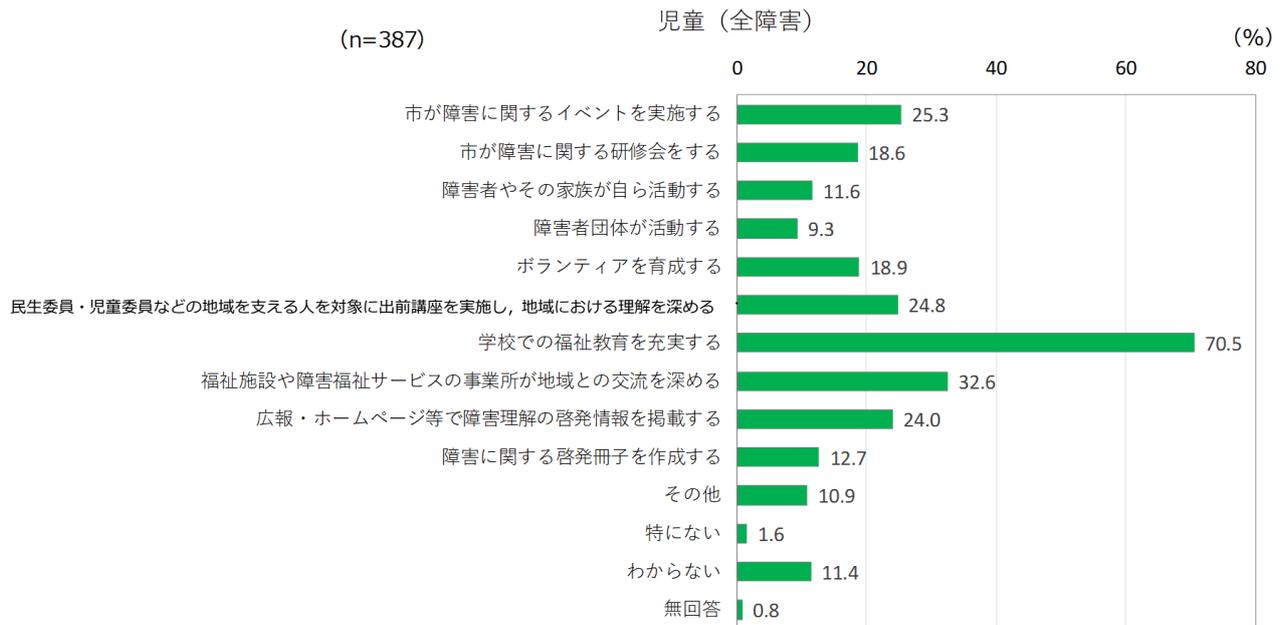
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	103	18	23	30	6	2	15	1	13	18	1	2
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	1.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校	2.9	0.0	4.3	3.3	16.7	50.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
勤務先	8.7	5.6	8.7	10.0	0.0	50.0	26.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
障害福祉サービス事業所	3.9	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	13.3	0.0	7.7	5.6	0.0	0.0
交通機関（鉄道、バス等）	35.0	38.9	39.1	36.7	16.7	0.0	13.3	0.0	69.2	22.2	0.0	100.0
公共施設（図書館、児童センター、スポーツ施設等）	9.7	11.1	8.7	6.7	16.7	50.0	6.7	0.0	0.0	11.1	0.0	50.0
市役所や保健所（相談窓口等）	11.7	16.7	21.7	3.3	16.7	0.0	6.7	0.0	15.4	11.1	0.0	0.0
公園・広場	3.9	0.0	4.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	50.0
店舗（レストラン、銀行等）	29.1	33.3	30.4	20.0	66.7	0.0	26.7	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0
選挙	4.9	22.2	4.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	30.1	38.9	30.4	26.7	0.0	50.0	40.0	0.0	7.7	33.3	100.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.9	5.6	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 17. 障害の有無にかかわらず、全ての人が差別や偏見を持たずに暮らしていくには、どのようなことが必要だと思いますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「学校での福祉教育を充実する」が7割以上と最も多くなっています。次いで、「福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める」が3割以上となっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



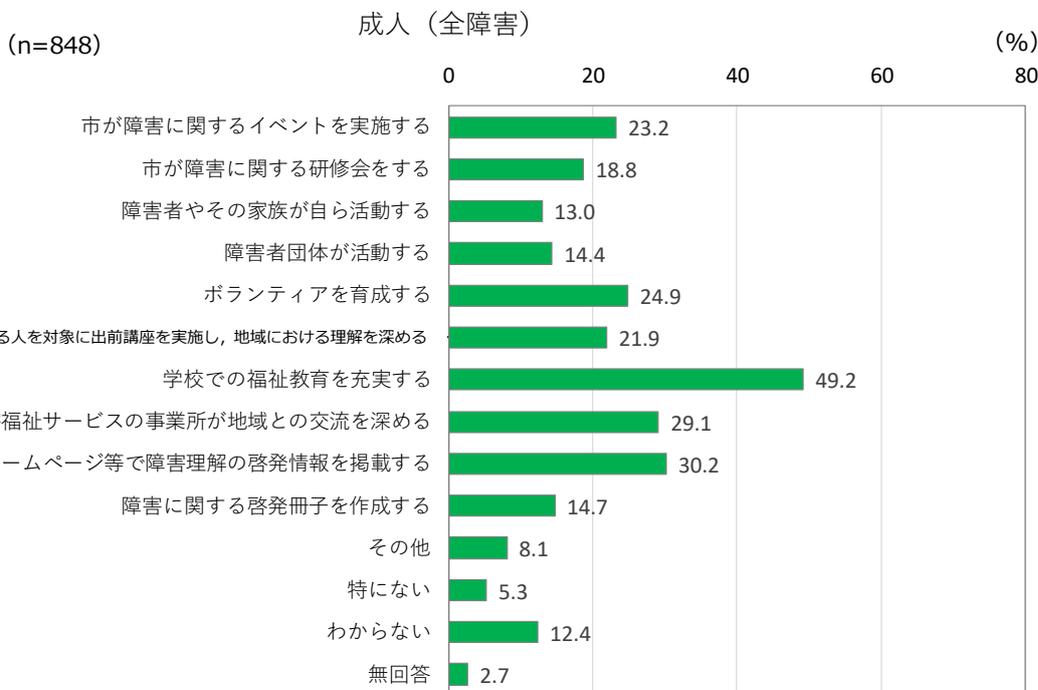
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
市が障害に関するイベントを実施する	25.3	33.3	38.5	39.4	26.0	27.5	25.0	0.0	15.0	22.7	30.4	25.0
市が障害に関する研修会をする	18.6	0.0	7.7	21.2	18.6	20.5	50.0	100.0	10.0	22.7	17.4	21.4
障害者やその家族が自ら活動する	11.6	0.0	7.7	18.2	12.0	14.6	0.0	0.0	5.0	18.2	4.3	7.1
障害者団体が活動する	9.3	0.0	7.7	9.1	8.7	12.9	0.0	0.0	5.0	13.6	13.0	0.0
ボランティアを育成する	18.9	0.0	30.8	21.2	19.0	18.1	12.5	0.0	5.0	22.7	13.0	21.4
民生委員・児童委員などの地域を支える人を対象に 出前講座を実施し、地域における理解を深める	24.8	0.0	38.5	27.3	26.0	30.4	37.5	0.0	20.0	31.8	30.4	17.9
学校での福祉教育を充実する	70.5	33.3	76.9	75.8	70.7	76.6	100.0	100.0	60.0	54.5	73.9	67.9
福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める	32.6	0.0	46.2	39.4	36.4	31.6	25.0	0.0	25.0	36.4	39.1	17.9
広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する	24.0	0.0	23.1	24.2	24.8	33.3	25.0	0.0	10.0	22.7	13.0	17.9
障害に関する啓発冊子を作成する	12.7	33.3	7.7	24.2	13.2	19.3	37.5	0.0	10.0	4.5	4.3	7.1
その他	10.9	0.0	0.0	15.2	12.4	11.7	0.0	0.0	15.0	0.0	4.3	17.9
特にない	1.6	0.0	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	0.0	5.0	4.5	0.0	3.6
わからない	11.4	66.7	0.0	6.1	12.4	12.9	0.0	0.0	5.0	13.6	8.7	3.6
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.6

【成人】

成人全体では、「学校での福祉教育を充実する」が5割近くで最も多くなっています。次いで、「広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する」「福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める」がそれぞれ3割程度となっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



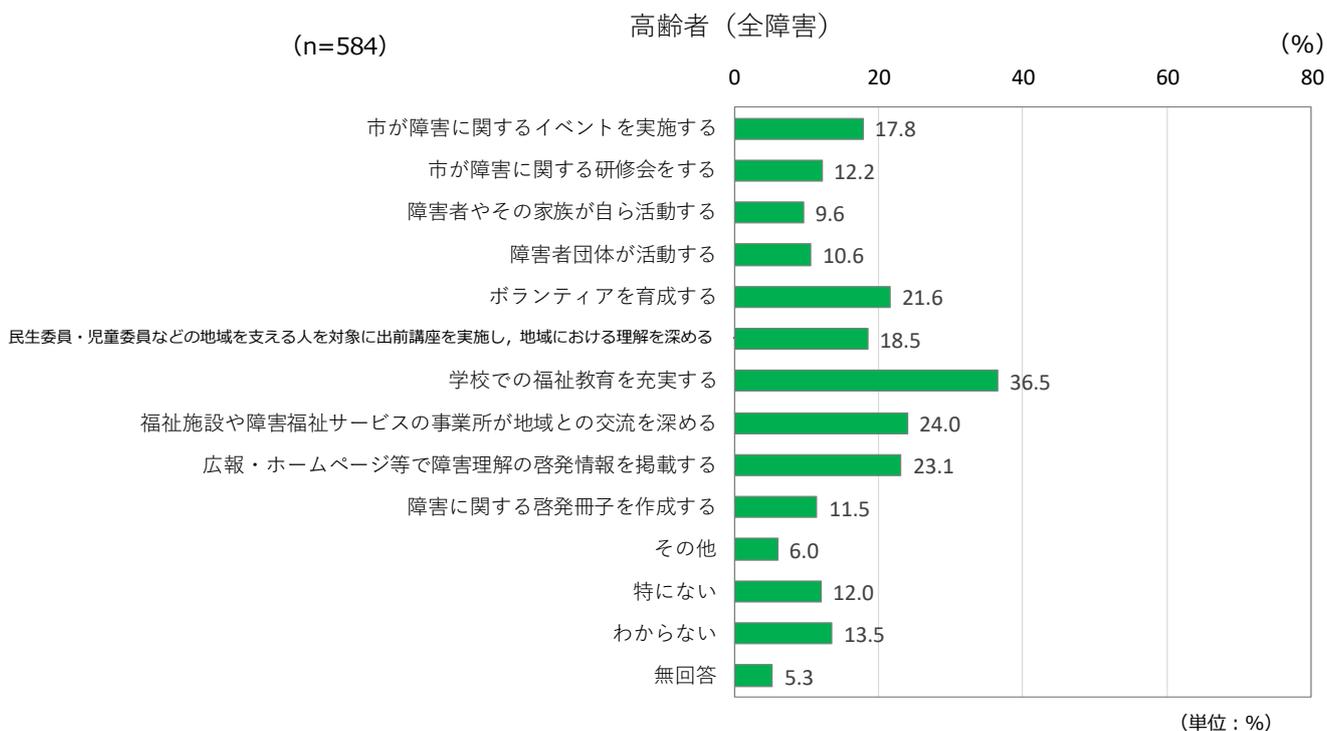
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
市が障害に関するイベントを実施する	23.2	22.9	28.8	23.1	21.2	22.4	22.9	25.0	18.2	24.5	33.3	31.6
市が障害に関する研修会をする	18.8	17.1	25.4	22.2	18.4	17.3	19.6	18.8	6.1	12.7	9.5	18.4
障害者やその家族が自ら活動する	13.0	17.1	10.2	13.9	14.6	12.2	13.8	12.5	6.1	9.1	4.8	18.4
障害者団体が活動する	14.4	17.1	22.0	19.4	17.0	12.2	14.2	18.8	12.1	9.1	0.0	13.2
ボランティアを育成する	24.9	48.6	39.0	33.3	28.5	33.7	22.9	31.3	27.3	22.7	19.0	21.1
民生委員・児童委員などの地域を支える人を対象に出前講座を実施し、地域における理解を深める	21.9	22.9	28.8	19.4	23.3	33.7	22.9	12.5	21.2	10.9	19.0	23.7
学校での福祉教育を充実する	49.2	57.1	49.2	59.3	47.9	57.1	39.6	56.3	54.5	60.0	61.9	47.4
福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める	29.1	37.1	28.8	35.2	34.0	30.6	26.5	25.0	21.2	28.2	23.8	15.8
広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する	30.2	31.4	40.7	36.1	30.6	35.7	28.4	25.0	33.3	34.5	42.9	15.8
障害に関する啓発冊子を作成する	14.7	8.6	20.3	15.7	13.5	20.4	16.4	18.8	15.2	11.8	0.0	13.2
その他	8.1	11.4	11.9	9.3	6.9	10.2	9.1	25.0	0.0	6.4	0.0	15.8
特にない	5.3	5.7	3.4	3.7	3.8	1.0	6.9	6.3	9.1	4.5	9.5	10.5
わからない	12.4	2.9	8.5	3.7	13.5	12.2	15.6	6.3	12.1	10.0	4.8	18.4
無回答	2.7	5.7	1.7	3.7	3.5	1.0	2.5	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、「学校での福祉教育を充実する」が3割以上と最も多くなっています。このほか、「福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める」「広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する」「ボランティアを育成する」がそれぞれ2割以上となっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
市が障害に関するイベントを実施する	17.8	22.8	25.7	16.1	35.7	50.0	16.7	33.3	14.0	11.1	22.2	20.9
市が障害に関する研修会をする	12.2	21.1	18.9	8.4	28.6	25.0	20.0	22.2	6.6	12.0	5.6	7.0
障害者やその家族が自ら活動する	9.6	17.5	12.2	9.7	28.6	50.0	15.0	11.1	5.1	4.3	5.6	11.6
障害者団体が活動する	10.6	22.8	18.9	9.0	28.6	50.0	11.7	0.0	7.4	5.1	5.6	4.7
ボランティアを育成する	21.6	29.8	25.7	20.6	64.3	50.0	18.3	33.3	15.4	21.4	27.8	20.9
民生委員・児童委員などの地域を支える人を対象に出前講座を実施し、地域における理解を深める	18.5	21.1	24.3	14.8	35.7	25.0	18.3	33.3	14.0	19.7	16.7	20.9
学校での福祉教育を充実する	36.5	42.1	28.4	45.2	21.4	0.0	28.3	44.4	31.6	48.7	55.6	27.9
福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める	24.0	33.3	31.1	21.3	35.7	100.0	11.7	55.6	22.1	20.5	22.2	25.6
広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する	23.1	33.3	23.0	20.6	21.4	25.0	18.3	33.3	20.6	27.4	44.4	18.6
障害に関する啓発冊子を作成する	11.5	19.3	16.2	9.7	21.4	25.0	6.7	22.2	11.0	12.8	16.7	4.7
その他	6.0	8.8	6.8	5.8	7.1	25.0	8.3	0.0	2.9	6.8	16.7	4.7
特にな	12.0	8.8	8.1	9.0	0.0	0.0	18.3	11.1	17.6	9.4	0.0	9.3
わからない	13.5	10.5	21.6	14.8	0.0	0.0	11.7	22.2	9.6	12.8	5.6	20.9
無回答	5.3	7.0	5.4	5.2	0.0	0.0	10.0	0.0	5.9	5.1	0.0	7.0

暮らしを支えるサービス

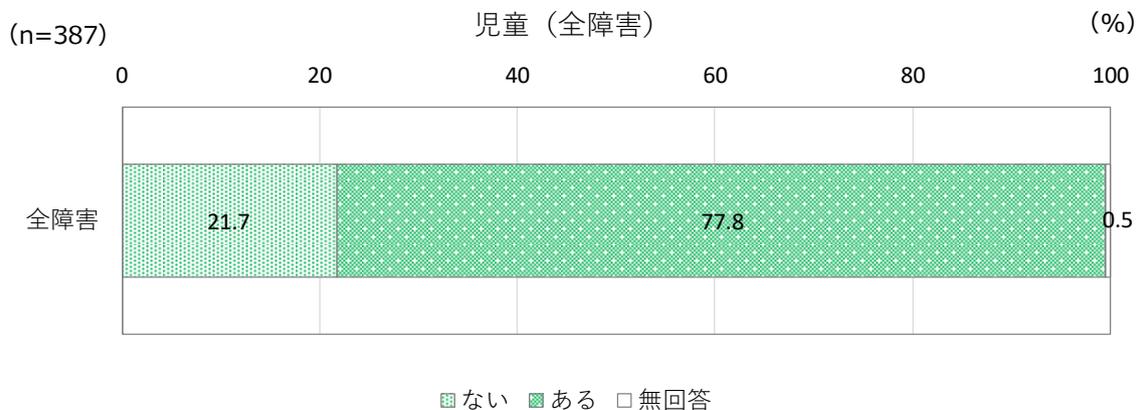
問 18. 障害福祉サービスを利用したことがありますか（○はひとつ）。

【児童】

児童全体では、障害福祉サービスを利用したことが「ある」という人が7割以上となっています。

障害種別にみると、障害福祉サービスを利用したことが「ある」という人が、知的障害と発達障害では9割近くとなっています。

前回調査との比較では、「ある」と答えた人の割合が約 11 ポイント増加しています。



(単位：%)

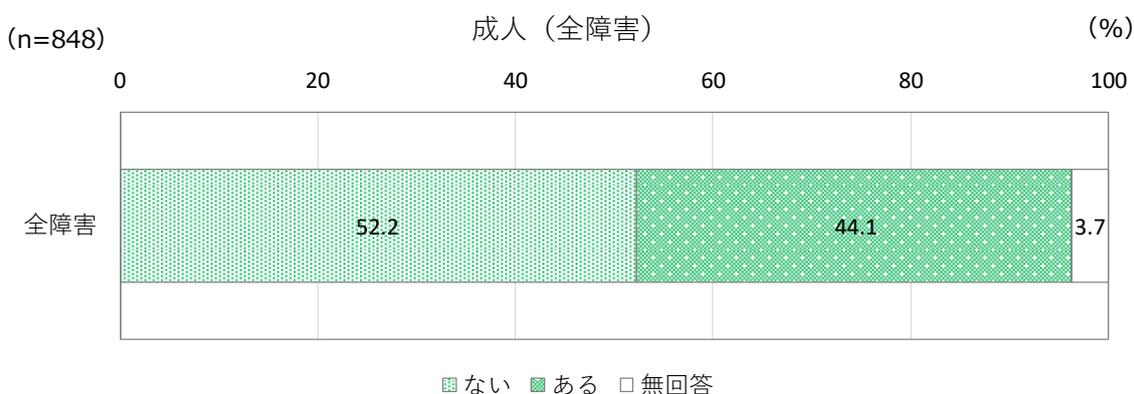
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数 (人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
ない	21.7	0.0	0.0	0.0	11.2	11.1	25.0	0.0	35.0	45.5	65.2	46.4
ある	77.8	100.0	100.0	100.0	88.4	88.3	75.0	100.0	60.0	54.5	34.8	53.6
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、障害福祉サービスを利用したことが「ある」という人が4割以上となっています。

障害種別でみると、障害福祉サービスを利用したことが「ある」という人が肢体不自由、知的障害、発達障害では7割程度となっています。一方で、精神障害と難病は2~3割程度となっています。

前回調査との比較では、「ある」と答えた人が約8ポイント減少しています。特に、肢体不自由、発達障害、精神障害で利用したことが「ある」の割合が減少しています。



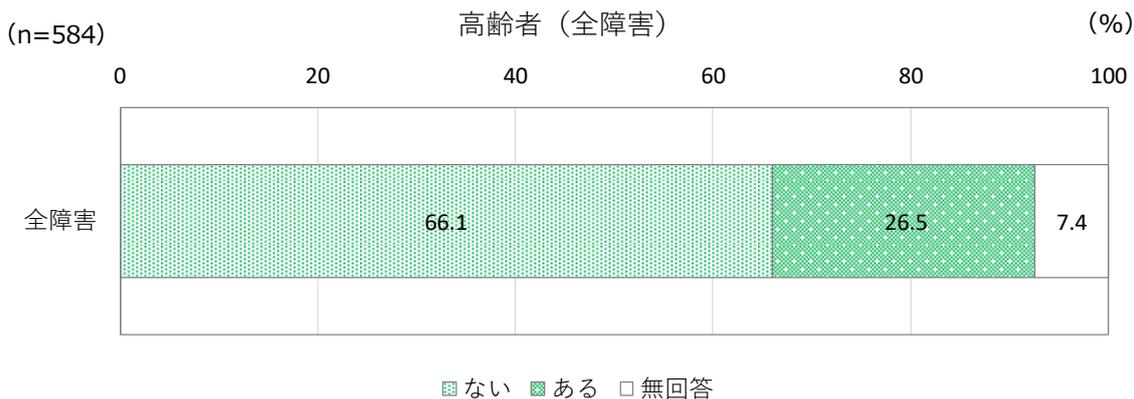
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
ない	52.2	31.4	44.1	30.6	22.2	26.5	62.2	50.0	66.7	79.1	90.5	76.3
ある	44.1	65.7	49.2	67.6	75.0	71.4	33.8	50.0	27.3	19.1	4.8	23.7
無回答	3.7	2.9	6.8	1.9	2.8	2.0	4.0	0.0	6.1	1.8	4.8	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、障害福祉サービスを利用したことが「ある」という人が2割以上となっています。内部機能障害と難病は2割程度であり、他の障害と比べ少ない傾向がみられます。

前回調査との比較では、「ある」と答えた人が約9ポイント減少しています。一方で、視覚障害と聴覚障害は「ある」という人が増加しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
ない	66.1	45.6	59.5	56.1	28.6	25.0	63.3	66.7	72.1	70.9	77.8	76.7
ある	26.5	52.6	33.8	32.3	71.4	50.0	28.3	33.3	19.1	22.2	16.7	9.3
無回答	7.4	1.8	6.8	11.6	0.0	25.0	8.3	0.0	8.8	6.8	5.6	14.0

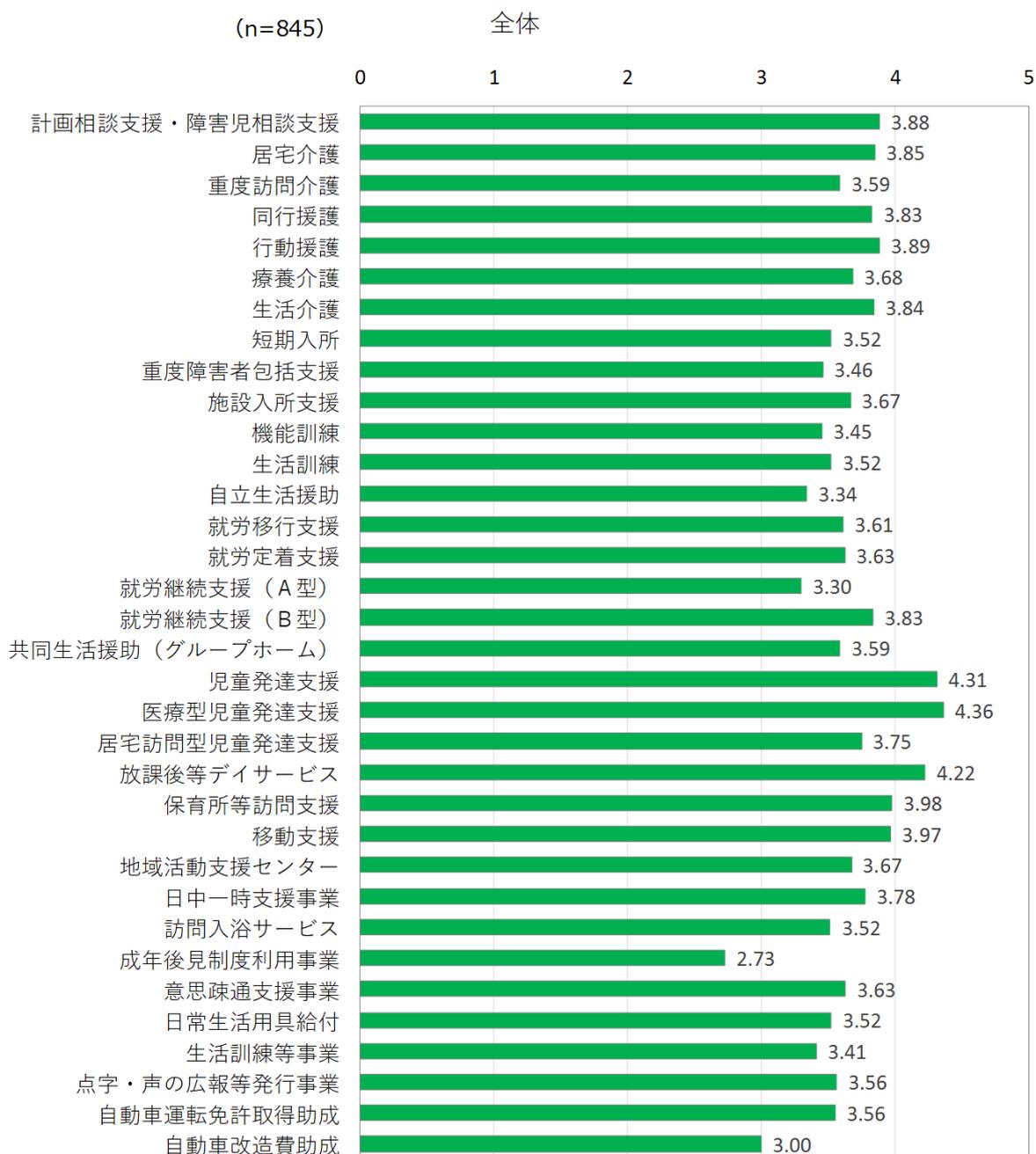
問 19. (問 18 で「2. ある」と答えた方に伺います) 現在利用している障害福祉サービスの満足度について教えてください(使ったことがあるサービスに対して○をひとつ)。使ったことがあるサービスの満足度を 5 段階で評価してください。

全体では、「医療型児童発達支援」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」の満足度が高い傾向がみられます。

なお、前回調査では「保育所等訪問支援」「訪問入浴サービス」「児童発達支援」の順で満足度が高い結果でした。

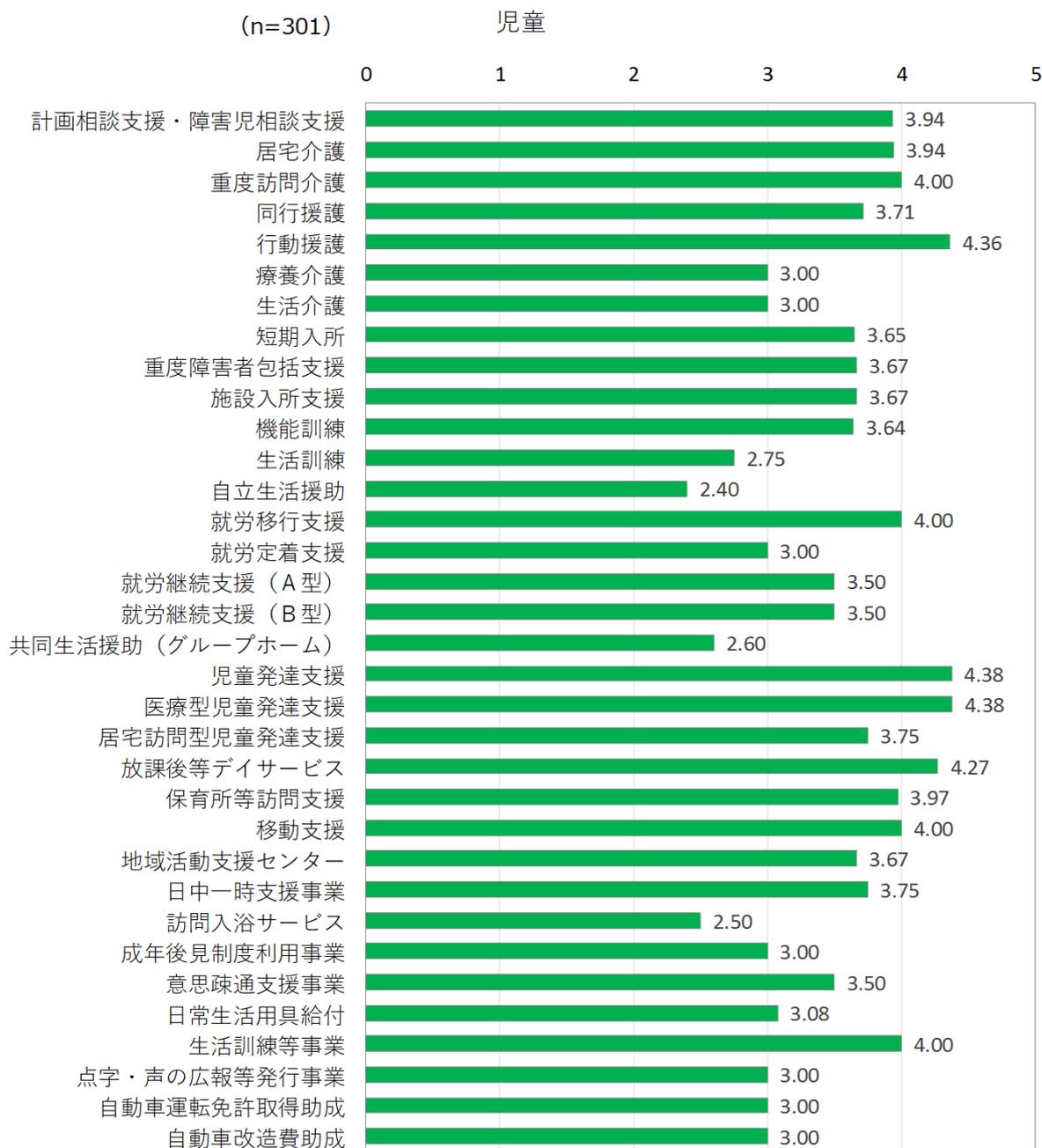
《満足度の算出方法》

「不満足・やや不満足・どちらでもない・やや満足・満足」の回答数に、それぞれ「1・2・3・4・5」点を与え、その合計を全回答数(「無回答」を除く)で除して満足度を算出しています。したがって本設問の場合、5 に近いほど満足度が高く、1 に近いほど満足度が低いとみることができます。



【児童】

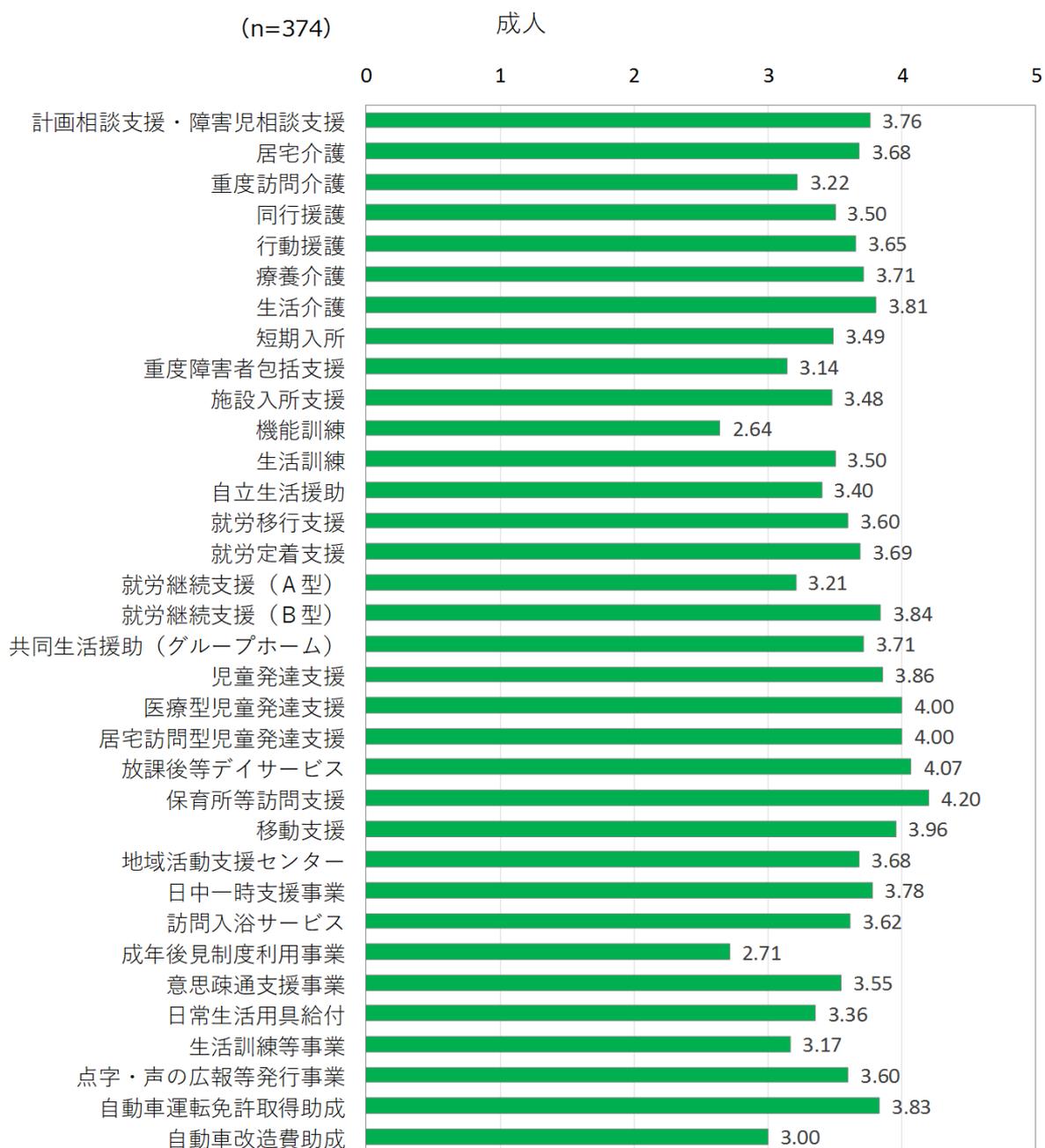
児童では、全体と同様の傾向に加え、「行動援護」が多くなっています。



【成人】

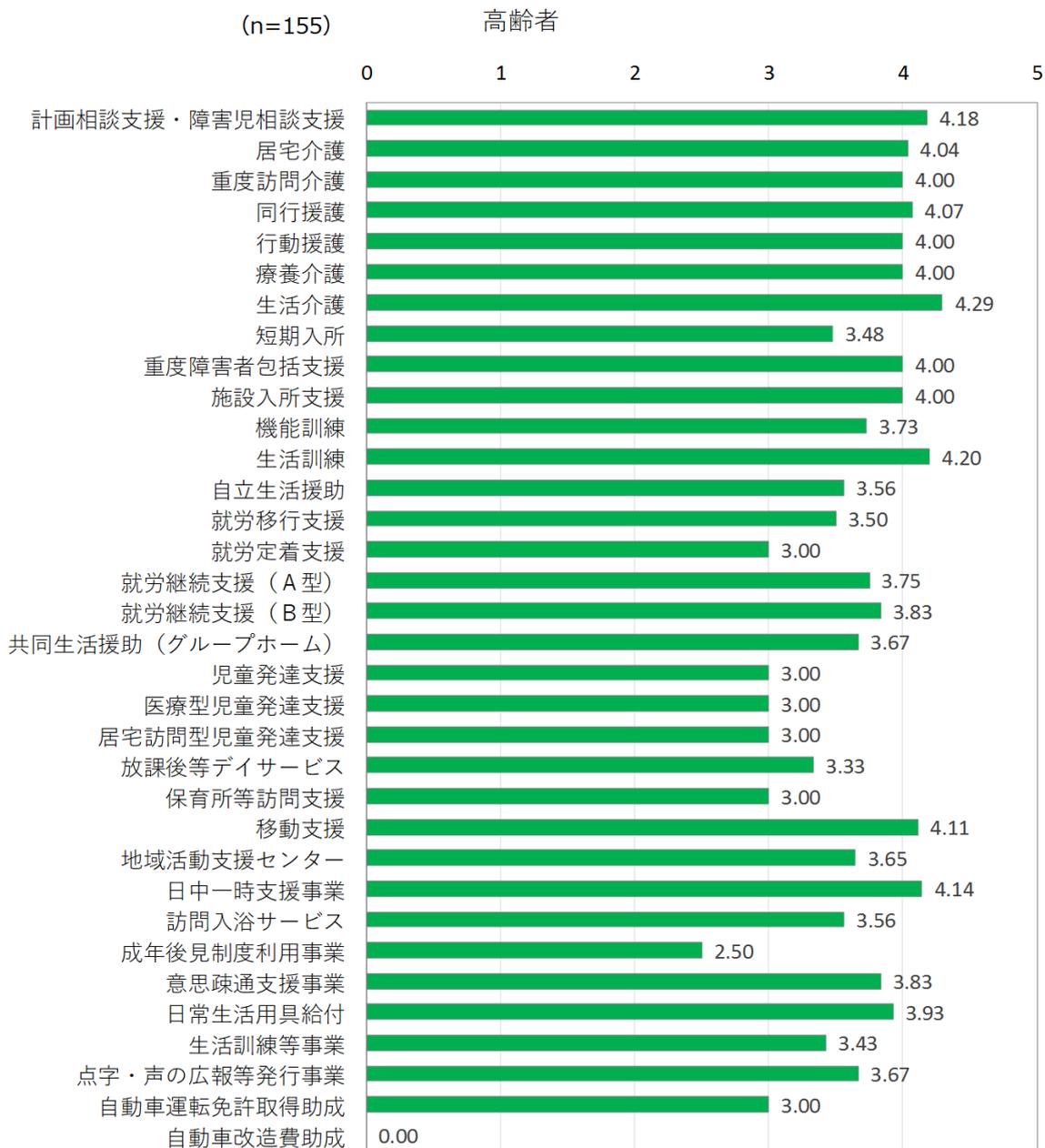
成人では、「就労継続支援（B型）」 「生活介護」 「自動車運転免許取得助成」の満足度が高い傾向がみられます。

（保育所等訪問支援を始めとする児童に関連するサービスについては、分析の対象外としています。）



【高齢者】

高齢者では「生活介護」「生活訓練」「計画相談・障害児相談支援」の満足度が高い傾向がみられます。



満足度（平均値）	全体(845)	児童(301)	成人(374)	高齢者(155)
計画相談支援・障害児相談支援	3.88	3.94	3.76	4.18
居宅介護	3.85	3.94	3.68	4.04
重度訪問介護	3.59	4.00	3.22	4.00
同行援護	3.83	3.71	3.50	4.07
行動援護	3.89	4.36	3.65	4.00
療養介護	3.68	3.00	3.71	4.00
生活介護	3.84	3.00	3.81	4.29
短期入所	3.52	3.65	3.49	3.48
重度障害者包括支援	3.46	3.67	3.14	4.00
施設入所支援	3.67	3.67	3.48	4.00
機能訓練	3.45	3.64	2.64	3.73
生活訓練	3.52	2.75	3.50	4.20
自立生活援助	3.34	2.40	3.40	3.56
就労移行支援	3.61	4.00	3.60	3.50
就労定着支援	3.63	3.00	3.69	3.00
就労継続支援（A型）	3.30	3.50	3.21	3.75
就労継続支援（B型）	3.83	3.50	3.84	3.83
共同生活援助（グループホーム）	3.59	2.60	3.71	3.67
児童発達支援	4.31	4.38	3.86	3.00
医療型児童発達支援	4.36	4.38	4.00	3.00
居宅訪問型児童発達支援	3.75	3.75	4.00	3.00
放課後等デイサービス	4.22	4.27	4.07	3.33
保育所等訪問支援	3.98	3.97	4.20	3.00
移動支援	3.97	4.00	3.96	4.11
地域活動支援センター	3.67	3.67	3.68	3.65
日中一時支援事業	3.78	3.75	3.78	4.14
訪問入浴サービス	3.52	2.50	3.62	3.56
成年後見制度利用事業	2.73	3.00	2.71	2.50
意思疎通支援事業	3.63	3.50	3.55	3.83
日常生活用具給付	3.52	3.08	3.36	3.93
生活訓練等事業	3.41	4.00	3.17	3.43
点字・声の広報等発行事業	3.56	3.00	3.60	3.67
自動車運転免許取得助成	3.56	3.00	3.83	3.00
自動車改造費助成	3.00	3.00	3.00	0.00
平均値	3.66	3.52	3.57	3.54

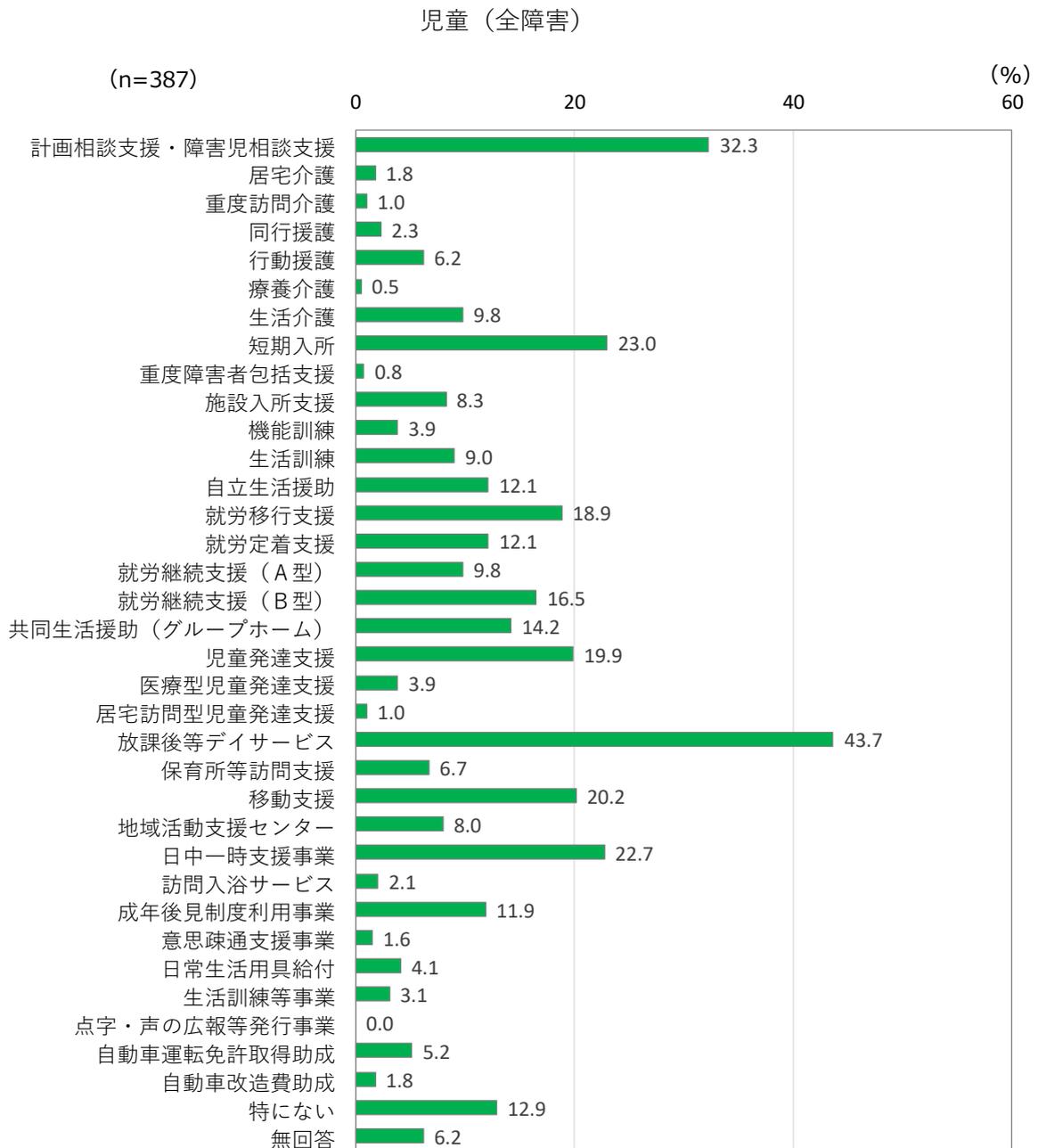
問 20. 今後どのようなサービスを利用したいですか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「放課後等デイサービス」が4割以上と最も多く、次いで「計画相談支援・障害児相談支援」が3割以上となっています。

また、発達障害は「放課後等デイサービス」が5割以上、肢体不自由は「計画相談支援・障害児相談支援」が5割以上と、それぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と選択肢が異なるため、単純には比較できませんが、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

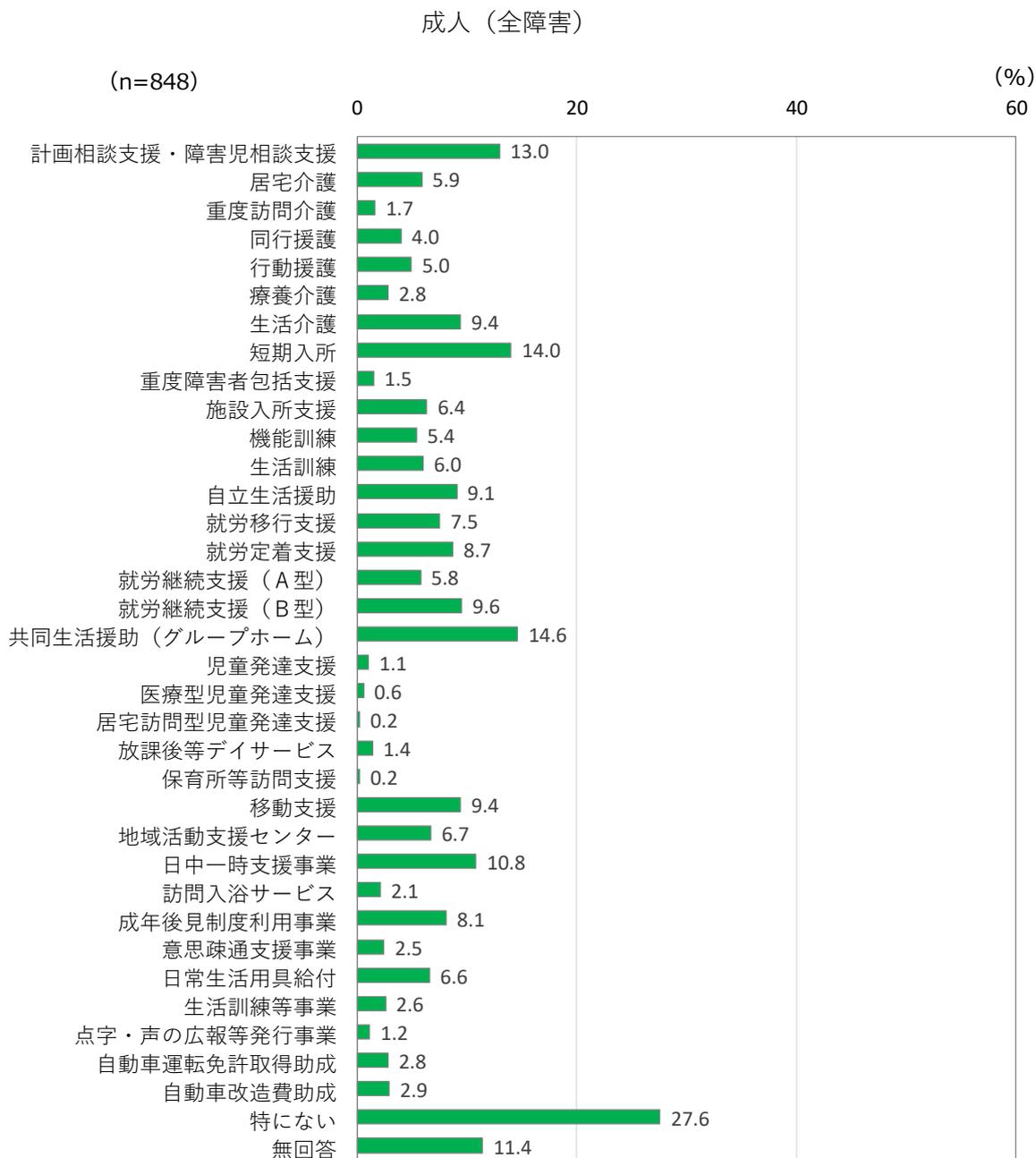
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
計画相談支援・障害児相談支援	32.3	66.7	46.2	51.5	36.0	34.5	25.0	0.0	15.0	27.3	17.4	32.1
居宅介護	1.8	0.0	7.7	12.1	2.9	1.8	12.5	0.0	5.0	9.1	0.0	3.6
重度訪問介護	1.0	0.0	0.0	9.1	1.2	1.2	12.5	0.0	5.0	9.1	0.0	3.6
同行援護	2.3	0.0	0.0	0.0	2.9	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
行動援護	6.2	0.0	15.4	6.1	8.7	9.4	12.5	0.0	0.0	4.5	0.0	10.7
療養介護	0.5	0.0	0.0	3.0	0.8	0.6	12.5	0.0	5.0	4.5	0.0	0.0
生活介護	9.8	33.3	23.1	21.2	14.5	9.9	12.5	0.0	10.0	9.1	0.0	3.6
短期入所	23.0	0.0	30.8	39.4	32.6	26.3	25.0	0.0	15.0	31.8	0.0	7.1
重度障害者包括支援	0.8	0.0	0.0	6.1	1.2	0.0	12.5	0.0	5.0	9.1	0.0	0.0
施設入所支援	8.3	33.3	15.4	12.1	12.0	9.4	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
機能訓練	3.9	0.0	38.5	24.2	5.0	1.8	12.5	0.0	15.0	4.5	0.0	7.1
生活訓練	9.0	33.3	30.8	24.2	12.4	8.2	25.0	0.0	10.0	9.1	0.0	10.7
自立生活援助	12.1	0.0	15.4	3.0	16.5	11.1	25.0	0.0	10.0	13.6	0.0	17.9
就労移行支援	18.9	33.3	30.8	3.0	23.1	24.0	50.0	0.0	0.0	4.5	4.3	10.7
就労定着支援	12.1	33.3	15.4	0.0	14.9	14.0	12.5	0.0	10.0	4.5	0.0	10.7
就労継続支援(A型)	9.8	0.0	15.4	0.0	13.2	11.1	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	7.1
就労継続支援(B型)	16.5	33.3	15.4	9.1	22.7	17.0	12.5	0.0	0.0	9.1	0.0	7.1
共同生活援助(グループホーム)	14.2	0.0	15.4	9.1	20.2	14.0	25.0	100.0	5.0	9.1	0.0	7.1
児童発達支援	19.9	0.0	23.1	24.2	12.8	22.2	25.0	0.0	20.0	9.1	30.4	39.3
医療型児童発達支援	3.9	0.0	23.1	15.2	3.7	1.8	12.5	0.0	0.0	4.5	4.3	10.7
居宅訪問型児童発達支援	1.0	0.0	15.4	3.0	0.8	0.6	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
放課後等デイサービス	43.7	33.3	38.5	39.4	44.6	56.7	50.0	0.0	30.0	31.8	21.7	32.1
保育所等訪問支援	6.7	0.0	0.0	12.1	2.5	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	21.4
移動支援	20.2	0.0	38.5	27.3	26.4	22.2	25.0	0.0	15.0	13.6	0.0	14.3
地域活動支援センター	8.0	0.0	15.4	12.1	10.7	8.8	25.0	0.0	5.0	13.6	0.0	7.1
日中一時支援事業	22.7	33.3	38.5	42.4	31.4	24.0	12.5	0.0	15.0	22.7	0.0	10.7
訪問入浴サービス	2.1	33.3	0.0	21.2	2.1	0.6	0.0	0.0	5.0	4.5	0.0	0.0
成年後見制度利用事業	11.9	0.0	15.4	0.0	16.9	12.9	12.5	0.0	0.0	9.1	0.0	10.7
意思疎通支援事業	1.6	0.0	7.7	3.0	2.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
日常生活用具給付	4.1	0.0	7.7	24.2	5.8	2.3	12.5	0.0	5.0	13.6	0.0	3.6
生活訓練等事業	3.1	0.0	7.7	3.0	3.3	1.8	12.5	0.0	5.0	0.0	4.3	14.3
点字・声の広報等発行事業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自動車運転免許取得助成	5.2	0.0	0.0	6.1	5.0	4.1	12.5	0.0	5.0	0.0	0.0	3.6
自動車改造費助成	1.8	0.0	0.0	12.1	1.7	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
特になし	12.9	0.0	0.0	0.0	5.0	7.0	12.5	0.0	30.0	45.5	43.5	32.1
無回答	6.2	0.0	0.0	0.0	7.0	4.7	0.0	0.0	5.0	0.0	8.7	7.1

【成人】

成人全体では、「特にない」が3割近くで最も多くなっています。希望するサービスとしては、「共同生活援助（グループホーム）」「短期入所」「計画相談支援・障害児相談支援」が同程度となっています。

また、知的障害と発達障害は「共同生活援助（グループホーム）」、肢体不自由と知的障害は「短期入所」、発達障害は「計画相談支援・障害児相談支援」がそれぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と選択肢が異なるため、単純には比較できませんが、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

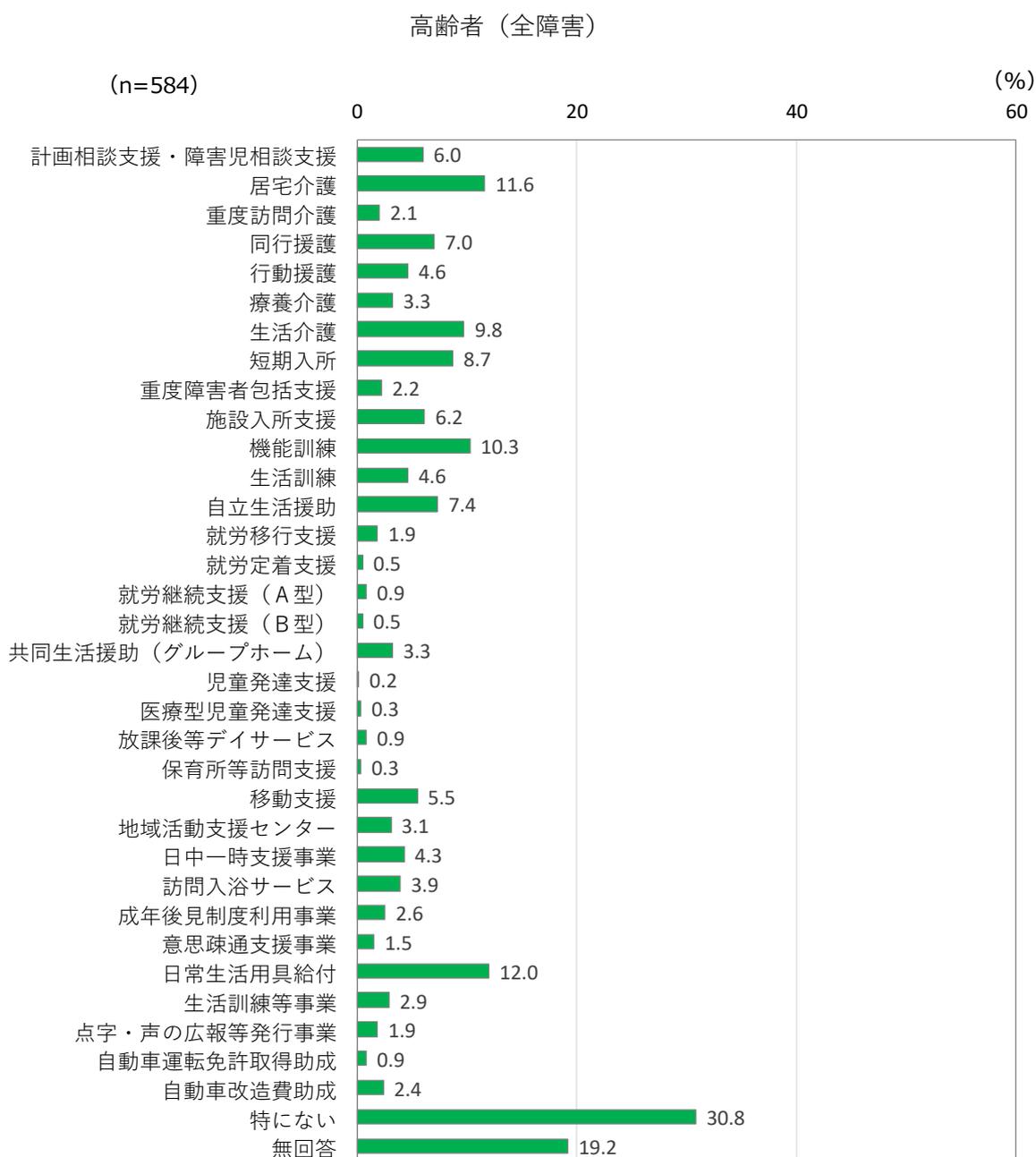
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
計画相談支援・障害児相談支援	13.0	20.0	10.2	19.4	18.4	22.4	11.3	12.5	6.1	5.5	4.8	7.9
居宅介護	5.9	25.7	10.2	17.6	6.6	3.1	5.5	6.3	6.1	11.8	4.8	5.3
重度訪問介護	1.7	5.7	3.4	5.6	3.1	1.0	1.5	6.3	3.0	2.7	0.0	0.0
同行援護	4.0	20.0	6.8	4.6	5.9	8.2	4.4	18.8	3.0	3.6	0.0	2.6
行動援護	5.0	11.4	5.1	3.7	6.6	8.2	7.3	12.5	6.1	0.9	0.0	5.3
療養介護	2.8	8.6	3.4	8.3	5.2	1.0	2.2	6.3	9.1	3.6	9.5	0.0
生活介護	9.4	20.0	8.5	19.4	16.0	6.1	7.6	18.8	12.1	11.8	0.0	2.6
短期入所	14.0	22.9	10.2	24.1	29.2	18.4	7.6	31.3	15.2	10.0	4.8	7.9
重度障害者包括支援	1.5	8.6	3.4	3.7	3.1	1.0	1.5	6.3	3.0	0.9	0.0	0.0
施設入所支援	6.4	17.1	6.8	9.3	14.9	8.2	4.7	6.3	9.1	3.6	4.8	2.6
機能訓練	5.4	14.3	11.9	18.5	6.9	3.1	4.0	25.0	12.1	10.0	9.5	5.3
生活訓練	6.0	2.9	8.5	3.7	9.4	6.1	8.0	6.3	3.0	3.6	0.0	2.6
自立生活援助	9.1	8.6	5.1	5.6	10.1	12.2	14.2	18.8	3.0	2.7	4.8	21.1
就労移行支援	7.5	5.7	6.8	1.9	6.3	12.2	12.0	18.8	3.0	6.4	9.5	5.3
就労定着支援	8.7	5.7	3.4	0.9	7.3	16.3	13.5	12.5	6.1	4.5	9.5	7.9
就労継続支援(A型)	5.8	2.9	10.2	1.9	4.5	4.1	7.6	6.3	3.0	4.5	0.0	2.6
就労継続支援(B型)	9.6	5.7	5.1	1.9	13.9	13.3	9.8	12.5	6.1	5.5	4.8	5.3
共同生活援助(グループホーム)	14.6	25.7	8.5	15.7	33.0	27.6	9.1	12.5	9.1	3.6	4.8	10.5
児童発達支援	1.1	2.9	1.7	0.9	2.1	2.0	1.1	6.3	3.0	1.8	0.0	0.0
医療型児童発達支援	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	1.4	5.7	3.4	0.9	1.7	2.0	1.5	6.3	3.0	1.8	0.0	2.6
保育所等訪問支援	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動支援	9.4	14.3	10.2	22.2	15.3	15.3	4.4	12.5	6.1	6.4	0.0	10.5
地域活動支援センター	6.7	2.9	1.7	4.6	8.7	17.3	6.5	12.5	0.0	2.7	0.0	2.6
日中一時支援事業	10.8	14.3	11.9	14.8	24.3	13.3	5.1	12.5	9.1	9.1	0.0	2.6
訪問入浴サービス	2.1	11.4	6.8	7.4	3.5	2.0	2.2	6.3	3.0	4.5	0.0	2.6
成年後見制度利用事業	8.1	5.7	5.1	7.4	14.9	17.3	6.2	0.0	3.0	1.8	0.0	2.6
意思疎通支援事業	2.5	0.0	16.9	0.9	2.1	0.0	1.1	6.3	0.0	1.8	0.0	2.6
日常生活用具給付	6.6	20.0	25.4	21.3	4.5	1.0	3.3	12.5	9.1	3.6	0.0	2.6
生活訓練等事業	2.6	0.0	6.8	0.9	2.8	3.1	2.5	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
点字・声の広報等発行事業	1.2	8.6	1.7	0.9	2.1	1.0	1.1	6.3	3.0	1.8	0.0	2.6
自動車運転免許取得助成	2.8	0.0	8.5	0.9	3.8	1.0	2.2	0.0	0.0	0.9	0.0	5.3
自動車改造費助成	2.9	0.0	8.5	9.3	2.4	0.0	1.1	6.3	3.0	2.7	0.0	5.3
特にない	27.6	17.1	13.6	20.4	9.0	18.4	32.0	18.8	51.5	49.1	61.9	34.2
無回答	11.4	11.4	16.9	9.3	9.7	11.2	10.9	6.3	9.1	10.9	14.3	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、「特にない」が3割以上と最も多くなっています。希望するサービスとしては、「日常生活用具給付」「居宅介護」「機能訓練」が1割以上です。

また、視覚障害は「同行援護」と「居宅介護」、難病は「居宅介護」と「機能訓練」について、それぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と選択肢が異なるため、単純には比較できませんが、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
計画相談支援・障害児相談支援	6.0	5.3	8.1	6.5	14.3	0.0	6.7	0.0	5.1	6.8	11.1	2.3
居宅介護	11.6	19.3	6.8	12.3	14.3	0.0	3.3	11.1	10.3	16.2	11.1	11.6
重度訪問介護	2.1	1.8	0.0	1.9	7.1	0.0	1.7	0.0	2.2	4.3	0.0	4.7
同行援護	7.0	31.6	2.7	9.0	21.4	25.0	3.3	11.1	1.5	5.1	5.6	4.7
行動援護	4.6	7.0	0.0	1.9	35.7	50.0	6.7	0.0	3.7	3.4	0.0	7.0
療養介護	3.3	3.5	4.1	2.6	0.0	0.0	3.3	0.0	3.7	7.7	5.6	4.7
生活介護	9.8	8.8	9.5	7.7	35.7	25.0	5.0	11.1	8.1	11.1	11.1	14.0
短期入所	8.7	12.3	5.4	7.7	14.3	0.0	8.3	11.1	7.4	14.5	22.2	2.3
重度障害者包括支援	2.2	5.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	4.3	0.0	2.3
施設入所支援	6.2	8.8	5.4	3.9	28.6	25.0	10.0	0.0	2.9	9.4	11.1	4.7
機能訓練	10.3	1.8	10.8	14.2	14.3	0.0	5.0	22.2	5.9	20.5	0.0	7.0
生活訓練	4.6	0.0	4.1	1.9	21.4	25.0	10.0	0.0	2.9	6.0	0.0	4.7
自立生活援助	7.4	1.8	5.4	7.1	21.4	25.0	16.7	11.1	5.9	8.5	0.0	2.3
就労移行支援	1.9	0.0	2.7	1.9	14.3	50.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労定着支援	0.5	0.0	1.4	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
就労継続支援(A型)	0.9	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	3.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
就労継続支援(B型)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
共同生活援助(グループホーム)	3.3	1.8	0.0	0.6	14.3	50.0	11.7	11.1	1.5	0.9	5.6	2.3
児童発達支援	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
医療型児童発達支援	0.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	0.9	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	3.4	5.6	0.0
保育所等訪問支援	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
移動支援	5.5	3.5	6.8	9.0	14.3	25.0	1.7	22.2	4.4	7.7	11.1	2.3
地域活動支援センター	3.1	7.0	2.7	1.9	0.0	0.0	1.7	0.0	4.4	3.4	5.6	4.7
日中一時支援事業	4.3	3.5	8.1	4.5	7.1	0.0	1.7	0.0	2.9	6.0	5.6	2.3
訪問入浴サービス	3.9	0.0	4.1	6.5	7.1	0.0	1.7	0.0	2.9	8.5	5.6	4.7
成年後見制度利用事業	2.6	0.0	0.0	0.0	7.1	50.0	10.0	0.0	2.2	2.6	0.0	2.3
意思疎通支援事業	1.5	0.0	6.8	0.0	7.1	50.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	2.3
日常生活用具給付	12.0	17.5	14.9	14.8	7.1	25.0	3.3	11.1	9.6	13.7	22.2	7.0
生活訓練等事業	2.9	3.5	4.1	0.0	14.3	50.0	3.3	0.0	1.5	4.3	5.6	4.7
点字・声の広報等発行事業	1.9	17.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	0.0	0.0
自動車運転免許取得助成	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.9	0.0	2.3
自動車改造費助成	2.4	0.0	1.4	1.9	0.0	0.0	0.0	11.1	2.2	1.7	0.0	4.7
特になし	30.8	22.8	20.3	26.5	0.0	0.0	30.0	22.2	36.8	29.1	50.0	37.2
無回答	19.2	19.3	23.0	19.4	21.4	0.0	18.3	11.1	23.5	13.7	5.6	25.6

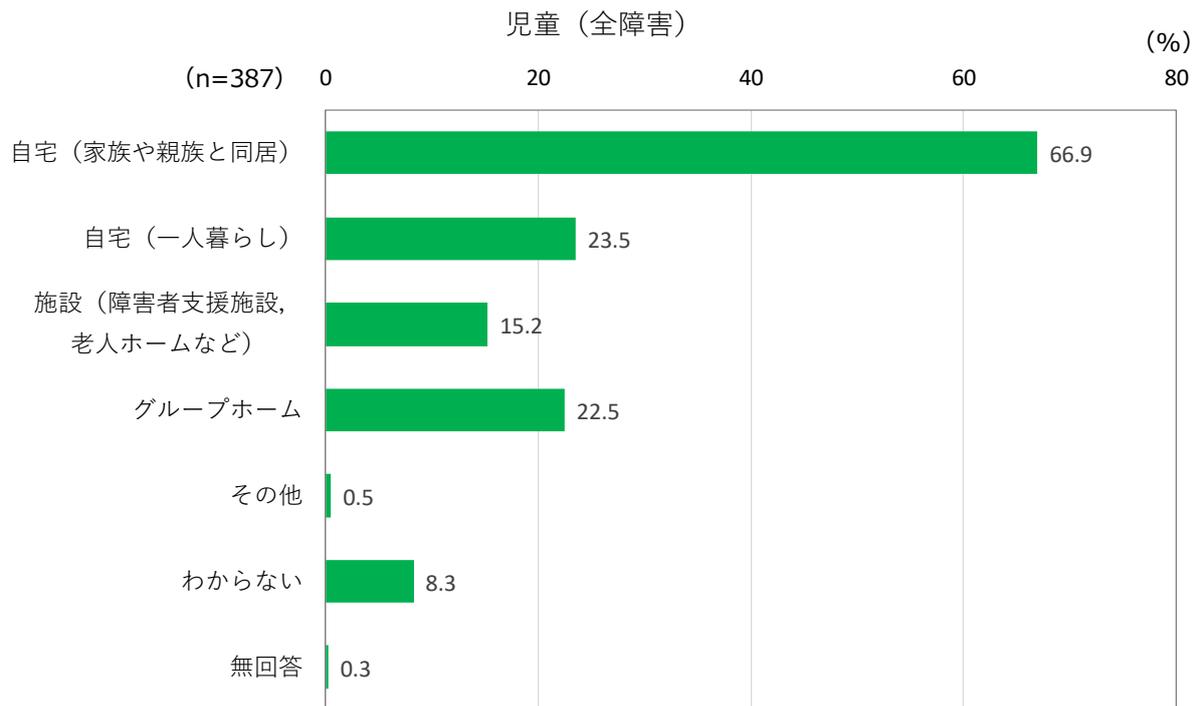
問 21. 将来どこで暮らしたいですか (〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「自宅（家族や親族と同居）」が6割以上で、最も多くなっています。

また、知的障害と発達障害については、他の障害と比べ若干ではありますが、「グループホーム」を希望する割合が多くなっています。

前回調査と比べて、「グループホーム」の利用希望が約 7 ポイント増加し、特に知的障害と発達障害が増加しています。

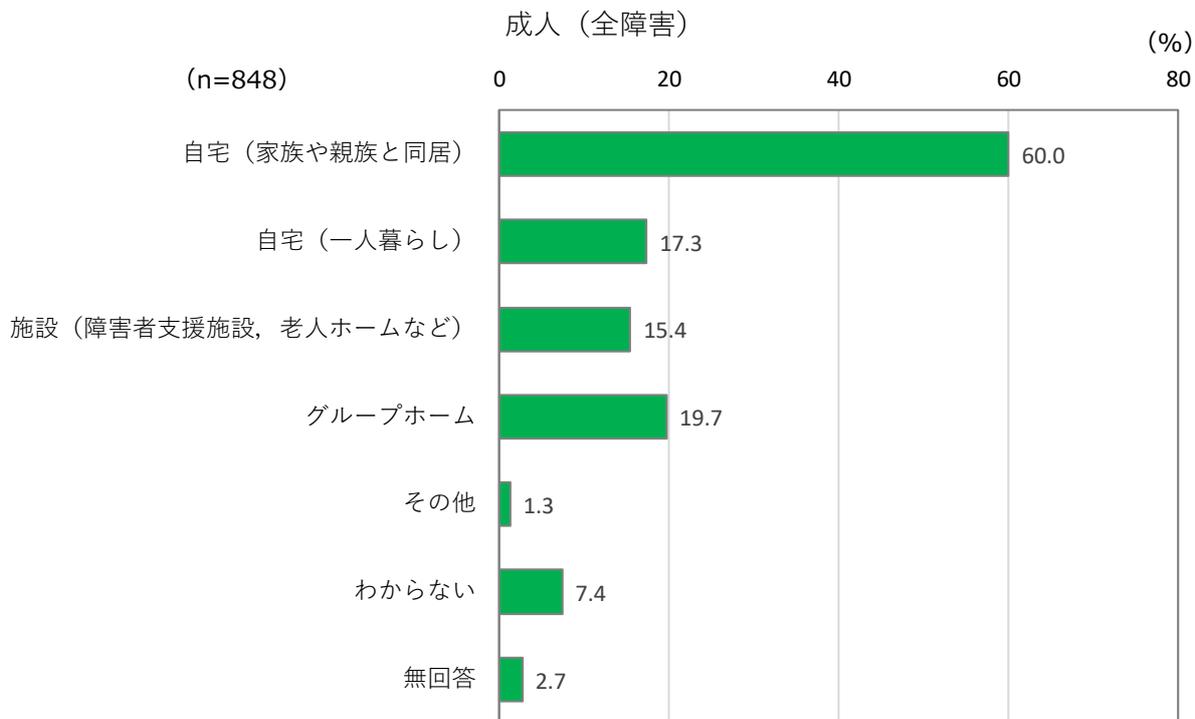


児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない	その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28	
自宅（家族や親族と同居）	66.9	0.0	84.6	84.8	69.4	63.2	75.0	0.0	80.0	72.7	78.3	57.1	
自宅（一人暮らし）	23.5	33.3	0.0	3.0	19.8	22.8	12.5	0.0	25.0	31.8	34.8	25.0	
施設（障害者支援施設, 老人ホームなど）	15.2	33.3	15.4	24.2	22.3	18.1	0.0	0.0	5.0	9.1	0.0	3.6	
グループホーム	22.5	33.3	46.2	21.2	31.8	27.5	25.0	100.0	0.0	13.6	0.0	14.3	
その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	
わからない	8.3	33.3	0.0	9.1	6.2	8.8	12.5	0.0	0.0	9.1	4.3	21.4	
無回答	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	

【成人】

成人全体では、「自宅（家族や親族と同居）」が最も多く、前回調査と同じ6割となっています。次いで、「グループホーム」「自宅（一人暮らし）」となっています。

前回調査と同様に、知的障害と発達障害は、他の障害と比べ「グループホーム」を希望する割合が高い傾向がみられます。



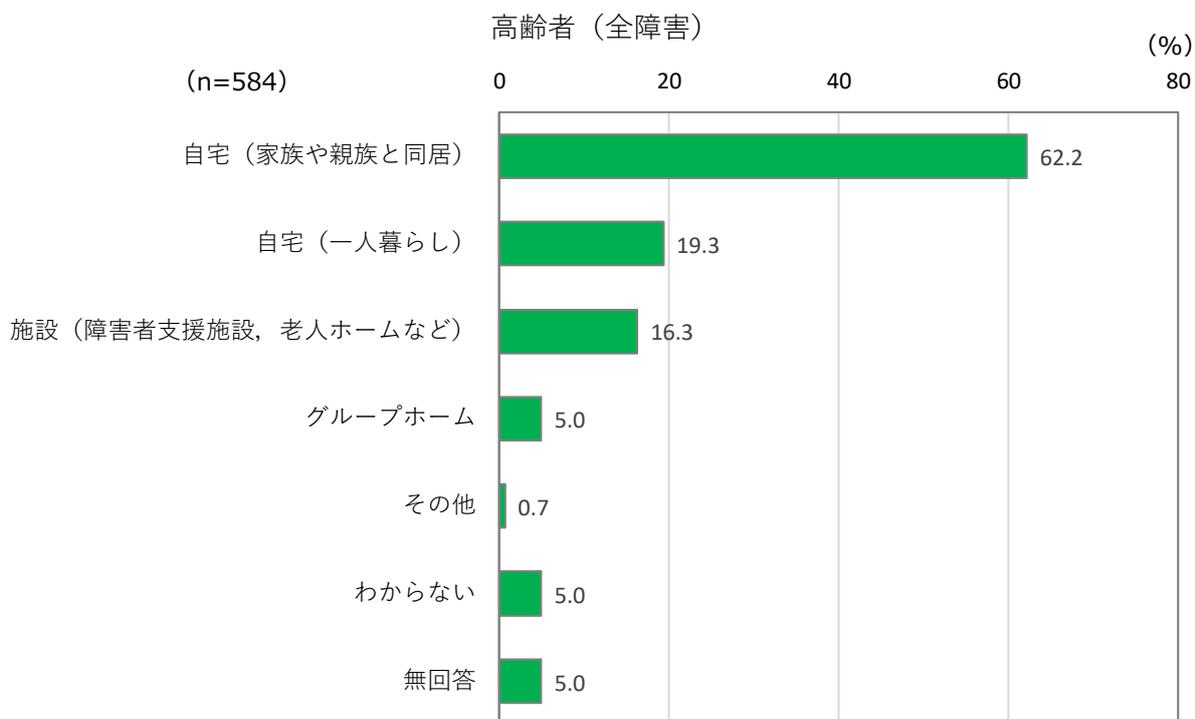
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
自宅（家族や親族と同居）	60.0	45.7	54.2	56.5	49.7	50.0	62.2	75.0	78.8	69.1	90.5	73.7
自宅（一人暮らし）	17.3	20.0	23.7	13.9	11.5	21.4	24.0	18.8	9.1	19.1	9.5	15.8
施設（障害者支援施設, 老人ホームなど）	15.4	37.1	15.3	22.2	28.8	18.4	10.5	12.5	18.2	10.9	14.3	13.2
グループホーム	19.7	28.6	8.5	21.3	39.6	36.7	13.8	18.8	12.1	8.2	0.0	10.5
その他	1.3	0.0	1.7	0.9	1.4	2.0	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	2.6
わからない	7.4	8.6	11.9	9.3	4.5	6.1	7.6	6.3	6.1	10.0	0.0	7.9
無回答	2.7	5.7	6.8	4.6	2.4	3.1	1.8	6.3	0.0	1.8	4.8	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、全体として「自宅（家族や親族と同居）」の割合が6割以上と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、「自宅（家族や親族と同居）」の割合が約15ポイント減少し、「自宅（一人暮らし）」「施設」「グループホーム」の割合が、それぞれ増加しています。



(単位：%)

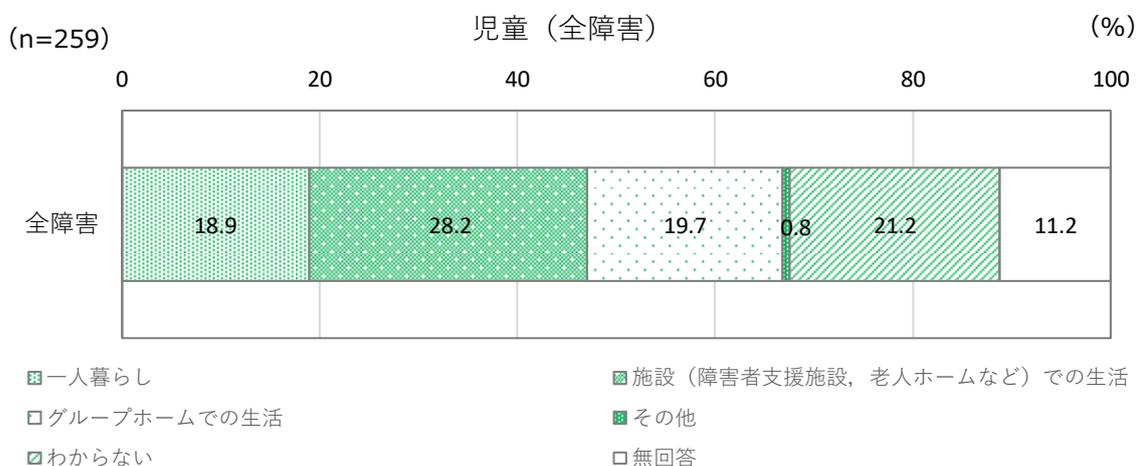
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
自宅（家族や親族と同居）	62.2	57.9	62.2	63.2	57.1	25.0	43.3	77.8	67.6	68.4	72.2	58.1
自宅（一人暮らし）	19.3	19.3	12.2	20.0	7.1	25.0	23.3	11.1	19.9	17.1	5.6	16.3
施設（障害者支援施設, 老人ホームなど）	16.3	17.5	14.9	16.8	28.6	50.0	26.7	11.1	16.2	15.4	5.6	11.6
グループホーム	5.0	1.8	1.4	3.2	35.7	25.0	13.3	0.0	4.4	0.0	5.6	4.7
その他	0.7	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
わからない	5.0	8.8	9.5	1.3	0.0	0.0	8.3	11.1	4.4	4.3	5.6	9.3
無回答	5.0	8.8	9.5	7.7	0.0	0.0	5.0	0.0	2.2	4.3	5.6	4.7

問 22. (問 21 で「1. 自宅 (家族や親族と同居)」と答えた方のみお答えください)
 将来、親や親族が病気などで一緒に生活できなくなった時は、どのような生活を希望
 しますか (○はひとつ)。

【児童】

児童全体では、「一人暮らし」と「グループホームでの生活」を合計した 4 割近い人が地
 域での生活を希望する結果となっています。また、「施設」の割合は 3 割近くとなっていま
 す。

障害種別でみると、肢体不自由が「施設」の割合が 6 割以上で他の障害と比べ多くなっ
 ています。また、知的障害については「グループホームでの生活」と回答した人が、他の障害よ
 りも多い傾向がみられます。



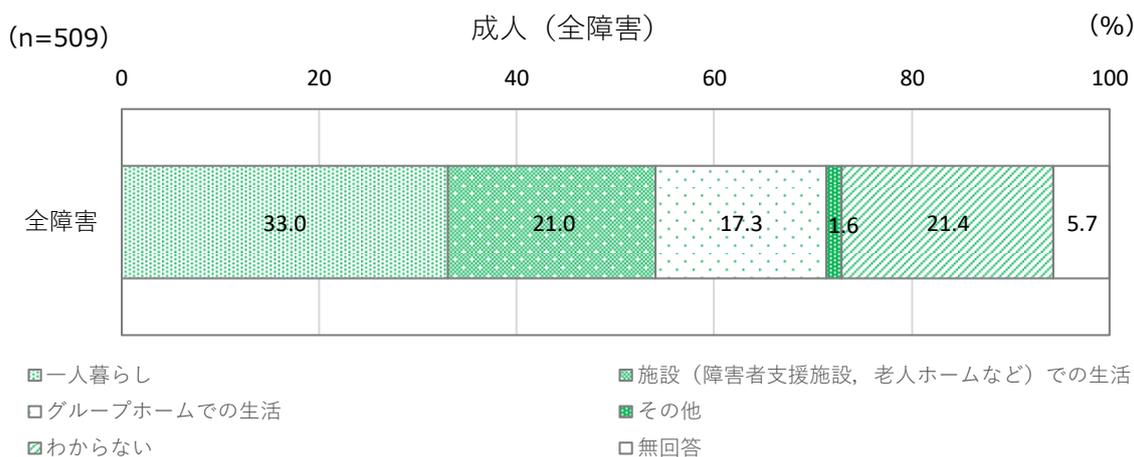
(単位 : %)

児童	全障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数 (人)	259	0	11	28	168	108	6	0	16	16	18	16
一人暮らし	18.9	0.0	0.0	10.7	6.5	12.0	16.7	0.0	37.5	25.0	61.1	25.0
施設 (障害者支援施設, 老 人ホームなど) での生活	28.2	0.0	45.5	64.3	36.3	27.8	33.3	0.0	43.8	37.5	0.0	6.3
グループホームでの生活	19.7	0.0	45.5	10.7	25.6	18.5	16.7	0.0	6.3	12.5	0.0	18.8
その他	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
わからない	21.2	0.0	9.1	7.1	17.3	24.1	33.3	0.0	12.5	18.8	27.8	31.3
無回答	11.2	0.0	0.0	7.1	13.7	15.7	0.0	0.0	0.0	6.3	11.1	12.5

【成人】

成人全体では、「一人暮らし」と「グループホームでの生活」を合計した 5 割以上が地域での生活を希望する結果となっています。また、「施設」の割合は 2 割以上となっています。

障害種別でみると、肢体不自由、精神障害、難病は「一人暮らし」、知的障害と発達障害は「グループホームでの生活」の割合が最も多くなっています。



(単位：%)

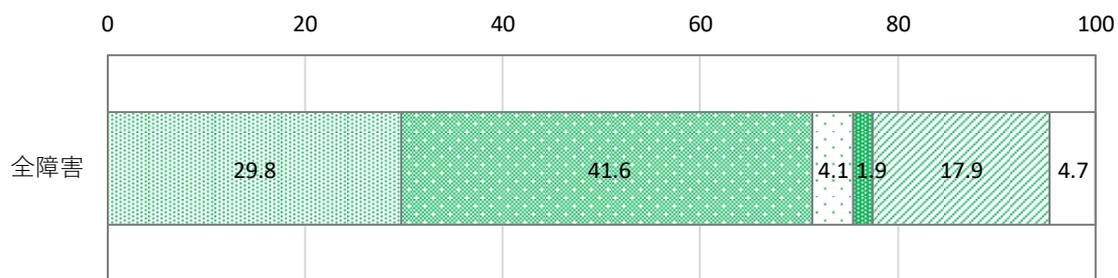
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	509	16	32	61	143	49	171	12	26	76	19	28
一人暮らし	33.0	12.5	40.6	36.1	13.3	26.5	42.7	16.7	38.5	39.5	36.8	25.0
施設 (障害者支援施設, 老人ホームなど)での生活	21.0	37.5	25.0	29.5	23.1	20.4	14.0	25.0	34.6	27.6	21.1	25.0
グループホームでの生活	17.3	6.3	9.4	19.7	39.2	28.6	12.9	8.3	7.7	5.3	5.3	7.1
その他	1.6	6.3	3.1	1.6	1.4	0.0	1.8	8.3	0.0	2.6	0.0	3.6
わからない	21.4	31.3	21.9	11.5	14.7	18.4	22.8	33.3	11.5	21.1	36.8	32.1
無回答	5.7	6.3	0.0	1.6	8.4	6.1	5.8	8.3	7.7	3.9	0.0	7.1

【高齢者】

高齢者全体では、「施設」が最も多く4割以上となっており、すべての障害種別で「施設」が最も多い結果となっています。

また、「一人暮らし」と「グループホームでの生活」を合計した地域での生活を希望する割合は、3割以上となっています。

(n=363) 高齢者（全障害） (%)



- 一人暮らし
- 施設 (障害者支援施設, 老人ホームなど) での生活
- グループホームでの生活
- その他
- わからない
- 無回答

(単位: %)

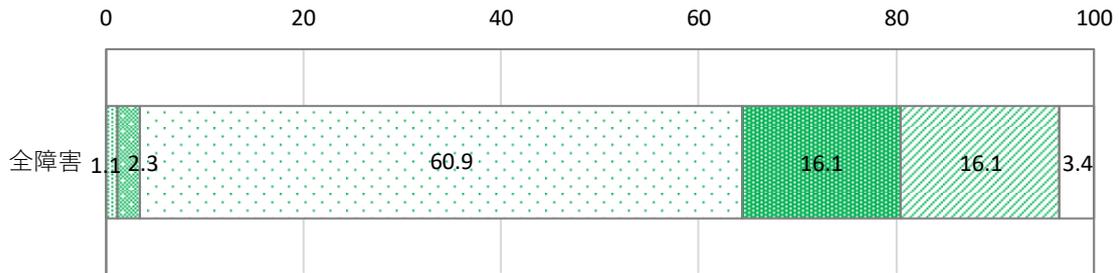
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	363	33	46	98	8	1	26	7	92	80	13	25
一人暮らし	29.8	27.3	21.7	36.7	0.0	0.0	19.2	0.0	30.4	30.0	15.4	20.0
施設 (障害者支援施設, 老人ホームなど) での生活	41.6	54.5	37.0	40.8	62.5	0.0	34.6	42.9	39.1	50.0	53.8	32.0
グループホームでの生活	4.1	3.0	0.0	2.0	12.5	0.0	11.5	0.0	7.6	0.0	15.4	16.0
その他	1.9	3.0	6.5	3.1	0.0	0.0	0.0	14.3	1.1	0.0	0.0	4.0
わからない	17.9	9.1	30.4	13.3	0.0	0.0	30.8	28.6	16.3	17.5	15.4	28.0
無回答	4.7	3.0	4.3	4.1	25.0	100.0	3.8	14.3	5.4	2.5	0.0	0.0

問 23. (問 21 で「4. グループホーム」と答えた方のみお答えください)
 いつ施設を利用したいですか (○はひとつ)。

【児童】

児童全体では、「時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい」が 6 割以上と最も多くなっています。

(n=87) 児童 (全障害) (%)



- いますぐに入りたい (1ヶ月以内)
- できるだけ早く入りたい (半年以内)
- 時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい
- わからない
- その他
- 無回答

(単位: %)

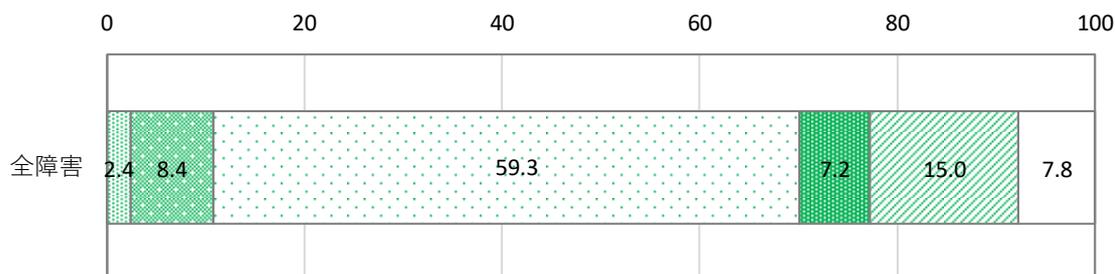
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	87	1	6	7	77	47	2	1	0	3	0	4
いますぐに入りたい (1ヶ月以内)	1.1	0.0	0.0	14.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい (半年以内)	2.3	100.0	0.0	14.3	2.6	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい	60.9	0.0	100.0	57.1	59.7	59.6	50.0	100.0	0.0	66.7	0.0	50.0
わからない	16.1	0.0	0.0	14.3	15.6	21.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他	16.1	0.0	0.0	0.0	16.9	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.4	0.0	0.0	0.0	3.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

【成人】

成人全体についても、「時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい」が6割近くと最も多くなっています。

また、肢体不自由、精神障害の1割以上が「できるだけ早く入りたい（半年以内）」と回答しています。

(n=167) 成人（全障害） (%)



- いますぐに入りたい（1ヶ月以内）
- できるだけ早く入りたい（半年以内）
- 時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい
- わからない
- その他
- 無回答

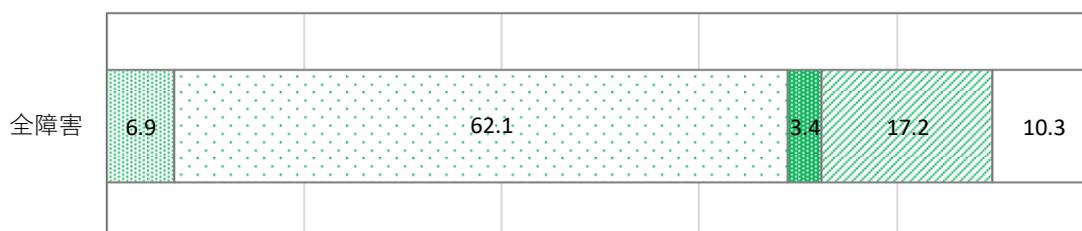
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数 (人)	167	10	5	23	114	36	38	3	4	9	0	4
いますぐに入りたい (1ヶ月以内)	2.4	0.0	0.0	0.0	3.5	5.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい (半年以内)	8.4	0.0	0.0	13.0	7.9	5.6	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい	59.3	80.0	80.0	52.2	58.8	58.3	55.3	33.3	50.0	44.4	0.0	75.0
わからない	7.2	0.0	0.0	4.3	4.4	5.6	7.9	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	15.0	10.0	0.0	21.7	17.5	16.7	18.4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.8	10.0	20.0	8.7	7.9	8.3	5.3	66.7	25.0	22.2	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体についても、「時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい」が6割以上と最も多くなっています。

(n=29) 高齢者（全障害） (%)



- いますぐに入りたい (1ヶ月以内)
- 時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい
- わからない
- その他
- 無回答

(単位：%)

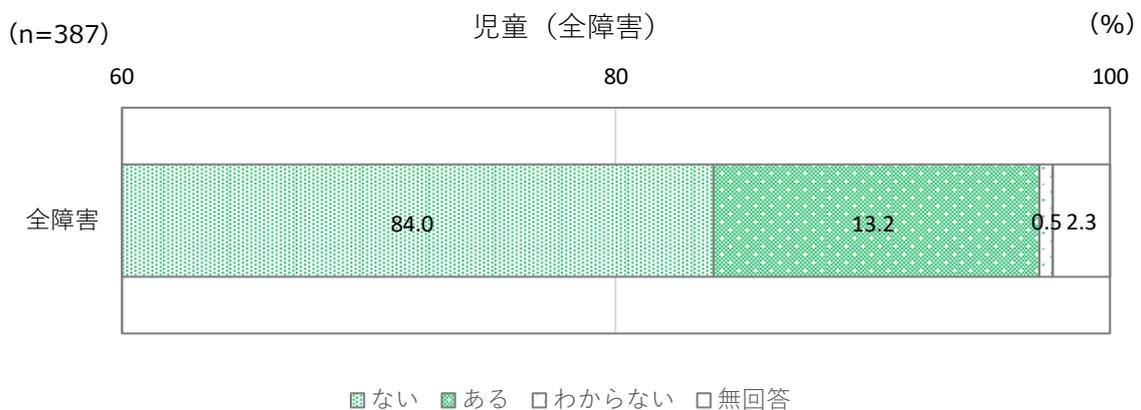
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	29	1	1	5	5	1	8	0	6	0	1	2
いますぐに入りたい (1ヶ月以内)	6.9	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい (半年以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい	62.1	100.0	100.0	60.0	20.0	0.0	62.5	0.0	66.7	0.0	100.0	100.0
わからない	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	17.2	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	12.5	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
無回答	10.3	0.0	0.0	20.0	20.0	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24 . 短期入所（ショートステイ）のサービスを利用したことがありますか（○はひとつ）。

【児童】

児童全体では、8割以上が短期入所（ショートステイ）のサービスを利用したことが「ない」と回答しています。

障害種別でみると、知的障害は「ある」と回答した人が2割近くで、他の障害と比べ多い傾向がみられます。



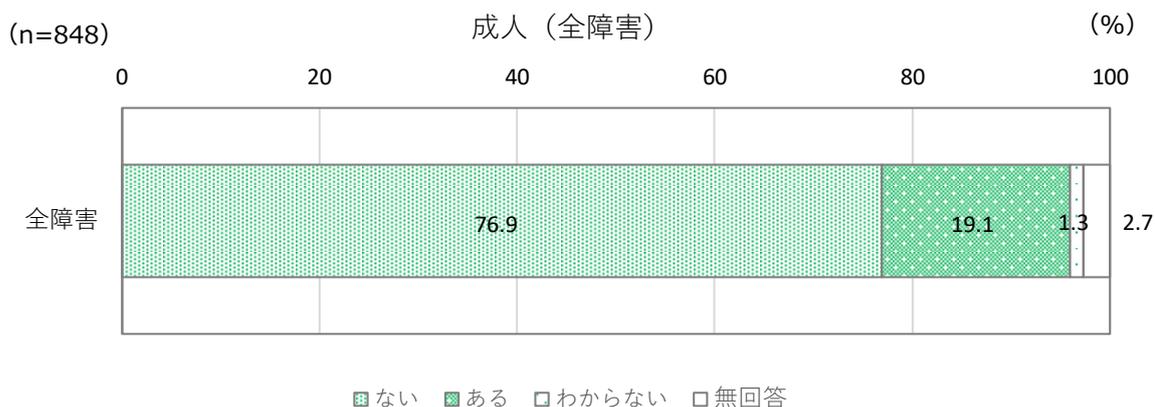
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他・
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
ない	84.0	100.0	84.6	87.9	78.1	83.0	62.5	100.0	95.0	86.4	91.3	92.9
ある	13.2	0.0	15.4	12.1	19.8	14.0	37.5	0.0	5.0	13.6	0.0	0.0
わからない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.3	0.0	0.0	0.0	1.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	7.1

【成人】

成人全体では、7割以上が短期入所（ショートステイ）のサービスを利用したことが「ない」と回答しています。

障害種別でみると、肢体不自由、知的障害、発達障害では、「ある」と回答した人が3割以上と、他の障害と比べ多い傾向がみられます。



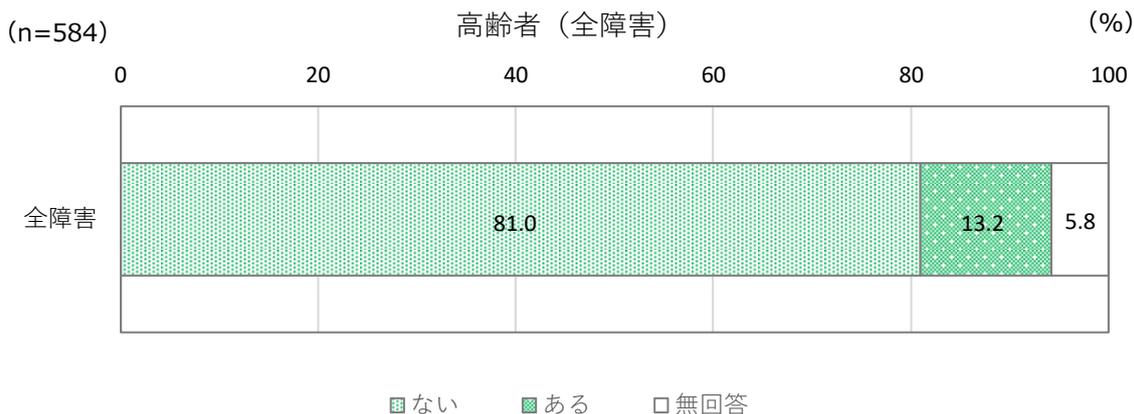
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
ない	76.9	68.6	76.3	63.0	53.8	64.3	86.2	62.5	90.9	93.6	95.2	92.1
ある	19.1	25.7	16.9	32.4	41.7	33.7	9.8	31.3	9.1	4.5	0.0	7.9
わからない	1.3	2.9	1.7	0.9	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.7	2.9	5.1	3.7	2.4	2.0	2.9	6.3	0.0	1.8	4.8	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、児童と同様に、8割以上が短期入所（ショートステイ）のサービスを利用したことが「ない」と回答しています。

障害種別でみると、肢体不自由は「ある」と回答した人が2割近くで、他の障害と比べ多い傾向がみられます。



(単位：%)

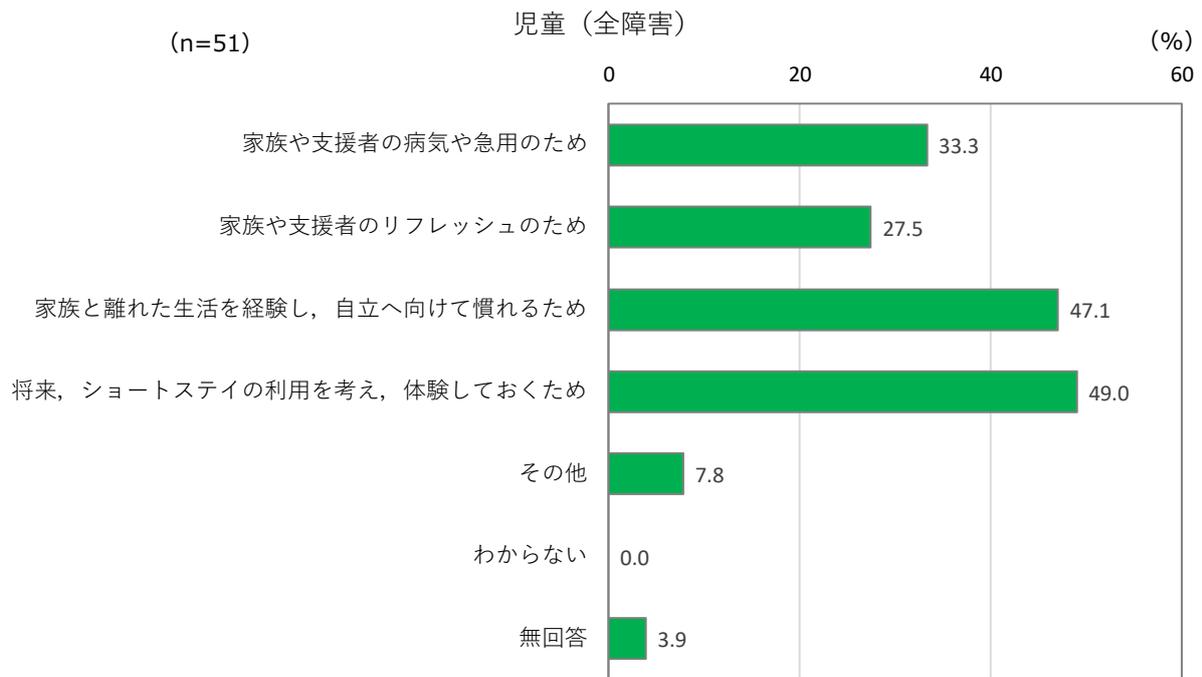
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
ない	81.0	77.2	74.3	74.2	35.7	75.0	78.3	22.2	88.2	78.6	94.4	83.7
ある	13.2	14.0	14.9	18.1	57.1	25.0	16.7	77.8	8.1	17.1	0.0	7.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.8	8.8	10.8	7.7	7.1	0.0	5.0	0.0	3.7	4.3	5.6	9.3

問 25. (問 24 で「2. ある」と答えた方のみお答えください)

短期入所(ショートステイ)のサービスを利用したことがある方はどのような目的で利用しましたか(〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「将来、ショートステイの利用を考え、体験しておくため」「家族と離れた生活を経験し、自立へ向けて慣れるため」がそれぞれ5割近くと多くなっています。

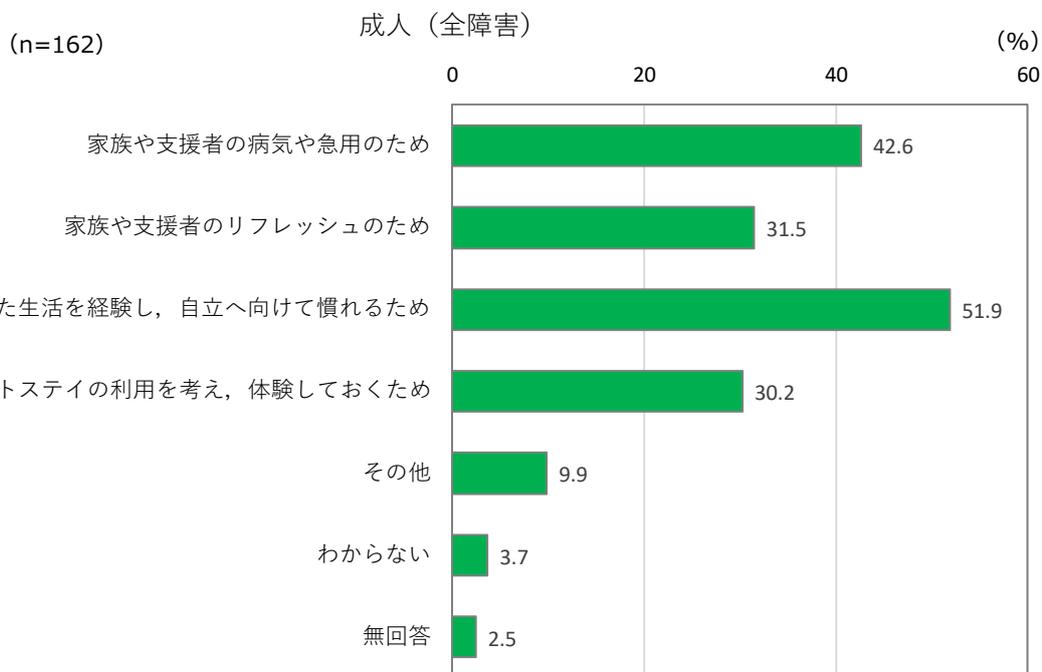


(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	51	0	2	4	48	24	3	0	1	3	0	0
家族や支援者の病気や急用のため	33.3	0.0	0.0	100.0	33.3	29.2	33.3	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0
家族や支援者のリフレッシュのため	27.5	0.0	100.0	25.0	27.1	29.2	66.7	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0
家族と離れた生活を経験し、自立へ向けて慣れるため	47.1	0.0	50.0	25.0	45.8	54.2	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
将来、ショートステイの利用を考え、体験しておくため	49.0	0.0	50.0	50.0	50.0	45.8	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	7.8	0.0	0.0	0.0	6.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.9	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、「家族と離れた生活を経験し、自立へ向けて慣れるため」が5割以上と最も多く、次いで「家族や支援者の病気や急用のため」が4割以上と多くなっています。

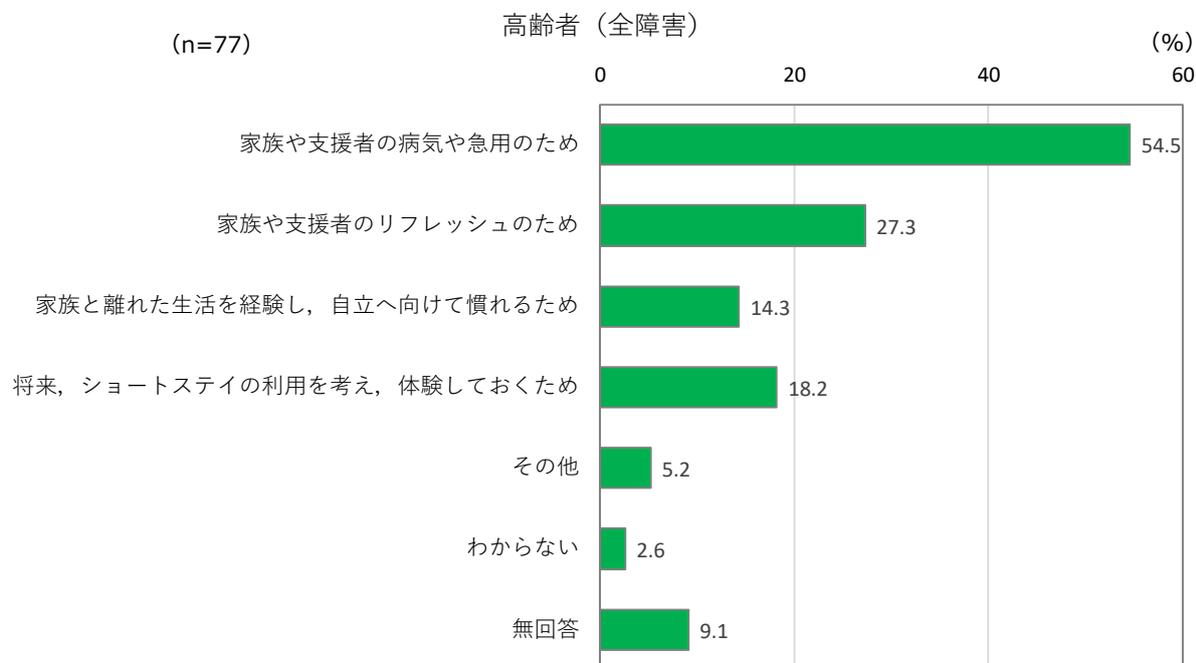


(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	162	9	10	35	120	33	27	5	3	5	0	3
家族や支援者の病気や急用のため	42.6	55.6	40.0	57.1	45.0	36.4	22.2	40.0	0.0	40.0	0.0	66.7
家族や支援者のリフレッシュのため	31.5	55.6	50.0	45.7	30.0	36.4	22.2	20.0	33.3	40.0	0.0	33.3
家族と離れた生活を経験し、自立へ向けて慣れるため	51.9	22.2	50.0	54.3	56.7	60.6	29.6	40.0	66.7	40.0	0.0	66.7
将来、ショートステイの利用を考え、体験しておくため	30.2	55.6	40.0	37.1	30.8	45.5	14.8	60.0	33.3	60.0	0.0	33.3
その他	9.9	0.0	0.0	5.7	10.0	3.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
わからない	3.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
無回答	2.5	0.0	0.0	2.9	2.5	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では「家族や支援者の病気や急用のため」が5割以上と最も多く、次いで「家族や支援者のリフレッシュのため」となっています。



(単位：%)

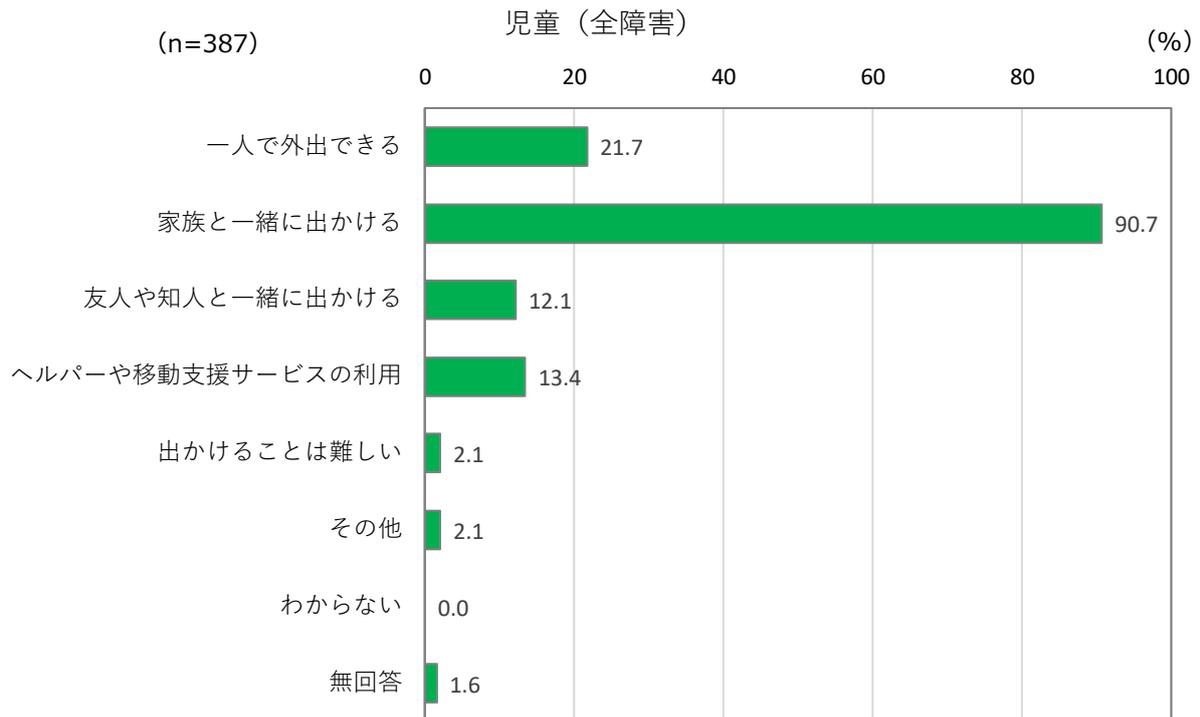
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	77	8	11	28	8	1	10	7	11	20	0	3
家族や支援者の病気や急用のため	54.5	75.0	27.3	67.9	75.0	100.0	40.0	57.1	54.5	65.0	0.0	33.3
家族や支援者のリフレッシュのため	27.3	37.5	54.5	35.7	25.0	0.0	0.0	42.9	9.1	35.0	0.0	33.3
家族と離れた生活を経験し、自立へ向けて慣れるため	14.3	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	40.0	14.3	9.1	10.0	0.0	0.0
将来、ショートステイの利用を考え、体験しておくため	18.2	12.5	36.4	14.3	37.5	0.0	20.0	28.6	0.0	15.0	0.0	0.0
その他	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	10.0	0.0	0.0
わからない	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	9.1	0.0	18.2	14.3	0.0	0.0	10.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0

問 26. 外出する際はどのような手段を使いますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、前回調査と同様に「家族と一緒に出かける」という回答がほとんどであり、9割を超えています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

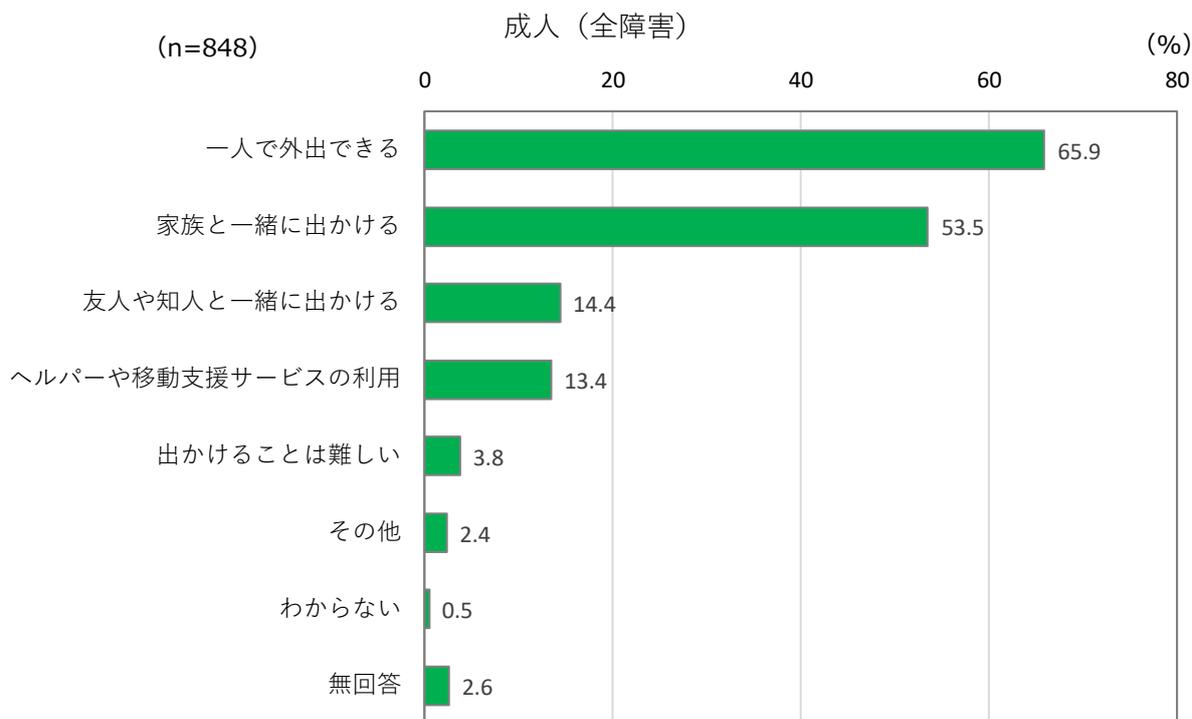
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
一人で外出できる	21.7	33.3	7.7	3.0	19.0	17.0	37.5	100.0	30.0	40.9	26.1	14.3
家族と一緒に出かける	90.7	100.0	100.0	100.0	91.3	91.8	100.0	0.0	95.0	81.8	87.0	96.4
友人や知人と一緒に出かける	12.1	33.3	7.7	6.1	11.6	7.6	25.0	0.0	30.0	18.2	17.4	17.9
ヘルパーや移動支援サービスの利用	13.4	0.0	23.1	15.2	18.2	17.0	37.5	0.0	10.0	22.7	0.0	3.6
出かけることは難しい	2.1	0.0	0.0	0.0	2.9	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.1	0.0	0.0	3.0	2.5	3.5	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.6	0.0	0.0	0.0	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【成人】

成人全体では、「一人で外出できる」が最も多く6割以上となっています。次いで、「家族と一緒に出かける」が5割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由、知的障害、発達障害については、他の障害と比べ若干ではありますが、「ヘルパーや移動支援サービスの利用」が多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

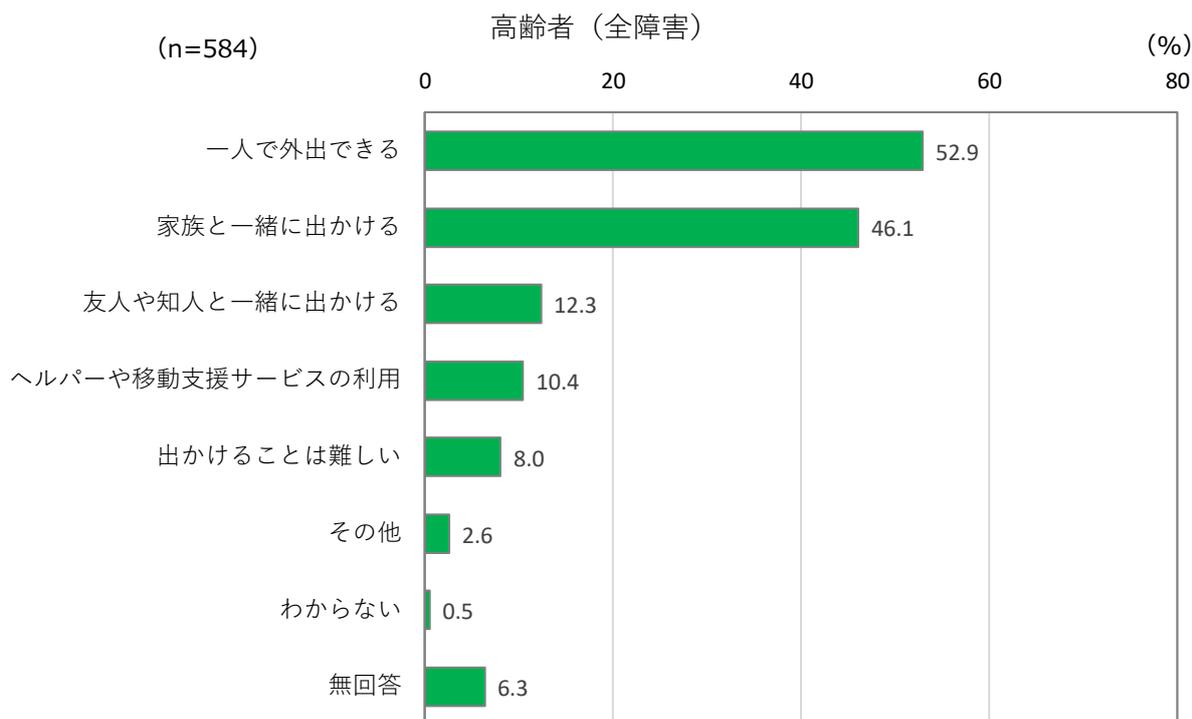
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
一人で外出できる	65.9	42.9	66.1	41.7	40.6	64.3	78.2	56.3	78.8	80.9	90.5	76.3
家族と一緒に出かける	53.5	68.6	57.6	67.6	74.0	64.3	46.2	81.3	42.4	35.5	42.9	52.6
友人や知人と一緒に出かける	14.4	17.1	22.0	14.8	11.8	13.3	14.9	37.5	15.2	13.6	28.6	10.5
ヘルパーや移動支援サービスの利用	13.4	28.6	15.3	32.4	27.8	21.4	5.8	12.5	12.1	7.3	0.0	5.3
出かけることは難しい	3.8	2.9	5.1	7.4	3.5	2.0	4.7	6.3	0.0	1.8	0.0	5.3
その他	2.4	2.9	1.7	1.9	2.8	0.0	2.9	0.0	0.0	2.7	0.0	5.3
わからない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.3
無回答	2.6	0.0	3.4	1.9	1.7	2.0	2.2	0.0	0.0	1.8	4.8	2.6

【高齢者】

高齢者全体についても、成人と同様に、「一人で外出できる」が最も多く 5 割以上、次いで、「家族と一緒に出かける」が 4 割以上となっています。

障害種別でみると、視覚障害については、「家族と一緒に出かける」が最も多く、「ヘルパーや移動支援のサービスの利用」の割合も他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
一人で外出できる	52.9	19.3	52.7	44.5	21.4	75.0	55.0	11.1	58.8	51.3	72.2	65.1
家族と一緒に出かける	46.1	56.1	44.6	45.2	71.4	50.0	36.7	66.7	47.8	47.0	33.3	37.2
友人や知人と一緒に出かける	12.3	17.5	12.2	13.5	7.1	0.0	5.0	0.0	15.4	11.1	5.6	2.3
ヘルパーや移動支援サービスの利用	10.4	38.6	10.8	13.5	35.7	50.0	3.3	0.0	6.6	11.1	11.1	7.0
出かけることは難しい	8.0	7.0	6.8	12.3	21.4	0.0	15.0	33.3	5.9	12.0	0.0	4.7
その他	2.6	1.8	2.7	1.9	0.0	0.0	1.7	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0
わからない	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	0.0	0.0
無回答	6.3	10.5	16.2	7.1	14.3	0.0	5.0	11.1	3.7	5.1	11.1	11.6

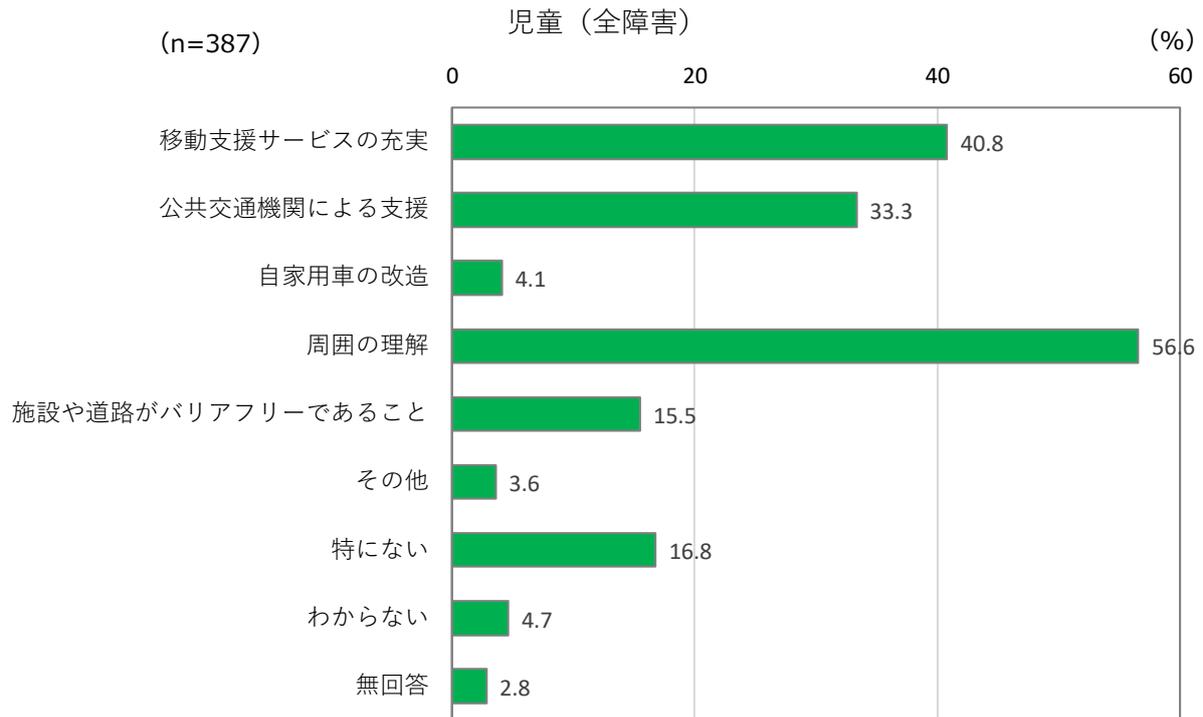
問 27. 外出するために必要だと思うことは何ですか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「周囲の理解」が5割以上と最も多くなっています。

障害種別で見ると、肢体不自由は「施設や道路がバリアフリーであること」が7割以上となっており、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

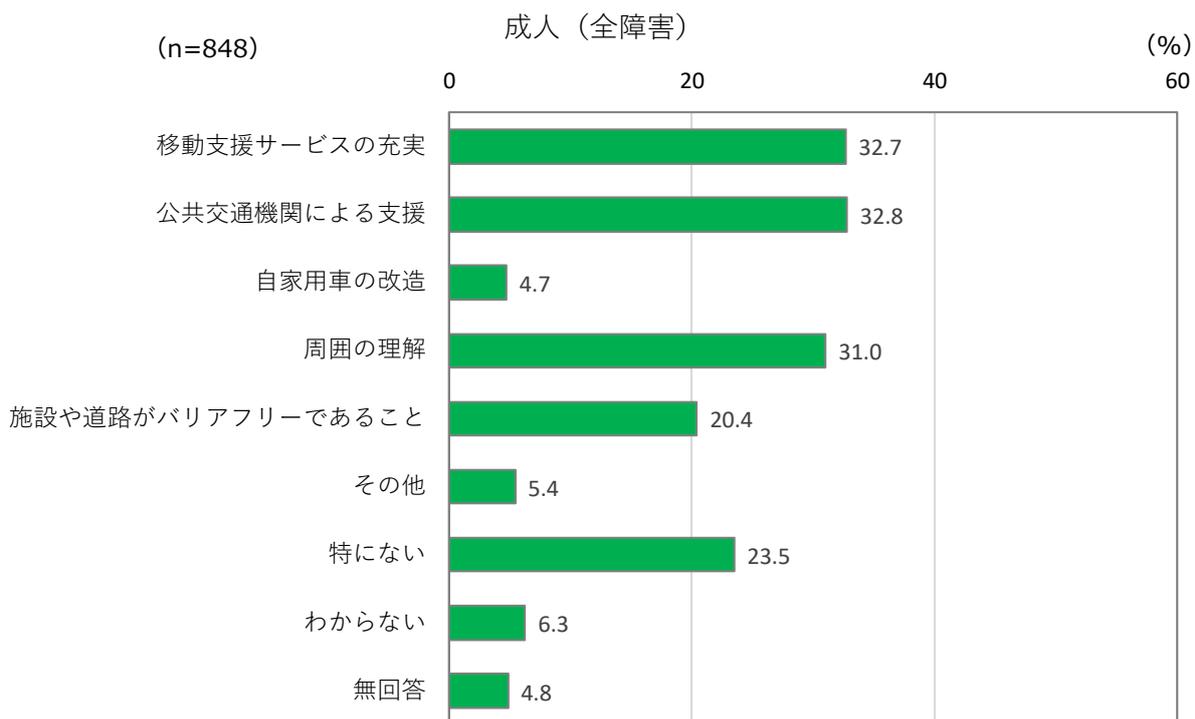
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
移動支援サービスの充実	40.8	33.3	69.2	60.6	50.4	46.2	50.0	100.0	40.0	40.9	4.3	25.0
公共交通機関による支援	33.3	33.3	53.8	45.5	36.8	34.5	37.5	0.0	35.0	22.7	4.3	14.3
自家用車の改造	4.1	0.0	15.4	24.2	5.0	3.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	3.6
周囲の理解	56.6	66.7	69.2	63.6	63.2	67.3	75.0	0.0	60.0	59.1	17.4	32.1
施設や道路がバリアフリーであること	15.5	0.0	30.8	72.7	17.4	9.4	25.0	0.0	40.0	27.3	8.7	17.9
その他	3.6	0.0	0.0	15.2	3.7	2.9	0.0	0.0	5.0	9.1	4.3	7.1
特にない	16.8	0.0	0.0	3.0	8.3	9.9	12.5	0.0	10.0	31.8	56.5	39.3
わからない	4.7	0.0	0.0	3.0	3.7	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	17.9
無回答	2.8	0.0	7.7	3.0	2.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.6

【成人】

成人全体では、「公共交通機関による支援」「移動支援サービスの充実」「周囲の理解」がそれぞれ3割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害については、「周囲の理解」が4割以上で、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査との比較では、大きな傾向の違いは見られませんが、「公共交通機関による支援」約5ポイント減少しています。



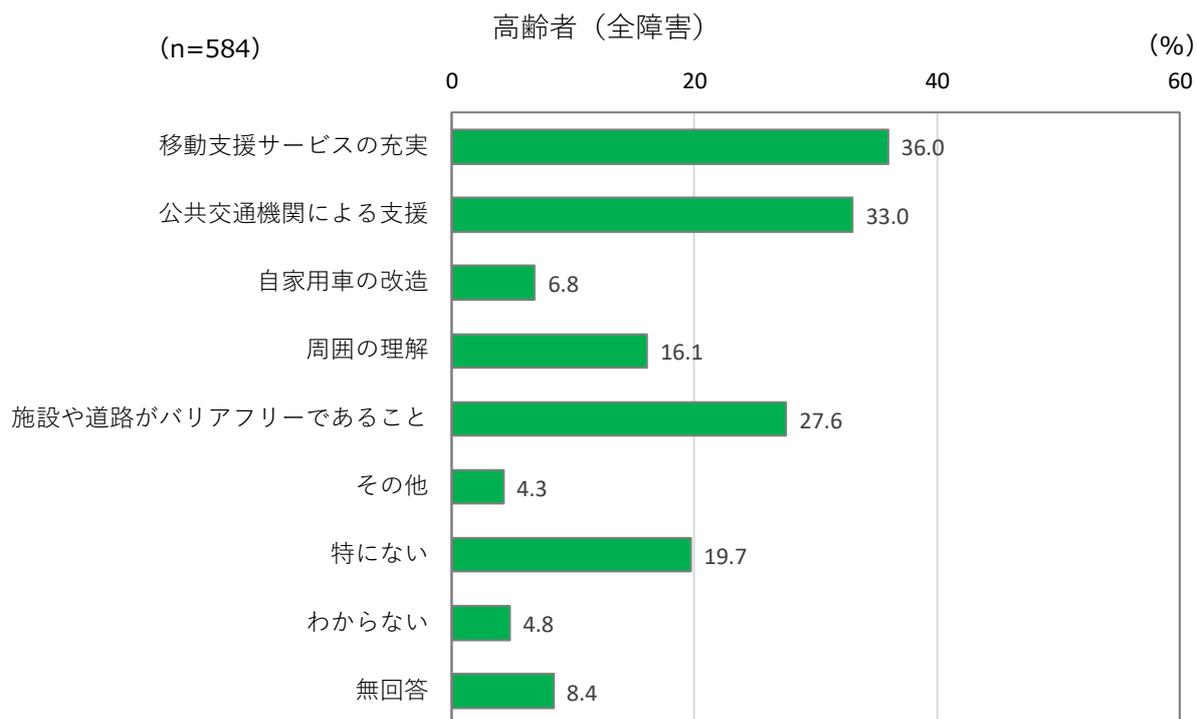
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
移動支援サービスの充実	32.7	62.9	35.6	57.4	46.5	40.8	25.1	31.3	42.4	33.6	14.3	23.7
公共交通機関による支援	32.8	34.3	40.7	39.8	33.3	35.7	34.9	56.3	24.2	29.1	23.8	36.8
自家用車の改造	4.7	5.7	5.1	18.5	4.2	0.0	2.9	0.0	0.0	6.4	4.8	7.9
周囲の理解	31.0	31.4	32.2	34.3	35.4	41.8	26.9	43.8	18.2	21.8	19.0	34.2
施設や道路がバリアフリーであること	20.4	51.4	30.5	61.1	18.4	11.2	12.0	56.3	33.3	34.5	4.8	10.5
その他	5.4	14.3	5.1	9.3	2.8	5.1	6.9	25.0	3.0	10.0	0.0	13.2
特にない	23.5	8.6	22.0	4.6	15.3	20.4	26.2	6.3	30.3	28.2	52.4	18.4
わからない	6.3	2.9	5.1	0.0	5.6	4.1	9.1	0.0	6.1	6.4	4.8	10.5
無回答	4.8	0.0	8.5	3.7	4.5	8.2	4.4	6.3	0.0	1.8	4.8	5.3

【高齢者】

高齢者全体では、「移動支援サービスの充実」が最も多く、次いで「公共交通機関による支援」が3割以上となっています。

前回調査と比較すると、大きな傾向の違いは見られませんが、「移動支援サービスの充実」が約5ポイント増加しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
移動支援サービスの充実	36.0	63.2	29.7	38.1	64.3	50.0	26.7	44.4	31.6	41.9	27.8	27.9
公共交通機関による支援	33.0	35.1	33.8	32.9	57.1	25.0	26.7	22.2	32.4	35.0	38.9	20.9
自家用車の改造	6.8	1.8	5.4	10.3	7.1	0.0	3.3	11.1	5.1	8.5	5.6	4.7
周囲の理解	16.1	22.8	21.6	15.5	21.4	50.0	11.7	33.3	12.5	16.2	22.2	9.3
施設や道路がバリアフリーであること	27.6	40.4	24.3	37.4	14.3	0.0	8.3	33.3	19.1	33.3	33.3	34.9
その他	4.3	7.0	5.4	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	6.0	5.6	4.7
特にない	19.7	3.5	13.5	12.3	0.0	25.0	26.7	0.0	27.2	20.5	11.1	23.3
わからない	4.8	5.3	9.5	2.6	7.1	0.0	10.0	33.3	1.5	5.1	0.0	4.7
無回答	8.4	12.3	10.8	13.5	7.1	0.0	10.0	11.1	8.8	5.1	11.1	14.0

こども ～小学校入学前（乳幼児期）～

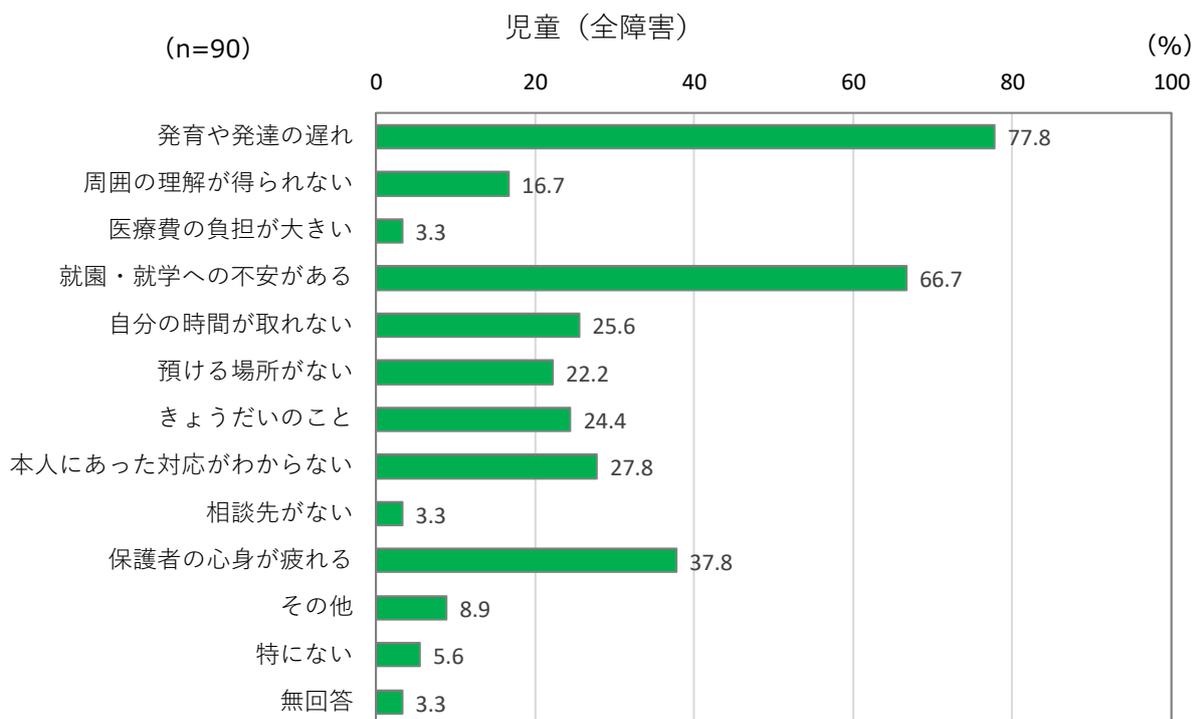
（問 28～34 は小学校入学前の方のみ回答）

問 28. 小学校入学前のお子さんのことで、現在悩んでいることや困っていることは何ですか（〇はいくつでも）。

全体では、「発育や発達の遅れ」が 8 割近くと最も多く、次いで「就園・就学への不安がある」が 7 割近くとなっています。

障害種別にみると、知的障害、発達障害については、「就園・就学への不安がある」と回答した人が 7 割以上と他の障害と比べ多い傾向が見られます。また、発達障害については、「本人にあった対応がわからない」「保護者の心身が疲れる」のそれぞれが、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

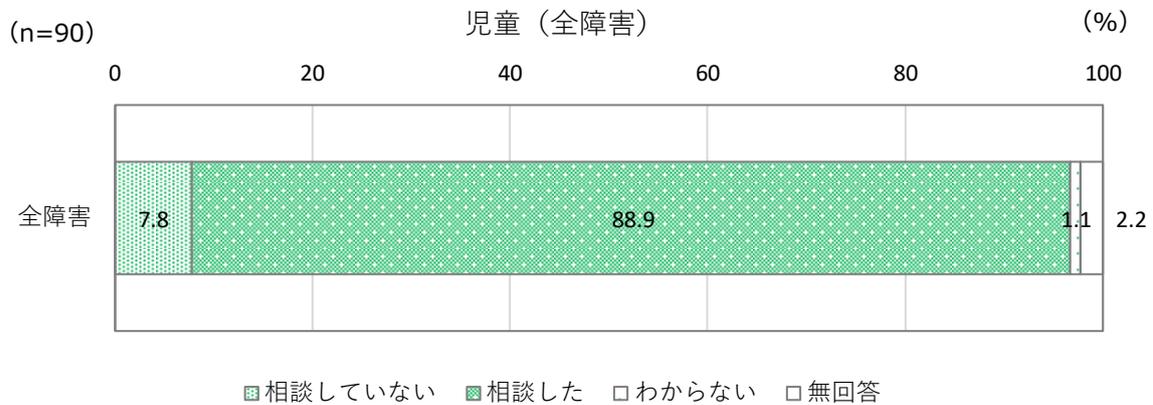


(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数(人)	90	0	2	10	33	41	0	0	8	5	11	15
発育や発達の遅れ	77.8	0.0	100.0	80.0	87.9	87.8	0.0	0.0	75.0	40.0	54.5	86.7
家族の理解や協力が無い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周囲の理解が得られない	16.7	0.0	0.0	10.0	6.1	17.1	0.0	0.0	25.0	0.0	18.2	26.7
医療費の負担が大きい	3.3	0.0	0.0	0.0	3.0	4.9	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
就園・就学への不安がある	66.7	0.0	100.0	60.0	72.7	75.6	0.0	0.0	50.0	40.0	63.6	73.3
自分の時間が取れない	25.6	0.0	50.0	40.0	36.4	24.4	0.0	0.0	25.0	40.0	36.4	20.0
預ける場所がない	22.2	0.0	50.0	50.0	30.3	22.0	0.0	0.0	50.0	20.0	18.2	13.3
きょうだいのこと	24.4	0.0	50.0	50.0	33.3	26.8	0.0	0.0	12.5	40.0	18.2	26.7
本人にあった対応がわからない	27.8	0.0	0.0	10.0	21.2	36.6	0.0	0.0	25.0	20.0	27.3	26.7
相談先がない	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	6.7
保護者の心身が疲れる	37.8	0.0	0.0	20.0	33.3	43.9	0.0	0.0	25.0	20.0	36.4	46.7
その他	8.9	0.0	50.0	40.0	15.2	9.8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	6.7
特になし	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	27.3	6.7
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.3	0.0	0.0	0.0	3.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 29. お子さんについての悩みや困っていることをどこかに相談しましたか（○はひとつ）。

全体では、「相談した」と回答した人が9割近くになっています。



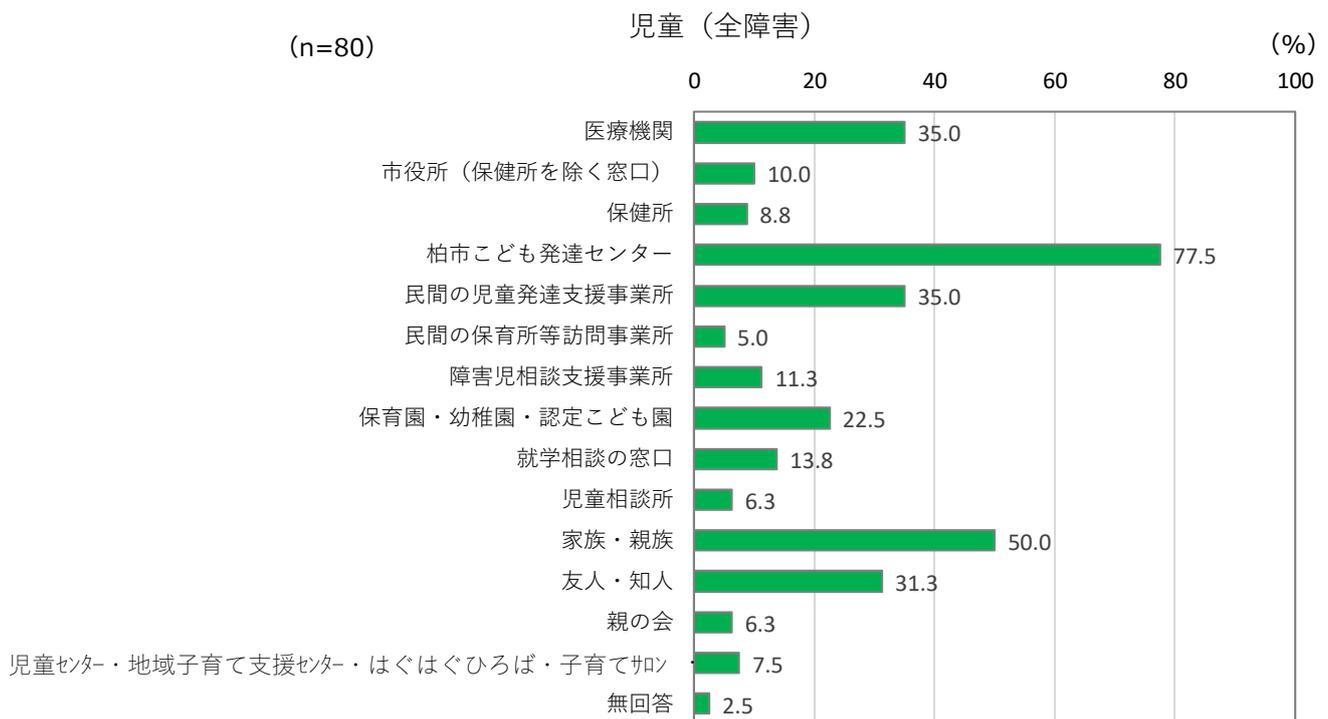
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数（人）	90	0	2	10	33	41	0	0	8	5	11	15
相談していない	7.8	0.0	0.0	20.0	6.1	2.4	0.0	0.0	12.5	20.0	18.2	0.0
相談した	88.9	0.0	100.0	80.0	93.9	92.7	0.0	0.0	87.5	80.0	81.8	100.0
わからない	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 30. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください) お子さんについての悩みや困っていることをどこに相談しましたか (〇はいくつでも)。

全体では、「柏市こども発達センター」が 8 割近くと、最も多くなっています。次いで、「家族・親族」が 5 割となっています。

前回調査と比べると、「家族・親族」が約 14 ポイント減少し、今回新たに追加した「柏市こども発達センター」が最も多いという結果です。

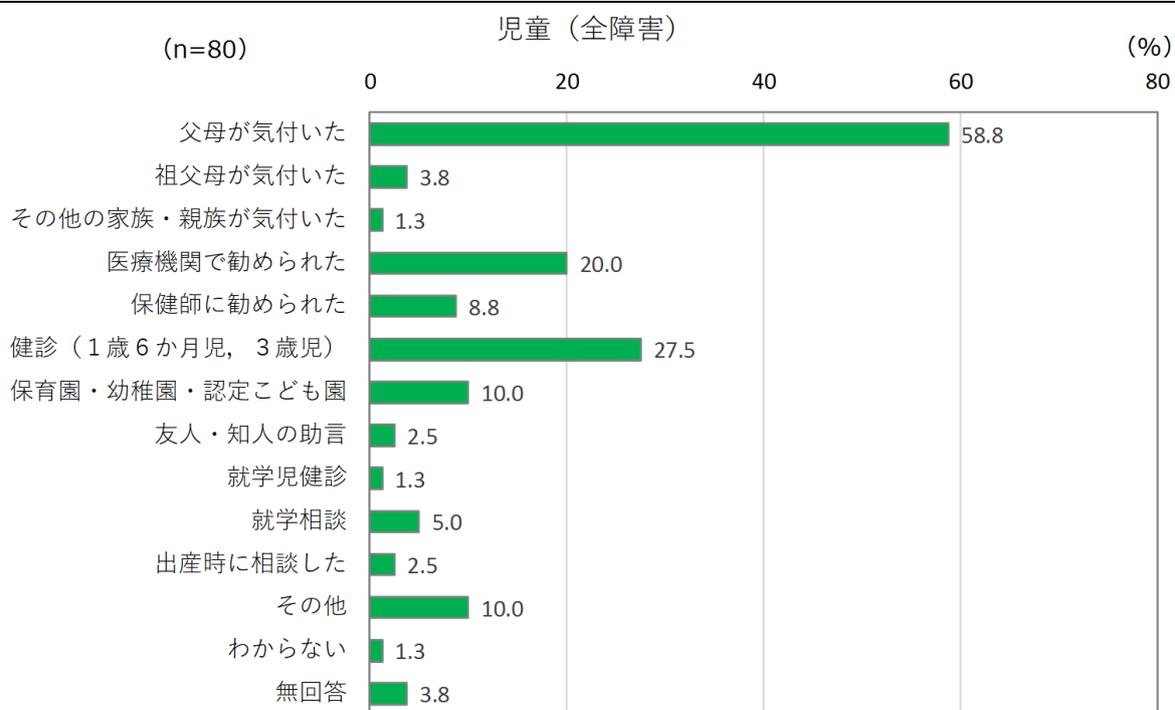


(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他・
有効回答数(人)	80	0	2	8	31	38	0	0	7	4	9	15
医療機関	35.0	0.0	100.0	25.0	38.7	44.7	0.0	0.0	42.9	50.0	33.3	26.7
市役所(保健所を除く窓口)	10.0	0.0	0.0	0.0	9.7	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	13.3
保健所	8.8	0.0	0.0	0.0	3.2	5.3	0.0	0.0	28.6	25.0	11.1	13.3
柏市こども発達センター	77.5	0.0	100.0	100.0	90.3	84.2	0.0	0.0	28.6	50.0	88.9	80.0
民間の児童発達支援事業所	35.0	0.0	50.0	50.0	38.7	42.1	0.0	0.0	28.6	25.0	44.4	26.7
民間の保育所等訪問事業所	5.0	0.0	0.0	0.0	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	6.7
障害児相談支援事業所	11.3	0.0	0.0	25.0	16.1	13.2	0.0	0.0	14.3	0.0	11.1	0.0
保育園・幼稚園・認定こども園	22.5	0.0	0.0	0.0	12.9	18.4	0.0	0.0	0.0	50.0	66.7	26.7
就学相談の窓口	13.8	0.0	50.0	12.5	22.6	18.4	0.0	0.0	28.6	25.0	11.1	0.0
児童相談所	6.3	0.0	0.0	0.0	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	6.7
家族・親族	50.0	0.0	100.0	37.5	51.6	60.5	0.0	0.0	42.9	0.0	55.6	40.0
友人・知人	31.3	0.0	50.0	37.5	29.0	36.8	0.0	0.0	28.6	0.0	33.3	20.0
親の会	6.3	0.0	0.0	12.5	9.7	2.6	0.0	0.0	28.6	25.0	0.0	0.0
児童センター・地域子育て支援センター・はぐはぐひろば・子育てサロン	7.5	0.0	0.0	12.5	6.5	5.3	0.0	0.0	14.3	0.0	11.1	13.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.5	0.0	0.0	0.0	3.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 31. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください)
 相談に至ったきっかけは何ですか (○はいくつでも)。

全体では、「父母が気付いた」が最も多く、6 割近くとなっています。次いで、「健診」「医療機関で勧められた」となっています。
 前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

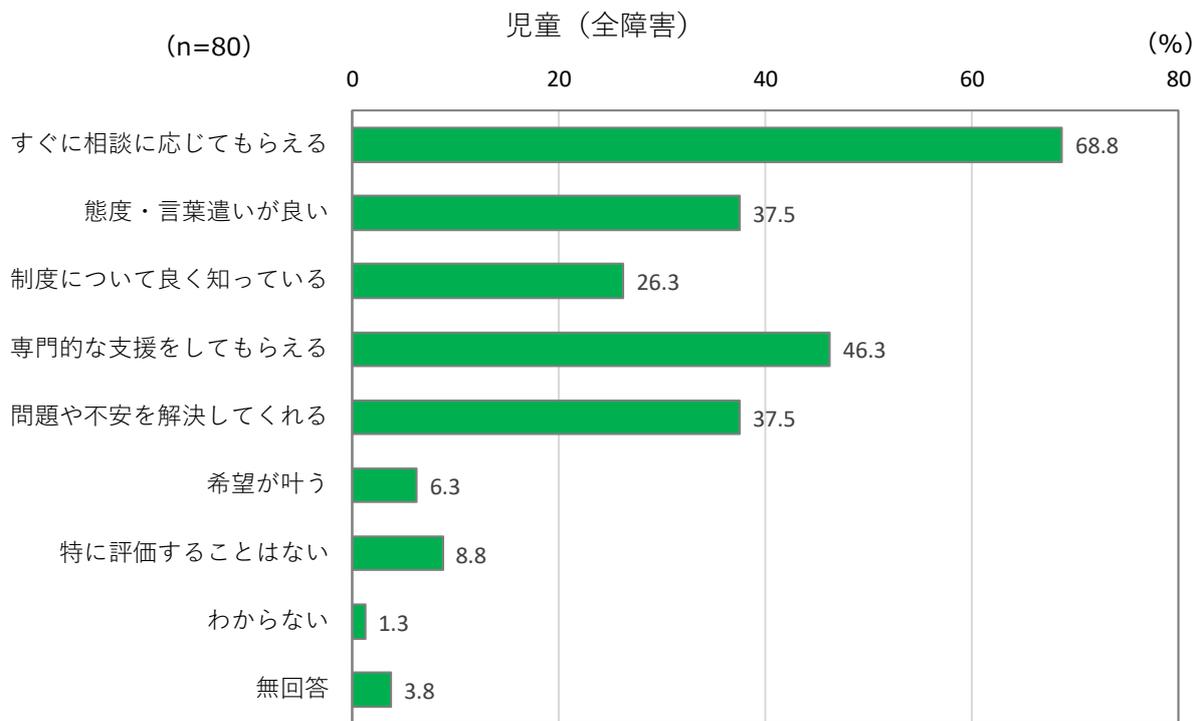


(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	80	0	2	8	31	38	0	0	7	4	9	15
父母が気付いた	58.8	0.0	100.0	25.0	51.6	65.8	0.0	0.0	42.9	0.0	66.7	80.0
祖父母が気付いた	3.8	0.0	0.0	0.0	3.2	2.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	6.7
その他の家族・親族が気付いた	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療機関で勧められた	20.0	0.0	50.0	75.0	29.0	21.1	0.0	0.0	14.3	75.0	11.1	26.7
保健師に勧められた	8.8	0.0	0.0	0.0	9.7	7.9	0.0	0.0	0.0	25.0	11.1	6.7
健診 (1歳6か月児, 3歳児)	27.5	0.0	50.0	0.0	25.8	31.6	0.0	0.0	0.0	25.0	44.4	26.7
保育園・幼稚園・認定こども園	10.0	0.0	0.0	0.0	6.5	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	6.7
友人・知人の助言	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
就学児健診	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
就学相談	5.0	0.0	0.0	25.0	9.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	11.1	0.0
出産時に相談した	2.5	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	6.7
その他	10.0	0.0	0.0	25.0	12.9	7.9	0.0	0.0	0.0	25.0	11.1	13.3
わからない	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
無回答	3.8	0.0	0.0	0.0	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 32. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください)
 利用している相談先に関して評価していることはありますか (〇はいくつでも)。

全体では、「すぐに相談に応じてもらえる」が7割近くと最も多くなっています。次いで、「専門的な支援をしてもらえる」が4割以上となっています。
 障害種別でみると、発達障害では、「専門的な支援をしてもらえる」「問題や不安を解決してくれる」と回答した人の割合が、他の障害と比べ、多い傾向が見られます。



(単位: %)

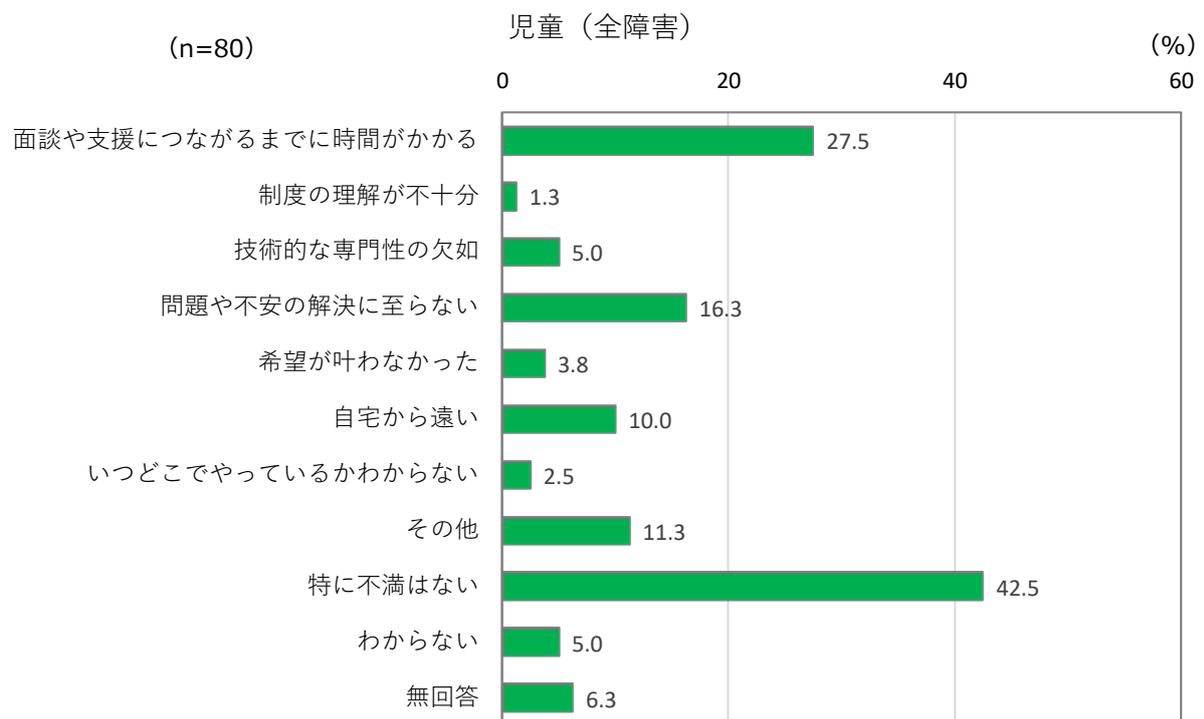
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数 (人)	80	0	2	8	31	38	0	0	7	4	9	15
すぐに相談に応じてもらえる	68.8	0.0	100.0	87.5	67.7	68.4	0.0	0.0	71.4	100.0	77.8	60.0
態度・言葉遣いが良い	37.5	0.0	50.0	37.5	35.5	36.8	0.0	0.0	14.3	0.0	44.4	53.3
制度について良く知っている	26.3	0.0	0.0	37.5	29.0	34.2	0.0	0.0	14.3	25.0	11.1	20.0
専門的な支援をしてもらえる	46.3	0.0	50.0	50.0	54.8	57.9	0.0	0.0	28.6	25.0	22.2	53.3
問題や不安を解決してくれる	37.5	0.0	0.0	0.0	29.0	42.1	0.0	0.0	14.3	50.0	44.4	53.3
希望が叶う	6.3	0.0	0.0	0.0	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	13.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に評価することはない	8.8	0.0	0.0	0.0	9.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	13.3
わからない	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
無回答	3.8	0.0	0.0	0.0	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7

問 33. (問 29 で「2. 相談した」と答えた方のみお答えください)
 利用している相談先に関する不満はありますか (〇はいくつでも)。

全体では、「特に不満はない」が 4 割以上で最も多く、次いで「面談や支援につながるまでに時間がかかる」が 3 割近くとなっています。

障害種別でみると、知的障害と発達障害については、「問題や不安の解決に至らない」が他の障害より、若干ではありますが多い傾向が見られます。

前回調査との比較では、「特に不満はない」が約 15 ポイント減少し、一方「面談や支援につながるまでに時間がかかる」が約 8 ポイント増加しています。



(単位：%)

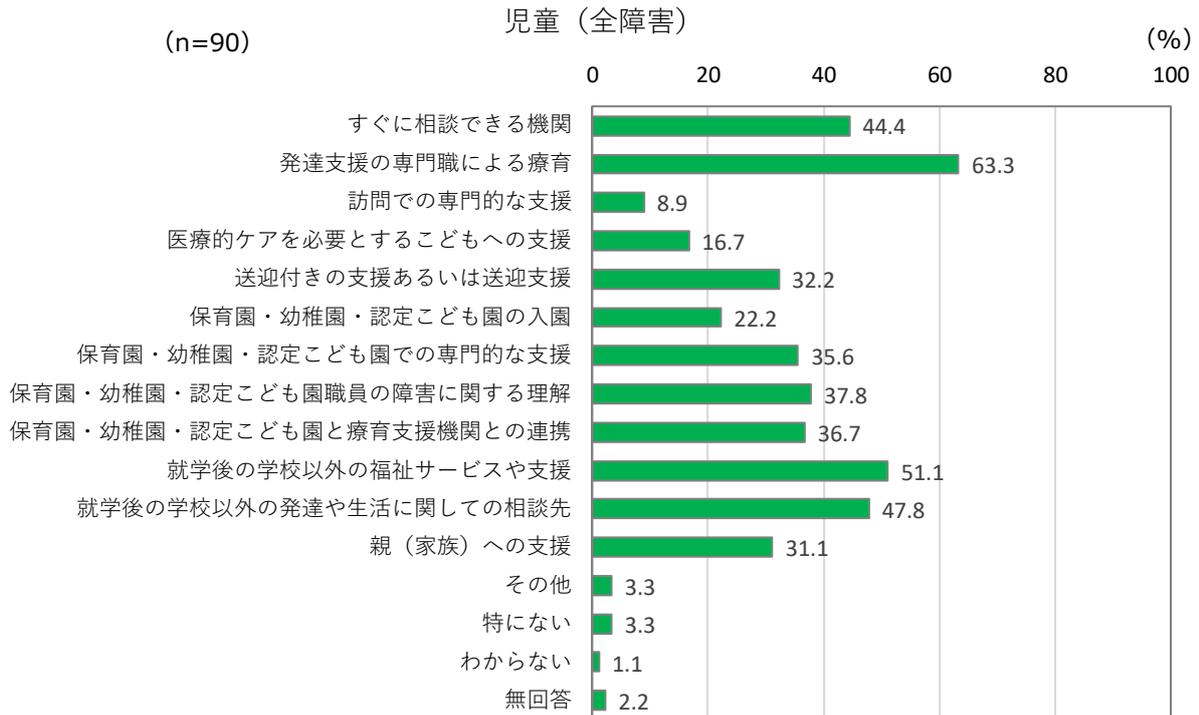
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他・
有効回答数(人)	80	0	2	8	31	38	0	0	7	4	9	15
面談や支援につながるまでに時間がかかる	27.5	0.0	50.0	0.0	25.8	36.8	0.0	0.0	14.3	0.0	22.2	33.3
態度・言葉遣いが悪い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
制度の理解が不十分	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	11.1	0.0
技術的な専門性の欠如	5.0	0.0	0.0	0.0	3.2	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問題や不安の解決に至らない	16.3	0.0	0.0	0.0	19.4	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	20.0
希望が叶わなかった	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
自宅から遠い	10.0	0.0	50.0	12.5	9.7	7.9	0.0	0.0	14.3	25.0	0.0	13.3
いっどこでやっているかわからない	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	6.7
その他	11.3	0.0	0.0	25.0	12.9	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	6.7
特に不満はない	42.5	0.0	50.0	50.0	38.7	42.1	0.0	0.0	57.1	25.0	44.4	46.7
わからない	5.0	0.0	0.0	12.5	6.5	5.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
無回答	6.3	0.0	0.0	0.0	6.5	2.6	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	13.3

問 34. 今後充実してほしい支援・サービスは何ですか（〇はいくつでも）。

全体では、「発達支援の専門職による療育」が6割以上と最も多くなっています。次いで、「就学後の学校以外の福祉サービスや支援」が5割以上となっています。

障害種別で見ると、発達障害では「発達支援の専門職による療育」が他の障害と比べ多い傾向がみられます。

前回調査と比較すると、「発達支援の専門職による療育」が約12ポイント増加して1位と2位が入れ替わっています。



(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	90	0	2	10	33	41	0	0	8	5	11	15
すぐに相談できる機関	44.4	0.0	0.0	50.0	45.5	46.3	0.0	0.0	12.5	40.0	54.5	53.3
発達支援の専門職による療育	63.3	0.0	100.0	60.0	63.6	73.2	0.0	0.0	50.0	40.0	63.6	66.7
訪問での専門的な支援	8.9	0.0	0.0	0.0	9.1	9.8	0.0	0.0	12.5	0.0	9.1	0.0
医療的ケアを必要とするこどもへの支援	16.7	0.0	0.0	30.0	15.2	9.8	0.0	0.0	100.0	20.0	0.0	6.7
送迎付きの支援あるいは送迎支援	32.2	0.0	100.0	70.0	48.5	34.1	0.0	0.0	37.5	20.0	9.1	20.0
保育園・幼稚園・認定こども園の入園	22.2	0.0	50.0	30.0	27.3	31.7	0.0	0.0	37.5	20.0	0.0	13.3
保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援	35.6	0.0	50.0	40.0	24.2	39.0	0.0	0.0	12.5	20.0	45.5	46.7
保育園・幼稚園・認定こども園職員の障害に関する理解	37.8	0.0	50.0	50.0	33.3	43.9	0.0	0.0	25.0	20.0	18.2	46.7
保育園・幼稚園・認定こども園と療育支援機関との連携	36.7	0.0	50.0	50.0	30.3	39.0	0.0	0.0	12.5	20.0	45.5	46.7
就学後の学校以外の福祉サービスや支援	51.1	0.0	50.0	60.0	63.6	68.3	0.0	0.0	25.0	60.0	27.3	33.3
就学後の学校以外の発達や生活に関しての相談先	47.8	0.0	50.0	40.0	54.5	63.4	0.0	0.0	12.5	20.0	45.5	46.7
親(家族)への支援	31.1	0.0	50.0	40.0	51.5	41.5	0.0	0.0	25.0	60.0	0.0	26.7
その他	3.3	0.0	0.0	10.0	6.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
特になし	3.3	0.0	0.0	0.0	3.0	2.4	0.0	0.0	0.0	20.0	9.1	0.0
わからない	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	6.7
無回答	2.2	0.0	0.0	0.0	3.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

こども ～小学校入学後（学齡期）～

（問 35～39 は小学校入学後の方のみ回答）

問 35.（※保護者の方がお答えください）

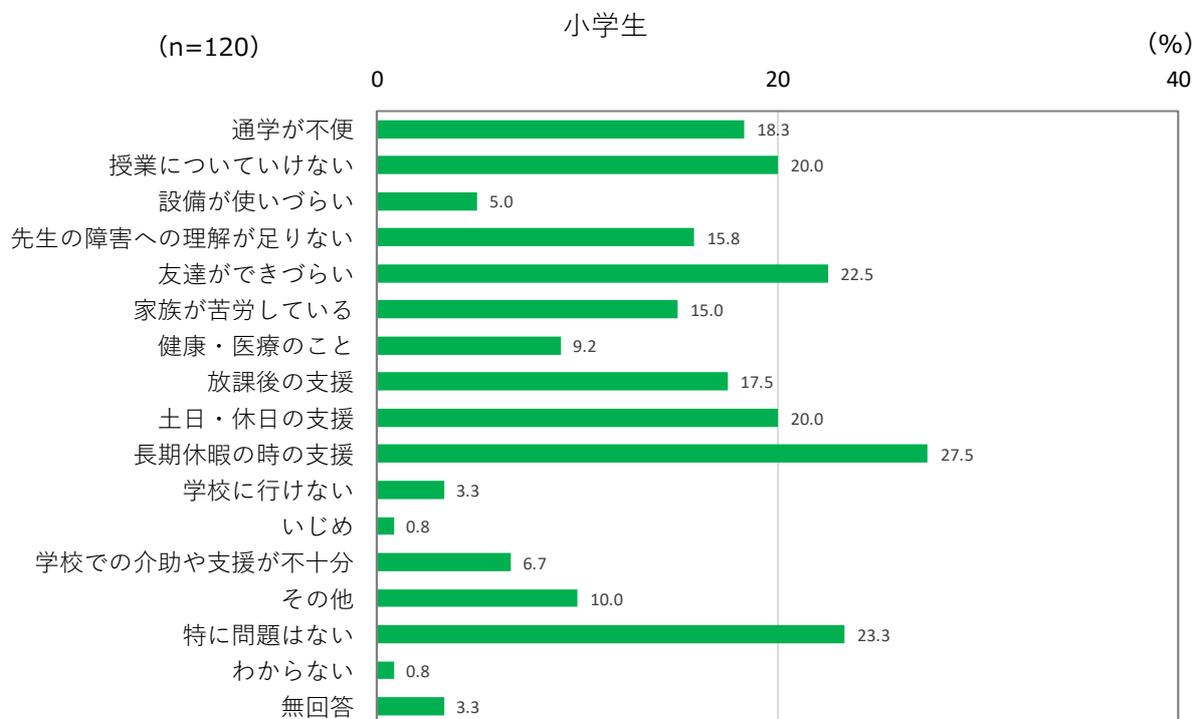
学校生活で困った，困っていることはありますか（〇はいくつでも）。

【小学生】

小学生全体では，「長期休暇の時の支援」が3割近くと最も多く，次いで「友達ができづらい」が2割以上となっています。

障害種別でみると，発達障害では「長期休暇の時の支援」と「友達ができづらい」の割合が，他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比べ，大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

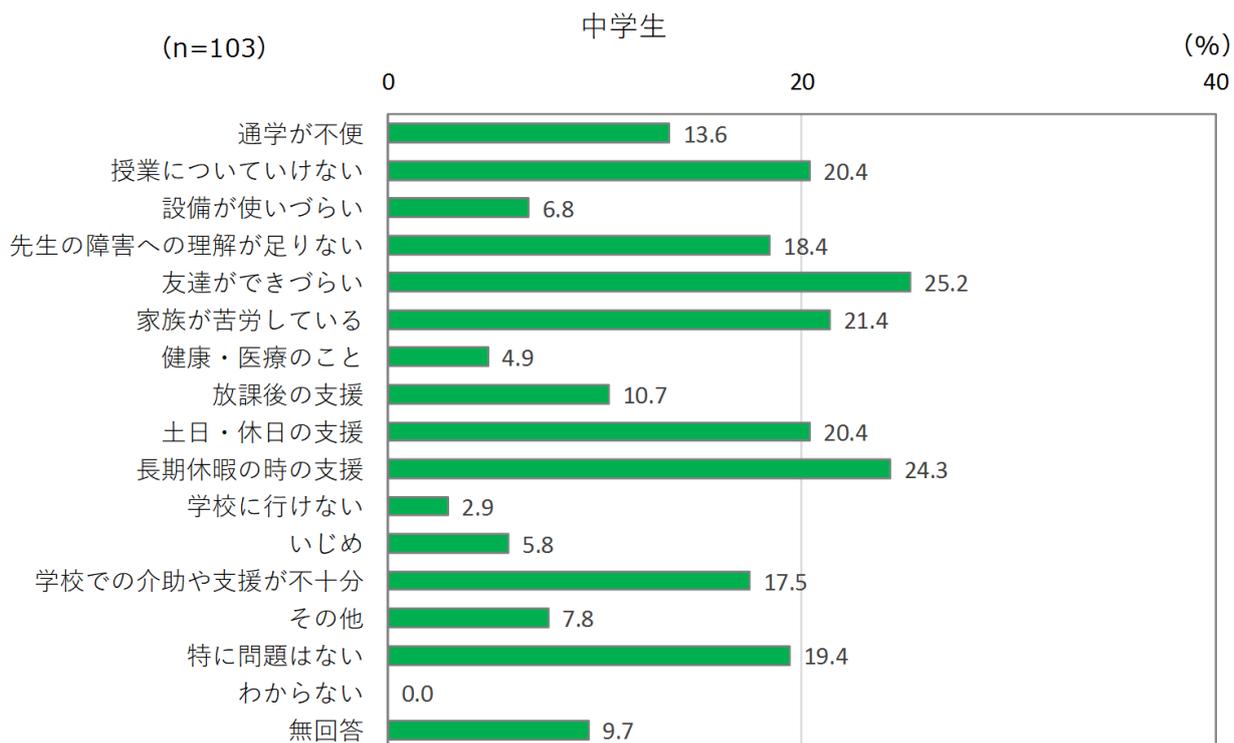
小学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	120	0	6	16	76	63	3	0	6	9	6	4
通学が不便	18.3	0.0	16.7	43.8	19.7	17.5	0.0	0.0	16.7	44.4	0.0	25.0
授業についていけない	20.0	0.0	0.0	0.0	15.8	19.0	33.3	0.0	16.7	22.2	83.3	50.0
設備が使いづらい	5.0	0.0	0.0	12.5	6.6	6.3	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	0.0
先生の障害への理解が足りない	15.8	0.0	0.0	6.3	14.5	23.8	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	25.0
友達ができづらい	22.5	0.0	16.7	12.5	18.4	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0
家族が苦労している	15.0	0.0	0.0	6.3	17.1	22.2	0.0	0.0	33.3	11.1	16.7	0.0
健康・医療のこと	9.2	0.0	16.7	12.5	9.2	9.5	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0
放課後の支援	17.5	0.0	16.7	25.0	21.1	19.0	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
土日・休日の支援	20.0	0.0	50.0	31.3	26.3	19.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
長期休暇の時の支援	27.5	0.0	0.0	25.0	30.3	34.9	33.3	0.0	33.3	44.4	16.7	25.0
学校に行けない	3.3	0.0	0.0	0.0	2.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
いじめ	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校での介助や支援が不十分	6.7	0.0	0.0	12.5	7.9	9.5	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	25.0
その他	10.0	0.0	0.0	12.5	11.8	7.9	0.0	0.0	16.7	11.1	16.7	0.0
特に問題はない	23.3	0.0	33.3	25.0	27.6	17.5	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	25.0
わからない	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.3	0.0	0.0	0.0	2.6	3.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【中学生】

中学生全体では、「友達ができづらい」「長期休暇の時の支援」「家族が苦勞している」「授業についていけない」「土日・休日の支援」と回答した人が多く、それぞれ2割以上となっています。

障害種別で見ると、発達障害は「先生の障害への理解が足りない」の割合が、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

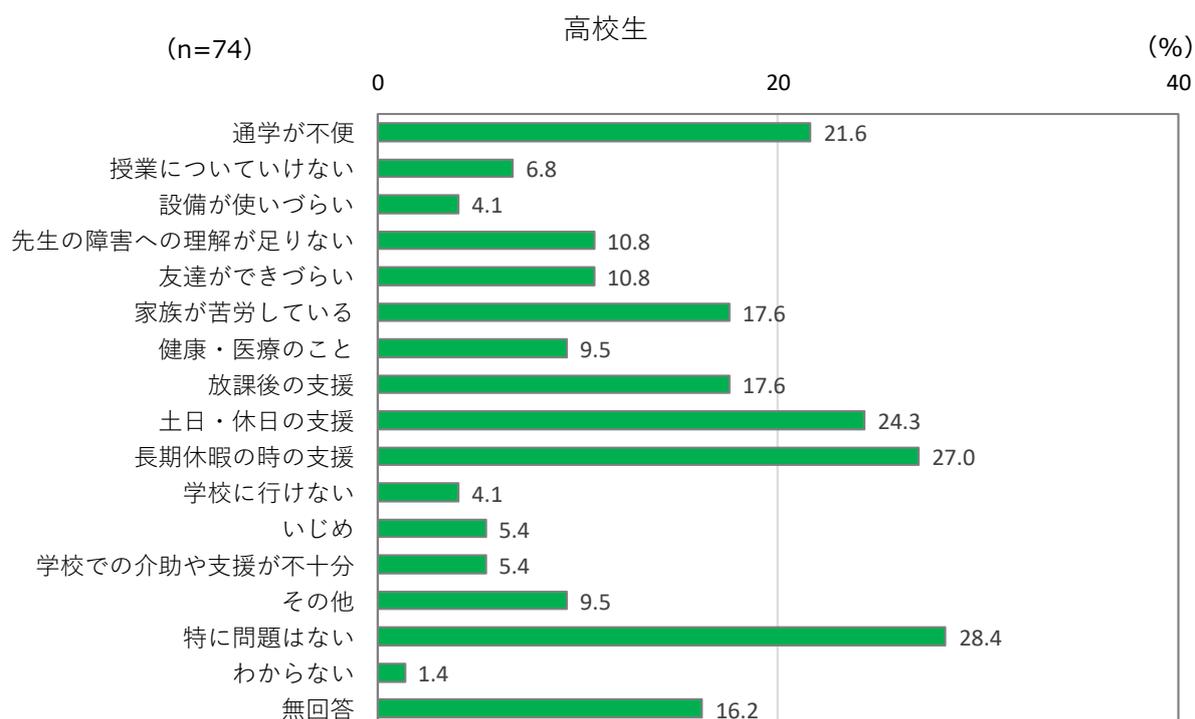
中学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	103	2	1	4	75	42	3	1	2	4	5	7
通学が不便	13.6	0.0	0.0	50.0	14.7	11.9	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	14.3
授業についていけない	20.4	50.0	0.0	0.0	14.7	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	42.9
設備が使いづらい	6.8	0.0	0.0	25.0	9.3	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
先生の障害への理解が足りない	18.4	0.0	0.0	50.0	18.7	23.8	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	28.6
友達ができづらい	25.2	50.0	100.0	25.0	20.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	60.0	28.6
家族が苦労している	21.4	50.0	0.0	75.0	21.3	28.6	33.3	0.0	0.0	25.0	20.0	28.6
健康・医療のこと	4.9	50.0	0.0	25.0	4.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後の支援	10.7	0.0	0.0	0.0	8.0	11.9	0.0	0.0	0.0	25.0	20.0	14.3
土日・休日の支援	20.4	0.0	0.0	50.0	21.3	28.6	0.0	0.0	0.0	25.0	20.0	0.0
長期休暇の時の支援	24.3	50.0	0.0	25.0	22.7	38.1	0.0	0.0	0.0	50.0	20.0	14.3
学校に行けない	2.9	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
いじめ	5.8	50.0	0.0	0.0	4.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
学校での介助や支援が不十分	17.5	0.0	0.0	75.0	20.0	21.4	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	14.3
その他	7.8	0.0	0.0	0.0	6.7	14.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	14.3
特に問題はない	19.4	50.0	0.0	0.0	24.0	14.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
無回答	9.7	0.0	0.0	0.0	6.7	2.4	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	14.3

【高校生】

高校生全体では、「特に問題はない」が3割近くとなっています。困り事としては、「長期休暇の時の支援」が3割近くと最も多く、次いで「土日・休日の支援」「通学が不便」となっています。

また、中学生と同様に、発達障害は「先生の障害への理解が足りない」の割合が、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比べると「通学が不便」が約12ポイント、「健康・医療のこと」が約44ポイント減少しています。



(単位：%)

高校生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	74	1	4	3	58	25	2	0	4	4	1	2
通学が不便	21.6	100.0	0.0	33.3	27.6	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
授業についていけない	6.8	0.0	0.0	33.3	0.0	4.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0
設備が使いづらい	4.1	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
先生の障害への理解が足りない	10.8	0.0	0.0	0.0	10.3	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0
友達ができづらい	10.8	0.0	25.0	0.0	12.1	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族が苦労している	17.6	100.0	25.0	33.3	22.4	16.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
健康・医療のこと	9.5	0.0	50.0	0.0	8.6	12.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
放課後の支援	17.6	100.0	25.0	33.3	20.7	24.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
土日・休日の支援	24.3	0.0	50.0	0.0	29.3	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
長期休暇の時の支援	27.0	100.0	25.0	33.3	31.0	44.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
学校に行けない	4.1	0.0	0.0	0.0	5.2	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
いじめ	5.4	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
学校での介助や支援が不十分	5.4	0.0	25.0	0.0	3.4	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0
その他	9.5	0.0	0.0	33.3	10.3	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に問題はない	28.4	0.0	50.0	0.0	27.6	32.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0
わからない	1.4	0.0	0.0	33.3	1.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16.2	0.0	0.0	0.0	12.1	8.0	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0

問 36. (※保護者の方がお答えください)

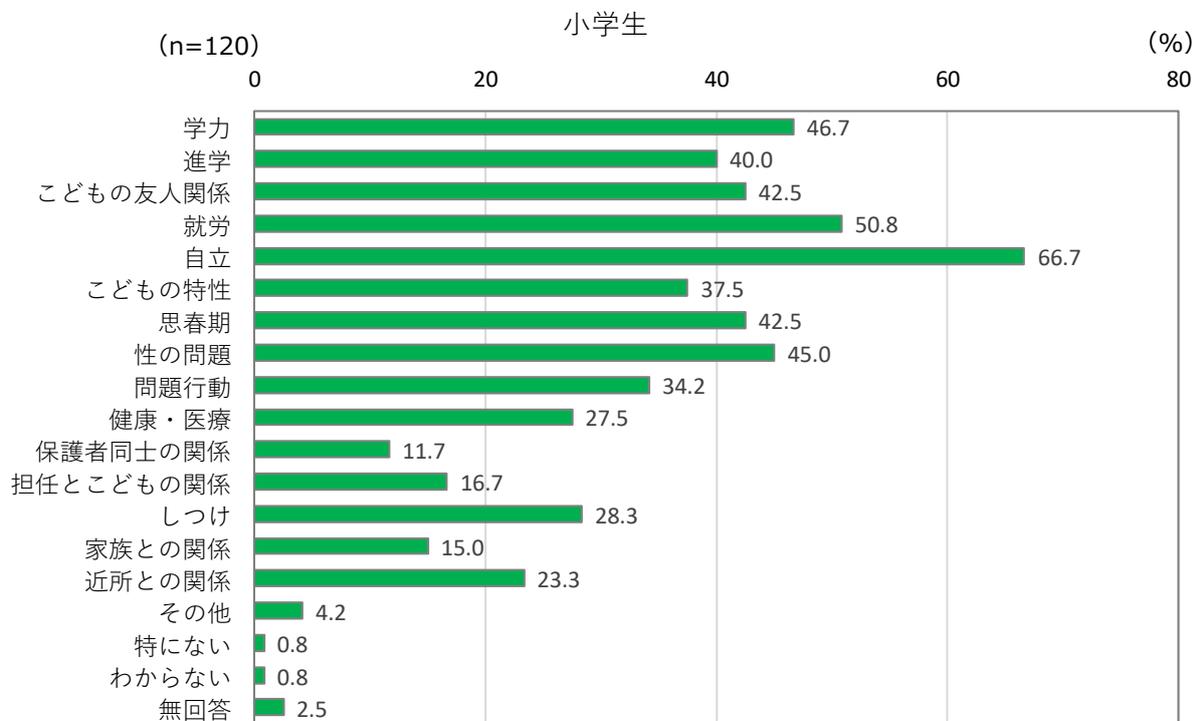
学齢期に子育てをするうえでどのようなことに不安がありますか (〇はいくつでも)。

【小学生】

小学生全体については、「自立」が6割以上と最も多く、次いで「就労」が5割以上となっています。

障害種別でみると、知的障害、発達障害では、「自立」が7割程度、「就労」が5割以上と、他の障害と比べ多くなっています。また、全体的に、発達障害については様々な不安があることがうかがえます。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)



(単位：%)

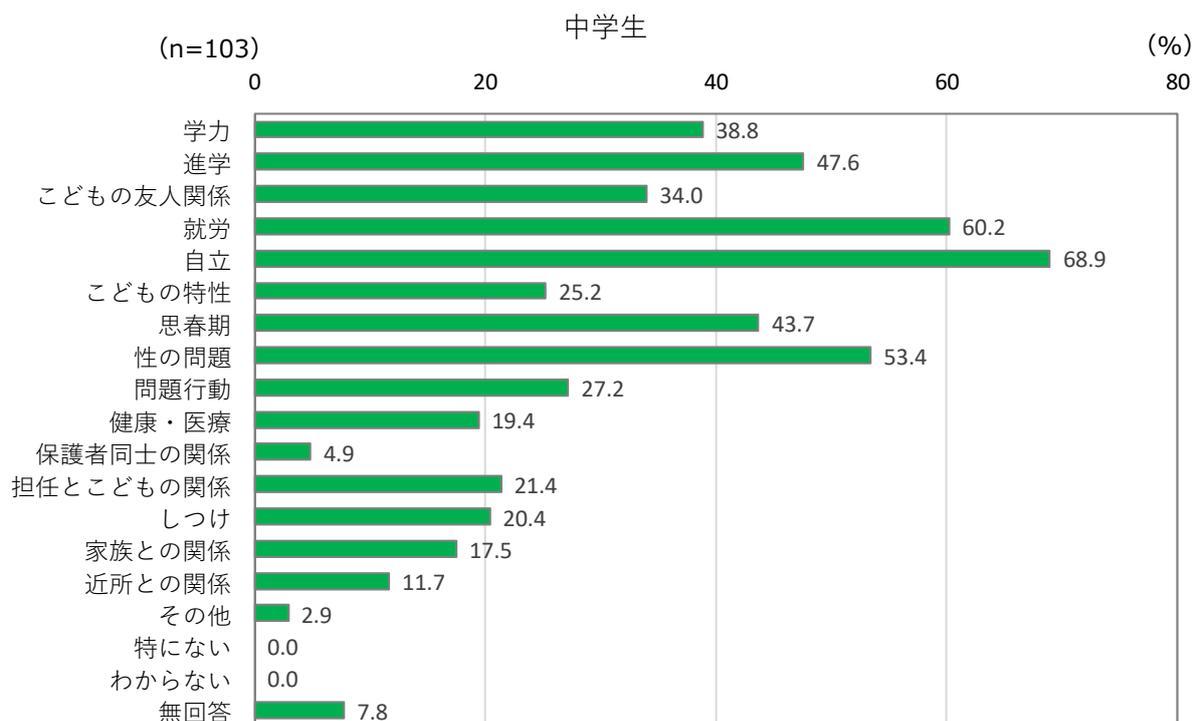
小学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	120	0	6	16	76	63	3	0	6	9	6	4
学力	46.7	0.0	50.0	25.0	39.5	57.1	33.3	0.0	50.0	22.2	66.7	50.0
進学	40.0	0.0	33.3	25.0	31.6	50.8	33.3	0.0	16.7	22.2	50.0	25.0
こどもの友人関係	42.5	0.0	0.0	18.8	32.9	47.6	33.3	0.0	50.0	44.4	50.0	25.0
就労	50.8	0.0	33.3	37.5	53.9	61.9	33.3	0.0	16.7	22.2	16.7	25.0
自立	66.7	0.0	50.0	50.0	69.7	71.4	33.3	0.0	83.3	33.3	33.3	25.0
こどもの特性	37.5	0.0	33.3	12.5	39.5	55.6	33.3	0.0	16.7	11.1	16.7	75.0
思春期	42.5	0.0	0.0	25.0	43.4	50.8	0.0	0.0	50.0	44.4	33.3	25.0
性の問題	45.0	0.0	16.7	18.8	51.3	63.5	0.0	0.0	16.7	22.2	16.7	25.0
問題行動	34.2	0.0	33.3	12.5	38.2	49.2	0.0	0.0	16.7	11.1	16.7	25.0
健康・医療	27.5	0.0	33.3	50.0	34.2	22.2	33.3	0.0	83.3	77.8	0.0	25.0
保護者同士の関係	11.7	0.0	0.0	6.3	14.5	17.5	33.3	0.0	16.7	11.1	0.0	25.0
担任とこどもの関係	16.7	0.0	0.0	18.8	19.7	25.4	33.3	0.0	33.3	11.1	0.0	25.0
しつけ	28.3	0.0	33.3	18.8	38.2	25.4	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
家族との関係	15.0	0.0	0.0	0.0	13.2	20.6	0.0	0.0	16.7	22.2	16.7	0.0
近所との関係	23.3	0.0	16.7	12.5	32.9	31.7	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	25.0
その他	4.2	0.0	0.0	12.5	6.6	3.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
特になし	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.5	0.0	0.0	0.0	2.6	1.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【中学生】

中学生全体では、小学生と同様の傾向がみられ、「自立」が7割近くと最も多くなっています。次いで、就労も多く、全体の6割以上となっています。

発達障害については、「自立」と答えた人が8割以上となっています。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)



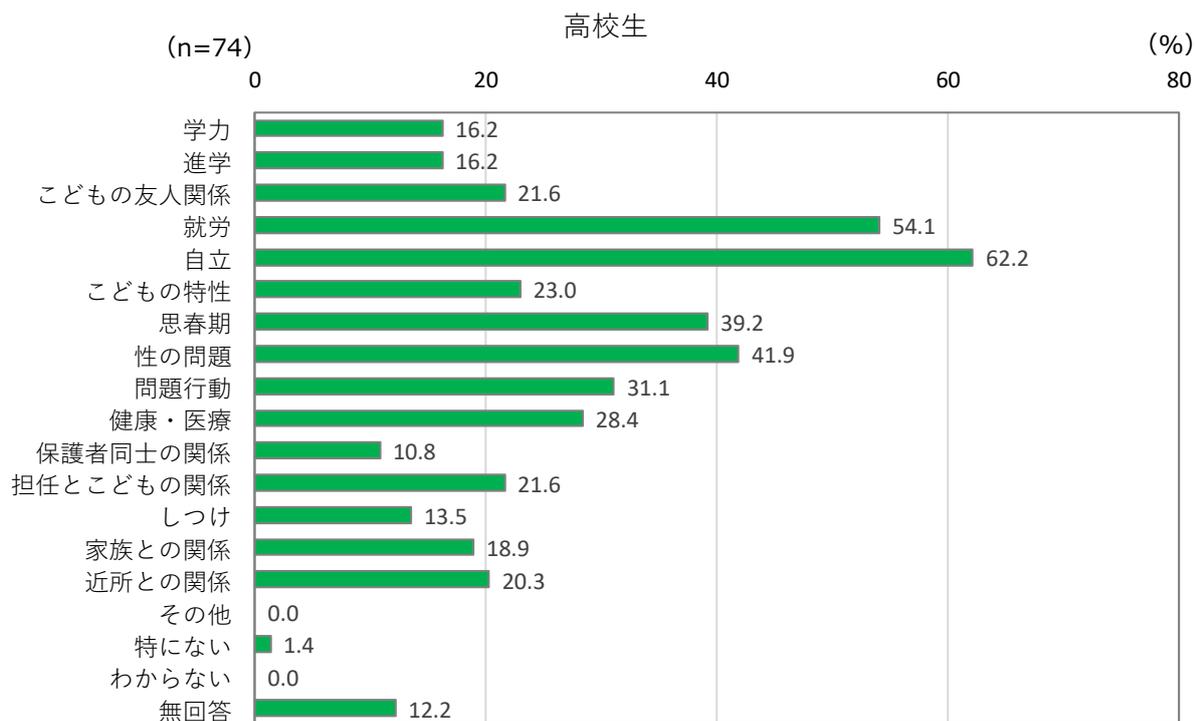
(単位：%)

中学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	103	2	1	4	75	42	3	1	2	4	5	7
学力	38.8	100.0	100.0	25.0	33.3	42.9	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	42.9
進学	47.6	100.0	0.0	25.0	40.0	61.9	66.7	0.0	50.0	0.0	100.0	57.1
こどもの友人関係	34.0	50.0	100.0	25.0	25.3	45.2	33.3	0.0	100.0	0.0	100.0	57.1
就労	60.2	100.0	100.0	50.0	64.0	64.3	66.7	0.0	100.0	50.0	80.0	28.6
自立	68.9	100.0	100.0	75.0	74.7	81.0	66.7	0.0	100.0	50.0	80.0	28.6
こどもの特性	25.2	50.0	0.0	25.0	21.3	47.6	33.3	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
思春期	43.7	50.0	0.0	25.0	42.7	61.9	33.3	0.0	50.0	25.0	40.0	42.9
性の問題	53.4	100.0	100.0	50.0	60.0	73.8	33.3	0.0	50.0	25.0	20.0	14.3
問題行動	27.2	0.0	0.0	25.0	25.3	52.4	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
健康・医療	19.4	50.0	100.0	75.0	22.7	19.0	33.3	0.0	100.0	50.0	0.0	14.3
保護者同士の関係	4.9	50.0	100.0	0.0	1.3	7.1	0.0	0.0	50.0	0.0	20.0	14.3
担任とこどもの関係	21.4	50.0	0.0	50.0	21.3	21.4	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	42.9
しつけ	20.4	50.0	0.0	25.0	21.3	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	14.3
家族との関係	17.5	100.0	0.0	25.0	17.3	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
近所との関係	11.7	50.0	0.0	0.0	12.0	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	20.0	0.0
その他	2.9	0.0	0.0	25.0	4.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.8	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	14.3

【高校生】

高校生全体についても、小学生・中学生と同様の傾向がみられ、「自立」が6割以上で最も多く、次いで「就労」が5割以上となっています。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)



(単位：%)

高校生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	74	1	4	3	58	25	2	0	4	4	1	2
学力	16.2	0.0	0.0	33.3	10.3	16.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0
進学	16.2	0.0	0.0	0.0	12.1	16.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0
こどもの友人関係	21.6	0.0	0.0	33.3	13.8	24.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0
就労	54.1	0.0	75.0	0.0	56.9	64.0	50.0	0.0	25.0	25.0	100.0	100.0
自立	62.2	100.0	75.0	66.7	67.2	60.0	50.0	0.0	25.0	50.0	100.0	100.0
こどもの特性	23.0	0.0	50.0	33.3	25.9	32.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
思春期	39.2	0.0	50.0	66.7	41.4	52.0	50.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0
性の問題	41.9	100.0	50.0	66.7	46.6	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
問題行動	31.1	0.0	75.0	0.0	37.9	48.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
健康・医療	28.4	0.0	25.0	33.3	31.0	20.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
保護者同士の関係	10.8	0.0	0.0	0.0	10.3	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
担任とこどもの関係	21.6	0.0	0.0	33.3	20.7	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
しつけ	13.5	100.0	0.0	66.7	13.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
家族との関係	18.9	100.0	0.0	66.7	20.7	16.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
近所との関係	20.3	0.0	0.0	0.0	22.4	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	12.2	0.0	0.0	0.0	12.1	4.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

問 37. (※保護者の方がお答えください)

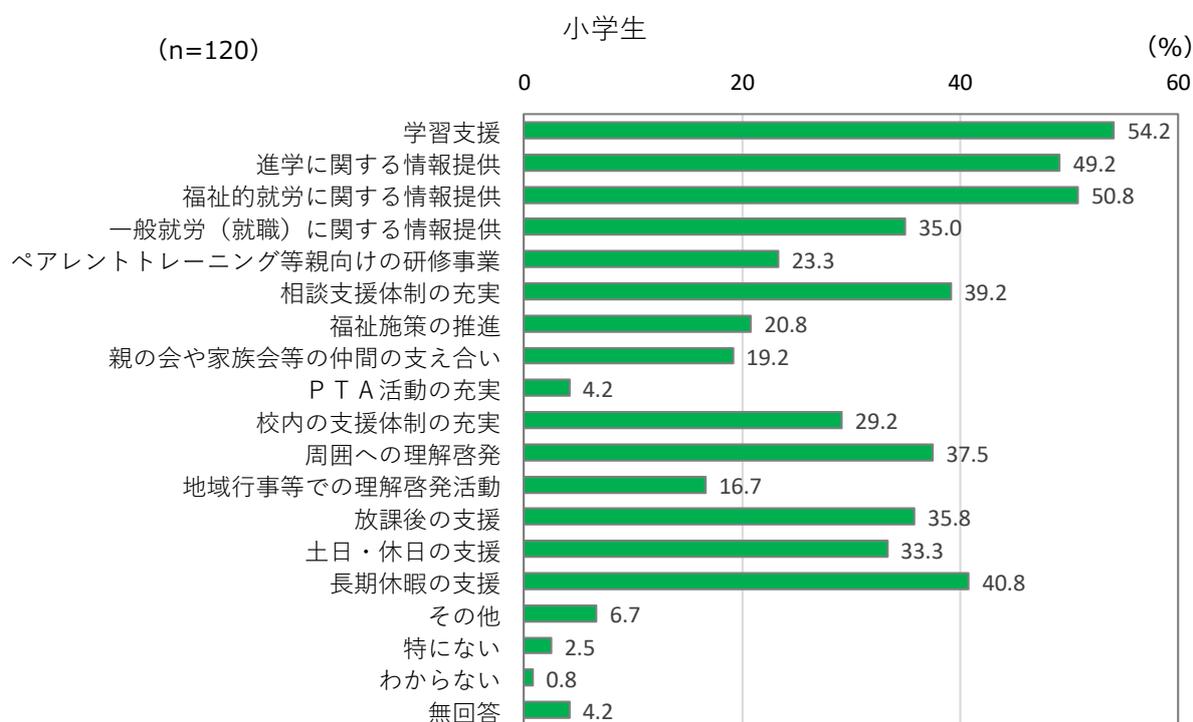
学齢期に子育てをするうえでどんな援助を希望しますか (〇はいくつでも)。

【小学生】

小学生全体については、「学習支援」が5割以上で最も多く、次いで「福祉的就労に関する情報提供」「進学に関する情報提供」となっています。

知的障害、発達障害については、「福祉的就労に関する情報提供」「長期休暇の支援」と回答した人の割合が、他の障害と比べ多くなっています。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)



(単位：%)

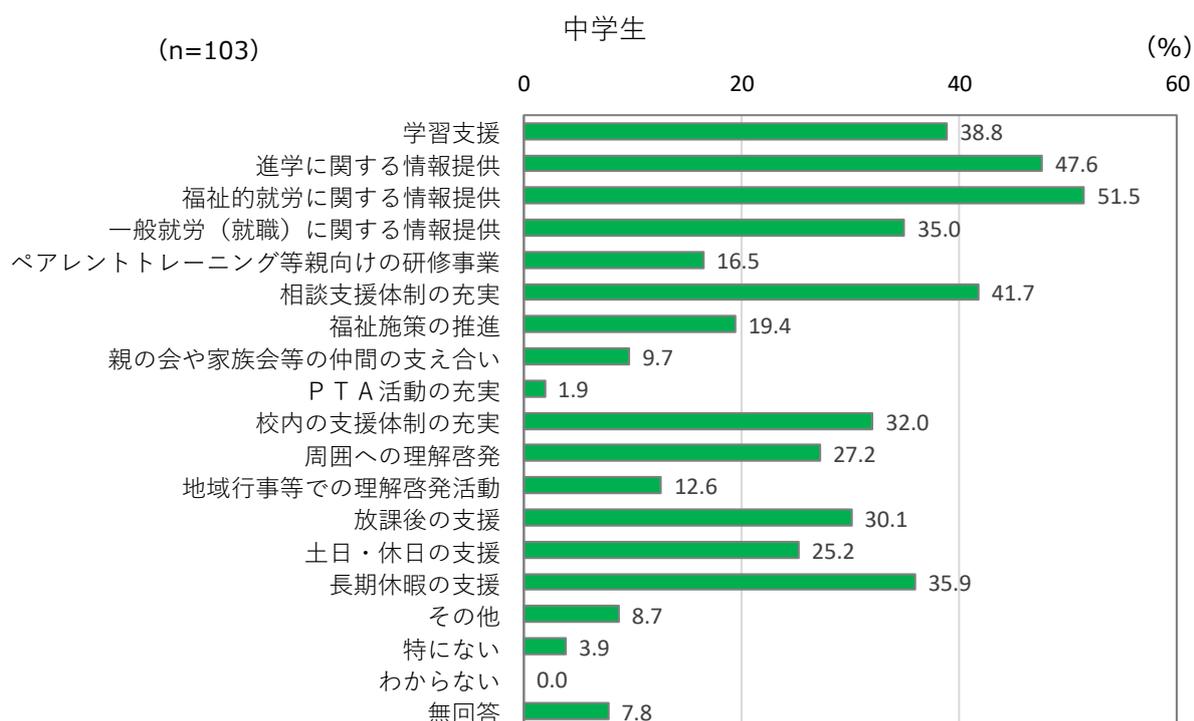
小学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	120	0	6	16	76	63	3	0	6	9	6	4
学習支援	54.2	0.0	50.0	31.3	52.6	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	75.0
進学に関する情報提供	49.2	0.0	16.7	25.0	42.1	57.1	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	25.0
福祉的就労に関する情報提供	50.8	0.0	33.3	43.8	60.5	61.9	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	25.0
一般就労(就職)に関する情報提供	35.0	0.0	33.3	18.8	32.9	41.3	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0
ペアレントトレーニング等親向けの研修事業	23.3	0.0	16.7	18.8	23.7	30.2	33.3	0.0	16.7	11.1	16.7	0.0
相談支援体制の充実	39.2	0.0	33.3	37.5	36.8	44.4	33.3	0.0	16.7	33.3	33.3	25.0
福祉施策の推進	20.8	0.0	0.0	18.8	26.3	25.4	0.0	0.0	16.7	22.2	0.0	0.0
親の会や家族会等の仲間の支え合い	19.2	0.0	16.7	6.3	21.1	25.4	0.0	0.0	0.0	22.2	16.7	0.0
P T A 活動の充実	4.2	0.0	0.0	0.0	2.6	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
校内の支援体制の充実	29.2	0.0	33.3	43.8	30.3	38.1	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	25.0
周囲への理解啓発	37.5	0.0	16.7	18.8	40.8	50.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0
地域行事等での理解啓発活動	16.7	0.0	0.0	25.0	18.4	19.0	0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	25.0
放課後の支援	35.8	0.0	66.7	37.5	44.7	36.5	33.3	0.0	16.7	44.4	16.7	0.0
土日・休日の支援	33.3	0.0	66.7	37.5	43.4	36.5	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
長期休暇の支援	40.8	0.0	50.0	31.3	50.0	47.6	33.3	0.0	33.3	44.4	16.7	25.0
その他	6.7	0.0	16.7	25.0	7.9	1.6	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	25.0
特になし	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	25.0
わからない	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
無回答	4.2	0.0	0.0	0.0	3.9	1.6	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

【中学生】

中学生全体では、「福祉的就労に関する情報提供」「進学に関する情報提供」が5割程度と多くなっています。

発達障害については、全体の上位項目に加え、「相談支援体制の充実」「校内の支援体制の充実」「長期休暇の支援」と回答した人の割合についても、他の障害と比べ多くなっています。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)



(単位：%)

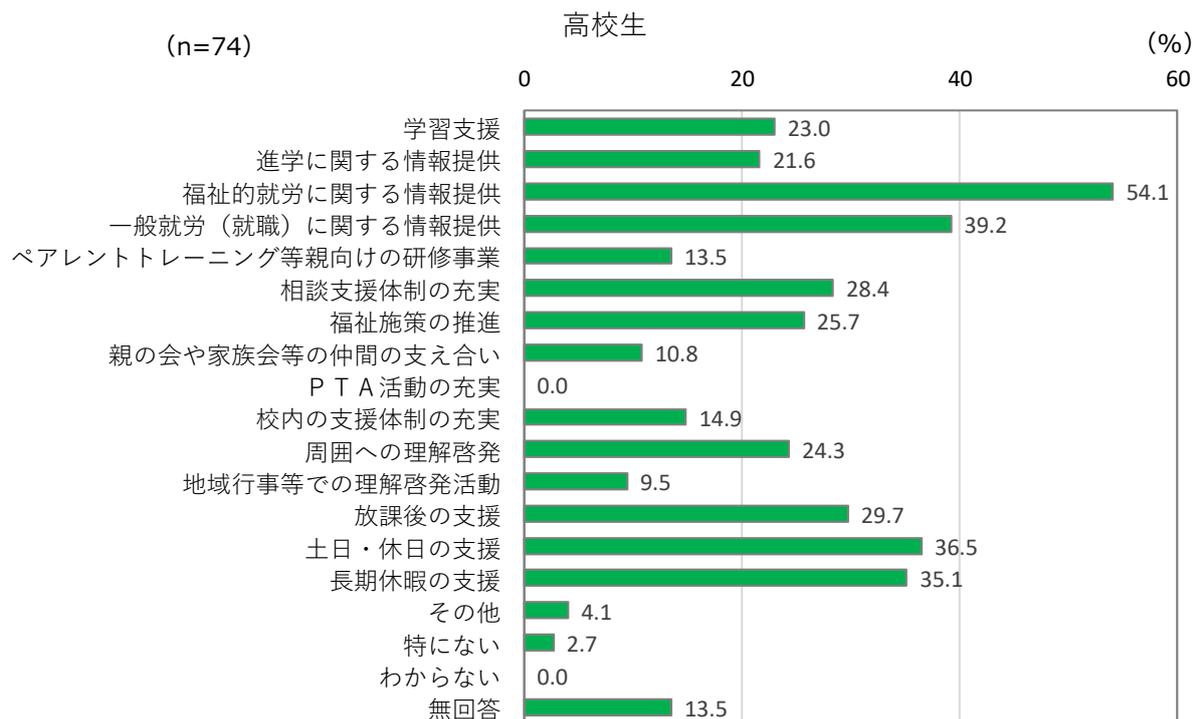
中学生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	103	2	1	4	75	42	3	1	2	4	5	7
学習支援	38.8	100.0	100.0	25.0	37.3	40.5	0.0	0.0	100.0	0.0	80.0	42.9
進学に関する情報提供	47.6	100.0	0.0	25.0	45.3	66.7	66.7	0.0	50.0	0.0	60.0	42.9
福祉的就労に関する情報提供	51.5	50.0	100.0	50.0	60.0	61.9	66.7	0.0	100.0	25.0	0.0	14.3
一般就労(就職)に関する情報提供	35.0	50.0	100.0	25.0	37.3	35.7	33.3	0.0	100.0	0.0	60.0	14.3
ペアレントトレーニング等親向けの研修事業	16.5	0.0	0.0	0.0	21.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談支援体制の充実	41.7	0.0	100.0	50.0	48.0	52.4	33.3	0.0	100.0	25.0	20.0	14.3
福祉施策の推進	19.4	0.0	0.0	25.0	22.7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親の会や家族会等の仲間の支え合い	9.7	0.0	0.0	0.0	12.0	14.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
P T A 活動の充実	1.9	0.0	0.0	0.0	2.7	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
校内の支援体制の充実	32.0	50.0	0.0	25.0	28.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	14.3
周囲への理解啓発	27.2	0.0	0.0	50.0	29.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	28.6
地域行事等での理解啓発活動	12.6	0.0	0.0	25.0	14.7	19.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	14.3
放課後の支援	30.1	50.0	0.0	50.0	33.3	35.7	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
土日・休日の支援	25.2	0.0	0.0	50.0	28.0	31.0	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
長期休暇の支援	35.9	100.0	0.0	75.0	38.7	47.6	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
その他	8.7	0.0	0.0	50.0	8.0	11.9	33.3	0.0	0.0	25.0	20.0	0.0
特になし	3.9	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.8	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	14.3

【高校生】

高校生全体については、「福祉就労に関する情報提供」と回答した人は5割以上と多くなっています。

知的障害、発達障害については、全体の上位項目に加え、「土日・休日の支援」「長期休暇の支援」と回答した人の割合が、他の障害と比べ多くなっています。

(前回調査では児童全体および詳細な学校別で分析を行っているため、本調査とは比較していません。)

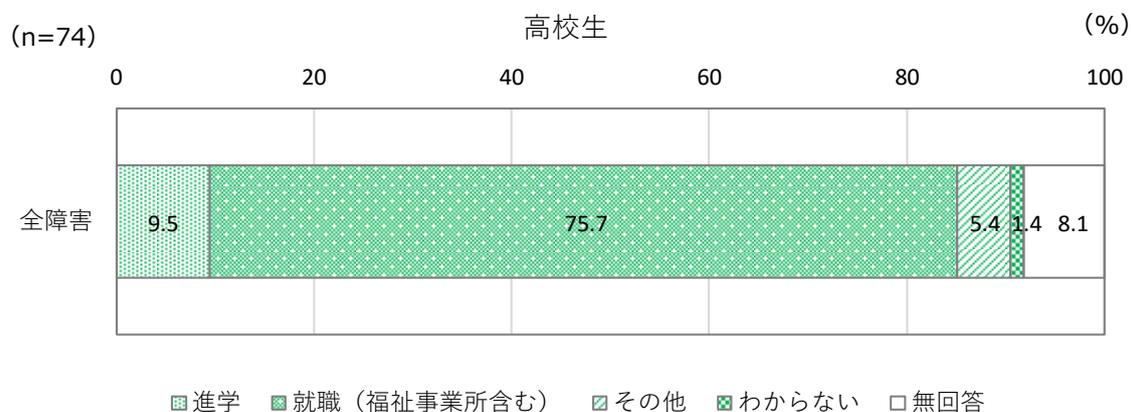


(単位：%)

高校生	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	74	1	4	3	58	25	2	0	4	4	1	2
学習支援	23.0	0.0	25.0	33.3	17.2	28.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0
進学に関する情報提供	21.6	0.0	25.0	66.7	19.0	32.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0
福祉的就労に関する情報提供	54.1	100.0	75.0	100.0	60.3	68.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
一般就労(就職)に関する情報提供	39.2	0.0	25.0	33.3	36.2	44.0	50.0	0.0	25.0	50.0	100.0	50.0
ペアレントトレーニング等親向けの研修事業	13.5	0.0	0.0	33.3	15.5	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
相談支援体制の充実	28.4	100.0	75.0	33.3	32.8	32.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
福祉施策の推進	25.7	0.0	50.0	0.0	29.3	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
親の会や家族会等の仲間の支え合い	10.8	0.0	50.0	0.0	12.1	8.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
校内の支援体制の充実	14.9	0.0	25.0	0.0	17.2	24.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
周囲への理解啓発	24.3	0.0	50.0	0.0	29.3	24.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
地域行事等での理解啓発活動	9.5	0.0	0.0	0.0	12.1	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後の支援	29.7	100.0	50.0	66.7	37.9	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
土日・休日の支援	36.5	100.0	50.0	66.7	41.4	68.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
長期休暇の支援	35.1	100.0	50.0	66.7	39.7	64.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	4.1	0.0	0.0	0.0	5.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	2.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	13.5	0.0	0.0	0.0	12.1	4.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

(問 38 と問 39 は高等部 (または高等学校) に在籍している方のみ回答)
 問 38. 学校卒業後, どんな進路を希望していますか (〇はひとつ)。

全体では, 「就職 (福祉事業所含む)」が最も多く, 7 割以上となっています。



(単位: %)

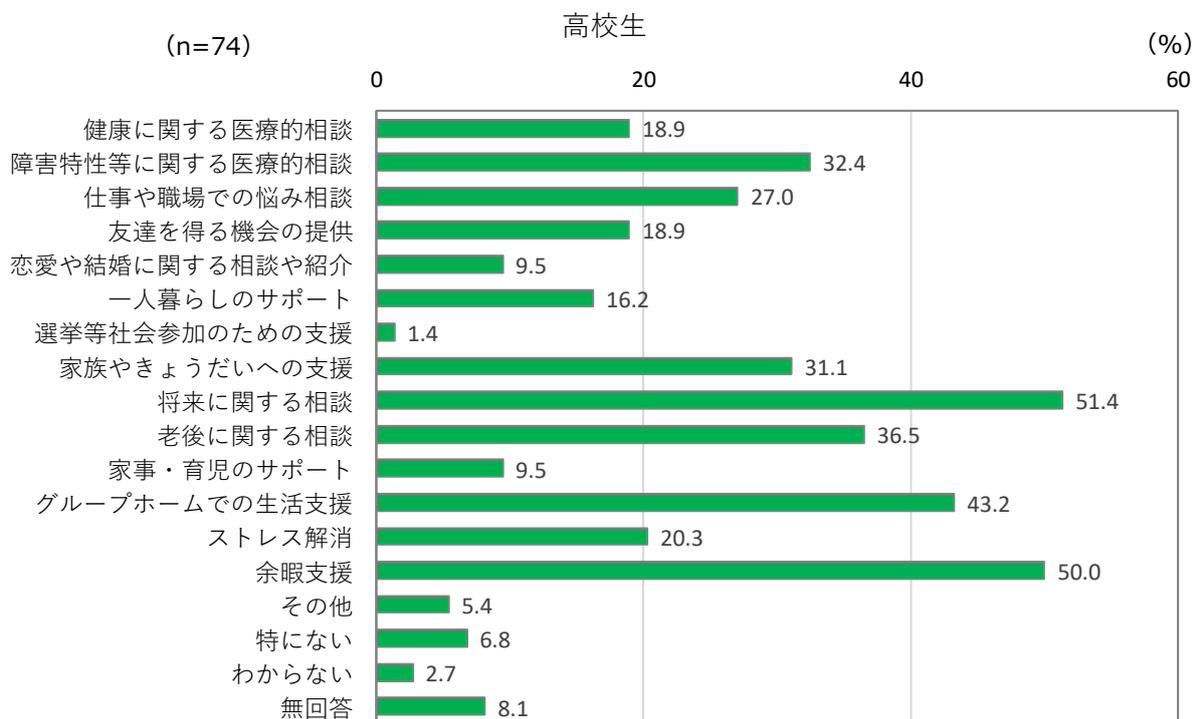
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数 (人)	74	1	4	3	58	25	2	0	4	4	1	2
進学	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	100.0	0.0	0.0
就職 (福祉事業所含む)	75.7	100.0	100.0	100.0	86.2	84.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
自営業の手伝い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
進学も就職もするつもりはない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.4	0.0	0.0	0.0	6.9	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
わからない	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	8.1	0.0	0.0	0.0	6.9	4.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0

問 39. 学校卒業後、どんな支援を希望しますか（〇はいくつでも）。

全体では、「将来に関する相談」「余暇支援」が5割以上で多くなっています。次いで、「グループホームでの生活支援」が4割以上と多く、グループホームへの関心の高さがうかがえます。

障害種別でみると、知的障害と発達障害では「余暇支援」と回答した人の割合が、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比較すると、「将来に関する相談」の割合はあまり変わりませんが、「余暇支援」は約18ポイント、「グループホームでの生活支援」は約22ポイント増加しています。



(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	74	1	4	3	58	25	2	0	4	4	1	2
健康に関する医療的相談	18.9	0.0	0.0	0.0	20.7	20.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
障害特性等に関する医療的相談	32.4	0.0	50.0	66.7	37.9	40.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
仕事や職場での悩み相談	27.0	0.0	25.0	0.0	29.3	28.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
友達を得る機会の提供	18.9	0.0	25.0	0.0	22.4	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
恋愛や結婚に関する相談や紹介	9.5	0.0	0.0	0.0	6.9	16.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
一人暮らしのサポート	16.2	0.0	0.0	0.0	19.0	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
選挙等社会参加のための支援	1.4	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族やきょうだいへの支援	31.1	0.0	75.0	33.3	34.5	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
将来に関する相談	51.4	100.0	75.0	66.7	56.9	60.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
老後に関する相談	36.5	0.0	75.0	0.0	43.1	36.0	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
家事・育児のサポート	9.5	0.0	0.0	33.3	10.3	16.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホームでの生活支援	43.2	100.0	75.0	33.3	55.2	40.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
ストレス解消	20.3	0.0	50.0	33.3	22.4	20.0	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0
余暇支援	50.0	100.0	100.0	33.3	58.6	68.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	5.4	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
特になし	6.8	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0
わからない	2.7	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	8.1	0.0	0.0	0.0	6.9	4.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

就労・社会参加

(問 40～51 は 18 歳以上の方のみ回答)

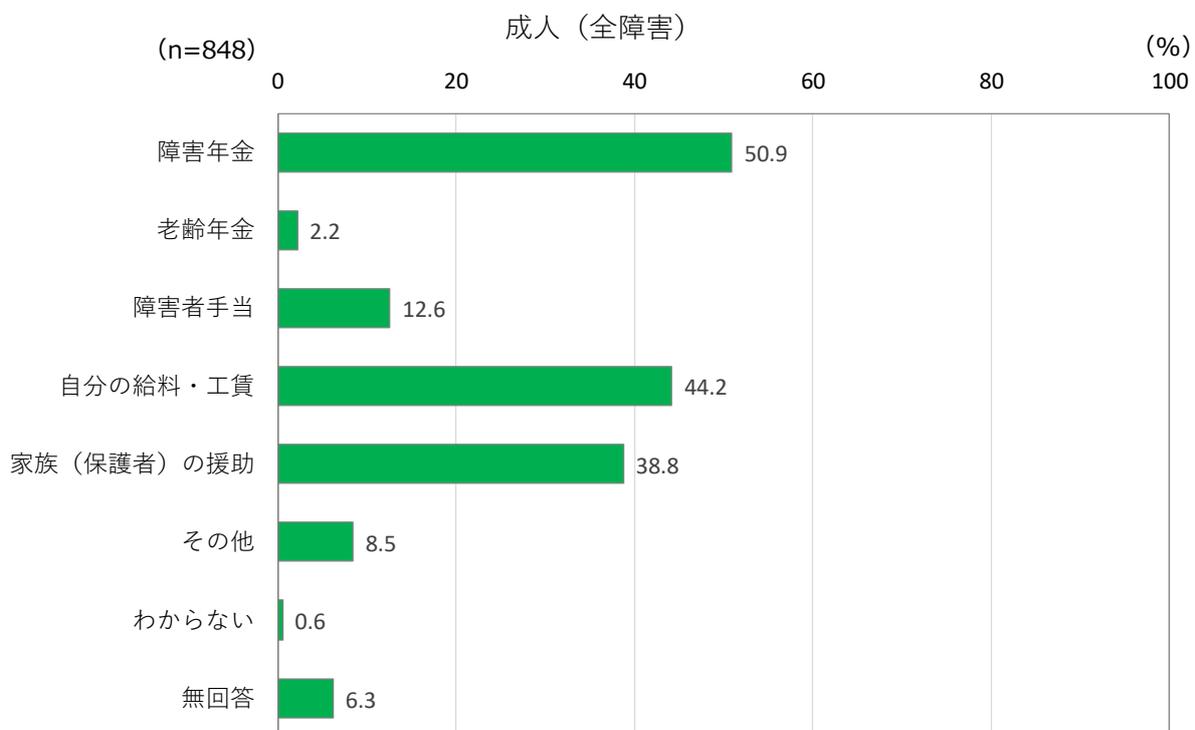
問 40. 収入源は何ですか (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では、「障害年金」が 5 割以上で最も多く、次いで「自分の給料・工賃」「家族（保護者）の援助」となっています。

知的障害の 8 割近くが「障害年金」、発達障害と難病の 5 割以上は「自分の給料・工賃」が主な収入源となっています。

前回調査との比較では、「障害年金」「障害者手当」がそれぞれ約 10 ポイント減少しています。



(単位：%)

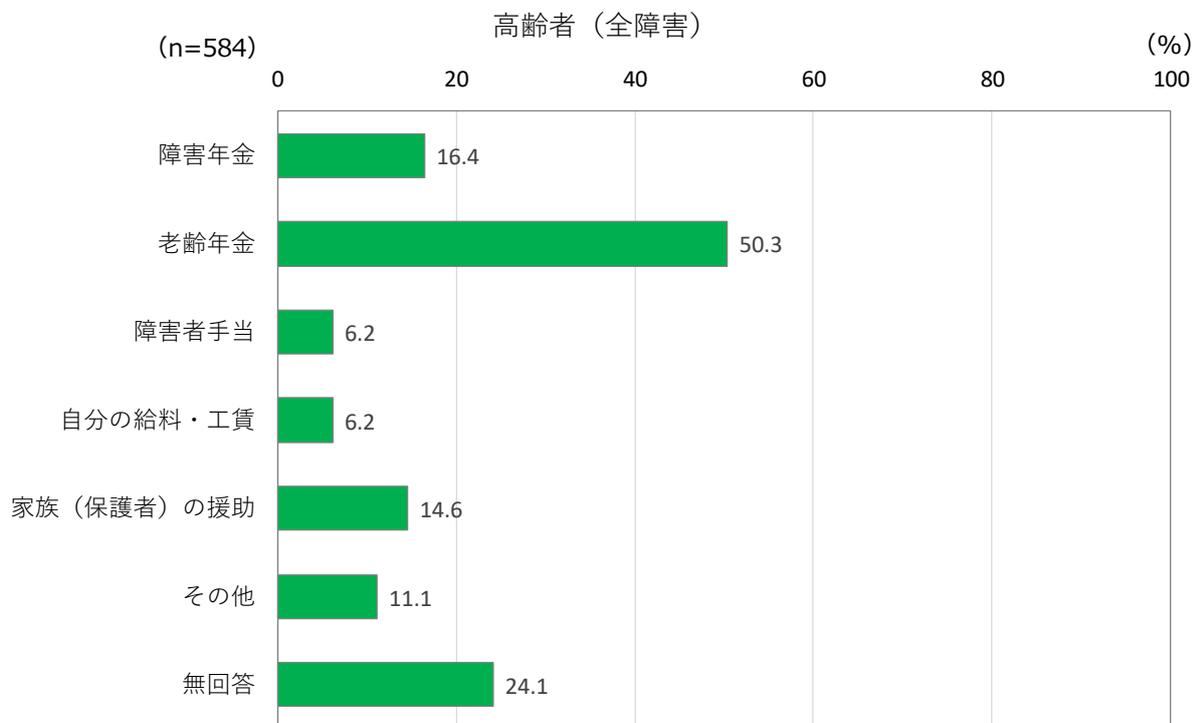
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
障害年金	50.9	62.9	47.5	61.1	78.8	64.3	47.6	62.5	42.4	16.4	0.0	39.5
老齢年金	2.2	2.9	1.7	3.7	1.4	0.0	0.7	6.3	3.0	4.5	4.8	5.3
障害者手当	12.6	28.6	25.4	25.9	25.0	15.3	5.5	18.8	12.1	6.4	0.0	5.3
自分の給料・工賃	44.2	37.1	39.0	33.3	44.1	57.1	35.6	37.5	63.6	55.5	47.6	26.3
家族（保護者）の援助	38.8	45.7	32.2	38.9	42.0	49.0	39.6	31.3	21.2	40.9	28.6	44.7
その他	8.5	5.7	13.6	6.5	2.1	4.1	13.5	6.3	9.1	8.2	23.8	10.5
わからない	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.8	2.6
無回答	6.3	5.7	11.9	6.5	5.6	6.1	6.2	6.3	3.0	4.5	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体では「老齢年金」が最も多く、5割以上となっています。

障害種別でみると、視覚障害と精神障害では「障害年金」が3割以上、また精神障害は「家族（保護者）の援助」も3割以上となっています。

前回調査との比較では、「老齢年金」が25ポイント減少しています。



(単位：%)

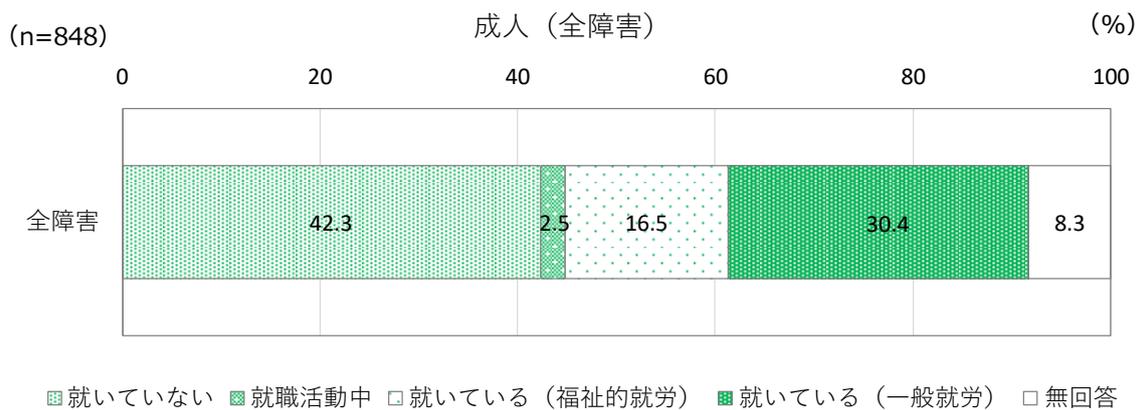
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない	その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43	
障害年金	16.4	31.6	14.9	14.2	71.4	75.0	41.7	11.1	9.6	5.1	0.0	4.7	
老齢年金	50.3	31.6	54.1	56.1	14.3	0.0	33.3	66.7	49.3	68.4	66.7	39.5	
障害者手当	6.2	10.5	9.5	9.0	14.3	25.0	5.0	0.0	8.8	6.0	0.0	7.0	
自分の給料・工賃	6.2	3.5	0.0	3.9	28.6	25.0	5.0	0.0	11.0	4.3	11.1	7.0	
家族（保護者）の援助	14.6	12.3	12.2	11.6	35.7	75.0	31.7	33.3	8.1	12.0	22.2	9.3	
その他	11.1	7.0	13.5	8.4	7.1	25.0	15.0	11.1	15.4	12.0	11.1	23.3	
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	24.1	33.3	24.3	27.7	7.1	0.0	11.7	11.1	25.0	15.4	22.2	32.6	

問 41. 現在、仕事に就いていますか (○はひとつだけ)。

【成人】

成人全体では、「就いている (一般就労)」が 3 割以上、「就いている (福祉的就労)」が 1 割以上であり、全体で 4 割以上が「仕事に就いている」という結果です。一方、「就いていない」も同じく 4 割以上となっています。

障害種別でみると、難病は「就いている (一般就労)」が 5 割以上となっています。前回調査と比べ、仕事に「就いていない」人の割合は約 5 ポイント減少しています。



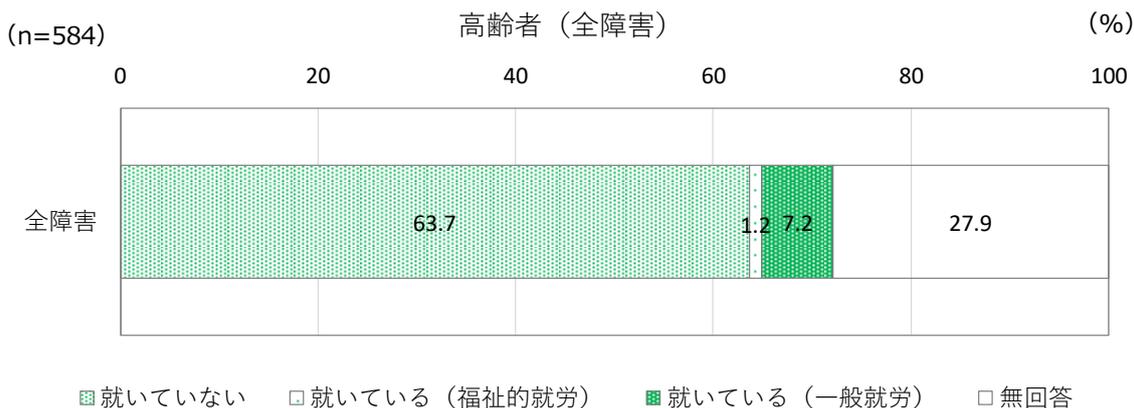
(単位: %)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
就いていない	42.3	51.4	47.5	57.4	38.9	29.6	54.5	56.3	36.4	34.5	42.9	47.4
就職活動中	2.5	0.0	0.0	1.9	1.4	5.1	2.5	0.0	3.0	1.8	0.0	7.9
就いている (福祉的就労)	16.5	17.1	5.1	7.4	31.6	32.7	9.1	12.5	3.0	5.5	9.5	10.5
就いている (一般就労)	30.4	22.9	32.2	24.1	18.1	23.5	27.6	18.8	54.5	52.7	42.9	26.3
無回答	8.3	8.6	15.3	9.3	10.1	9.2	6.2	12.5	3.0	5.5	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、「就いていない」が6割以上となっています。「就いている（一般就労）」と「就いている（福祉的就労）」を合計しても1割に達しません。

前回調査では9割以上が「就いていない」と回答しており、前回調査から約27ポイント減少しています。



(単位：%)

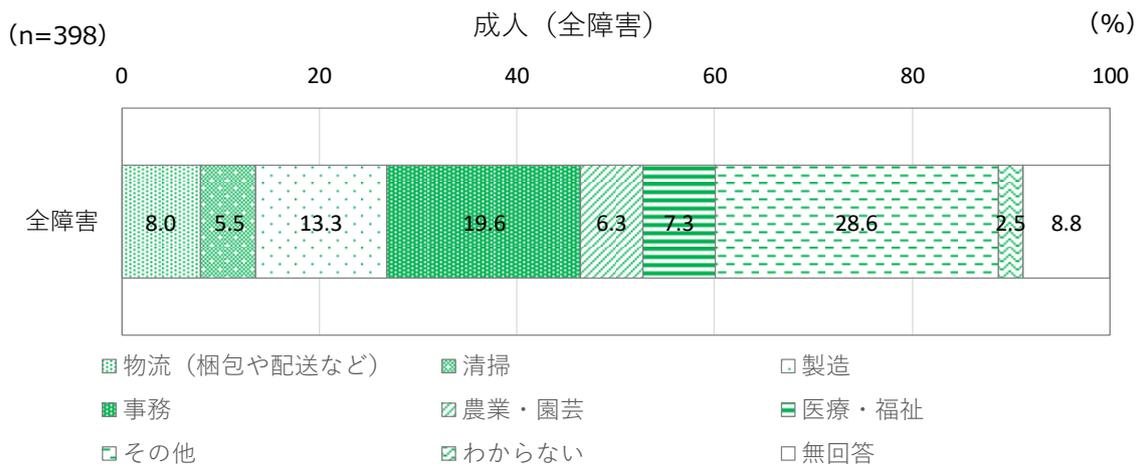
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
就いていない	63.7	63.2	68.9	60.6	64.3	25.0	73.3	77.8	63.2	70.9	55.6	55.8
就職活動中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就いている（福祉的就労）	1.2	0.0	0.0	0.0	28.6	50.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就いている（一般就労）	7.2	5.3	0.0	7.1	0.0	0.0	5.0	0.0	10.3	8.5	11.1	9.3
無回答	27.9	31.6	31.1	32.3	7.1	25.0	18.3	22.2	26.5	20.5	33.3	34.9

問 42. (問 41 で仕事に「3. 就いている(福祉的就労)」, 「4. 就いている(一般就労)」と答えた方のみお答えください) 仕事内容は何ですか (〇はひとつだけ)。

【成人】

成人全体では, 「その他」が 3 割近く, 「事務」が 2 割近くとなり, 次いで「製造」が 1 割以上となっています。

障害種別でみると, 知的障害と発達障害は「製造」「農業・園芸」が他の障害と比べ多い傾向が見られます。

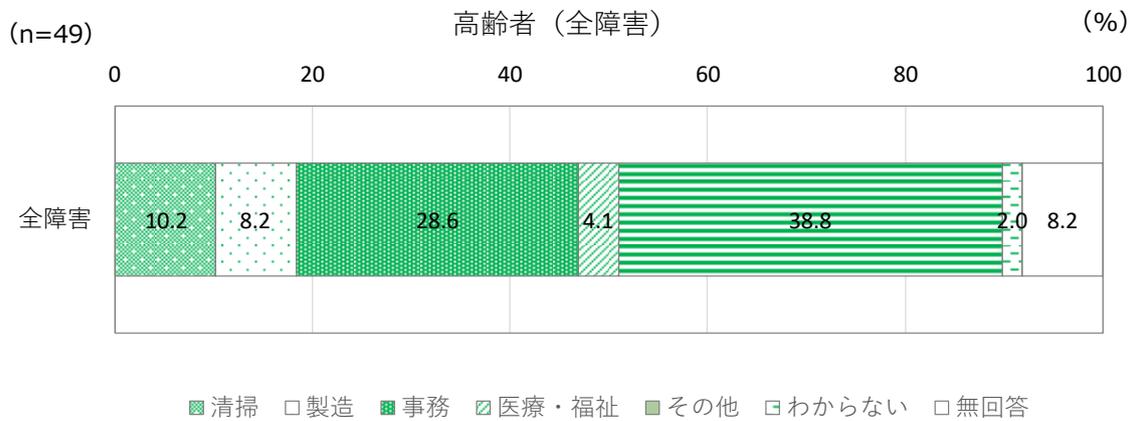


(単位 : %)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	398	14	22	34	143	55	101	5	19	64	11	14
物流 (梱包や配送など)	8.0	7.1	4.5	5.9	7.7	10.9	9.9	0.0	0.0	4.7	9.1	21.4
清掃	5.5	0.0	4.5	0.0	11.2	7.3	5.0	0.0	0.0	0.0	9.1	7.1
製造	13.3	7.1	18.2	11.8	16.8	20.0	14.9	40.0	10.5	6.3	18.2	0.0
事務	19.6	14.3	45.5	32.4	3.5	16.4	27.7	20.0	31.6	23.4	9.1	0.0
農業・園芸	6.3	0.0	0.0	0.0	16.1	12.7	1.0	0.0	5.3	0.0	0.0	7.1
医療・福祉	7.3	0.0	9.1	8.8	2.8	1.8	7.9	0.0	5.3	17.2	18.2	7.1
その他	28.6	50.0	13.6	29.4	27.3	18.2	22.8	0.0	31.6	35.9	36.4	42.9
わからない	2.5	0.0	0.0	0.0	3.5	1.8	3.0	20.0	0.0	1.6	0.0	7.1
無回答	8.8	21.4	4.5	11.8	11.2	10.9	7.9	20.0	15.8	10.9	0.0	7.1

【高齢者】

高齢者全体についても、「その他」が4割近く、「事務」が3割近くとなり、次いで「清掃」が1割以上となっています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	49	3	0	11	4	2	5	0	14	10	2	4
物流 (梱包や配送など)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
清掃	10.2	0.0	0.0	9.1	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	25.0
製造	8.2	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
事務	28.6	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	20.0	0.0	42.9	10.0	50.0	50.0
農業・園芸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	4.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
その他	38.8	33.3	0.0	27.3	0.0	0.0	40.0	0.0	50.0	60.0	0.0	25.0
わからない	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	8.2	33.3	0.0	9.1	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

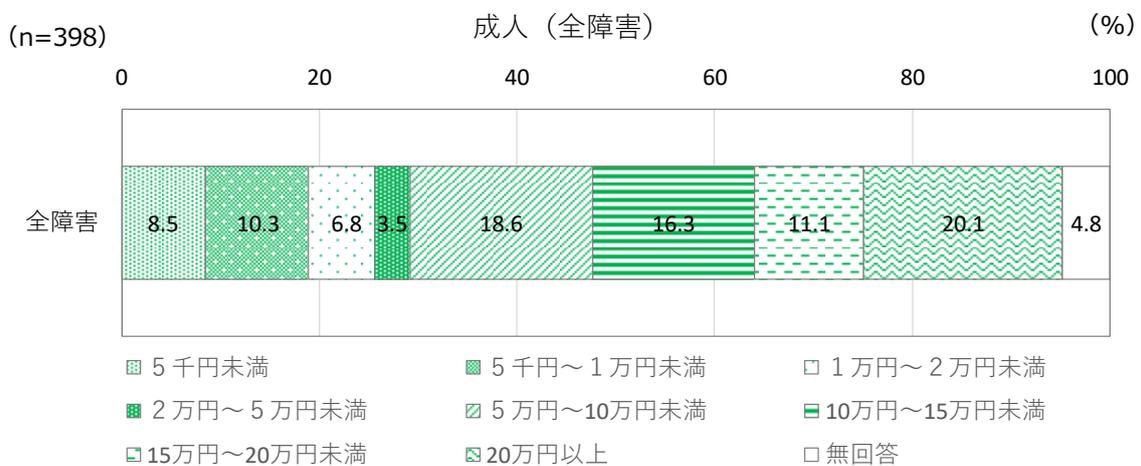
問 43. (問 41 で仕事に「3. 就いている(福祉的就労)」, 「4. 就いている(一般就労)」と答えた方のみお答えください)
賃金・工賃は平均でいくらですか(月額でお答えください)(〇はひとつだけ)。

【成人】

成人全体では、「20 万円以上」が 2 割以上, 次いで「5 万円～10 万円未満」「10 万円～15 万円未満」となっています。また 1 万円未満の回答は合わせて 2 割近くとなっています。

障害種別でみると, 難病の 4 割以上, 肢体不自由の 3 割以上が「20 万円以上」と回答しています。また, 知的障害と発達障害は「1 万円未満」の割合が, 他の障害と比べて多くなっています。

前回調査との比較では「20 万円以上」が約 6 ポイント増加しています。「1 万円未満」の割合については約 8 ポイント減少しています。



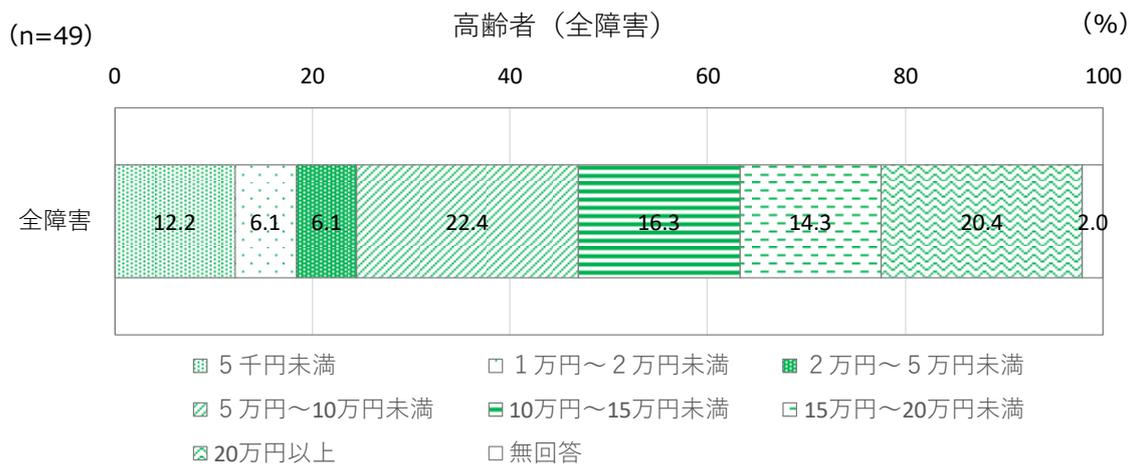
(単位: %)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	398	14	22	34	143	55	101	5	19	64	11	14
5 千円未満	8.5	0.0	4.5	8.8	16.8	14.5	4.0	0.0	0.0	1.6	0.0	21.4
5 千円～1 万円未満	10.3	42.9	0.0	8.8	21.7	12.7	4.0	40.0	5.3	3.1	9.1	7.1
1 万円～2 万円未満	6.8	7.1	4.5	2.9	7.0	9.1	7.9	0.0	0.0	3.1	9.1	0.0
2 万円～5 万円未満	3.5	0.0	4.5	0.0	3.5	3.6	4.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
5 万円～10 万円未満	18.6	7.1	13.6	8.8	21.0	20.0	23.8	0.0	5.3	14.1	18.2	28.6
10 万円～15 万円未満	16.3	0.0	27.3	14.7	24.5	18.2	12.9	20.0	15.8	6.3	9.1	21.4
15 万円～20 万円未満	11.1	14.3	22.7	17.6	4.2	12.7	13.9	0.0	10.5	17.2	0.0	0.0
20 万円以上	20.1	28.6	18.2	35.3	0.7	5.5	24.8	40.0	47.4	45.3	45.5	14.3
無回答	4.8	0.0	4.5	2.9	0.7	3.6	5.0	0.0	15.8	6.3	9.1	7.1

【高齢者】

高齢者全体では、「5万円～10万円未満」と「20万円以上」がそれぞれ2割以上となっています。

前回調査との比べ、「5万円～10万円未満」が約5ポイント増加し、「20万円以上」は約5ポイント減少しています。



(単位：%)

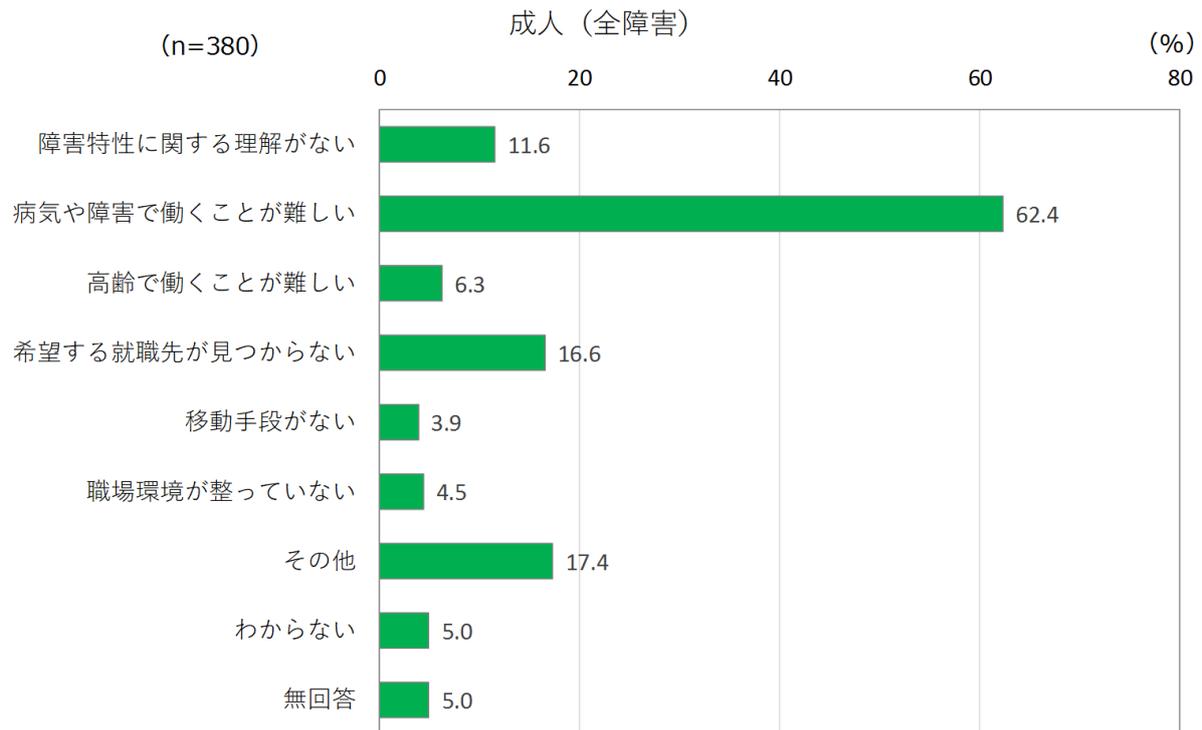
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	49	3	0	11	4	2	5	0	14	10	2	4
5千円未満	12.2	33.3	0.0	9.1	75.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5千円～1万円未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1万円～2万円未満	6.1	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2万円～5万円未満	6.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
5万円～10万円未満	22.4	33.3	0.0	18.2	0.0	0.0	20.0	0.0	21.4	30.0	0.0	25.0
10万円～15万円未満	16.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	20.0	0.0	14.3	30.0	50.0	25.0
15万円～20万円未満	14.3	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	20.0	0.0	21.4	10.0	50.0	0.0
20万円以上	20.4	33.3	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	10.0	0.0	25.0
無回答	2.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	25.0

問 44. (問 41 で仕事に「1. 就いていない」, 「2. 就職活動中」と答えた方のみお答えください) 就労することが難しい, または就労をしていない理由は何ですか (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では, 「病気や障害で働くことが難しい」が6割以上で, 主たる理由となっています。

障害種別でみると, 発達障害は「障害特性に関する理解がない」が他の障害と比べ多い傾向が見られます。



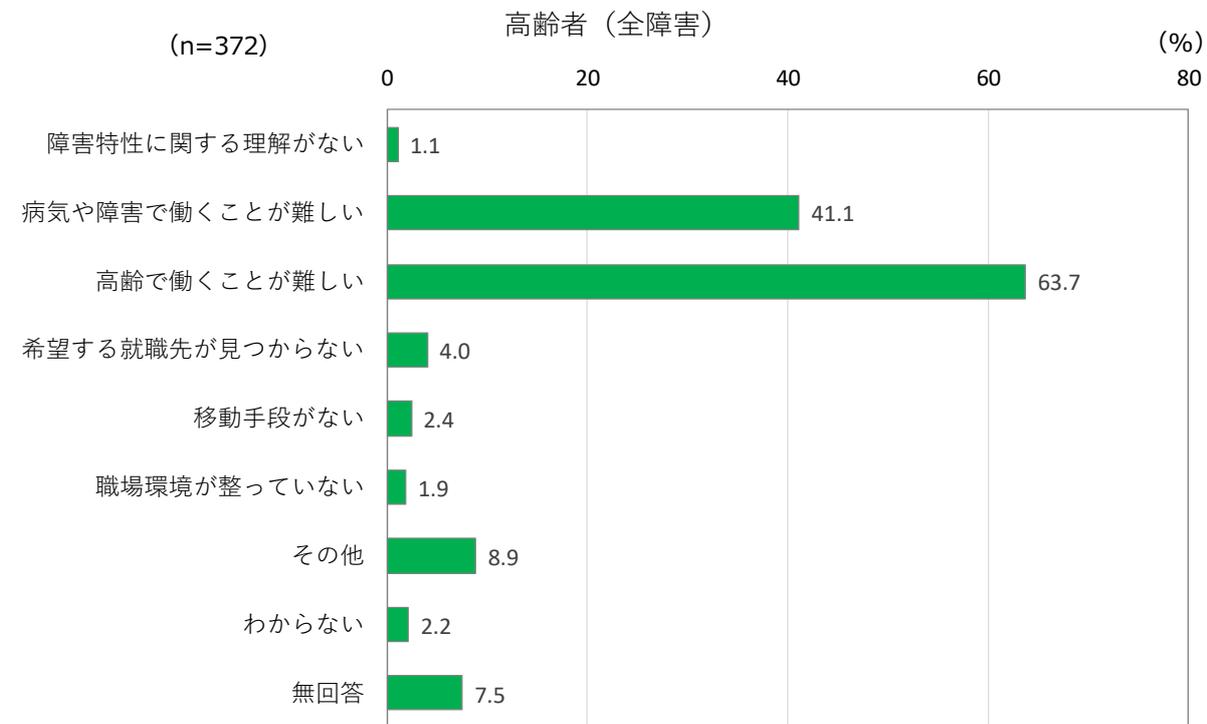
(単位: %)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	380	18	28	64	116	34	157	9	13	40	9	21
障害特性に関する理解がない	11.6	0.0	17.9	6.3	10.3	20.6	12.1	0.0	7.7	7.5	0.0	28.6
病気や障害で働くことが難しい	62.4	77.8	71.4	73.4	63.8	47.1	67.5	77.8	61.5	60.0	44.4	66.7
高齢で働くことが難しい	6.3	11.1	0.0	3.1	3.4	2.9	5.7	11.1	7.7	5.0	33.3	9.5
希望する就職先が見つからない	16.6	11.1	14.3	12.5	10.3	17.6	19.1	22.2	7.7	15.0	33.3	23.8
移動手段がない	3.9	16.7	7.1	3.1	4.3	2.9	2.5	11.1	0.0	0.0	11.1	4.8
職場環境が整っていない	4.5	0.0	3.6	1.6	3.4	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
その他	17.4	16.7	14.3	12.5	12.1	35.3	16.6	11.1	7.7	20.0	22.2	33.3
わからない	5.0	0.0	3.6	3.1	6.0	2.9	4.5	0.0	7.7	7.5	0.0	0.0
無回答	5.0	0.0	0.0	3.1	9.5	0.0	3.8	0.0	0.0	2.5	0.0	4.8

【高齢者】

高齢者全体では、「高齢で働くことが難しい」が6割以上、次いで「病気や障害で働くことが難しい」が4割以上となっています。

障害種別でみると、精神障害は「病気や障害で働くことが難しい」が最も多く、「高齢で働くことが難しい」より多くなっています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	372	36	51	94	9	1	44	7	86	83	10	24
障害特性に関する理解がない	1.1	0.0	3.9	1.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病気や障害で働くことが難しい	41.1	27.8	27.5	47.9	66.7	0.0	63.6	14.3	44.2	43.4	10.0	8.3
高齢で働くことが難しい	63.7	55.6	68.6	72.3	55.6	100.0	40.9	71.4	69.8	66.3	100.0	58.3
希望する就職先が見つからない	4.0	5.6	0.0	3.2	11.1	0.0	2.3	0.0	5.8	4.8	0.0	0.0
移動手段がない	2.4	5.6	0.0	3.2	11.1	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0
職場環境が整っていない	1.9	8.3	2.0	2.1	11.1	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0
その他	8.9	8.3	9.8	7.4	0.0	100.0	11.4	14.3	3.5	6.0	0.0	20.8
わからない	2.2	2.8	2.0	0.0	0.0	0.0	4.5	14.3	1.2	3.6	0.0	0.0
無回答	7.5	16.7	5.9	8.5	0.0	0.0	2.3	0.0	9.3	4.8	0.0	20.8

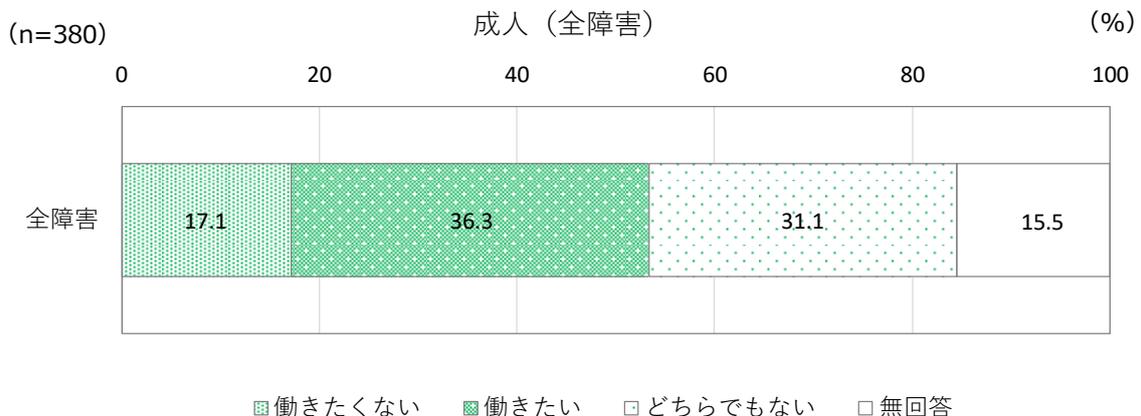
問 45. (問 41 で仕事に「1. 就いていない」, 「2. 就職活動中」と答えた方のみお答えください)
 今後、働きたいですか (○はひとつだけ)。

【成人】

成人全体では、「働きたい」が3割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害と精神障害の4割以上が「働きたい」と回答し、他の障害と比べ多くなっています。また、難病の4割以上が「どちらでもない」と回答しています。

前回調査との比較では、「働きたい」が約23ポイント減少しています。



(単位: %)

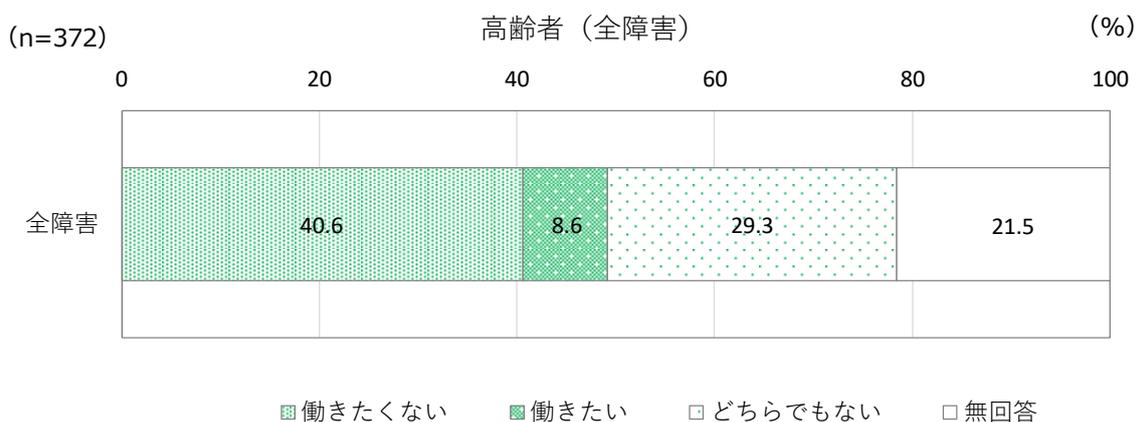
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	380	18	28	64	116	34	157	9	13	40	9	21
働きたくない	17.1	11.1	10.7	14.1	15.5	8.8	18.5	33.3	23.1	22.5	11.1	28.6
働きたい	36.3	22.2	28.6	18.8	20.7	47.1	48.4	22.2	23.1	25.0	66.7	23.8
どちらでもない	31.1	38.9	39.3	37.5	36.2	32.4	25.5	22.2	53.8	45.0	22.2	23.8
無回答	15.5	27.8	21.4	29.7	27.6	11.8	7.6	22.2	0.0	7.5	0.0	23.8

【高齢者】

高齢者全体では、「働きたくない」が4割以上となっています。

障害種別では、どの障害においても「働きたくない」「どちらでもない」の回答が「働きたい」より多くなっています。

前回調査との比較では、「働きたくない」は約28ポイント減少しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数(人)	372	36	51	94	9	1	44	7	86	83	10	24
働きたくない	40.6	33.3	35.3	36.2	11.1	100.0	38.6	14.3	44.2	42.2	50.0	45.8
働きたい	8.6	5.6	0.0	3.2	0.0	0.0	11.4	14.3	7.0	15.7	0.0	4.2
どちらでもない	29.3	36.1	39.2	35.1	44.4	0.0	34.1	42.9	23.3	20.5	30.0	20.8
無回答	21.5	25.0	25.5	25.5	44.4	0.0	15.9	28.6	25.6	21.7	20.0	29.2

問 46. (問 41 で仕事に「1. 就いていない」, 「2. 就職活動中」と答えた方のみお答えください)

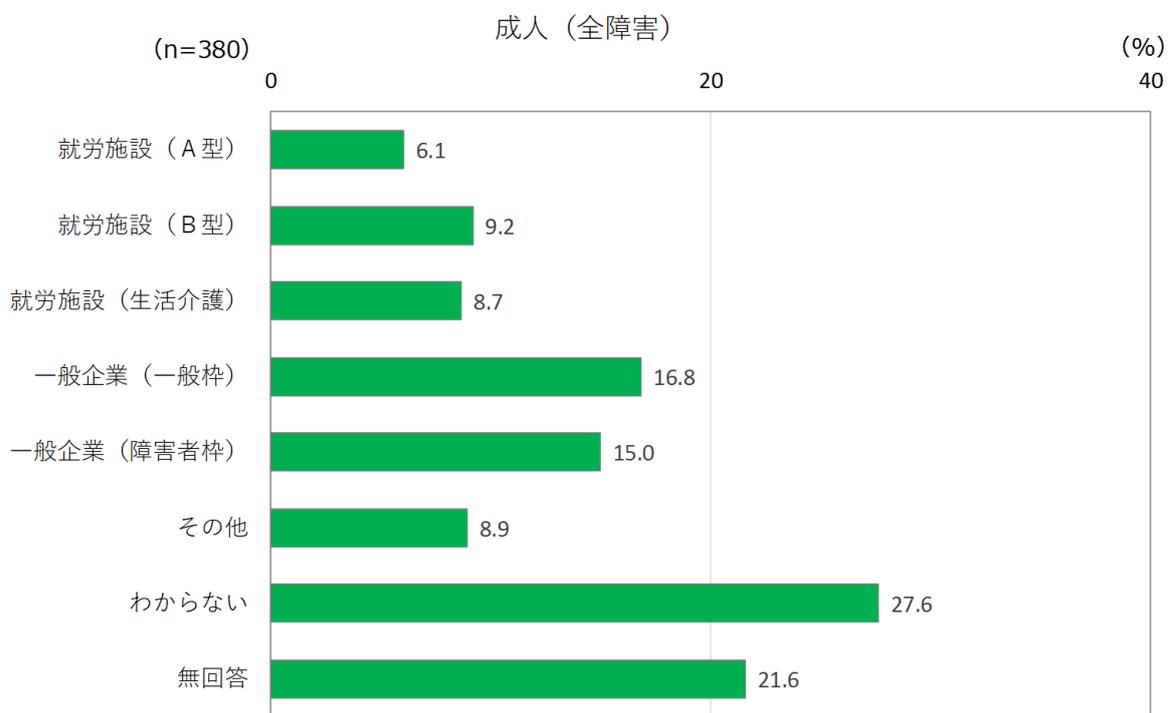
どこで働きたいですか (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では、「わからない」が3割近くと最も多くなっています。次いで「一般企業（一般枠）」「一般企業（障害者枠）」がそれぞれ1割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害では「一般企業（障害者枠）」「就労施設（B型）」が他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査との比較では、「一般企業（一般枠）」が約11ポイント, 「一般企業（障害者枠）」が約18ポイント, それぞれ減少しています。

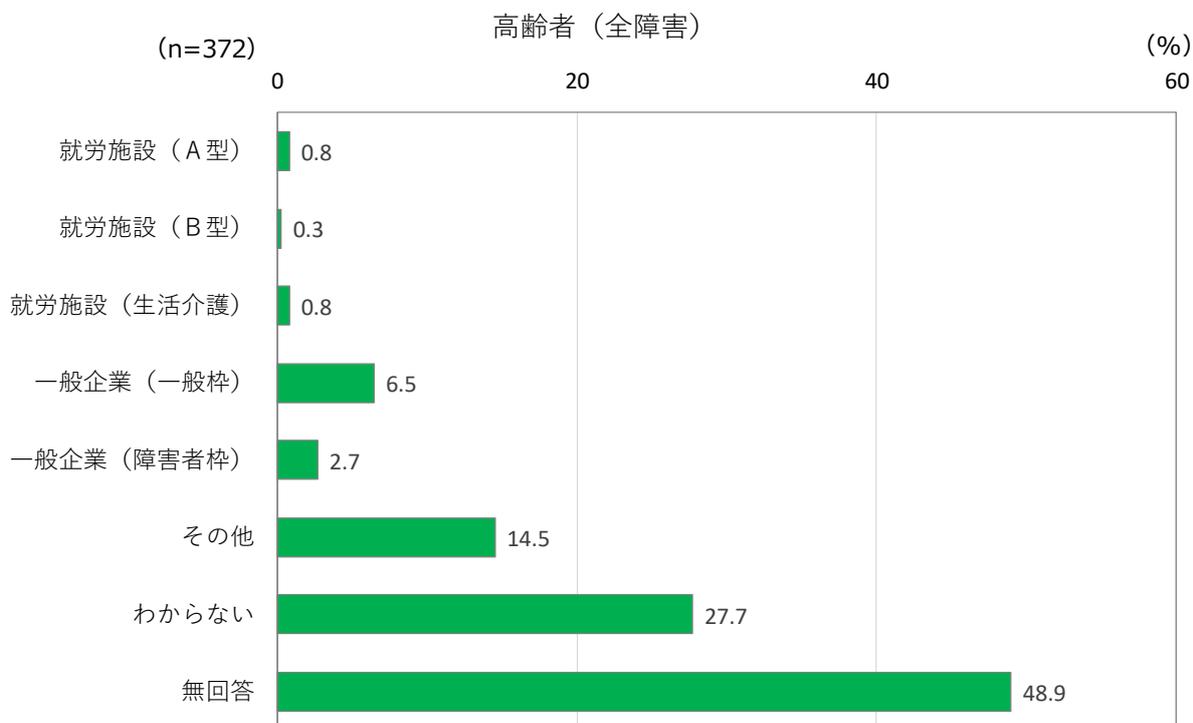


(単位: %)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	380	18	28	64	116	34	157	9	13	40	9	21
就労施設 (A型)	6.1	0.0	7.1	4.7	6.9	5.9	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設 (B型)	9.2	0.0	3.6	4.7	16.4	26.5	9.6	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0
就労施設 (生活介護)	8.7	11.1	14.3	9.4	23.3	8.8	5.7	0.0	7.7	5.0	0.0	9.5
一般企業 (一般枠)	16.8	5.6	17.9	6.3	2.6	14.7	22.9	11.1	7.7	20.0	55.6	19.0
一般企業 (障害者枠)	15.0	11.1	10.7	9.4	6.9	29.4	19.1	22.2	15.4	2.5	11.1	9.5
その他	8.9	16.7	3.6	7.8	3.4	8.8	11.5	11.1	7.7	17.5	0.0	23.8
わからない	27.6	27.8	32.1	28.1	24.1	11.8	27.4	22.2	38.5	27.5	33.3	33.3
無回答	21.6	33.3	28.6	40.6	28.4	17.6	12.1	44.4	23.1	27.5	11.1	19.0

【高齢者】

高齢者全体では、「無回答」が5割近く、「わからない」が3割近くとなっています。
 障害種別でも、「無回答」「わからない」が多数となっています。
 前回調査でも同様の傾向が見られます。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	372	36	51	94	9	1	44	7	86	83	10	24
就労施設（A型）	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設（B型）	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設（生活介護）	0.8	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般企業（一般枠）	6.5	2.8	3.9	7.4	0.0	0.0	4.5	0.0	4.7	9.6	0.0	8.3
一般企業（障害者枠）	2.7	0.0	5.9	2.1	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	3.6	0.0	0.0
その他	14.5	13.9	3.9	16.0	0.0	100.0	20.5	0.0	14.0	14.5	30.0	16.7
わからない	27.7	16.7	25.5	23.4	11.1	0.0	31.8	28.6	29.1	30.1	10.0	16.7
無回答	48.9	66.7	62.7	52.1	66.7	0.0	36.4	71.4	52.3	44.6	60.0	58.3

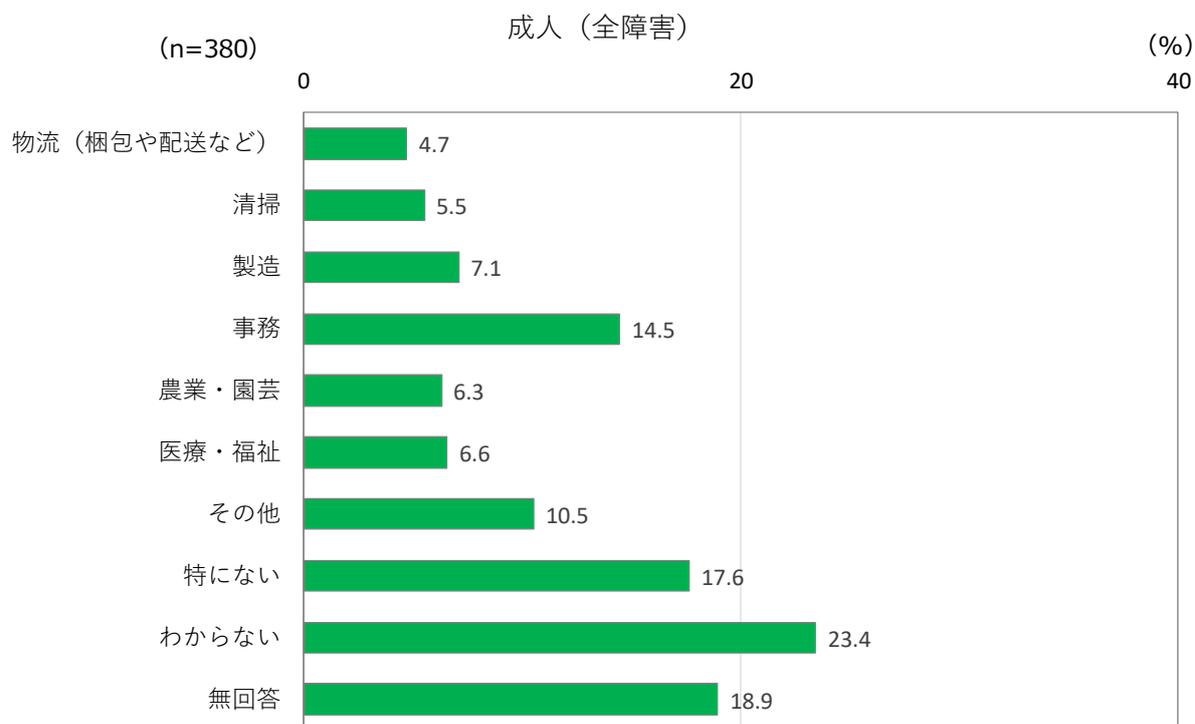
問 47. (問 41 で仕事に「1. 就いていない」, 「2. 就職活動中」と答えた方のみお答えください) 希望する仕事内容は何ですか (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では「事務」が1割以上となっています。

障害種別では, 発達障害と精神障害の2割以上が「事務」を希望しています。

前回調査との比較では, 「事務」が約11ポイント減少しています。



(単位: %)

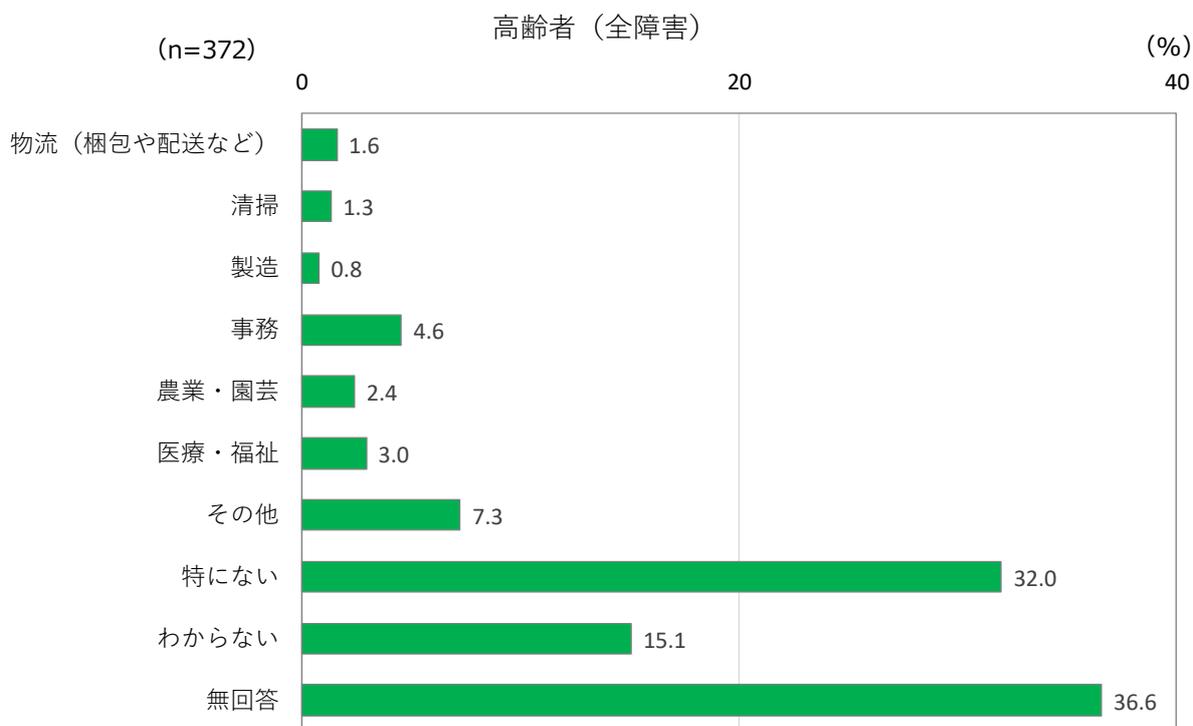
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	380	18	28	64	116	34	157	9	13	40	9	21
物流 (梱包や配送など)	4.7	0.0	3.6	0.0	4.3	2.9	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
清掃	5.5	0.0	10.7	1.6	4.3	8.8	8.3	0.0	0.0	0.0	11.1	4.8
製造	7.1	5.6	14.3	4.7	5.2	5.9	10.2	0.0	7.7	5.0	11.1	4.8
事務	14.5	11.1	10.7	7.8	2.6	20.6	21.7	33.3	23.1	15.0	22.2	14.3
農業・園芸	6.3	5.6	7.1	1.6	8.6	11.8	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	6.6	0.0	3.6	3.1	4.3	11.8	7.6	0.0	0.0	10.0	11.1	4.8
その他	10.5	11.1	7.1	7.8	6.9	11.8	14.0	22.2	0.0	12.5	22.2	28.6
特にない	17.6	27.8	7.1	18.8	16.4	8.8	12.7	22.2	46.2	32.5	22.2	14.3
わからない	23.4	27.8	28.6	14.1	28.4	26.5	22.9	0.0	15.4	12.5	33.3	23.8
無回答	18.9	16.7	25.0	43.8	31.0	17.6	9.6	22.2	15.4	17.5	11.1	19.0

【高齢者】

高齢者全体にでは、「無回答」が4割近くで、「特にない」「わからない」が多くなっています。

障害種別でも、すべての障害で「無回答」「特にない」「わからない」の割合が多くなっています。

前回調査でも同様の傾向が見られます。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	372	36	51	94	9	1	44	7	86	83	10	24
物流（梱包や配送など）	1.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	1.2	2.4	0.0	0.0
清掃	1.3	2.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
製造	0.8	2.8	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
事務	4.6	5.6	2.0	3.2	0.0	0.0	4.5	0.0	4.7	6.0	0.0	4.2
農業・園芸	2.4	2.8	3.9	3.2	11.1	0.0	2.3	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
医療・福祉	3.0	2.8	2.0	2.1	0.0	0.0	2.3	0.0	1.2	4.8	0.0	4.2
その他	7.3	8.3	5.9	8.5	0.0	100.0	9.1	0.0	8.1	10.8	0.0	4.2
特にない	32.0	30.6	25.5	29.8	0.0	0.0	29.5	28.6	36.0	31.3	30.0	37.5
わからない	15.1	8.3	17.6	13.8	11.1	0.0	22.7	14.3	10.5	14.5	10.0	8.3
無回答	36.6	44.4	43.1	40.4	77.8	0.0	29.5	57.1	38.4	32.5	60.0	45.8

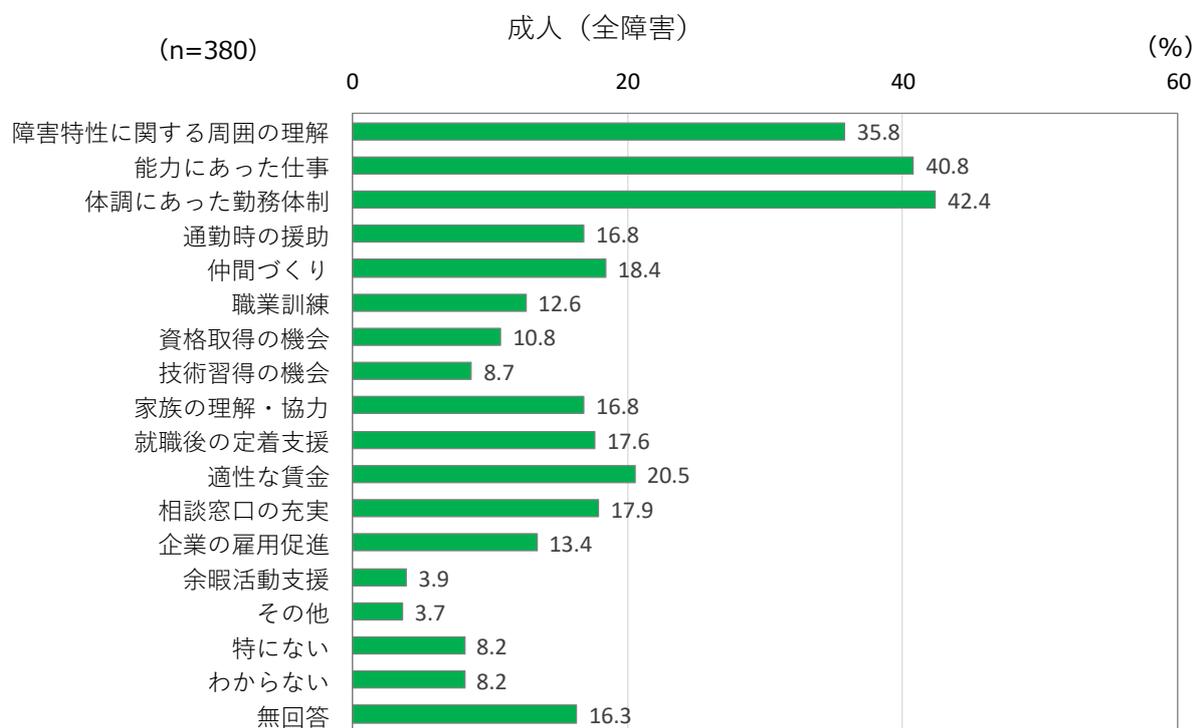
問 48. (問 41 で仕事に「1. 就いていない」, 「2. 就職活動中」と答えた方のみお答えください) 就職するために必要だと思うことは何ですか (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では、「体調にあった勤務体制」「能力にあった仕事」が 4 割以上と多く、次いで「障害特性に関する周囲の理解」が 3 割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害では上記 3 つ以外に加え「相談窓口の充実」「就職後の定着支援」「適正な賃金」が 3 割以上で、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査との比較では、「障害特性に関する周囲の理解」は約 16 ポイント、「能力にあった仕事」も約 8 ポイント減少しています。



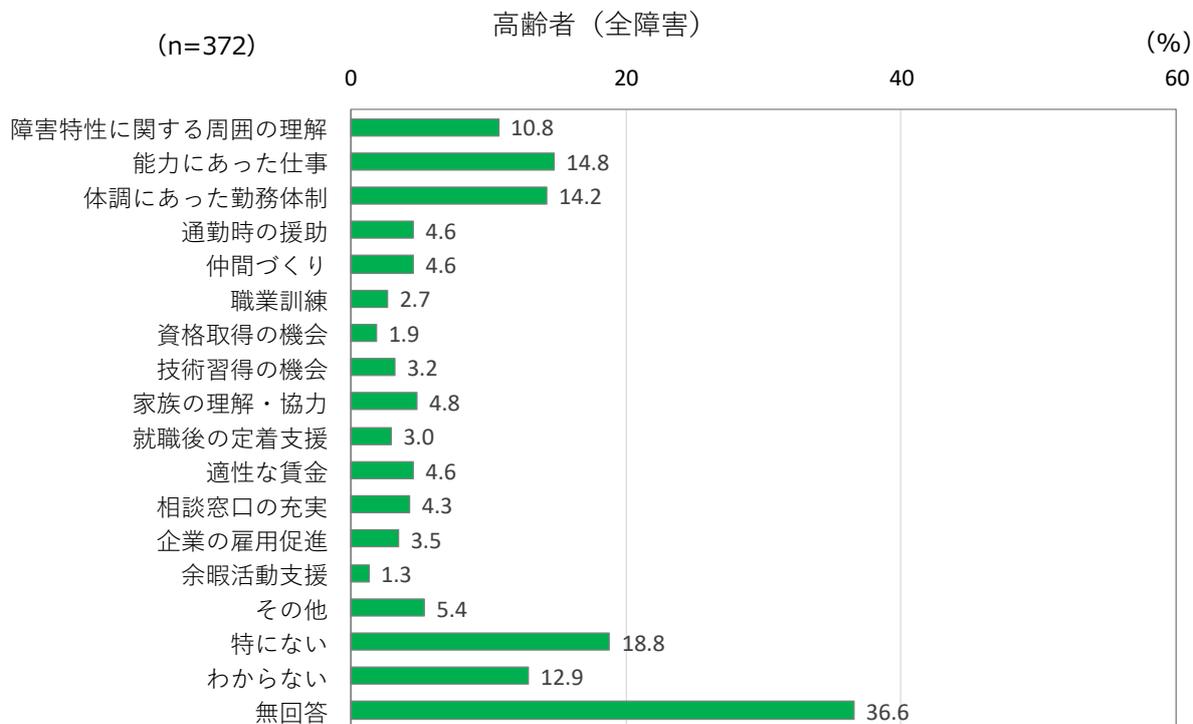
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	380	18	28	64	116	34	157	9	13	40	9	21
障害特性に関する周囲の理解	35.8	33.3	50.0	25.0	28.4	55.9	45.2	44.4	38.5	30.0	11.1	33.3
能力にあった仕事	40.8	38.9	35.7	15.6	37.1	67.6	46.5	66.7	30.8	32.5	66.7	28.6
体調にあった勤務体制	42.4	16.7	42.9	23.4	20.7	44.1	59.9	66.7	46.2	45.0	55.6	47.6
通勤時の援助	16.8	27.8	21.4	14.1	18.1	26.5	21.7	33.3	0.0	7.5	0.0	14.3
仲間づくり	18.4	5.6	14.3	6.3	15.5	32.4	25.5	22.2	7.7	10.0	11.1	4.8
職業訓練	12.6	11.1	7.1	4.7	9.5	29.4	17.2	22.2	0.0	7.5	11.1	4.8
資格取得の機会	10.8	5.6	7.1	3.1	4.3	23.5	13.4	0.0	0.0	12.5	33.3	23.8
技術習得の機会	8.7	5.6	3.6	3.1	6.0	17.6	10.2	0.0	0.0	10.0	33.3	14.3
家族の理解・協力	16.8	5.6	10.7	4.7	10.3	17.6	22.9	22.2	15.4	7.5	22.2	9.5
就職後の定着支援	17.6	5.6	10.7	7.8	10.3	38.2	25.5	22.2	7.7	17.5	22.2	4.8
適性な賃金	20.5	5.6	10.7	9.4	8.6	38.2	29.3	33.3	15.4	15.0	44.4	23.8
相談窓口の充実	17.9	0.0	10.7	6.3	12.9	41.2	24.8	11.1	15.4	2.5	33.3	14.3
企業の雇用促進	13.4	5.6	14.3	9.4	6.9	26.5	14.6	22.2	15.4	5.0	33.3	19.0
余暇活動支援	3.9	0.0	0.0	0.0	2.6	26.5	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
その他	3.7	0.0	0.0	1.6	0.0	5.9	6.4	11.1	0.0	2.5	0.0	9.5
特にない	8.2	16.7	0.0	9.4	10.3	0.0	7.0	0.0	15.4	15.0	11.1	0.0
わからない	8.2	16.7	14.3	14.1	14.7	2.9	5.1	0.0	0.0	5.0	0.0	9.5
無回答	16.3	22.2	21.4	45.3	25.9	11.8	7.0	33.3	15.4	17.5	11.1	23.8

【高齢者】

高齢者全体では、「無回答」「特にない」「わからない」が多くなっています。就職に必要な支援としては、「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」「障害特性に関する周囲の理解」が1割以上となっていますが、成人の3割以上に比べると低くなっています。

前回調査との比較では、「体調にあった勤務体制」は約11ポイント減少しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	372	36	51	94	9	1	44	7	86	83	10	24
障害特性に関する周囲の理解	10.8	8.3	13.7	10.6	11.1	100.0	13.6	0.0	5.8	14.5	0.0	4.2
能力にあった仕事	14.8	8.3	7.8	10.6	11.1	100.0	22.7	14.3	12.8	19.3	10.0	12.5
体調にあった勤務体制	14.2	5.6	3.9	11.7	11.1	100.0	20.5	14.3	9.3	21.7	0.0	4.2
通勤時の援助	4.6	2.8	0.0	5.3	11.1	0.0	4.5	14.3	0.0	8.4	0.0	0.0
仲間づくり	4.6	2.8	5.9	1.1	11.1	100.0	11.4	14.3	2.3	4.8	0.0	0.0
職業訓練	2.7	2.8	0.0	3.2	0.0	0.0	2.3	14.3	1.2	4.8	0.0	0.0
資格取得の機会	1.9	5.6	0.0	1.1	0.0	0.0	2.3	0.0	1.2	3.6	0.0	0.0
技術習得の機会	3.2	2.8	2.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	7.2	0.0	4.2
家族の理解・協力	4.8	2.8	2.0	2.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	12.0	20.0	8.3
就職後の定着支援	3.0	2.8	2.0	3.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	6.0	0.0	4.2
適性な賃金	4.6	2.8	5.9	4.3	0.0	100.0	9.1	0.0	1.2	8.4	0.0	0.0
相談窓口の充実	4.3	8.3	2.0	4.3	0.0	0.0	4.5	0.0	2.3	4.8	10.0	8.3
企業の雇用促進	3.5	2.8	0.0	3.2	0.0	0.0	2.3	0.0	4.7	7.2	0.0	0.0
余暇活動支援	1.3	2.8	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.6	0.0	0.0
その他	5.4	11.1	2.0	9.6	0.0	100.0	9.1	0.0	8.1	2.4	0.0	0.0
特になし	18.8	8.3	17.6	20.2	0.0	0.0	11.4	0.0	22.1	20.5	30.0	25.0
わからない	12.9	16.7	11.8	11.7	11.1	0.0	15.9	14.3	11.6	9.6	20.0	12.5
無回答	36.6	47.2	45.1	38.3	77.8	0.0	27.3	57.1	38.4	34.9	30.0	45.8

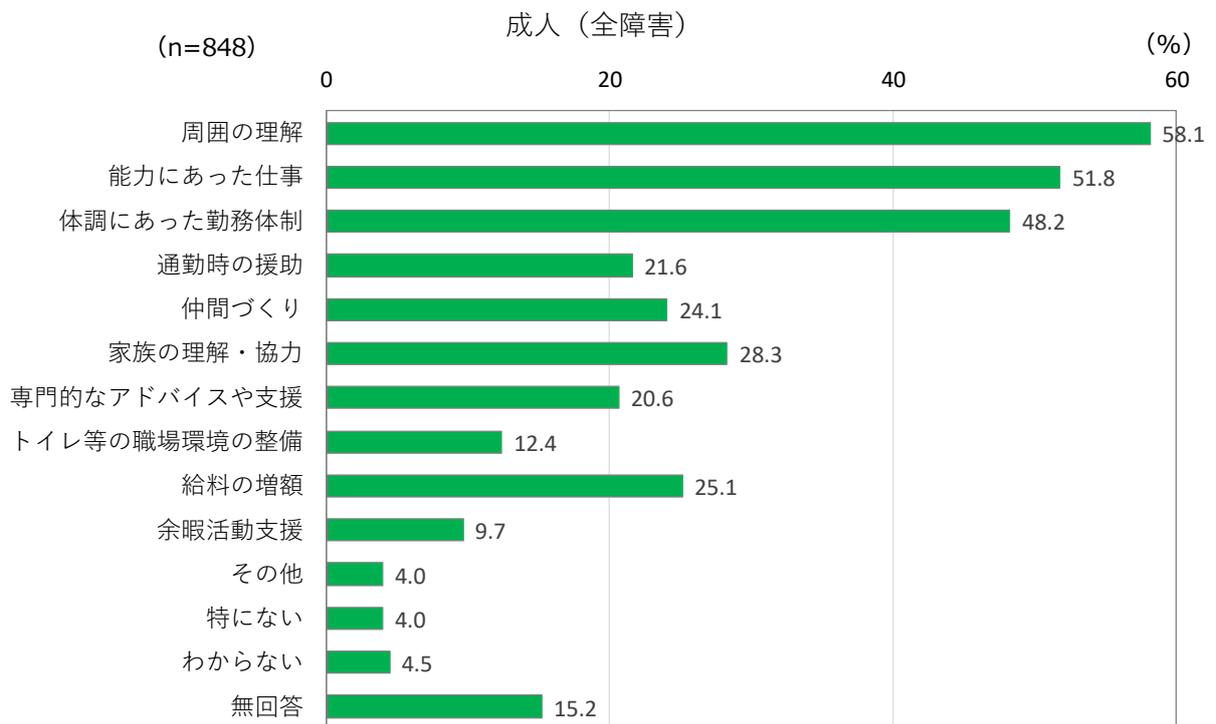
問 49. 長期的に働くためにはどのようなことが必要ですか（〇はいくつでも）。

【成人】

成人全体では、「周囲の理解」が6割近くと最も多く、次いで「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」となっています。

障害種別でみると、上記3つに加えて、発達障害は「専門的なアドバイスや支援」「給料の増額」が、それぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

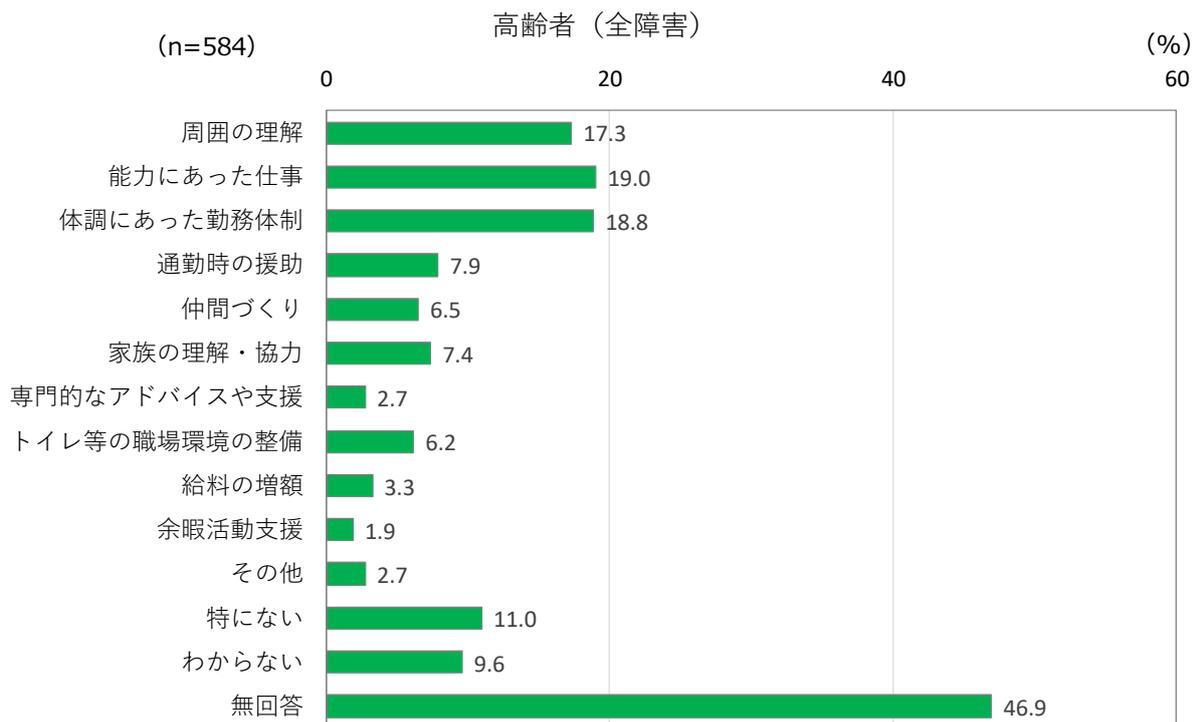
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
周囲の理解	58.1	48.6	57.6	44.4	55.2	73.5	62.2	81.3	60.6	63.6	28.6	47.4
能力にあった仕事	51.8	40.0	42.4	34.3	55.2	72.4	56.7	68.8	57.6	40.0	52.4	34.2
体調にあった勤務体制	48.2	31.4	28.8	40.7	27.8	44.9	68.4	75.0	72.7	63.6	71.4	50.0
通勤時の援助	21.6	42.9	18.6	30.6	24.0	24.5	19.3	56.3	27.3	18.2	14.3	18.4
仲間づくり	24.1	17.1	22.0	14.8	24.7	29.6	32.0	37.5	12.1	19.1	9.5	18.4
家族の理解・協力	28.3	20.0	23.7	19.4	27.4	31.6	29.8	43.8	30.3	30.0	38.1	26.3
専門的なアドバイスや支援	20.6	25.7	16.9	15.7	21.9	40.8	26.2	37.5	15.2	8.2	19.0	23.7
トイレ等の職場環境の整備	12.4	14.3	8.5	23.1	11.5	14.3	10.9	25.0	18.2	19.1	4.8	18.4
給料の増額	25.1	20.0	20.3	18.5	19.1	33.7	32.4	18.8	21.2	29.1	19.0	21.1
余暇活動支援	9.7	2.9	3.4	4.6	15.3	26.5	9.5	6.3	6.1	4.5	0.0	7.9
その他	4.0	5.7	1.7	2.8	2.8	7.1	6.5	12.5	0.0	3.6	0.0	7.9
特にない	4.0	5.7	1.7	7.4	3.8	1.0	3.6	0.0	9.1	4.5	0.0	2.6
わからない	4.5	8.6	8.5	6.5	7.6	1.0	3.3	0.0	0.0	1.8	0.0	10.5
無回答	15.2	22.9	22.0	30.6	20.8	13.3	8.7	18.8	6.1	13.6	9.5	23.7

【高齢者】

高齢者全体では、「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」「周囲の理解」が2割近くとなっていますが、成人の5割程度に比べると低くなっています。

障害種別に見ると、難病では、上記3つに加えて、「家族の理解・協力」「トイレ等の職場環境の整備」が他の障害と比べ多くなっています。

前回調査との比較では、「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」はそれぞれ10ポイント以上減少しています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
周囲の理解	17.3	10.5	21.6	12.9	21.4	50.0	26.7	22.2	12.5	22.2	22.2	11.6
能力にあった仕事	19.0	14.0	12.2	16.1	28.6	50.0	28.3	22.2	16.9	18.8	16.7	14.0
体調にあった勤務体制	18.8	14.0	6.8	16.1	14.3	25.0	31.7	11.1	14.7	23.9	33.3	7.0
通勤時の援助	7.9	12.3	1.4	5.8	14.3	25.0	8.3	11.1	3.7	11.1	16.7	7.0
仲間づくり	6.5	5.3	5.4	2.6	21.4	50.0	18.3	11.1	2.2	7.7	11.1	2.3
家族の理解・協力	7.4	7.0	4.1	3.9	7.1	0.0	11.7	0.0	1.5	12.8	16.7	9.3
専門的なアドバイスや支援	2.7	5.3	0.0	1.3	14.3	25.0	8.3	0.0	0.7	2.6	5.6	0.0
トイレ等の職場環境の整備	6.2	7.0	0.0	8.4	7.1	0.0	0.0	0.0	4.4	12.0	5.6	4.7
給料の増額	3.3	5.3	0.0	3.2	0.0	0.0	5.0	0.0	2.9	6.0	11.1	2.3
余暇活動支援	1.9	1.8	4.1	1.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.7	2.6	0.0	4.7
その他	2.7	5.3	1.4	5.8	0.0	25.0	6.7	0.0	2.9	0.9	0.0	4.7
特になし	11.0	5.3	8.1	11.6	0.0	0.0	8.3	11.1	13.2	12.8	11.1	7.0
わからない	9.6	10.5	10.8	8.4	7.1	0.0	13.3	11.1	11.8	7.7	16.7	4.7
無回答	46.9	59.6	55.4	51.6	57.1	50.0	26.7	55.6	47.1	42.7	33.3	60.5

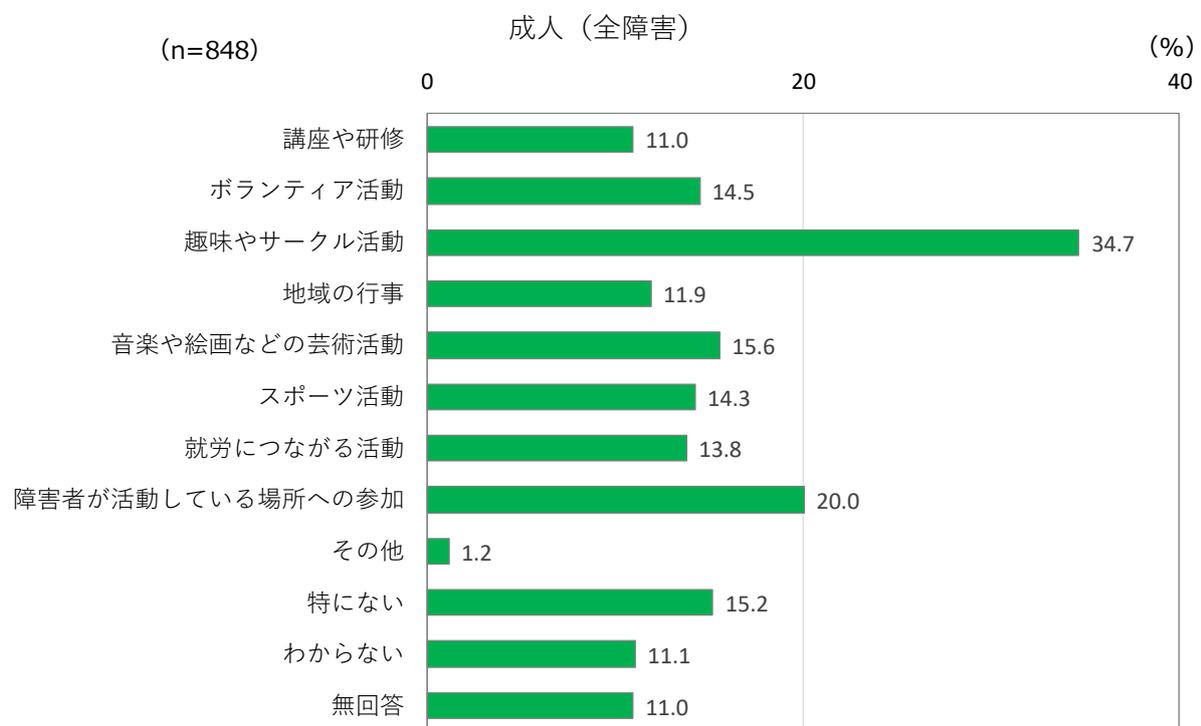
問 50. 今後社会参加するとしたら、どんな活動に参加したいですか
 (〇はいくつでも)。

【成人】

成人全体では、「趣味やサークル活動」が3割以上と最も多く、次いで「障害者が活動している場所への参加」が2割となっています。

障害種別で見ると、上記の2つ以外では、難病の2割が「ボランティア活動」、発達障害の2割以上が「音楽や絵画などの芸術活動」、精神障害の2割が「就労につながる活動」と回答しており、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

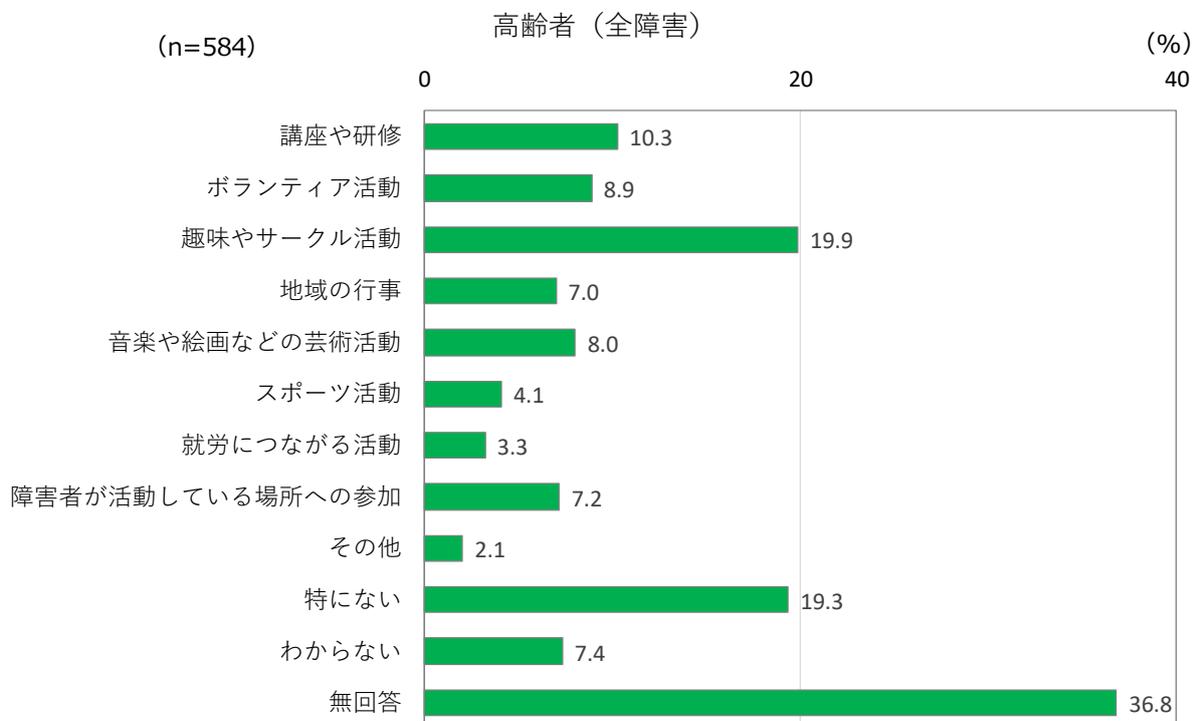
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
講座や研修	11.0	14.3	15.3	13.0	3.8	10.2	12.4	18.8	3.0	15.5	14.3	5.3
ボランティア活動	14.5	17.1	20.3	14.8	7.3	13.3	18.9	25.0	21.2	20.0	4.8	7.9
趣味やサークル活動	34.7	40.0	45.8	26.9	27.1	41.8	35.6	25.0	39.4	40.9	42.9	42.1
地域の行事	11.9	14.3	15.3	16.7	17.0	12.2	7.3	12.5	15.2	12.7	19.0	7.9
音楽や絵画などの芸術活動	15.6	20.0	15.3	14.8	16.0	21.4	14.9	37.5	18.2	18.2	19.0	10.5
スポーツ活動	14.3	8.6	16.9	6.5	14.9	18.4	16.7	18.8	18.2	11.8	14.3	7.9
就労につながる活動	13.8	8.6	5.1	4.6	11.1	15.3	20.7	12.5	9.1	13.6	14.3	5.3
障害者が活動している場所への参加	20.0	28.6	25.4	23.1	28.1	30.6	22.2	12.5	9.1	8.2	0.0	5.3
その他	1.2	5.7	0.0	1.9	1.4	0.0	1.5	6.3	0.0	0.9	0.0	0.0
特になし	15.2	14.3	1.7	17.6	12.8	9.2	15.6	12.5	18.2	20.0	19.0	26.3
わからない	11.1	2.9	8.5	7.4	13.2	11.2	10.2	6.3	6.1	10.0	9.5	15.8
無回答	11.0	11.4	18.6	16.7	13.2	13.3	8.7	18.8	3.0	7.3	4.8	10.5

【高齢者】

高齢者全体では「趣味やサークル活動」「特にない」が2割近くと多くなっています。

障害種別でみると、精神障害は「音楽や絵画などの芸術活動」の割合が他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
講座や研修	10.3	14.0	10.8	5.8	14.3	25.0	5.0	0.0	13.2	9.4	0.0	4.7
ボランティア活動	8.9	8.8	12.2	4.5	7.1	50.0	10.0	0.0	12.5	8.5	5.6	7.0
趣味やサークル活動	19.9	19.3	21.6	18.1	21.4	25.0	20.0	11.1	18.4	18.8	27.8	20.9
地域の行事	7.0	8.8	6.8	4.5	7.1	25.0	5.0	22.2	7.4	9.4	11.1	2.3
音楽や絵画などの芸術活動	8.0	10.5	9.5	6.5	14.3	25.0	15.0	11.1	5.1	8.5	0.0	9.3
スポーツ活動	4.1	3.5	5.4	2.6	14.3	25.0	1.7	0.0	6.6	3.4	0.0	0.0
就労につながる活動	3.3	1.8	0.0	2.6	14.3	0.0	8.3	0.0	2.9	2.6	0.0	0.0
障害者が活動している場所への参加	7.2	7.0	12.2	10.3	28.6	25.0	5.0	0.0	5.1	1.7	0.0	2.3
その他	2.1	1.8	1.4	3.2	7.1	25.0	3.3	0.0	0.7	3.4	5.6	0.0
特にない	19.3	17.5	17.6	18.1	7.1	0.0	21.7	11.1	22.1	17.9	22.2	18.6
わからない	7.4	3.5	8.1	5.2	14.3	0.0	13.3	22.2	5.9	10.3	5.6	7.0
無回答	36.8	49.1	37.8	43.9	21.4	25.0	25.0	44.4	35.3	31.6	27.8	48.8

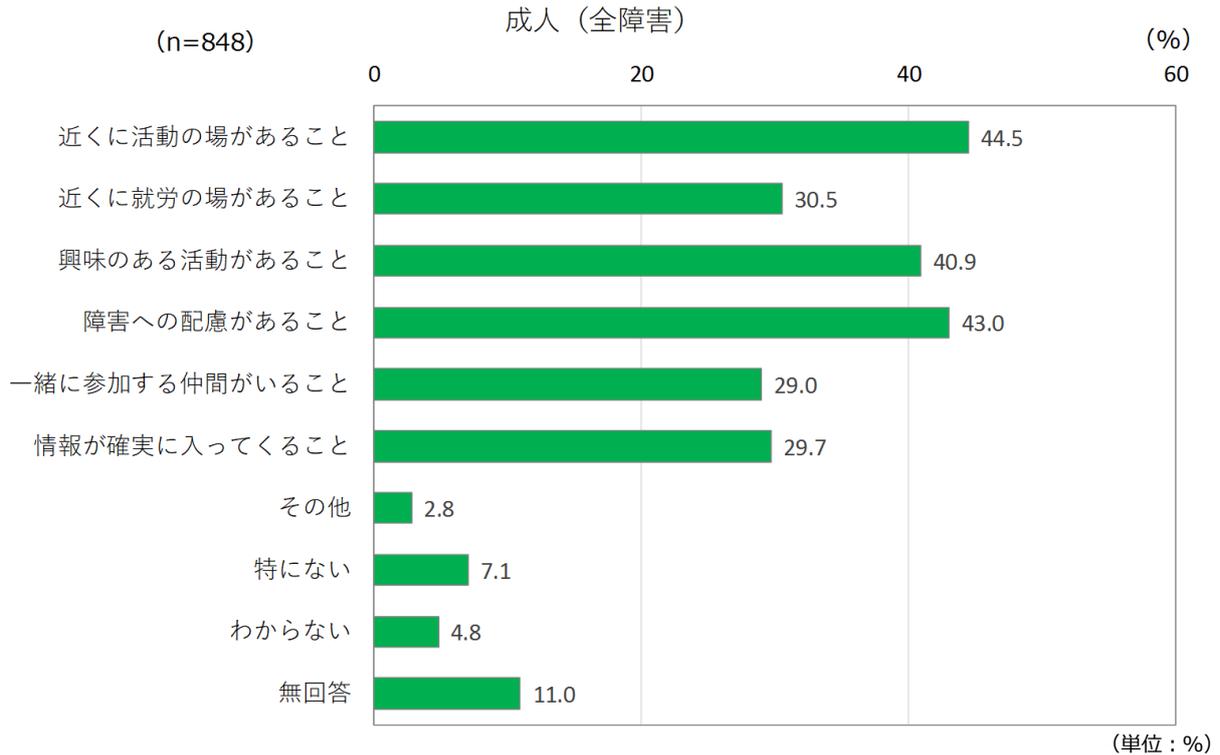
問 51. 社会参加するに当たってどのようなことが必要ですか（〇はいくつでも）。

【成人】

成人全体では、「近くに活動の場があること」「障害への配慮があること」「興味のある活動があること」が4割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害は「障害への配慮があること」が6割以上と、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査より、「近くに活動の場があること」は約7ポイント増加しています。

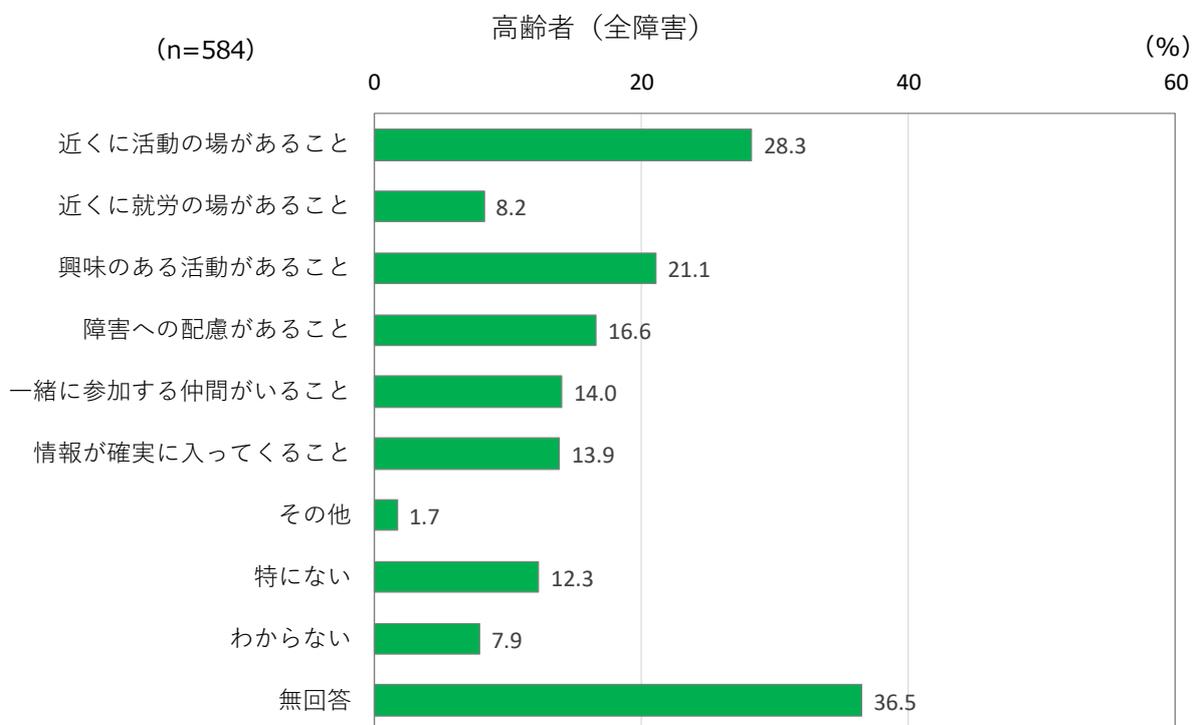


成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
近くに活動の場があること	44.5	34.3	49.2	43.5	37.5	48.0	50.9	56.3	30.3	50.9	52.4	44.7
近くに就労の場があること	30.5	25.7	20.3	22.2	24.3	34.7	42.5	43.8	21.2	29.1	19.0	31.6
興味のある活動があること	40.9	48.6	37.3	29.6	35.8	54.1	41.8	37.5	54.5	46.4	47.6	55.3
障害への配慮があること	43.0	60.0	52.5	40.7	52.4	64.3	42.2	37.5	51.5	31.8	4.8	31.6
一緒に参加する仲間がいること	29.0	45.7	37.3	27.8	34.0	35.7	28.4	25.0	33.3	22.7	9.5	23.7
情報が確実に入ってくること	29.7	45.7	33.9	25.9	26.7	33.7	33.1	25.0	24.2	29.1	23.8	36.8
その他	2.8	2.9	1.7	3.7	2.1	4.1	5.1	18.8	0.0	1.8	0.0	0.0
特にない	7.1	8.6	1.7	7.4	7.6	4.1	5.5	6.3	6.1	6.4	14.3	7.9
わからない	4.8	2.9	8.5	8.3	6.6	2.0	4.0	0.0	3.0	2.7	4.8	10.5
無回答	11.0	11.4	20.3	17.6	13.9	12.2	8.4	12.5	3.0	7.3	9.5	10.5

【高齢者】

高齢者全体では、「近くに活動の場があること」が3割近くと最も多く、次いで「興味のある活動があること」「障害への配慮があること」となっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
近くに活動の場があること	28.3	26.3	32.4	23.2	28.6	25.0	23.3	33.3	27.9	31.6	22.2	27.9
近くに就労の場があること	8.2	8.8	2.7	5.8	35.7	25.0	8.3	11.1	7.4	10.3	11.1	7.0
興味のある活動があること	21.1	14.0	18.9	18.7	28.6	50.0	21.7	11.1	22.1	22.2	22.2	20.9
障害への配慮があること	16.6	14.0	23.0	20.0	35.7	50.0	21.7	11.1	13.2	13.7	5.6	4.7
一緒に参加する仲間がいること	14.0	12.3	9.5	13.5	35.7	50.0	18.3	11.1	11.8	17.1	5.6	7.0
情報が確実に入ってくる	13.9	12.3	17.6	9.7	21.4	50.0	11.7	22.2	13.2	12.0	22.2	16.3
その他	1.7	1.8	0.0	3.2	0.0	25.0	3.3	0.0	2.2	0.9	0.0	2.3
特にな	12.3	8.8	13.5	11.0	7.1	0.0	11.7	11.1	13.2	14.5	16.7	9.3
わからない	7.9	10.5	6.8	3.9	7.1	0.0	13.3	11.1	8.1	10.3	11.1	7.0
無回答	36.5	47.4	39.2	45.8	35.7	25.0	25.0	44.4	33.8	31.6	27.8	44.2

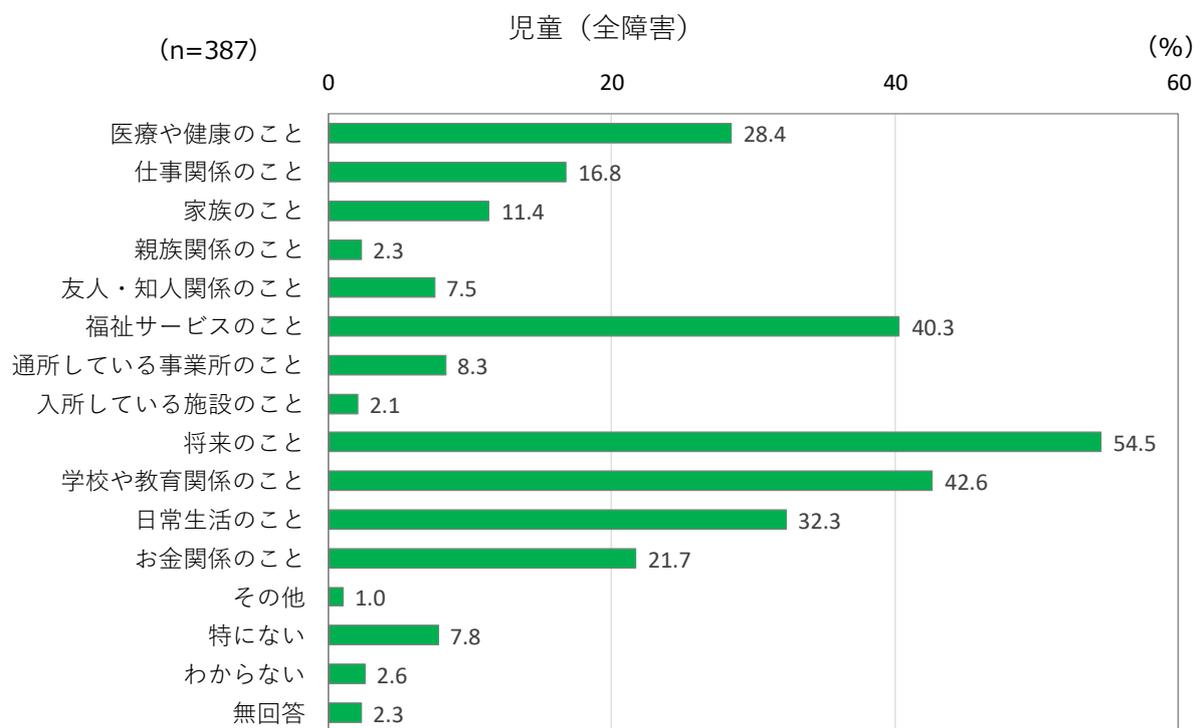
相談体制

問 52. 主に相談したい内容は何ですか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「将来のこと」が5割以上、次いで「学校や教育関係のこと」「福祉サービスのこと」が4割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由については「医療や健康のこと」「福祉サービスのこと」が他の障害と比べ多い傾向が見られます。



(単位：%)

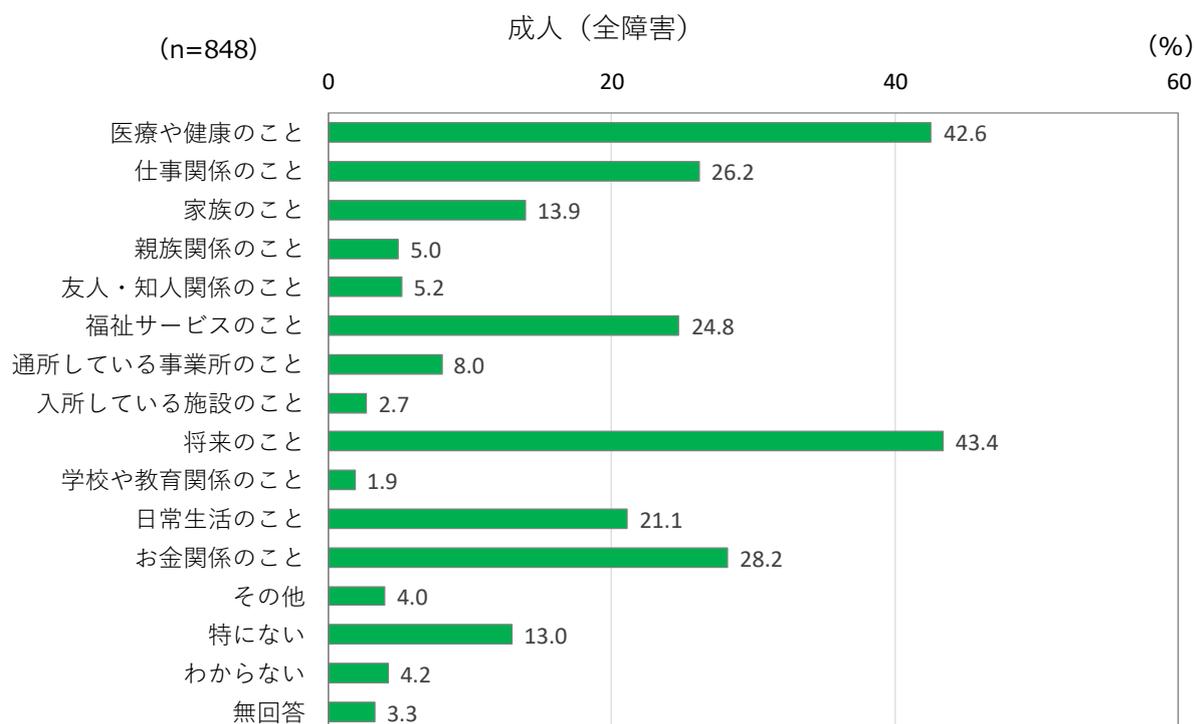
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
医療や健康のこと	28.4	33.3	38.5	42.4	33.5	24.6	50.0	100.0	55.0	40.9	8.7	28.6
仕事関係のこと	16.8	0.0	23.1	3.0	19.8	18.1	12.5	0.0	20.0	9.1	8.7	7.1
家族のこと	11.4	0.0	7.7	9.1	13.6	15.2	37.5	0.0	5.0	9.1	4.3	7.1
親族関係のこと	2.3	0.0	0.0	3.0	2.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
友人・知人関係のこと	7.5	0.0	7.7	0.0	5.0	11.1	25.0	0.0	5.0	4.5	8.7	7.1
福祉サービスのこと	40.3	33.3	76.9	75.8	51.7	43.3	37.5	100.0	30.0	36.4	4.3	25.0
通所している事業所のこと	8.3	33.3	15.4	15.2	12.0	9.4	0.0	0.0	5.0	4.5	4.3	3.6
入所している施設のこと	2.1	33.3	0.0	9.1	3.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
将来のこと	54.5	0.0	76.9	60.6	62.4	60.8	62.5	0.0	30.0	54.5	30.4	42.9
学校や教育関係のこと	42.6	0.0	46.2	42.4	36.8	50.9	50.0	0.0	45.0	50.0	43.5	60.7
日常生活のこと	32.3	33.3	46.2	39.4	33.1	41.5	50.0	0.0	20.0	31.8	17.4	28.6
お金関係のこと	21.7	0.0	38.5	30.3	26.0	22.2	37.5	0.0	30.0	27.3	13.0	14.3
その他	1.0	0.0	0.0	6.1	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
特になし	7.8	0.0	0.0	0.0	6.2	2.3	12.5	0.0	5.0	18.2	13.0	14.3
わからない	2.6	0.0	0.0	0.0	2.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	3.6
無回答	2.3	33.3	0.0	0.0	2.1	2.3	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0

【成人】

成人全体では、「将来のこと」「医療や健康のこと」が4割以上となっています。

障害種別で見ると、発達障害は「将来のこと」が6割以上と、他の障害と比べ多くなっています。また、発達障害と精神障害は「仕事関係のこと」「日常生活のこと」「お金関係のこと」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

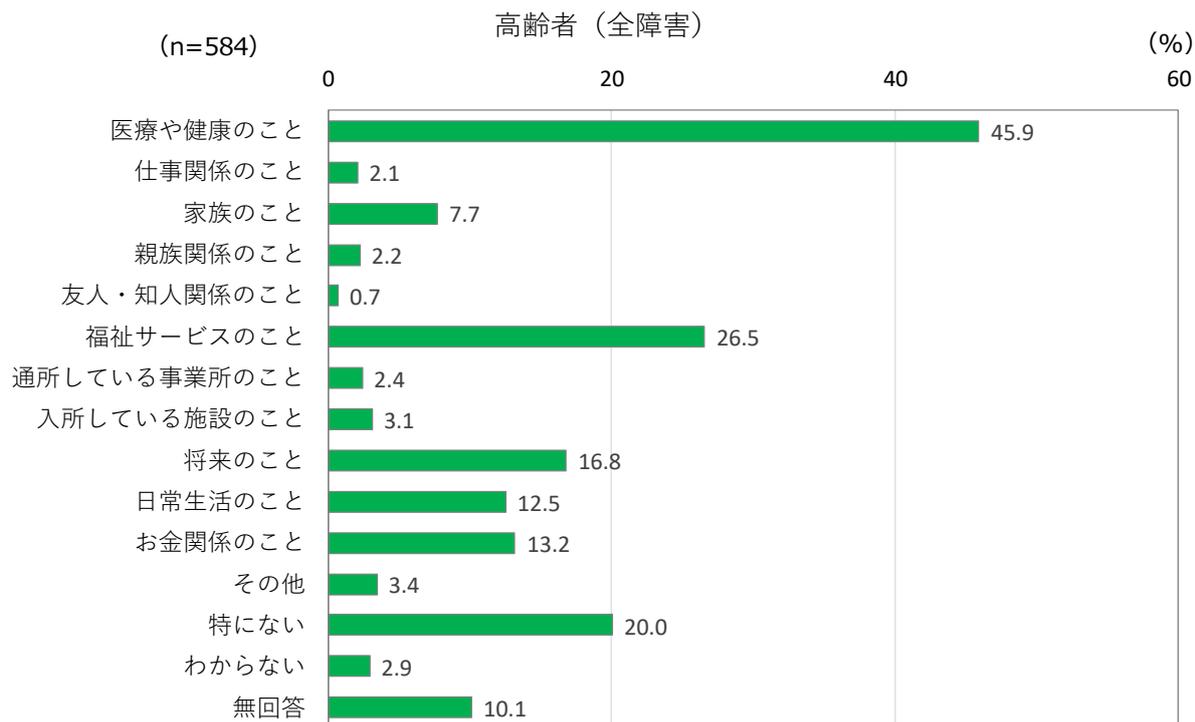
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
医療や健康のこと	42.6	37.1	47.5	51.9	33.0	45.9	51.6	37.5	48.5	54.5	47.6	39.5
仕事関係のこと	26.2	14.3	20.3	12.0	17.7	39.8	38.2	31.3	21.2	20.0	33.3	31.6
家族のこと	13.9	11.4	11.9	9.3	9.0	15.3	24.4	31.3	12.1	8.2	19.0	10.5
親族関係のこと	5.0	2.9	5.1	2.8	3.1	6.1	9.8	0.0	3.0	0.0	9.5	2.6
友人・知人関係のこと	5.2	5.7	6.8	1.9	5.2	8.2	8.0	0.0	3.0	0.0	9.5	7.9
福祉サービスのこと	24.8	48.6	30.5	38.0	27.1	35.7	26.9	25.0	33.3	19.1	4.8	15.8
通所している事業所のこと	8.0	8.6	6.8	9.3	14.2	13.3	6.9	12.5	3.0	2.7	0.0	5.3
入所している施設のこと	2.7	0.0	3.4	5.6	6.6	5.1	1.8	12.5	3.0	0.0	0.0	0.0
将来のこと	43.4	54.3	35.6	41.7	54.2	64.3	45.5	43.8	30.3	25.5	38.1	42.1
学校や教育関係のこと	1.9	0.0	6.8	0.9	0.0	3.1	1.5	0.0	0.0	0.9	14.3	2.6
日常生活のこと	21.1	22.9	18.6	18.5	20.5	38.8	30.2	25.0	18.2	14.5	4.8	15.8
お金関係のこと	28.2	20.0	20.3	19.4	21.9	40.8	42.2	37.5	21.2	24.5	33.3	21.1
その他	4.0	2.9	5.1	4.6	3.5	5.1	6.9	12.5	0.0	3.6	0.0	7.9
特になし	13.0	11.4	11.9	9.3	7.6	4.1	8.7	12.5	24.2	23.6	38.1	21.1
わからない	4.2	2.9	5.1	1.9	5.6	1.0	4.7	6.3	6.1	2.7	0.0	0.0
無回答	3.3	2.9	8.5	6.5	5.6	4.1	1.8	0.0	3.0	0.9	0.0	5.3

【高齢者】

高齢者全体では、「医療や健康のこと」が4割以上と最も多く、次いで「福祉サービスのこと」となっています。

精神障害については、「将来のこと」が他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。



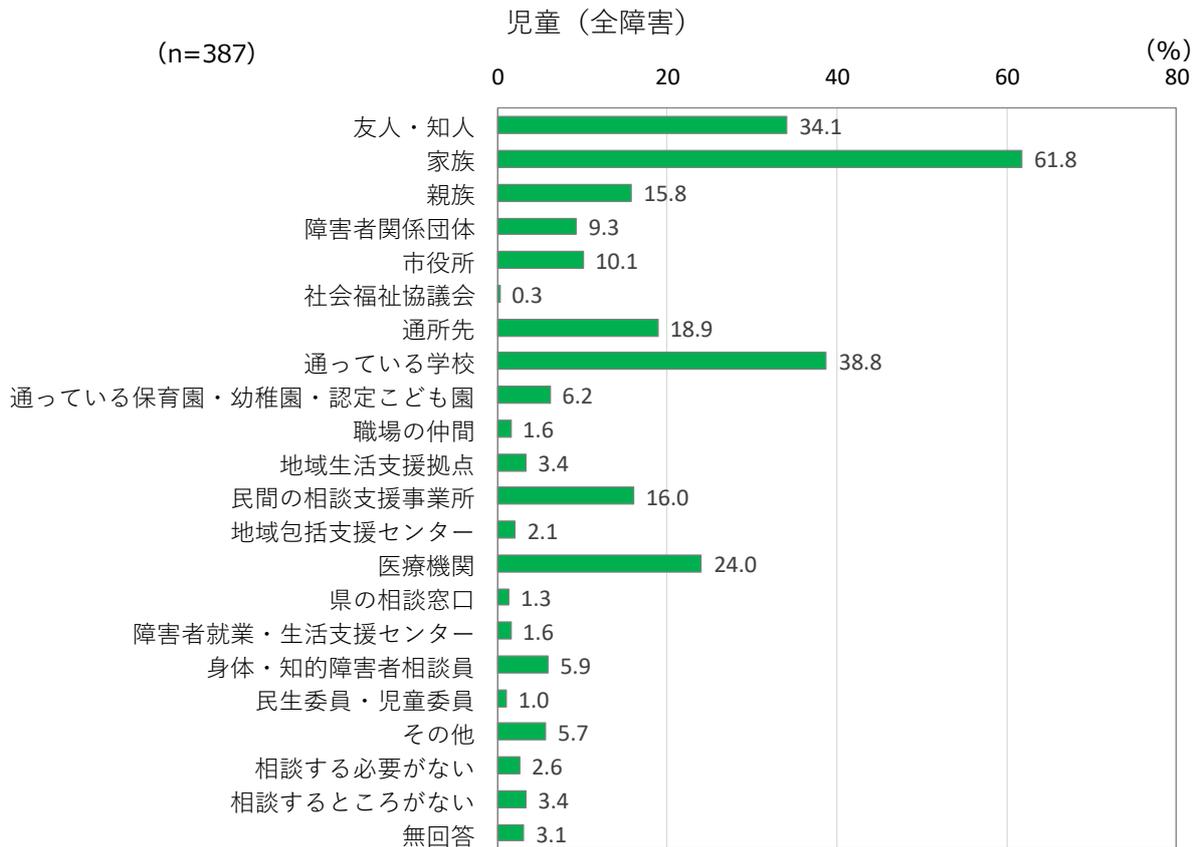
(単位：%)

高齢者	全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
医療や健康のこと	45.9	36.8	48.6	42.6	57.1	75.0	45.0	22.2	49.3	46.2	50.0	41.9
仕事関係のこと	2.1	1.8	0.0	1.3	14.3	25.0	3.3	0.0	2.2	0.9	5.6	0.0
家族のこと	7.7	8.8	8.1	5.8	7.1	0.0	10.0	0.0	5.9	10.3	5.6	4.7
親族関係のこと	2.2	1.8	2.7	1.9	7.1	0.0	1.7	0.0	2.9	2.6	0.0	2.3
友人・知人関係のこと	0.7	1.8	1.4	0.6	0.0	25.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉サービスのこと	26.5	26.3	35.1	28.4	14.3	25.0	21.7	11.1	22.8	25.6	38.9	27.9
通所している事業所のこと	2.4	3.5	2.7	3.2	28.6	25.0	3.3	22.2	0.7	0.9	0.0	0.0
入所している施設のこと	3.1	3.5	4.1	3.9	14.3	0.0	6.7	11.1	2.2	2.6	0.0	4.7
将来のこと	16.8	12.3	20.3	16.1	21.4	25.0	26.7	0.0	8.8	17.9	16.7	14.0
学校や教育関係のこと	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活のこと	12.5	12.3	8.1	11.6	14.3	0.0	15.0	11.1	9.6	18.8	16.7	11.6
お金関係のこと	13.2	10.5	6.8	12.9	7.1	0.0	20.0	11.1	11.0	12.0	22.2	11.6
その他	3.4	3.5	2.7	2.6	0.0	25.0	6.7	0.0	3.7	6.0	5.6	2.3
特にない	20.0	24.6	12.2	18.7	14.3	0.0	8.3	22.2	22.1	20.5	22.2	32.6
わからない	2.9	1.8	4.1	3.9	0.0	0.0	1.7	11.1	2.9	4.3	0.0	0.0
無回答	10.1	19.3	17.6	14.2	14.3	0.0	10.0	33.3	10.3	4.3	5.6	9.3

問 53. 主に誰（どこ）に相談していますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「家族」が6割以上と最も多く、次いで「通っている学校」「友人・知人」となっています。



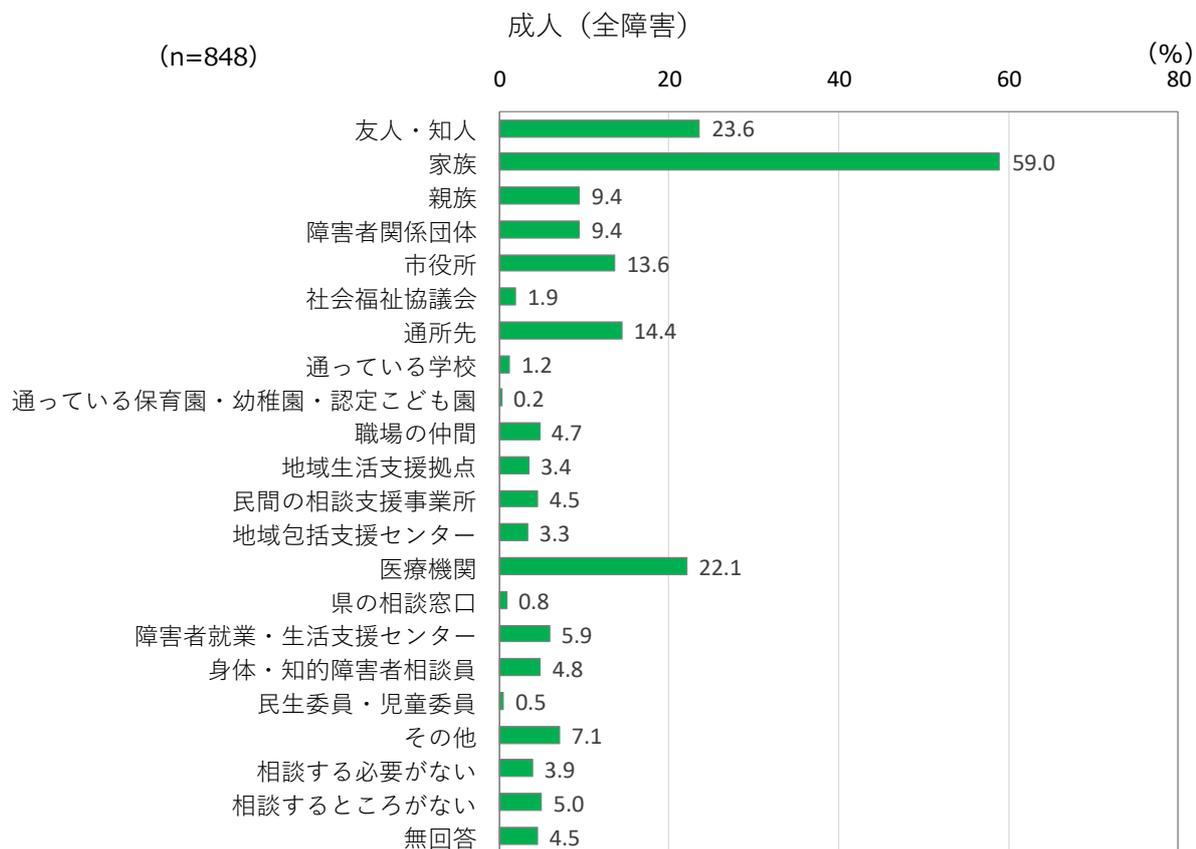
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
友人・知人	34.1	0.0	46.2	45.5	38.0	36.8	12.5	0.0	60.0	22.7	21.7	17.9
家族	61.8	33.3	84.6	60.6	59.1	67.3	62.5	100.0	65.0	72.7	69.6	46.4
親族	15.8	0.0	7.7	12.1	15.3	19.9	12.5	100.0	15.0	36.4	13.0	7.1
障害者関係団体	9.3	0.0	38.5	6.1	12.4	10.5	12.5	0.0	15.0	13.6	0.0	0.0
市役所	10.1	33.3	7.7	12.1	12.0	8.8	12.5	0.0	0.0	4.5	4.3	7.1
社会福祉協議会	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所先	18.9	33.3	15.4	21.2	20.7	22.8	0.0	0.0	5.0	0.0	13.0	17.9
通っている学校	38.8	33.3	46.2	24.2	44.2	43.3	50.0	0.0	30.0	18.2	17.4	10.7
通っている保育園・幼稚園・ 認定こども園	6.2	0.0	0.0	3.0	2.1	6.4	0.0	0.0	0.0	9.1	21.7	17.9
職場の仲間	1.6	0.0	0.0	3.0	1.2	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	4.3	0.0
地域生活支援拠点	3.4	0.0	0.0	6.1	5.4	6.4	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
民間の相談支援事業所	16.0	33.3	15.4	24.2	17.8	22.8	25.0	0.0	10.0	13.6	4.3	3.6
地域包括支援センター	2.1	0.0	0.0	0.0	2.5	1.2	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	3.6
医療機関	24.0	0.0	30.8	42.4	24.8	25.7	12.5	100.0	35.0	40.9	8.7	17.9
県の相談窓口	1.3	0.0	0.0	0.0	2.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者就業・生活支援センター	1.6	0.0	0.0	0.0	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	5.9	0.0	23.1	6.1	9.1	4.7	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	1.0	0.0	0.0	3.0	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.7	0.0	0.0	9.1	5.4	5.3	25.0	0.0	10.0	9.1	4.3	10.7
相談する必要がある	2.6	0.0	0.0	0.0	2.1	0.6	0.0	0.0	0.0	9.1	4.3	3.6
相談するところがない	3.4	0.0	0.0	3.0	3.3	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	14.3
無回答	3.1	33.3	0.0	0.0	2.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【成人】

成人全体では、「家族」が6割近くと最も多く、次いで「友人・知人」「医療機関」が2割以上となっています。

前回調査と比べると、大きな傾向の違いは見られません。



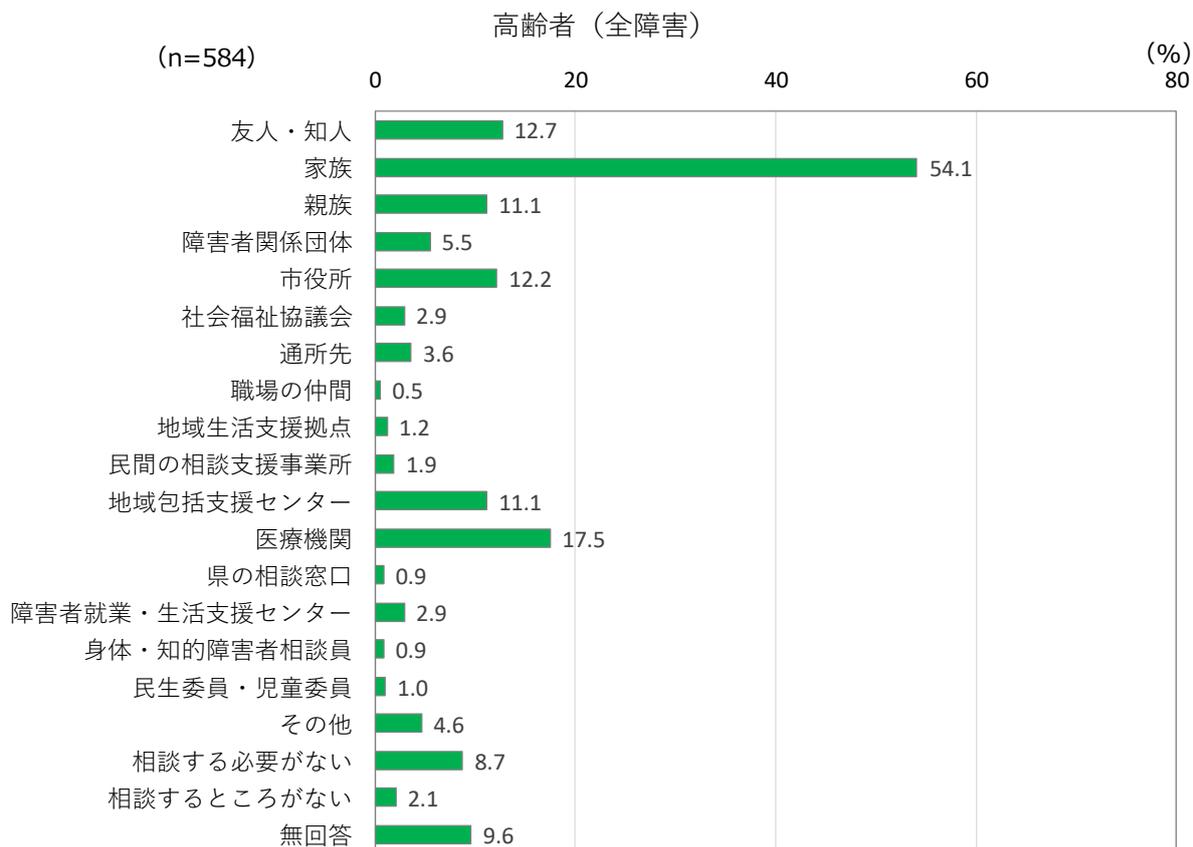
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
友人・知人	23.6	25.7	30.5	28.7	14.9	13.3	24.0	31.3	24.2	35.5	28.6	26.3
家族	59.0	48.6	61.0	58.3	58.0	58.2	62.2	75.0	63.6	59.1	66.7	55.3
親族	9.4	14.3	13.6	12.0	4.9	4.1	12.7	25.0	18.2	13.6	4.8	7.9
障害者関係団体	9.4	20.0	18.6	13.0	14.9	10.2	8.4	6.3	6.1	4.5	4.8	7.9
市役所	13.6	17.1	23.7	13.9	14.6	12.2	17.1	0.0	18.2	6.4	9.5	10.5
社会福祉協議会	1.9	0.0	5.1	1.9	3.1	1.0	0.7	0.0	0.0	0.9	0.0	2.6
通所先	14.4	25.7	6.8	25.0	30.2	19.4	8.0	12.5	6.1	6.4	4.8	2.6
通っている学校	1.2	0.0	3.4	0.0	0.3	2.0	1.1	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
通っている保育園・幼稚園・認定こども園	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場の仲間	4.7	11.4	8.5	5.6	3.8	8.2	4.4	6.3	15.2	5.5	0.0	2.6
地域生活支援拠点	3.4	5.7	1.7	0.9	6.3	5.1	2.5	6.3	0.0	1.8	0.0	2.6
民間の相談支援事業所	4.5	5.7	6.8	6.5	8.0	6.1	3.6	0.0	3.0	1.8	0.0	2.6
地域包括支援センター	3.3	5.7	8.5	8.3	3.5	3.1	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	2.6
医療機関	22.1	14.3	15.3	18.5	12.2	24.5	34.2	18.8	39.4	27.3	28.6	21.1
県の相談窓口	0.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.9	4.8	0.0
障害者就業・生活支援センター	5.9	2.9	5.1	2.8	7.6	9.2	8.7	6.3	3.0	1.8	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	4.8	0.0	3.4	6.5	12.5	5.1	1.1	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.1	5.7	3.4	4.6	4.9	7.1	9.1	12.5	0.0	3.6	4.8	21.1
相談する必要がある	3.9	2.9	1.7	2.8	1.0	2.0	3.3	0.0	6.1	6.4	19.0	2.6
相談するところがない	5.0	5.7	1.7	0.9	2.4	4.1	7.3	6.3	3.0	6.4	4.8	7.9
無回答	4.5	2.9	6.8	3.7	6.6	5.1	2.9	0.0	3.0	0.0	0.0	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、「家族」が5割以上と最も多くなっています。次いで「医療機関」「友人・知人」となっています。

前回調査との比較では、「家族」は約8ポイント減少しています。



(単位：%)

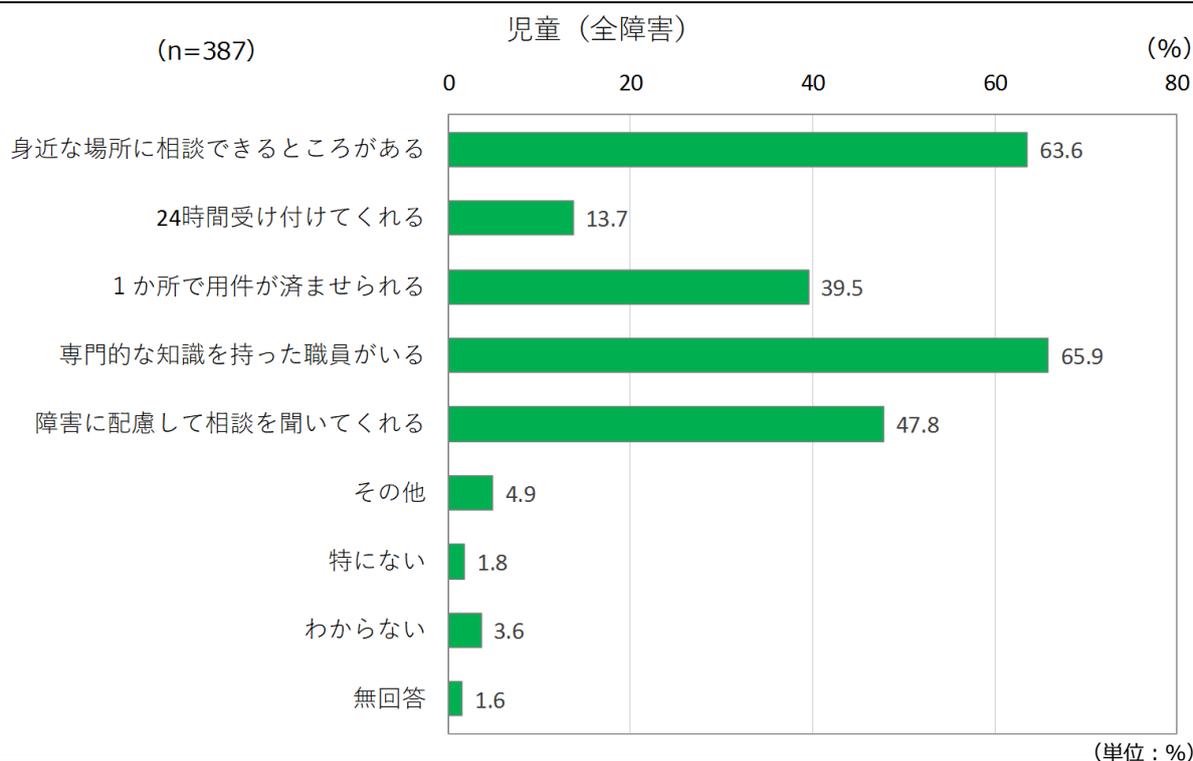
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
友人・知人	12.7	17.5	13.5	17.4	7.1	25.0	13.3	0.0	11.0	12.0	16.7	9.3
家族	54.1	40.4	58.1	56.1	42.9	50.0	48.3	55.6	53.7	56.4	77.8	53.5
親族	11.1	7.0	13.5	14.2	14.3	0.0	6.7	0.0	9.6	9.4	11.1	14.0
障害者関係団体	5.5	8.8	9.5	4.5	14.3	25.0	13.3	0.0	0.7	0.9	0.0	4.7
市役所	12.2	21.1	17.6	7.1	42.9	25.0	13.3	11.1	11.0	12.8	5.6	4.7
社会福祉協議会	2.9	7.0	4.1	2.6	21.4	25.0	3.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
通所先	3.6	1.8	2.7	3.9	28.6	25.0	6.7	33.3	1.5	2.6	5.6	2.3
通っている学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている保育園・幼稚園・ 認定こども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場の仲間	0.5	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
地域生活支援拠点	1.2	1.8	0.0	1.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.9	0.0	2.3
民間の相談支援事業所	1.9	3.5	1.4	3.2	0.0	0.0	1.7	0.0	2.2	3.4	5.6	0.0
地域包括支援センター	11.1	15.8	16.2	13.5	0.0	0.0	5.0	22.2	7.4	14.5	11.1	11.6
医療機関	17.5	12.3	17.6	13.5	7.1	0.0	30.0	11.1	21.3	20.5	27.8	16.3
県の相談窓口	0.9	1.8	1.4	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
障害者就業・生活支援セン ター	2.9	1.8	2.7	1.3	7.1	50.0	0.0	0.0	5.1	3.4	5.6	2.3
身体・知的障害者相談員	0.9	1.8	0.0	2.6	7.1	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	1.0	3.5	0.0	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.7	0.0	5.6	0.0
その他	4.6	3.5	4.1	5.2	0.0	25.0	5.0	0.0	5.1	6.8	5.6	9.3
相談する必要がある	8.7	12.3	1.4	5.8	7.1	0.0	6.7	0.0	11.0	5.1	11.1	14.0
相談するところがない	2.1	1.8	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.3	0.0	0.0
無回答	9.6	15.8	13.5	14.2	14.3	0.0	10.0	22.2	10.3	2.6	5.6	11.6

問 54. あなたが必要な時に気軽に相談するためにどのようなことが必要だと思いますか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「専門的な知識を持った職員がいる」「身近な場所に相談できるところがある」が6割以上で多く、次いで「障害に配慮して相談を聞いてくれる」が5割近くとなっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「1か所で用件が済ませられる」が5割以上と、他の障害と比べ多くなっています。

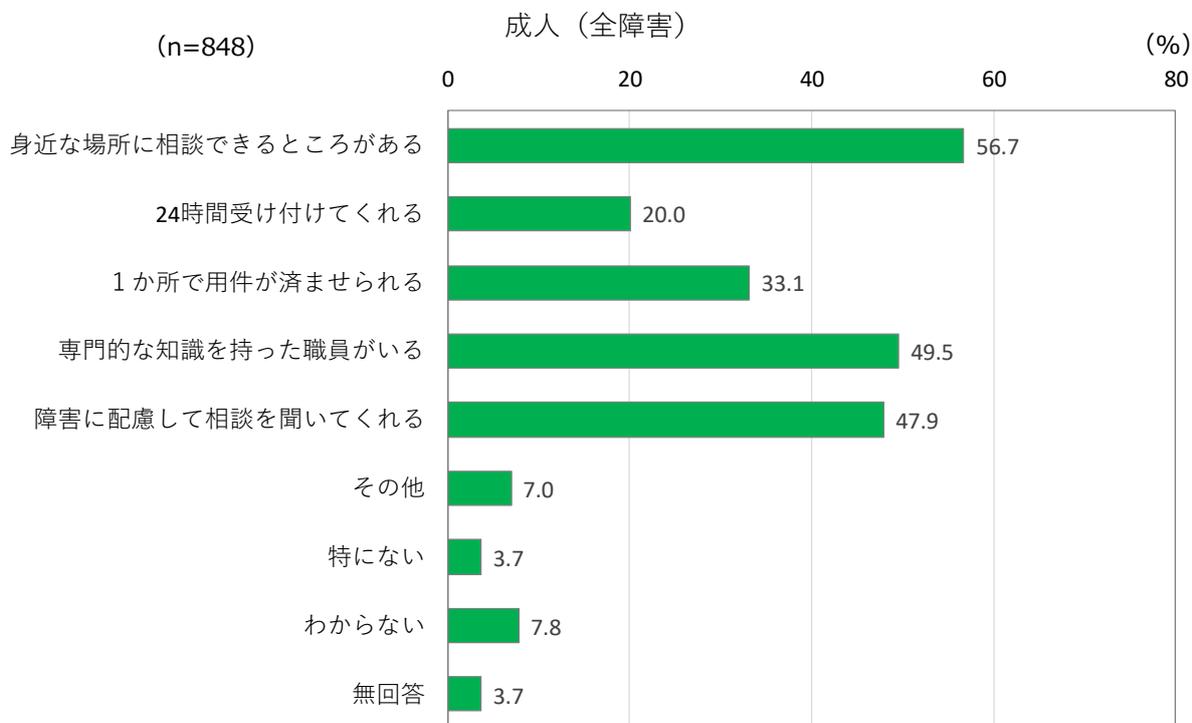


児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
身近な場所に相談できるところがある	63.6	33.3	84.6	63.6	64.9	66.1	62.5	0.0	50.0	54.5	69.6	50.0
24時間受け付けてくれる	13.7	0.0	0.0	12.1	13.2	14.0	25.0	100.0	5.0	13.6	8.7	14.3
1か所で用件が済ませられる	39.5	33.3	61.5	54.5	43.4	33.3	62.5	100.0	30.0	50.0	30.4	60.7
専門的な知識を持った職員がいる	65.9	33.3	61.5	81.8	69.4	73.1	62.5	100.0	55.0	54.5	43.5	71.4
障害に配慮して相談を聞いてくれる	47.8	33.3	61.5	48.5	52.1	56.1	50.0	0.0	30.0	36.4	21.7	42.9
その他	4.9	0.0	7.7	9.1	5.0	4.7	0.0	0.0	10.0	4.5	0.0	7.1
特にない	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.6	0.0	0.0	10.0	13.6	0.0	3.6
わからない	3.6	0.0	0.0	0.0	2.5	3.5	12.5	0.0	5.0	4.5	4.3	14.3
無回答	1.6	33.3	0.0	0.0	0.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0

【成人】

成人全体では、「身近な場所に相談できるところがある」が5割以上と最も多く、次いで「専門的な知識を持った職員がいる」「障害に配慮して相談を聞いてくれる」が5割近くとなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

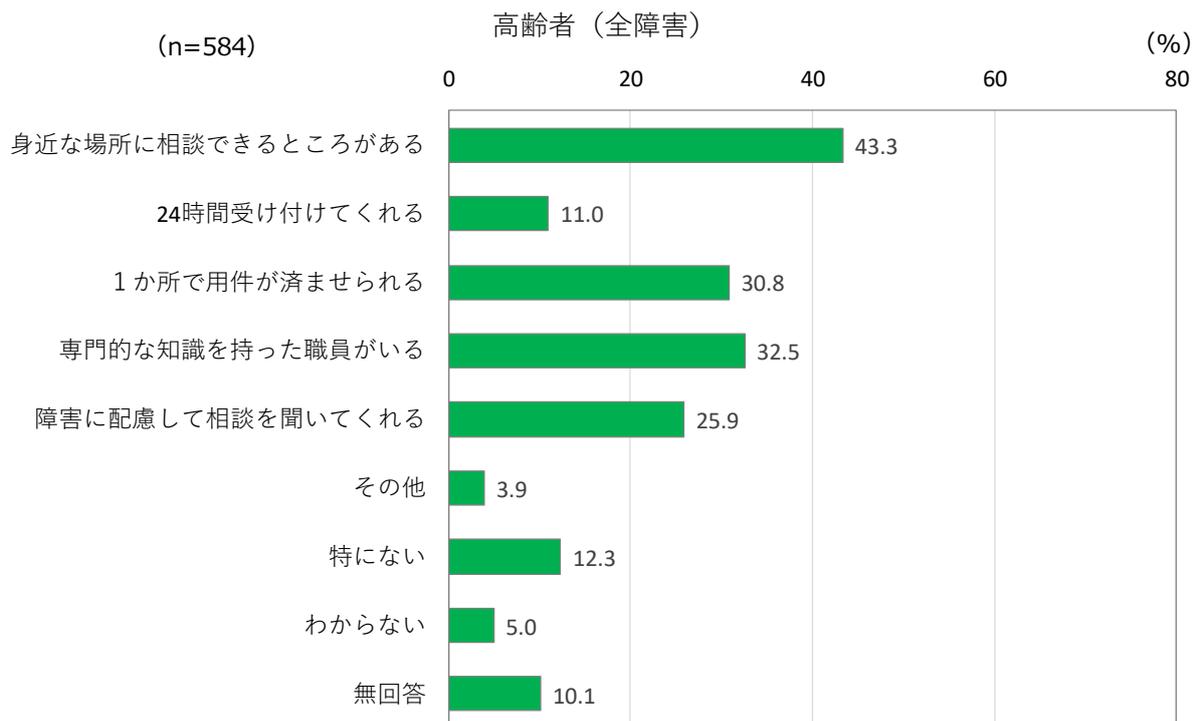
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
身近な場所に相談できるところがある	56.7	57.1	50.8	57.4	58.3	67.3	60.0	62.5	60.6	55.5	71.4	42.1
24時間受け付けてくれる	20.0	17.1	22.0	24.1	17.7	26.5	27.3	25.0	21.2	14.5	14.3	21.1
1か所で用件が済ませられる	33.1	37.1	35.6	37.0	29.9	35.7	38.9	37.5	39.4	37.3	33.3	26.3
専門的な知識を持った職員がいる	49.5	60.0	45.8	59.3	49.7	55.1	52.7	37.5	51.5	51.8	52.4	42.1
障害に配慮して相談を聞いてくれる	47.9	68.6	61.0	51.9	58.3	65.3	50.5	50.0	36.4	31.8	4.8	39.5
その他	7.0	8.6	10.2	5.6	3.5	12.2	9.8	25.0	0.0	4.5	4.8	15.8
特にない	3.7	2.9	0.0	6.5	1.7	0.0	3.3	12.5	6.1	4.5	4.8	5.3
わからない	7.8	2.9	3.4	2.8	6.6	6.1	8.7	6.3	9.1	11.8	9.5	5.3
無回答	3.7	0.0	8.5	5.6	5.9	3.1	2.5	0.0	3.0	0.9	0.0	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、「身近な場所に相談できるところがある」が4割以上と最も多く、次いで「専門的な知識を持った職員がいる」「1か所で用件が済ませられる」が3割以上となっています。

障害種別でみると、視覚障害は「1か所で用件が済ませられる」が5割近くと、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
身近な場所に相談できるところがある	43.3	36.8	45.9	39.4	35.7	50.0	35.0	44.4	46.3	36.8	55.6	60.5
24時間受け付けてくれる	11.0	12.3	12.2	9.0	14.3	0.0	8.3	11.1	11.0	10.3	22.2	14.0
1か所で用件が済ませられる	30.8	49.1	28.4	30.3	14.3	0.0	16.7	11.1	26.5	36.8	50.0	32.6
専門的な知識を持った職員がいる	32.5	28.1	27.0	29.0	35.7	75.0	31.7	44.4	32.4	36.8	38.9	27.9
障害に配慮して相談を聞いてくれる	25.9	38.6	33.8	25.2	42.9	50.0	36.7	33.3	15.4	20.5	5.6	18.6
その他	3.9	3.5	2.7	1.9	7.1	25.0	6.7	11.1	3.7	6.8	5.6	4.7
特にない	12.3	19.3	10.8	11.0	7.1	0.0	6.7	11.1	9.6	17.1	0.0	14.0
わからない	5.0	1.8	6.8	3.9	7.1	0.0	6.7	22.2	5.1	4.3	16.7	7.0
無回答	10.1	17.5	13.5	16.1	14.3	0.0	13.3	11.1	10.3	4.3	0.0	7.0

健康・医療

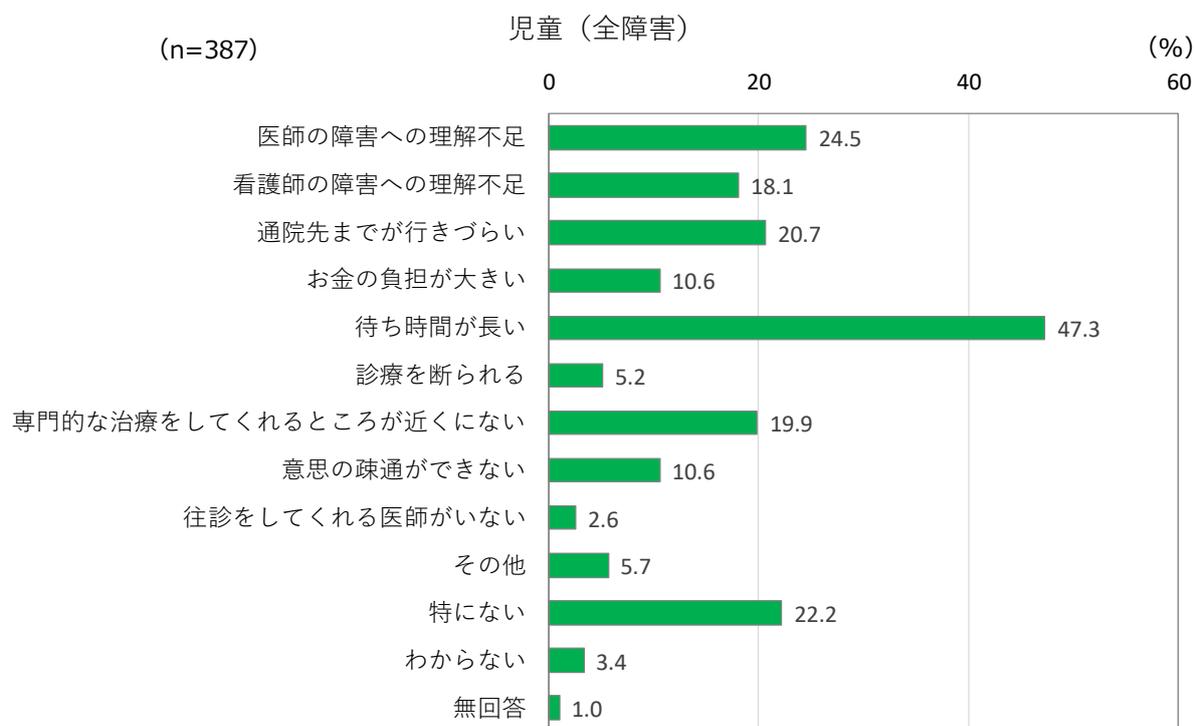
問 55. 医療を利用するうえで困ったことはありますか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「待ち時間が長い」が5割近くとなっています。次いで「医師の障害への理解不足」「特にない」が2割以上、「通院先までがいきづらい」「専門的な治療をしてくれるところが近くにない」「看護師の障害への理解不足」が2割程度となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「通院先までがいきづらい」が5割近くと、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査で最も回答が多かった「専門的な治療をしてくれるところが近くにない」は約13ポイント減少しています。



(単位：%)

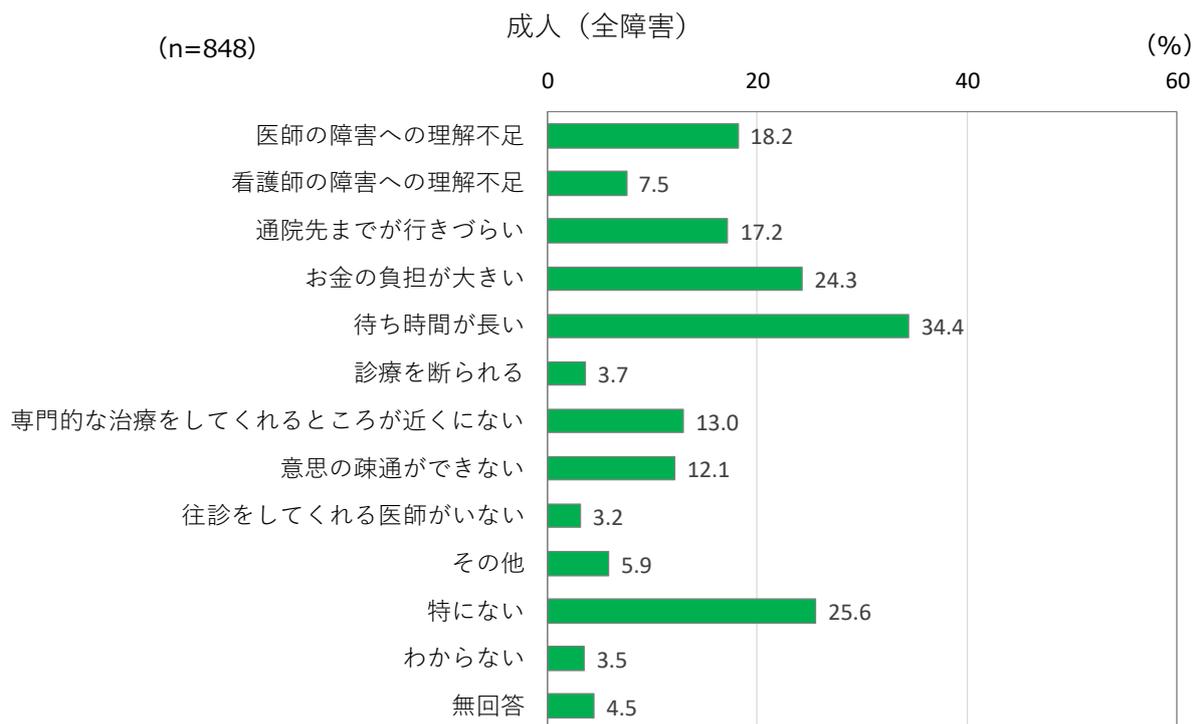
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
医師の障害への理解不足	24.5	0.0	15.4	15.2	28.1	33.9	25.0	0.0	20.0	0.0	13.0	7.1
看護師の障害への理解不足	18.1	0.0	7.7	6.1	21.5	25.7	12.5	0.0	0.0	4.5	8.7	7.1
通院先までが行きづらい	20.7	33.3	30.8	48.5	23.1	18.7	37.5	100.0	55.0	40.9	0.0	10.7
お金の負担が大きい	10.6	33.3	0.0	9.1	11.6	7.0	12.5	100.0	30.0	22.7	4.3	3.6
待ち時間が長い	47.3	66.7	53.8	57.6	51.7	50.9	50.0	100.0	45.0	63.6	39.1	35.7
診療を断られる	5.2	33.3	0.0	6.1	5.8	5.3	0.0	0.0	10.0	9.1	0.0	0.0
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	19.9	33.3	23.1	24.2	19.8	20.5	37.5	0.0	35.0	4.5	13.0	25.0
意思の疎通ができない	10.6	0.0	23.1	6.1	14.9	11.1	0.0	0.0	5.0	4.5	4.3	3.6
往診をしてもらえる医師がいない	2.6	0.0	0.0	6.1	2.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
その他	5.7	0.0	7.7	15.2	7.0	6.4	0.0	0.0	10.0	13.6	0.0	3.6
特になし	22.2	0.0	7.7	15.2	17.8	14.0	12.5	0.0	20.0	13.6	43.5	46.4
わからない	3.4	33.3	0.0	0.0	2.5	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【成人】

成人全体についても、「待ち時間が長い」が3割以上で最も多くなっています。次いで「特
にない」「お金の負担が大きい」が2割以上、「医師の障害への理解不足」「通院先までが行
きづらい」が2割近くとなっています。

障害種別でみると、難病は「お金の負担が大きい」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、成人全体では大きな傾向の
違いは見られません。



(単位：%)

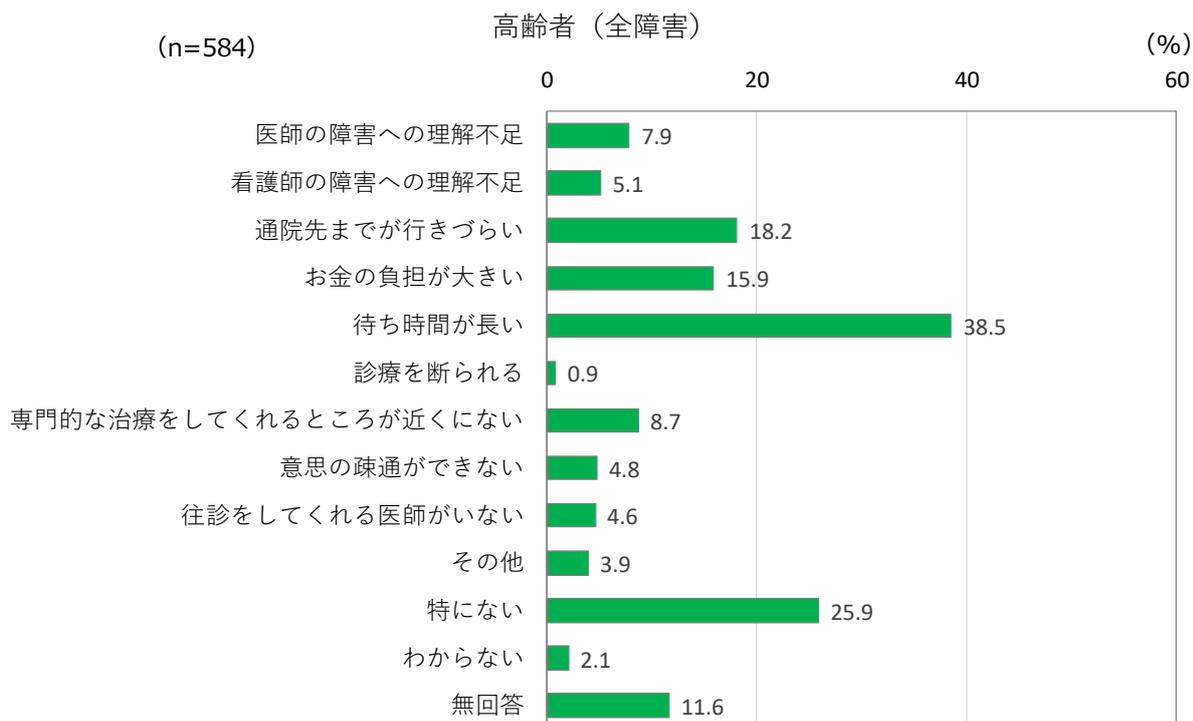
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
医師の障害への理解不足	18.2	17.1	42.4	18.5	20.5	30.6	19.3	12.5	9.1	9.1	14.3	13.2
看護師の障害への理解不足	7.5	11.4	23.7	5.6	9.0	12.2	5.8	0.0	6.1	2.7	9.5	5.3
通院先までが行きづらい	17.2	40.0	20.3	27.8	15.3	18.4	17.5	12.5	27.3	23.6	28.6	15.8
お金の負担が大きい	24.3	11.4	8.5	19.4	13.5	21.4	29.8	12.5	24.2	44.5	38.1	23.7
待ち時間が長い	34.4	40.0	25.4	36.1	35.4	45.9	32.7	25.0	51.5	46.4	23.8	34.2
診療を断られる	3.7	11.4	1.7	2.8	4.9	3.1	2.9	6.3	6.1	1.8	9.5	0.0
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	13.0	34.3	16.9	25.0	15.6	16.3	12.0	37.5	21.2	17.3	23.8	2.6
意思の疎通ができない	12.1	14.3	16.9	14.8	20.8	17.3	7.3	18.8	6.1	5.5	0.0	5.3
往診をしてもらえる医師がいない	3.2	5.7	3.4	5.6	4.2	3.1	2.9	0.0	6.1	1.8	0.0	2.6
その他	5.9	5.7	11.9	5.6	4.2	7.1	7.6	18.8	6.1	3.6	0.0	7.9
特になし	25.6	25.7	22.0	21.3	23.3	20.4	26.5	31.3	15.2	20.0	38.1	28.9
わからない	3.5	0.0	1.7	1.9	4.2	5.1	5.8	0.0	3.0	1.8	4.8	0.0
無回答	4.5	0.0	0.0	3.7	7.3	3.1	3.6	0.0	3.0	0.9	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体についてはも、「待ち時間が長い」が4割近くと最も多くなっています。次いで「特にない」が2割以上、「通院先までがいきづらい」が2割近くとなっています。

障害種別でも、上記3つの回答の割合が多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査で最も多かった「特にない」は約22ポイント減少しています。



(単位：%)

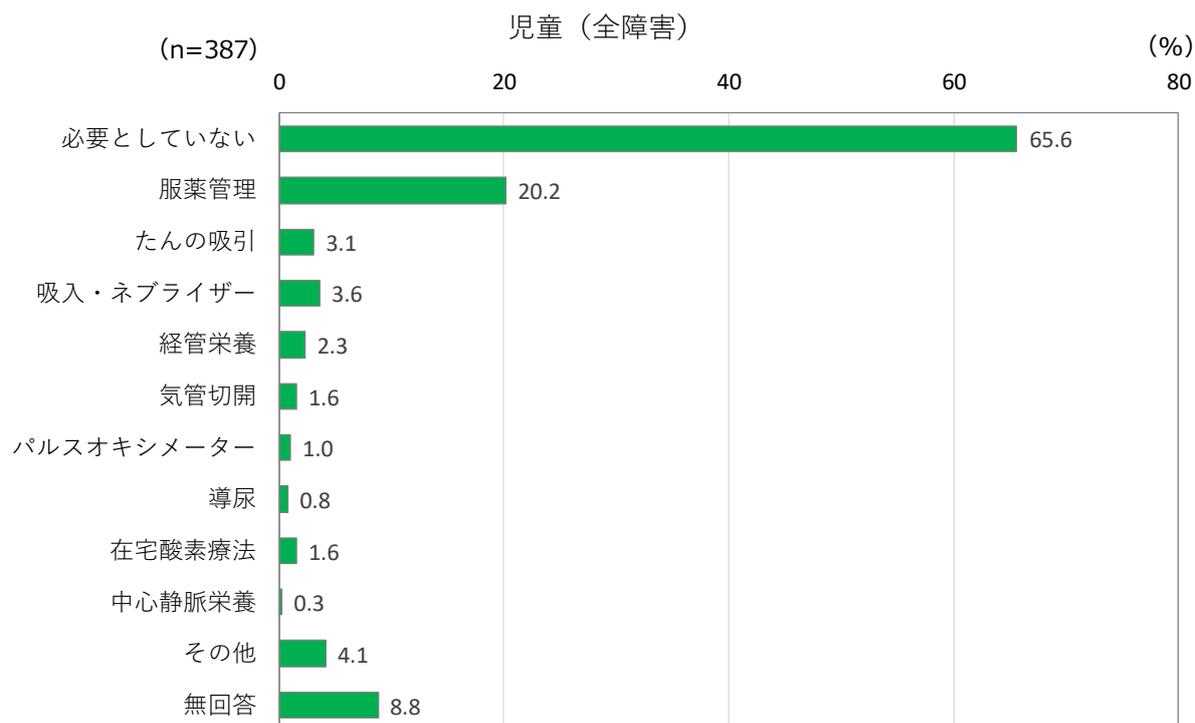
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
医師の障害への理解不足	7.9	12.3	12.2	5.8	21.4	25.0	16.7	0.0	4.4	4.3	5.6	7.0
看護師の障害への理解不足	5.1	10.5	6.8	3.2	7.1	0.0	10.0	0.0	2.2	4.3	11.1	7.0
通院先までが行きづらい	18.2	19.3	17.6	16.1	14.3	50.0	20.0	22.2	14.0	25.6	22.2	14.0
お金の負担が大きい	15.9	10.5	16.2	16.8	21.4	0.0	13.3	33.3	15.4	18.8	27.8	25.6
待ち時間が長い	38.5	43.9	41.9	34.2	35.7	25.0	28.3	22.2	43.4	41.9	38.9	23.3
診療を断られる	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	8.7	12.3	5.4	7.7	14.3	25.0	8.3	0.0	5.9	13.7	5.6	11.6
意思の疎通ができない	4.8	7.0	13.5	1.9	7.1	25.0	6.7	11.1	2.9	2.6	0.0	7.0
往診をしてくれる医師がいない	4.6	5.3	2.7	1.9	7.1	0.0	3.3	11.1	5.1	4.3	5.6	14.0
その他	3.9	3.5	1.4	5.2	7.1	25.0	5.0	0.0	5.1	5.1	11.1	4.7
特にない	25.9	24.6	16.2	27.1	7.1	0.0	21.7	22.2	25.7	27.4	38.9	34.9
わからない	2.1	1.8	4.1	0.6	7.1	0.0	5.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.3
無回答	11.6	15.8	12.2	15.5	7.1	0.0	15.0	22.2	9.6	8.5	5.6	14.0

問 56. あなたはどのような医療的ケアを必要としていますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、6割以上が「必要としていない」と回答しています。次いで、「服薬管理」が2割以上となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「服薬管理」4割近と、他の障害と比べ多くなっています。

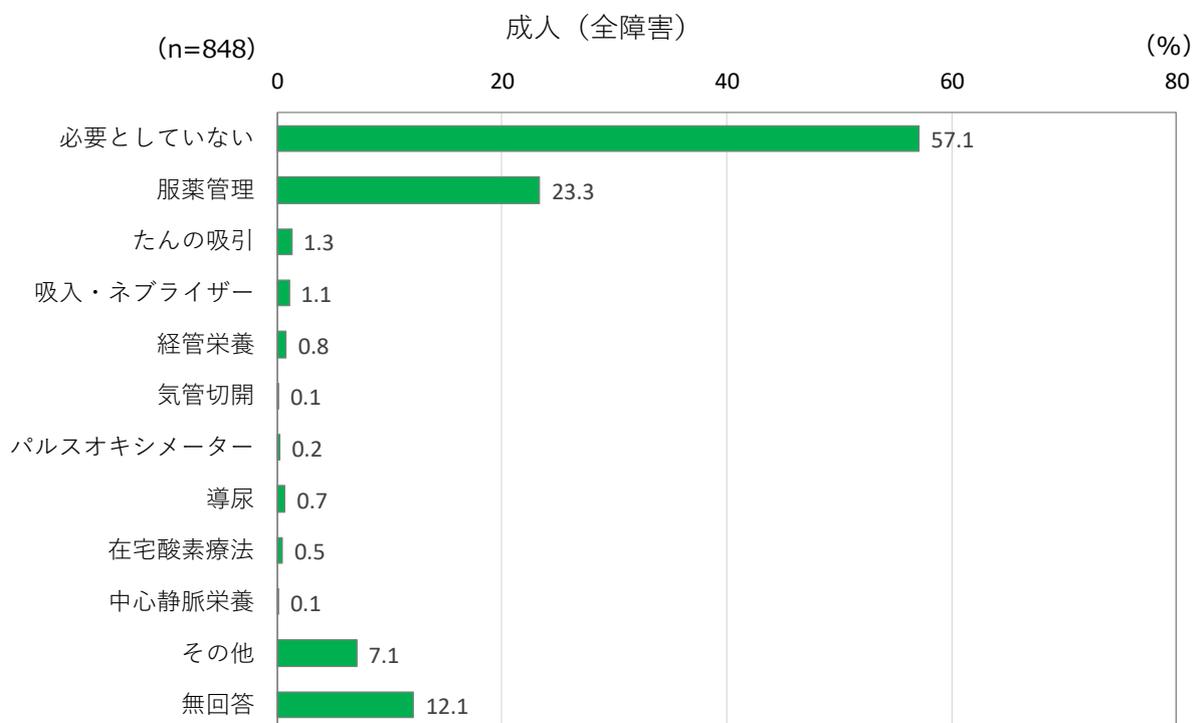


(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
必要としていない	65.6	33.3	69.2	42.4	66.1	62.0	62.5	0.0	20.0	36.4	56.5	78.6
服薬管理	20.2	66.7	15.4	39.4	21.1	22.2	37.5	100.0	45.0	50.0	17.4	3.6
たんの吸引	3.1	0.0	0.0	24.2	3.3	0.6	12.5	0.0	25.0	13.6	0.0	3.6
吸入・ネブライザー	3.6	0.0	7.7	21.2	3.3	2.3	12.5	0.0	25.0	13.6	4.3	7.1
経管栄養	2.3	0.0	0.0	18.2	2.1	0.6	12.5	0.0	25.0	13.6	0.0	0.0
気管切開	1.6	0.0	0.0	15.2	1.2	0.0	12.5	0.0	20.0	9.1	0.0	0.0
パルスオキシメーター	1.0	0.0	0.0	12.1	0.8	0.0	12.5	0.0	10.0	9.1	0.0	0.0
導尿	0.8	0.0	0.0	3.0	0.4	0.0	0.0	0.0	15.0	4.5	0.0	3.6
在宅酸素療法	1.6	0.0	0.0	12.1	0.8	0.0	12.5	0.0	15.0	9.1	4.3	0.0
中心静脈栄養	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
咽頭エアウェイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.1	0.0	0.0	9.1	2.9	2.9	0.0	0.0	15.0	4.5	8.7	7.1
無回答	8.8	0.0	15.4	9.1	8.7	11.7	0.0	0.0	0.0	4.5	13.0	7.1

【成人】

成人全体では、児童と同様に、6割近くが「必要としていない」と回答し、「服薬管理」が2割以上となっています。

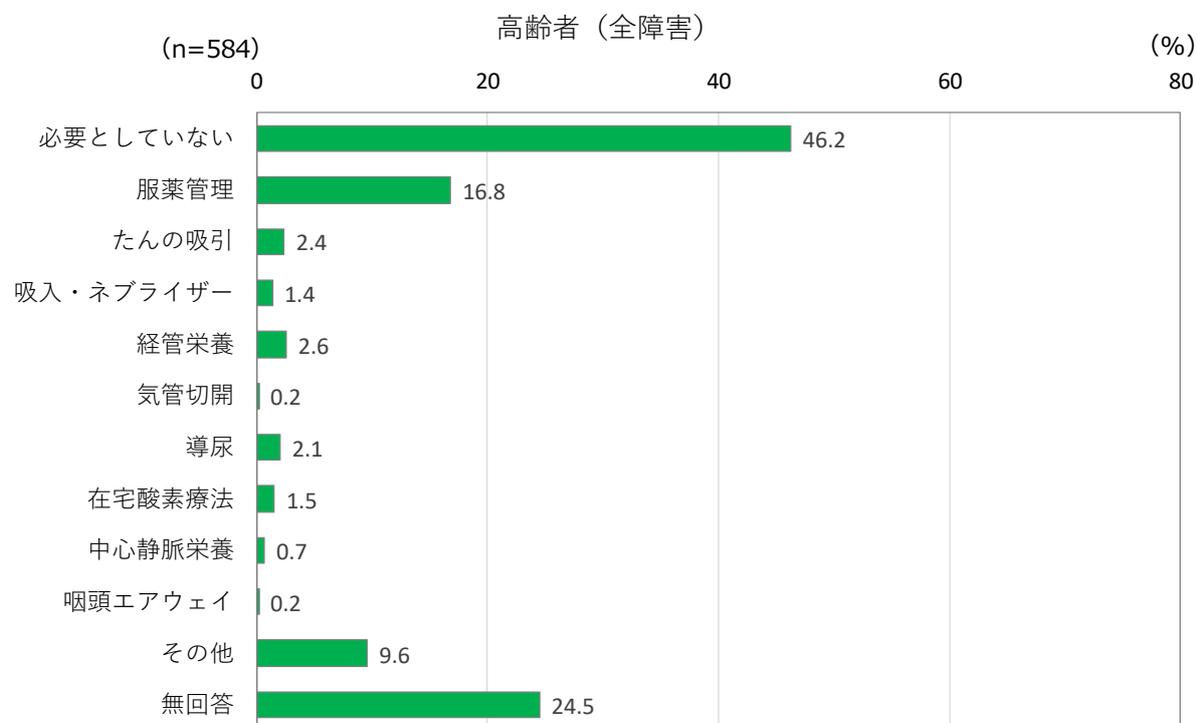


(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
必要としていない	57.1	54.3	47.5	47.2	53.5	52.0	55.3	37.5	54.5	68.2	76.2	57.9
服薬管理	23.3	28.6	16.9	29.6	26.4	31.6	27.3	25.0	21.2	18.2	9.5	21.1
たんの吸引	1.3	2.9	5.1	5.6	1.4	0.0	0.4	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
吸入・ネブライザー	1.1	0.0	3.4	1.9	1.4	0.0	1.1	0.0	3.0	0.9	0.0	0.0
経管栄養	0.8	2.9	3.4	4.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
気管切開	0.1	0.0	1.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パルスオキシメーター	0.2	2.9	1.7	0.9	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
導尿	0.7	0.0	1.7	2.8	1.0	0.0	0.7	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
在宅酸素療法	0.5	2.9	3.4	1.9	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
中心静脈栄養	0.1	0.0	1.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
咽頭エアウェイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.1	5.7	8.5	7.4	5.2	7.1	8.4	18.8	12.1	5.5	14.3	10.5
無回答	12.1	11.4	27.1	14.8	14.2	11.2	8.0	18.8	12.1	8.2	4.8	10.5

【高齢者】

高齢者全体では、「必要としていない」が最も多く4割以上となっていますが、児童・成人と比べると少なくなっています。次いで「服薬管理」となっています。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
必要としていない	46.2	42.1	43.2	37.4	21.4	25.0	36.7	22.2	47.8	48.7	83.3	46.5
服薬管理	16.8	10.5	13.5	18.7	28.6	50.0	31.7	22.2	18.4	20.5	11.1	4.7
たんの吸引	2.4	3.5	1.4	2.6	0.0	0.0	3.3	0.0	2.9	6.0	0.0	4.7
吸入・ネブライザー	1.4	1.8	2.7	1.3	0.0	0.0	1.7	0.0	2.2	1.7	0.0	0.0
経管栄養	2.6	3.5	1.4	3.9	0.0	0.0	3.3	0.0	1.5	4.3	0.0	4.7
気管切開	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	0.0	0.0
パルスオキシメーター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
導尿	2.1	0.0	2.7	2.6	0.0	0.0	3.3	0.0	2.2	1.7	0.0	4.7
在宅酸素療法	1.5	1.8	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	2.6	0.0	0.0
中心静脈栄養	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.7	1.7	0.0	0.0
咽頭エアウェイ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
その他	9.6	12.3	10.8	14.2	7.1	0.0	6.7	22.2	9.6	8.5	0.0	18.6
無回答	24.5	33.3	31.1	27.7	50.0	25.0	23.3	33.3	18.4	17.1	5.6	20.9

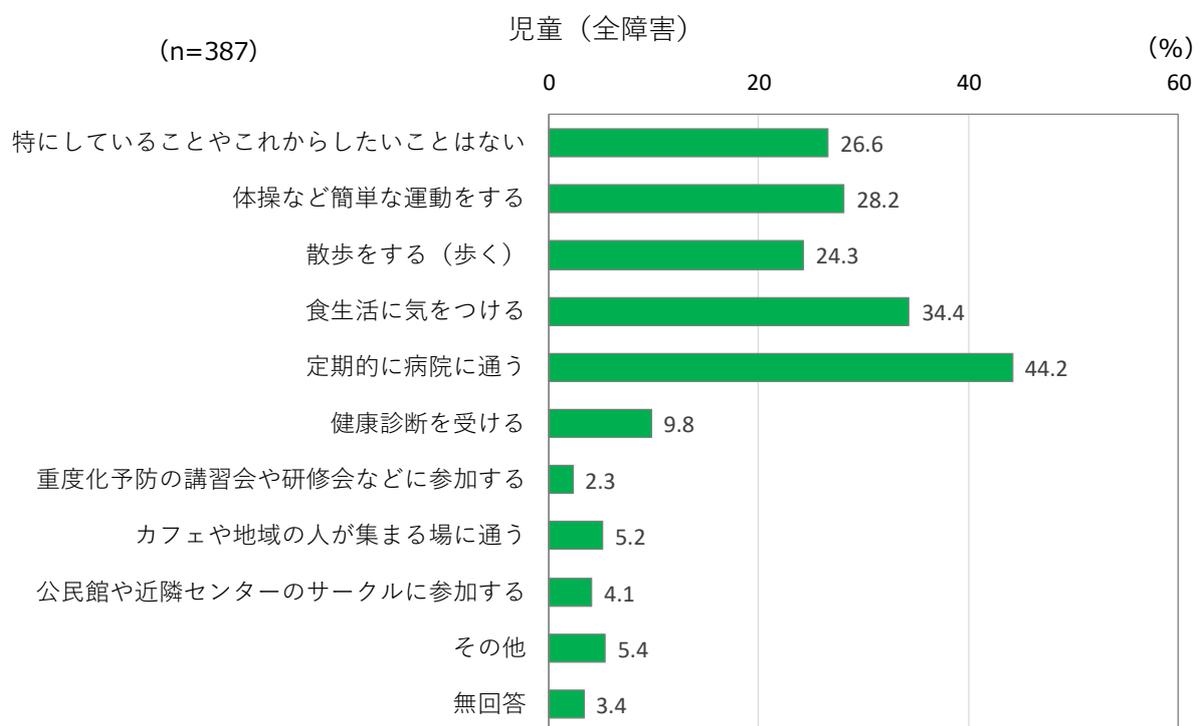
問 57. 障害の重度化予防のために何かしていることや、これからしたいことはありますか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「定期的に病院に通う」が4割以上と最も多く、次いで「食生活に気をつける」が3割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由は「定期的に病院に通う」が7割近くと、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、児童全体では大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
特にしていることやこれからしたいことはない	26.6	33.3	0.0	9.1	21.1	27.5	25.0	0.0	10.0	13.6	43.5	42.9
体操など簡単な運動をする	28.2	33.3	53.8	39.4	33.5	24.6	25.0	0.0	50.0	18.2	21.7	21.4
散歩をする(歩く)	24.3	0.0	38.5	18.2	31.4	26.3	12.5	0.0	30.0	13.6	13.0	14.3
食生活に気をつける	34.4	33.3	53.8	30.3	43.0	33.9	12.5	100.0	60.0	40.9	8.7	25.0
定期的に病院に通う	44.2	33.3	69.2	69.7	48.3	38.0	62.5	100.0	70.0	72.7	26.1	35.7
健康診断を受ける	9.8	0.0	23.1	6.1	10.7	8.2	25.0	0.0	5.0	4.5	8.7	25.0
重度化予防の講習会や研修会などに参加する	2.3	0.0	0.0	6.1	3.3	3.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カフェや地域の人が集まる場に通う	5.2	0.0	0.0	6.1	5.8	4.1	12.5	0.0	0.0	4.5	8.7	3.6
公民館や近隣センターのサークルに参加する	4.1	0.0	7.7	9.1	3.7	4.1	12.5	0.0	5.0	0.0	4.3	7.1
その他	5.4	0.0	0.0	21.2	5.0	5.3	0.0	0.0	5.0	13.6	0.0	14.3
無回答	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0

【成人】

成人全体では、「定期的に病院に通う」が5割近く、次いで「食生活に気をつける」が4割以上、「散歩をする（歩く）」「健康診断を受ける」「体操など簡単な運動をする」が3割以上の回答となっています。

障害種別についても、上記5つに回答が集中しています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査で最も多かった「食生活に気をつける」は約7ポイント減少しています。



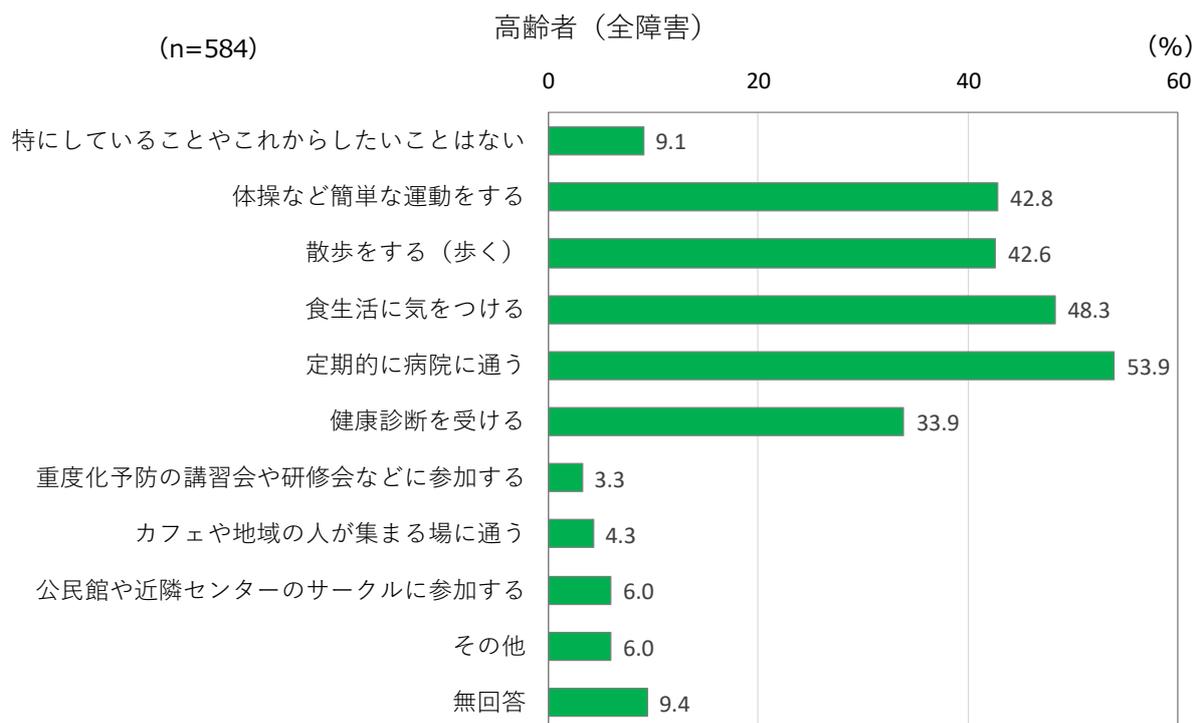
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
特にしていることやこれからのしたいことはない	14.7	14.3	20.3	5.6	15.3	19.4	12.0	0.0	12.1	11.8	23.8	7.9
体操など簡単な運動をする	33.6	40.0	28.8	42.6	30.9	33.7	36.4	62.5	42.4	39.1	47.6	36.8
散歩をする(歩く)	36.0	48.6	30.5	27.8	37.8	27.6	45.1	62.5	36.4	25.5	38.1	28.9
食生活に気をつける	46.5	57.1	37.3	54.6	45.8	46.9	46.9	56.3	63.6	55.5	52.4	42.1
定期的に病院に通う	49.6	57.1	40.7	65.7	36.5	43.9	64.7	37.5	48.5	66.4	52.4	55.3
健康診断を受ける	35.4	40.0	33.9	39.8	42.7	33.7	33.1	37.5	30.3	36.4	19.0	31.6
重度化予防の講習会や研修会などに参加する	2.2	0.0	0.0	0.9	1.7	3.1	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	2.6
カフェや地域の人が集まる場に通う	6.3	0.0	3.4	3.7	4.5	7.1	10.5	6.3	0.0	1.8	4.8	10.5
公民館や近隣センターのサークルに参加する	5.7	5.7	11.9	5.6	5.6	5.1	6.5	6.3	0.0	3.6	4.8	10.5
その他	7.2	14.3	11.9	12.0	5.9	6.1	9.5	12.5	3.0	6.4	0.0	10.5
無回答	4.8	2.9	1.7	3.7	8.7	5.1	2.5	6.3	3.0	1.8	4.8	2.6

【高齢者】

高齢者全体では、「定期的に病院に通う」「食生活に気をつける」が5割程度、「体操など簡単な運動をする」「散歩をする（歩く）」が4割以上となっており、いずれの4項目も成人よりその割合は多くなっています。

前回調査で最も多かった「散歩をする（歩く）」は約10ポイント減少した一方、「定期的に病院に通う」は約5ポイント増加しています。



(単位：%)

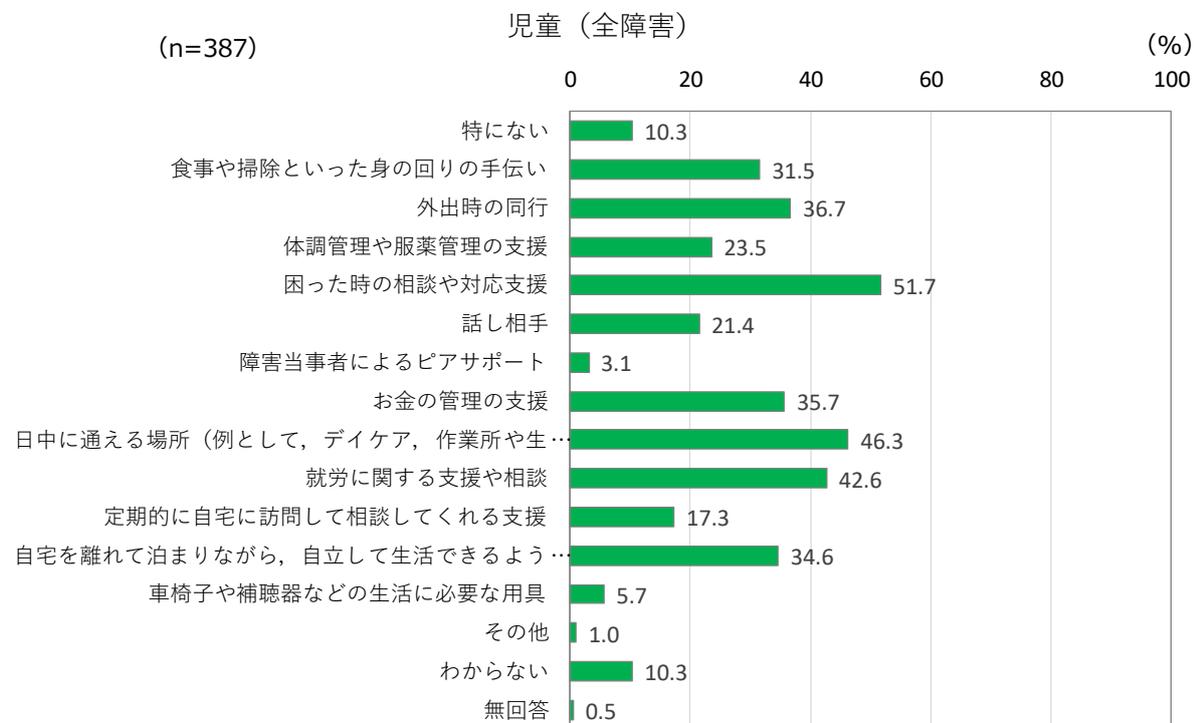
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
特にしていることやこれからしたいことはない	9.1	12.3	9.5	6.5	21.4	25.0	8.3	11.1	11.0	6.8	11.1	7.0
体操など簡単な運動をする	42.8	42.1	41.9	49.0	28.6	25.0	26.7	22.2	40.4	46.2	44.4	44.2
散歩をする(歩く)	42.6	31.6	45.9	38.1	28.6	50.0	36.7	22.2	51.5	42.7	55.6	37.2
食生活に気をつける	48.3	38.6	44.6	48.4	57.1	75.0	35.0	33.3	54.4	51.3	61.1	37.2
定期的に病院に通う	53.9	56.1	52.7	52.3	57.1	25.0	48.3	55.6	56.6	65.0	61.1	41.9
健康診断を受ける	33.9	26.3	33.8	32.3	14.3	25.0	31.7	22.2	32.4	31.6	44.4	39.5
重度化予防の講習会や研修会などに参加する	3.3	7.0	5.4	1.3	14.3	25.0	1.7	0.0	2.2	2.6	5.6	7.0
カフェや地域の人が集まる場に通う	4.3	8.8	6.8	3.9	0.0	0.0	3.3	11.1	2.9	0.9	0.0	0.0
公民館や近隣センターのサークルに参加する	6.0	7.0	12.2	3.9	0.0	0.0	0.0	11.1	5.1	4.3	11.1	2.3
その他	6.0	5.3	5.4	4.5	7.1	0.0	6.7	22.2	5.1	7.7	0.0	4.7
無回答	9.4	10.5	10.8	12.3	14.3	0.0	16.7	11.1	5.9	6.0	0.0	14.0

問 58. あなたが地域で自立した生活を続けていくためには、どのような支援が必要ですか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「困った時の相談や対応支援」が5割以上と最も多く、次いで「日中に通える場所（例として、デイケア、作業所や生活介護事業所など）」「就労に関する支援や相談」が4割以上となっています。

障害種別でみると、知的障害と発達障害は「困った時の相談や対応支援」「自宅を離れて泊まりながら、自立して生活できるように訓練する場所と支援」が、他の障害と比べ多くなっています。肢体不自由については、「食事や掃除といった身の回りの手伝い」「外出時の同行」「日中に通える場所」が、他の障害と比べ多くなっています。



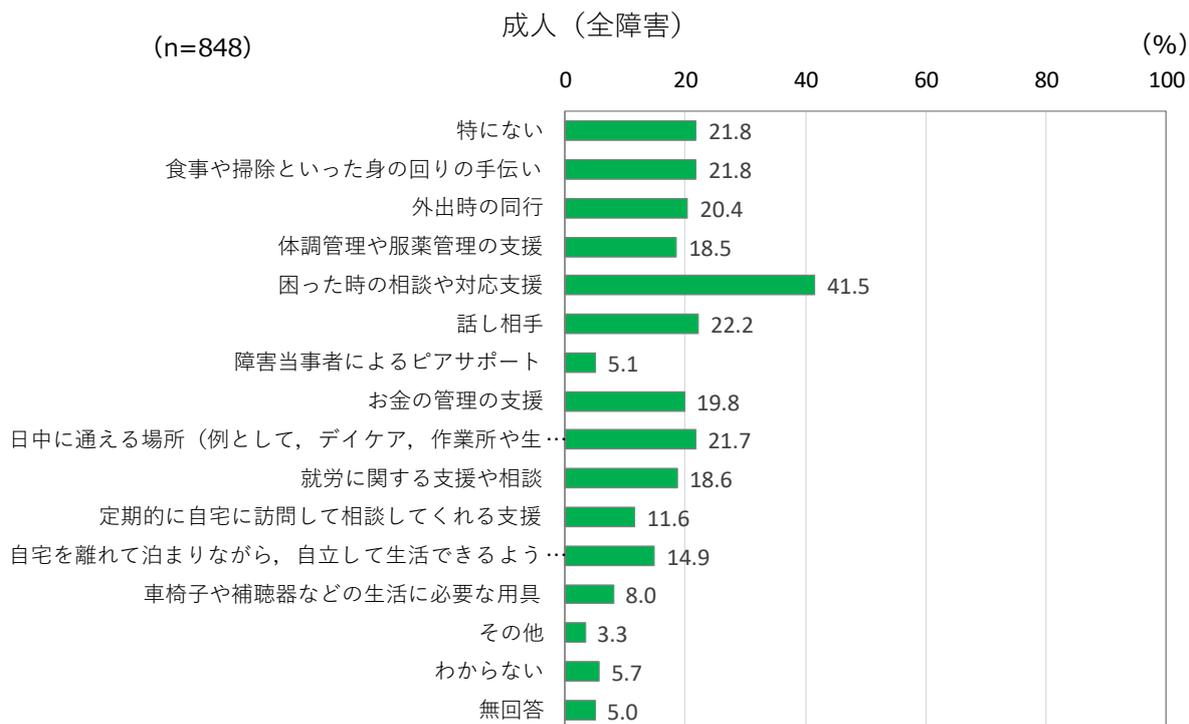
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
特になし	10.3	0.0	0.0	6.1	7.0	3.5	12.5	0.0	15.0	18.2	34.8	25.0
食事や掃除といった身の回りの手伝い	31.5	66.7	76.9	48.5	44.2	31.0	0.0	0.0	25.0	22.7	4.3	25.0
外出時の同行	36.7	66.7	92.3	57.6	50.4	41.5	12.5	100.0	20.0	31.8	4.3	17.9
体調管理や服薬管理の支援	23.5	100.0	53.8	45.5	30.2	25.1	12.5	100.0	30.0	40.9	4.3	10.7
困った時の相談や対応支援	51.7	33.3	69.2	42.4	57.9	57.3	37.5	0.0	25.0	31.8	26.1	53.6
話し相手	21.4	33.3	23.1	15.2	22.3	25.7	25.0	0.0	10.0	22.7	8.7	17.9
障害当事者によるピアサポート	3.1	0.0	7.7	0.0	4.5	2.3	12.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
お金の管理の支援	35.7	66.7	76.9	30.3	46.7	39.2	12.5	0.0	20.0	18.2	8.7	28.6
日中に通える場所（例として、デイケア、作業所や生活介護事業所など）	46.3	100.0	76.9	66.7	62.8	48.0	50.0	0.0	20.0	36.4	0.0	28.6
就労に関する支援や相談	42.6	66.7	61.5	30.3	48.8	53.8	50.0	0.0	25.0	18.2	13.0	32.1
定期的に自宅に訪問して相談してくれる支援	17.3	33.3	23.1	27.3	21.9	19.9	25.0	0.0	15.0	31.8	0.0	3.6
自宅を離れて泊まりながら、自立して生活できるように訓練する場所と支援	34.6	33.3	53.8	33.3	47.1	40.9	25.0	0.0	15.0	9.1	0.0	25.0
車椅子や補聴器などの生活に必要な用具	5.7	0.0	23.1	51.5	6.6	1.2	12.5	0.0	15.0	27.3	0.0	3.6
その他	1.0	0.0	0.0	6.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	3.6
わからない	10.3	0.0	0.0	6.1	3.7	12.9	25.0	0.0	20.0	9.1	26.1	14.3
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0

【成人】

成人全体では、「困った時の相談や対応支援」が4割以上と最も多く、次いで「話し相手」「日中に通える場所（例として、デイケア、作業所や生活介護事業所など）」「食事や清掃といった身の回りの手伝い」「外出時の動向」が2割以上となっています。

障害種別で見ると、発達障害は「困った時の相談や対応支援」「お金の管理の支援」「就労に関する支援や相談」が他の障害と比べ多くなっています。



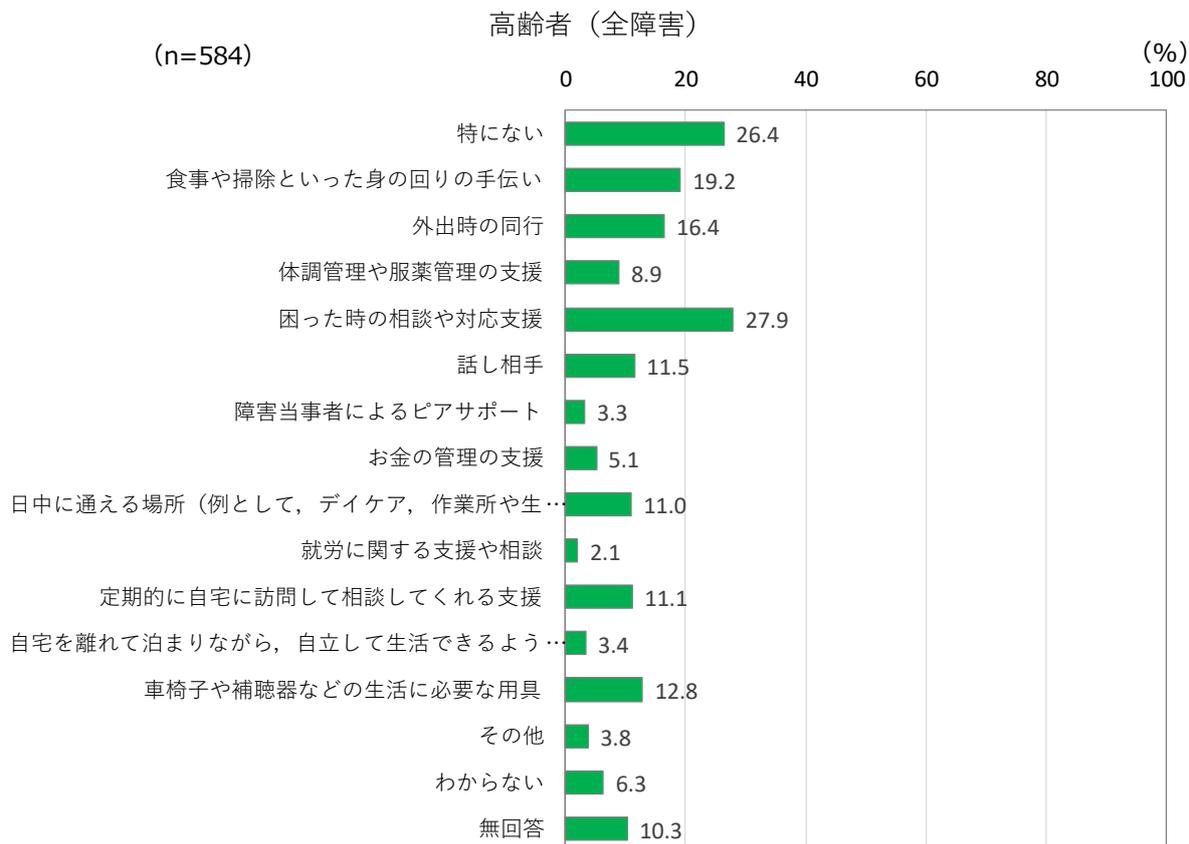
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
特になし	21.8	14.3	18.6	18.5	8.0	4.1	19.3	12.5	51.5	44.5	42.9	26.3
食事や掃除といった身の回りの手伝い	21.8	34.3	13.6	33.3	37.2	32.7	18.9	31.3	15.2	14.5	9.5	10.5
外出時の同行	20.4	40.0	23.7	35.2	36.5	29.6	14.2	37.5	15.2	13.6	9.5	10.5
体調管理や服薬管理の支援	18.5	11.4	15.3	26.9	30.6	30.6	18.2	25.0	21.2	7.3	14.3	13.2
困った時の相談や対応支援	41.5	48.6	37.3	40.7	44.8	63.3	48.4	62.5	24.2	27.3	33.3	47.4
話し相手	22.2	8.6	20.3	13.9	23.6	32.7	34.5	31.3	9.1	10.9	14.3	18.4
障害当事者によるピアサポート	5.1	8.6	11.9	4.6	3.8	6.1	6.9	6.3	3.0	1.8	0.0	0.0
お金の管理の支援	19.8	14.3	11.9	17.6	35.8	46.9	17.8	12.5	9.1	9.1	9.5	7.9
日中に通える場所（例として、デイケア、作業所や生活介護事業所など）	21.7	31.4	13.6	31.5	35.8	31.6	22.5	6.3	12.1	9.1	4.8	10.5
就労に関する支援や相談	18.6	5.7	11.9	9.3	16.0	39.8	25.1	18.8	9.1	12.7	19.0	21.1
定期的に自宅に訪問して相談してくれる支援	11.6	8.6	8.5	10.2	14.2	19.4	16.7	12.5	3.0	5.5	0.0	13.2
自宅を離れて泊まりながら、自立して生活できるように訓練する場所と支援	14.9	5.7	10.2	15.7	29.9	32.7	8.7	6.3	12.1	7.3	0.0	10.5
車椅子や補聴器などの生活に必要な用具	8.0	20.0	35.6	35.2	10.1	1.0	1.5	18.8	6.1	10.9	0.0	2.6
その他	3.3	5.7	6.8	4.6	2.8	5.1	3.6	6.3	0.0	5.5	0.0	5.3
わからない	5.7	11.4	3.4	6.5	7.6	4.1	4.4	0.0	6.1	3.6	4.8	5.3
無回答	5.0	11.4	10.2	8.3	8.0	2.0	2.5	6.3	3.0	2.7	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、「困った時の相談や対応支援」が3割近くと最も多くなっています。成人と比べると、全般的に低くなっています。

障害種別で見ると、視覚障害は「外出時の動向」が他の障害と比べ多くなっています。



(単位：%)

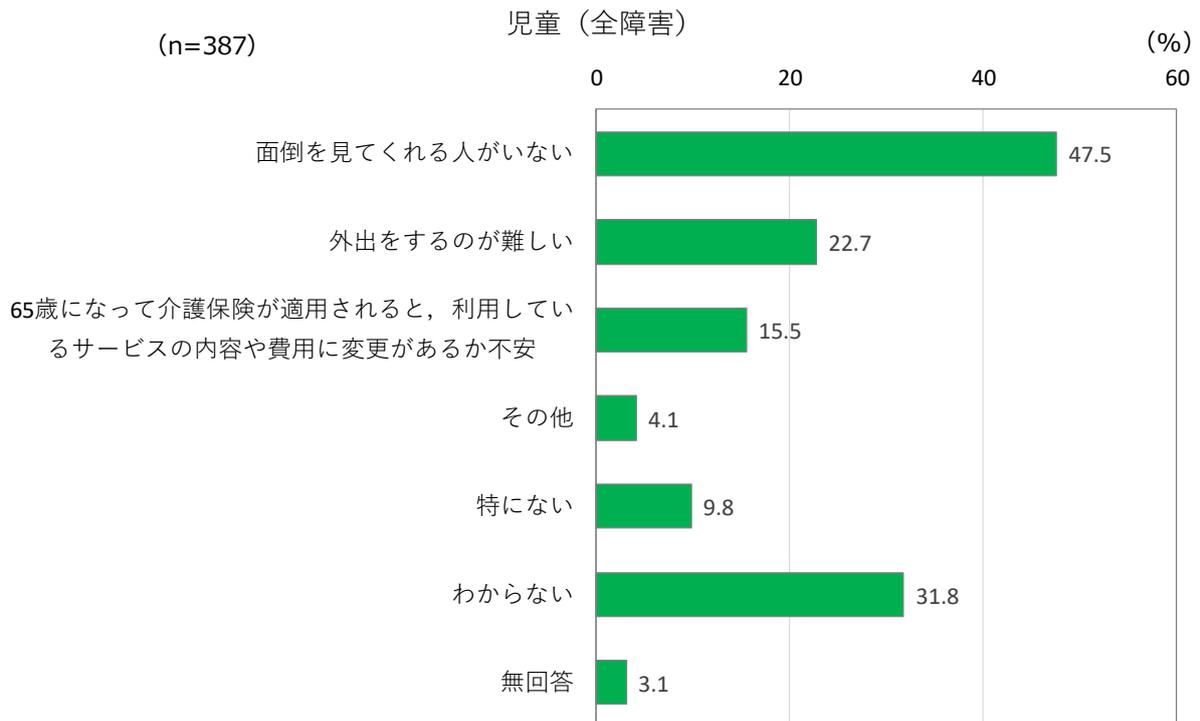
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
特になし	26.4	24.6	16.2	22.6	7.1	0.0	11.7	22.2	33.8	29.1	38.9	25.6
食事や掃除といった身の回りの手伝い	19.2	26.3	14.9	18.1	42.9	25.0	23.3	11.1	17.6	20.5	16.7	25.6
外出時の同行	16.4	45.6	17.6	18.7	42.9	25.0	11.7	11.1	9.6	15.4	16.7	7.0
体調管理や服薬管理の支援	8.9	8.8	9.5	7.7	21.4	25.0	11.7	11.1	8.1	9.4	5.6	11.6
困った時の相談や対応支援	27.9	35.1	24.3	25.2	35.7	75.0	35.0	33.3	23.5	29.1	16.7	18.6
話し相手	11.5	19.3	10.8	7.7	14.3	50.0	25.0	22.2	6.6	9.4	16.7	14.0
障害当事者によるピアサポート	3.3	8.8	1.4	3.9	0.0	0.0	8.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
お金の管理の支援	5.1	3.5	4.1	2.6	28.6	0.0	16.7	11.1	1.5	3.4	0.0	4.7
日中に通える場所（例として、デイケア、作業所や生活介護事業所など）	11.0	10.5	13.5	14.2	21.4	0.0	5.0	22.2	6.6	8.5	22.2	7.0
就労に関する支援や相談	2.1	0.0	1.4	1.9	7.1	0.0	3.3	0.0	1.5	1.7	16.7	0.0
定期的に自宅に訪問して相談してくれる支援	11.1	17.5	9.5	11.6	0.0	0.0	11.7	0.0	8.8	13.7	11.1	9.3
自宅を離れて泊まりながら、自立して生活できるように訓練する場所と支援	3.4	3.5	2.7	3.9	14.3	25.0	5.0	0.0	2.2	0.9	5.6	0.0
車椅子や補聴器などの生活に必要な用具	12.8	14.0	33.8	18.7	14.3	0.0	1.7	11.1	8.8	13.7	11.1	4.7
その他	3.8	0.0	2.7	4.5	7.1	0.0	1.7	11.1	2.9	6.8	5.6	4.7
わからない	6.3	1.8	5.4	5.8	0.0	0.0	10.0	22.2	8.8	5.1	0.0	7.0
無回答	10.3	10.5	17.6	15.5	14.3	0.0	15.0	0.0	5.1	8.5	0.0	11.6

問 59. 高齢化に伴い不安なことはありますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「面倒を見てくれる人がいない」が5割近くと最も多くなっています。

前回調査との比較では、「面倒を見てくれる人がいない」は、児童全体では約 9 ポイント増加しています。



(単位：%)

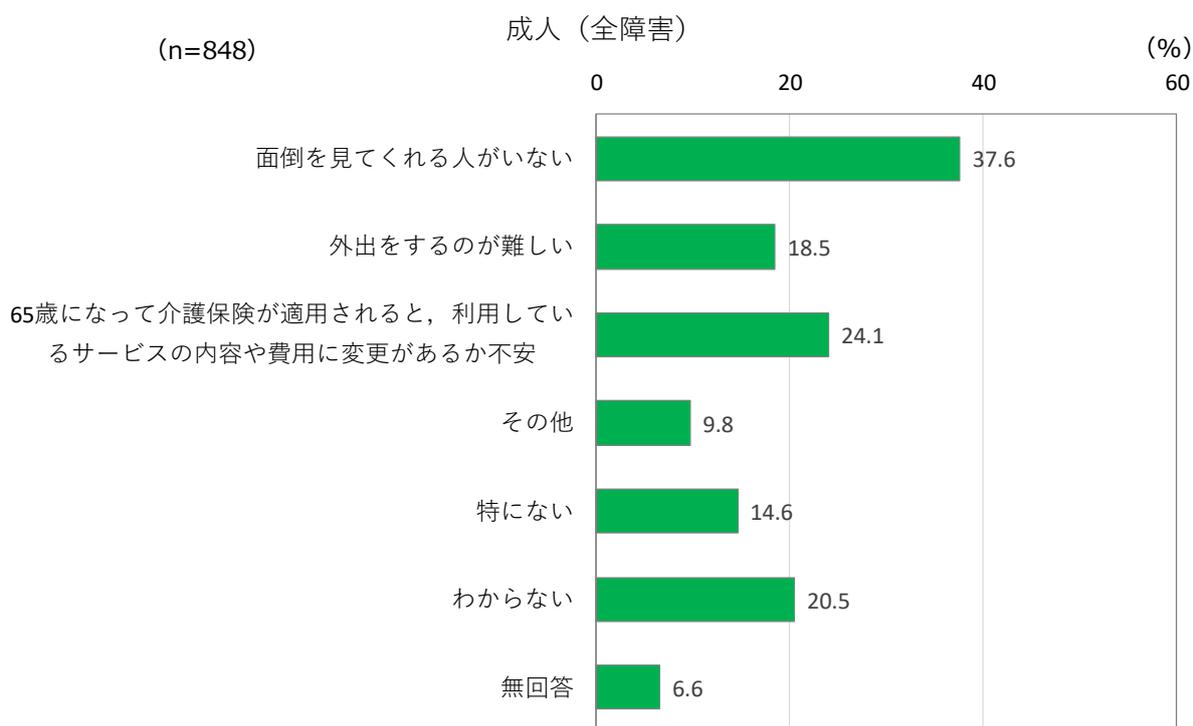
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
面倒を見てくれる人がいない	47.5	100.0	84.6	63.6	61.2	53.8	37.5	100.0	25.0	45.5	4.3	32.1
外出をするのが難しい	22.7	33.3	46.2	39.4	31.8	28.1	12.5	0.0	10.0	22.7	0.0	7.1
65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービス	15.5	0.0	30.8	15.2	20.2	19.3	12.5	0.0	5.0	9.1	4.3	10.7
その他	4.1	0.0	0.0	12.1	5.8	4.1	0.0	0.0	0.0	9.1	4.3	0.0
特にない	9.8	0.0	0.0	12.1	3.7	4.7	12.5	0.0	20.0	27.3	26.1	17.9
わからない	31.8	0.0	7.7	9.1	24.8	32.7	50.0	0.0	45.0	13.6	52.2	46.4
無回答	3.1	0.0	0.0	3.0	2.1	2.3	0.0	0.0	5.0	4.5	13.0	0.0

【成人】

成人全体についても、「面倒を見てくれる人がいない」が4割近くで、最も多くなっています。次いで、「65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安」が2割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害は「面倒を見てくれる人がいない」の割合が他の障害と比べ特に多く、5割以上となっています。

前回調査と比べると、成人全体では大きな傾向の違いはみられません。



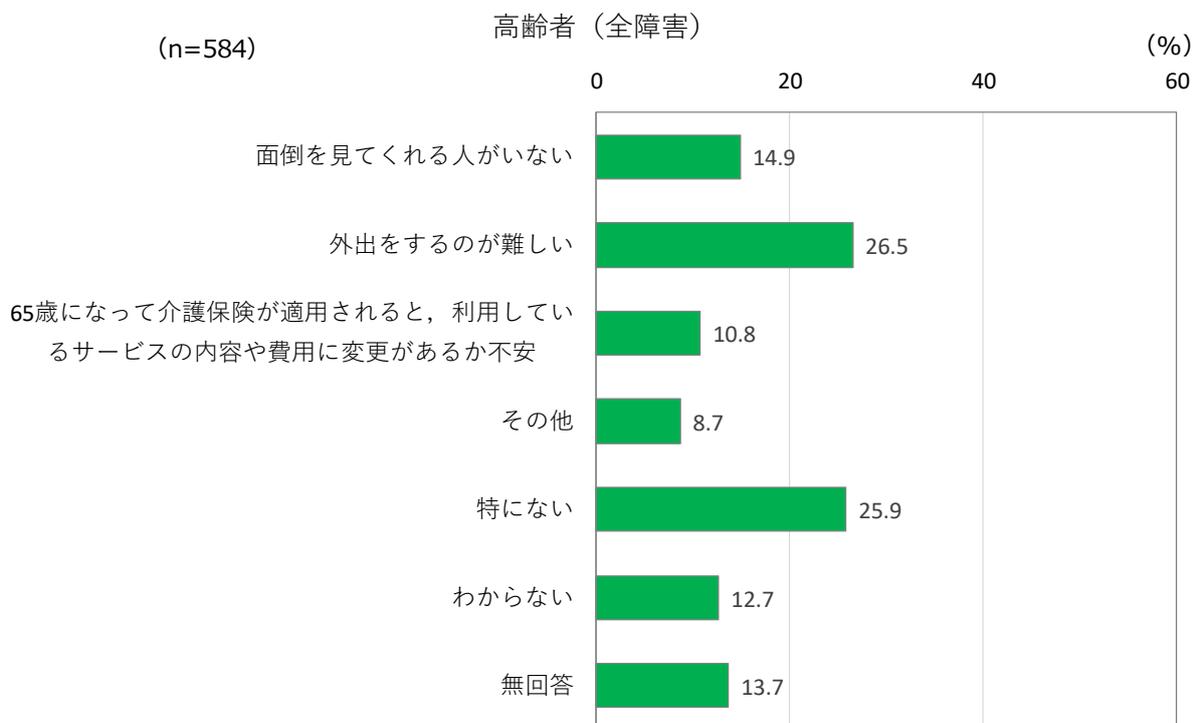
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
面倒を見てくれる人がいない	37.6	37.1	28.8	41.7	45.8	53.1	40.0	37.5	42.4	30.0	9.5	26.3
外出をするのが難しい	18.5	42.9	25.4	34.3	21.9	16.3	16.4	68.8	21.2	18.2	14.3	23.7
65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービス	24.1	34.3	25.4	35.2	32.3	27.6	21.5	18.8	27.3	23.6	4.8	15.8
その他	9.8	5.7	6.8	10.2	6.9	12.2	14.9	12.5	3.0	13.6	0.0	7.9
特にない	14.6	11.4	15.3	11.1	6.3	9.2	13.1	12.5	30.3	21.8	38.1	23.7
わからない	20.5	20.0	18.6	10.2	20.1	17.3	21.5	12.5	9.1	17.3	47.6	21.1
無回答	6.6	8.6	8.5	9.3	11.5	4.1	4.7	0.0	6.1	1.8	0.0	10.5

【高齢者】

高齢者全体では、「外出するのが難しい」が2割以上と最も多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安」が減少傾向にあります。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
面倒を見てくれる人がいない	14.9	17.5	12.2	14.2	35.7	25.0	28.3	0.0	10.3	12.0	5.6	20.9
外出をするのが難しい	26.5	33.3	32.4	29.0	21.4	0.0	13.3	22.2	25.0	32.5	16.7	23.3
65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービス	10.8	12.3	12.2	12.9	28.6	25.0	15.0	11.1	9.6	6.8	5.6	9.3
その他	8.7	7.0	8.1	12.3	7.1	0.0	6.7	0.0	7.4	12.0	22.2	14.0
特にない	25.9	22.8	25.7	20.0	21.4	25.0	15.0	11.1	29.4	28.2	44.4	23.3
わからない	12.7	7.0	8.1	11.0	0.0	0.0	18.3	33.3	14.0	11.1	16.7	14.0
無回答	13.7	19.3	20.3	16.8	14.3	25.0	18.3	22.2	12.5	11.1	0.0	14.0

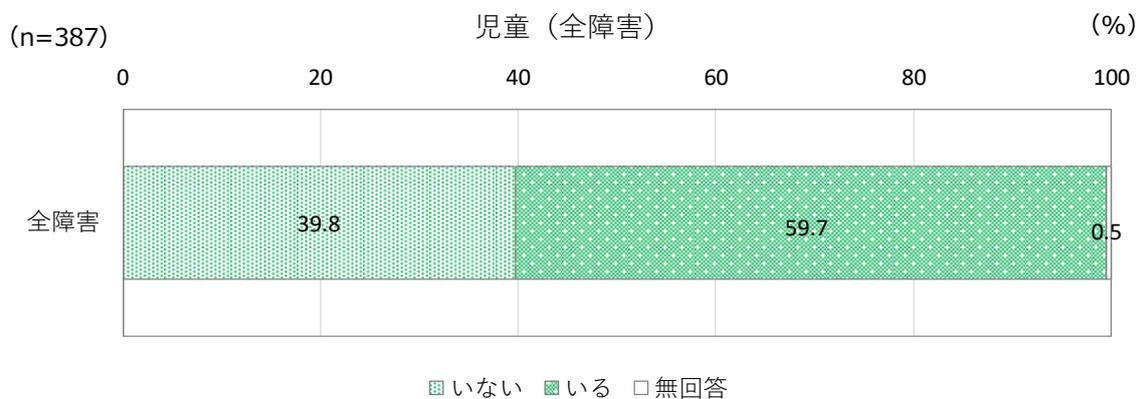
安全・安心な生活環境

問 60. 災害時に近所に助けを求められる人はいますか（○はひとつだけ）。

すべての年代において5割以上が「いる」と回答しています。

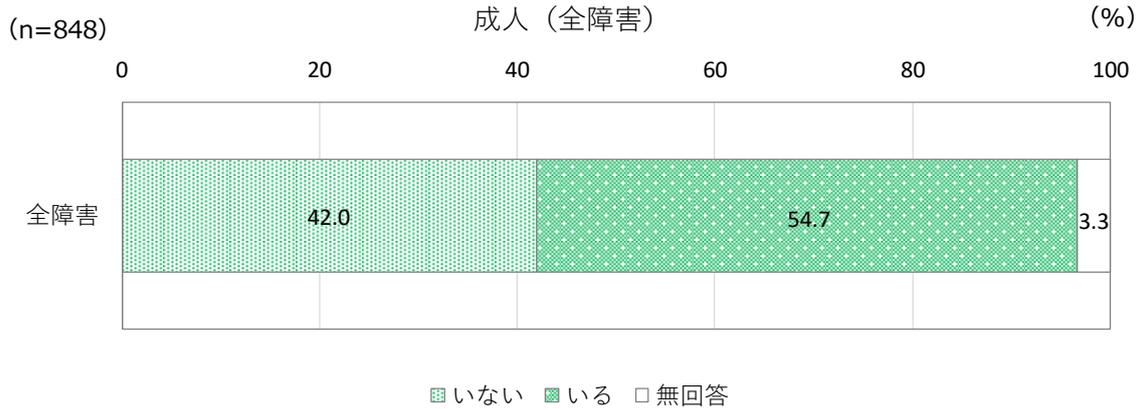
精神障害では、すべての年代で、助けを求められる人は「いない」が、他の障害と比べやや多くなっています。また、高齢者では、精神障害に加え、視覚障害と聴覚障害について、「いない」の割合が4割以上と、他の障害と比べやや多くなっています。

前回調査と比べると、大きな傾向の違いは見られません。



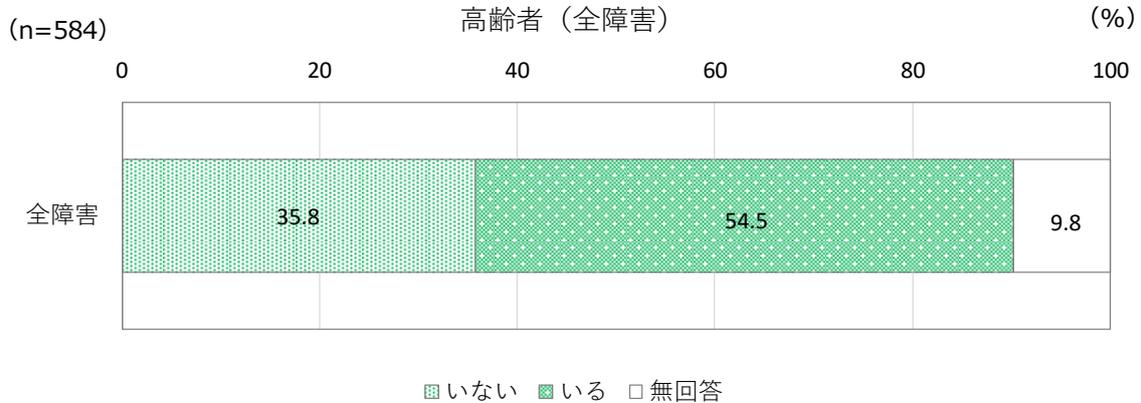
(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数（人）	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
いない	39.8	33.3	46.2	42.4	46.3	38.0	75.0	0.0	35.0	18.2	17.4	28.6
いる	59.7	66.7	53.8	57.6	53.7	60.8	25.0	100.0	65.0	81.8	78.3	71.4
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0



(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
いない	42.0	34.3	45.8	41.7	38.2	46.9	49.8	37.5	39.4	33.6	38.1	39.5
いる	54.7	65.7	54.2	53.7	56.3	51.0	48.4	62.5	57.6	66.4	61.9	52.6
無回答	3.3	0.0	0.0	4.6	5.6	2.0	1.8	0.0	3.0	0.0	0.0	7.9

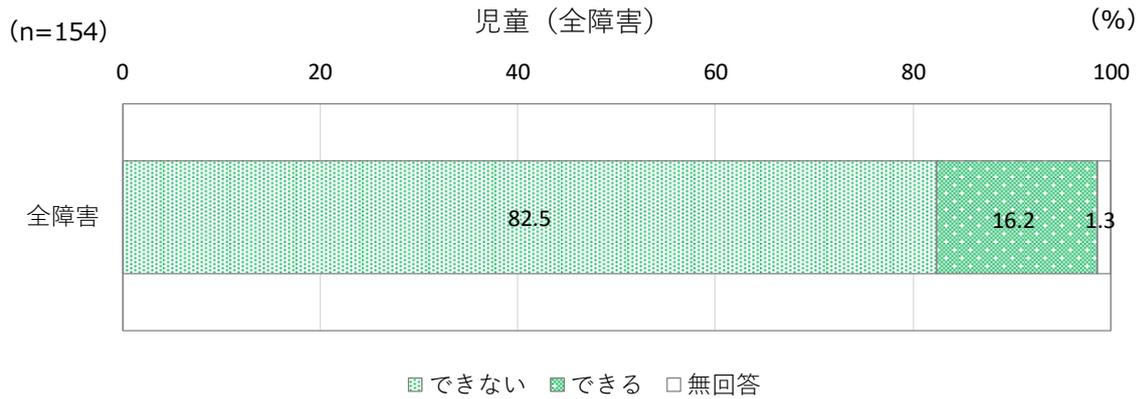


(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
いない	35.8	40.4	43.2	31.6	42.9	25.0	40.0	33.3	31.6	38.5	33.3	32.6
いる	54.5	45.6	47.3	53.5	42.9	50.0	48.3	55.6	63.2	54.7	66.7	53.5
無回答	9.8	14.0	9.5	14.8	14.3	25.0	11.7	11.1	5.1	6.8	0.0	14.0

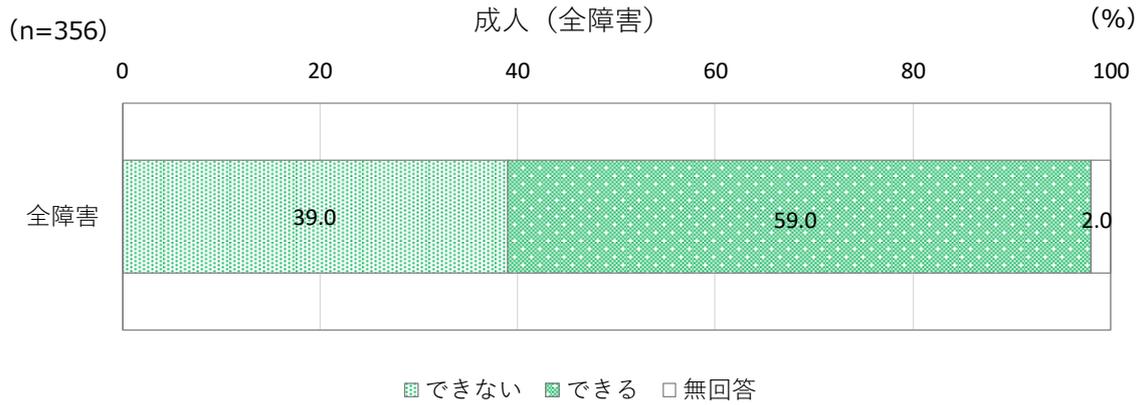
問 61. (問 60 で「1. いない」と答えた方のみお答えください。) 自分一人で避難することはできますか (○はひとつだけ)。

児童では、8割以上が「できない」と答えています。
 成人では4割近く、高齢者では4割以上が「できない」と答えています。
 成人全体では肢体不自由と知的障害が、高齢者全体では視覚障害と肢体不自由が、「できない」と回答した人の割合が他の障害と比べ多くなっています。

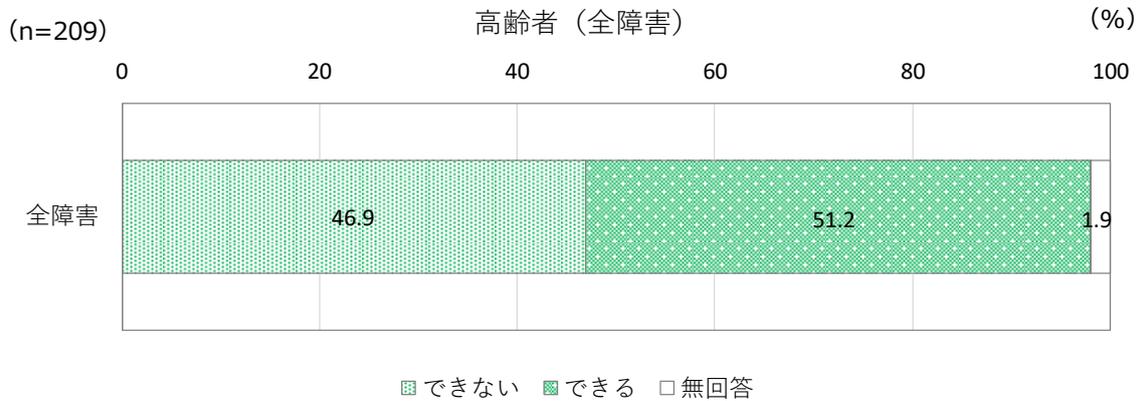


(単位: %)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	154	1	6	14	112	65	6	0	7	4	4	8
できない	82.5	100.0	100.0	100.0	83.9	84.6	66.7	0.0	100.0	75.0	75.0	62.5
できる	16.2	0.0	0.0	0.0	15.2	13.8	16.7	0.0	0.0	25.0	25.0	37.5
無回答	1.3	0.0	0.0	0.0	0.9	1.5	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	356	12	27	45	110	46	137	6	13	37	8	15
できない	39.0	83.3	40.7	73.3	69.1	47.8	26.3	66.7	23.1	27.0	12.5	26.7
できる	59.0	8.3	51.9	26.7	30.0	50.0	70.8	16.7	69.2	70.3	87.5	73.3
無回答	2.0	8.3	7.4	0.0	0.9	2.2	2.9	16.7	7.7	2.7	0.0	0.0



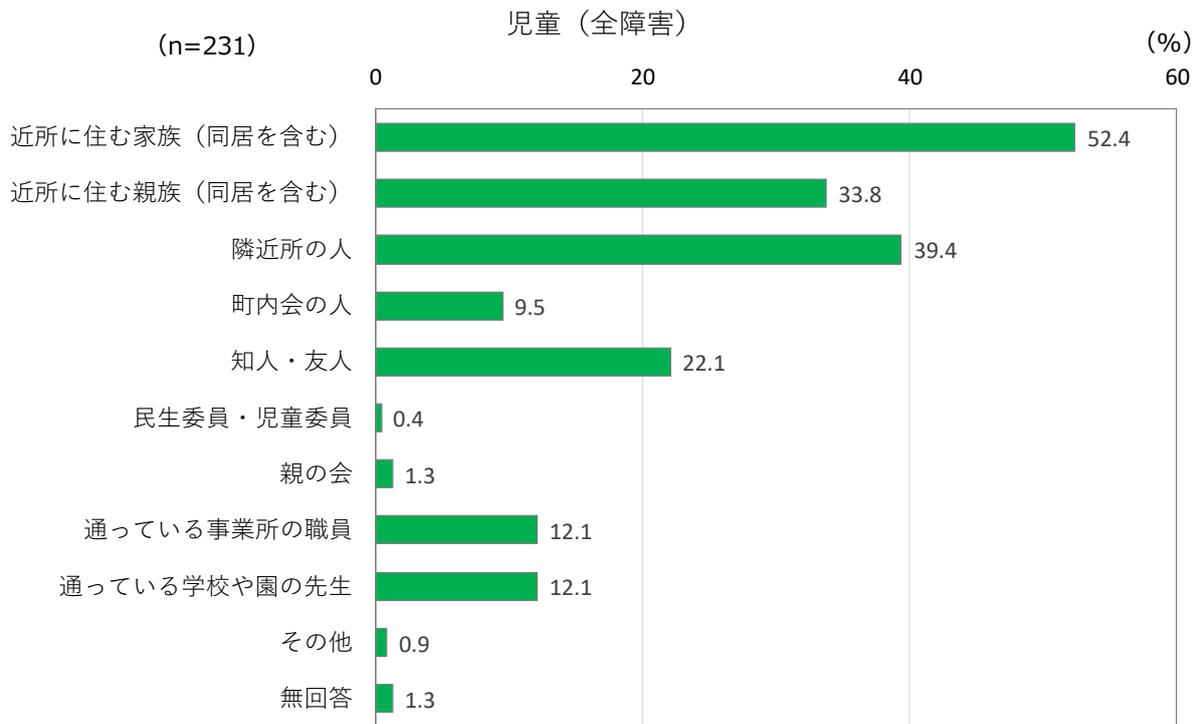
(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	209	23	32	49	6	1	24	3	43	45	6	14
できない	46.9	69.6	53.1	71.4	83.3	100.0	37.5	100.0	30.2	42.2	33.3	35.7
できる	51.2	21.7	46.9	28.6	16.7	0.0	58.3	0.0	67.4	57.8	66.7	64.3
無回答	1.9	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0

問 62. (問 60 で「2. いる」と答えた方のみお答えください。)
 助けを求められる人は誰ですか (〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「近所に住む家族 (同居を含む)」が最も多く、5 割以上となっています。
 前回調査では「隣近所の人」が 5 割以上と最も高い割合でしたが、本調査では 4 割近くと約 10 ポイント減少しています。



(単位: %)

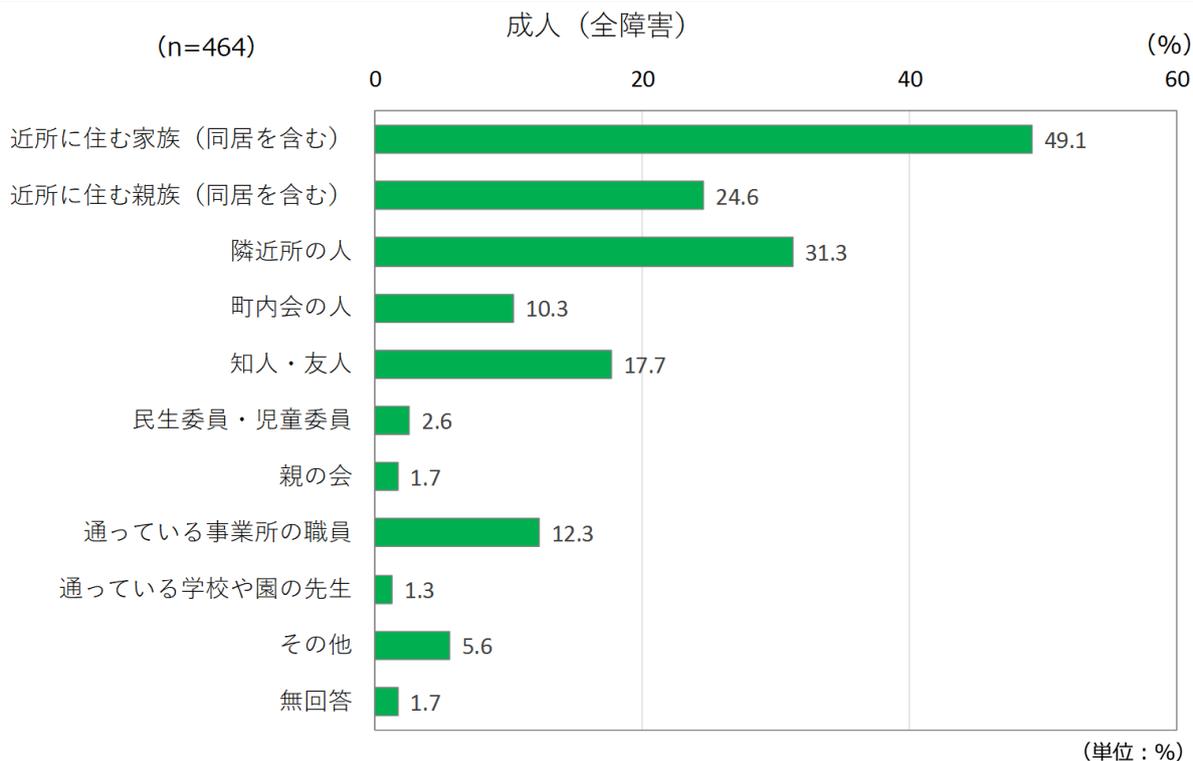
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	231	2	7	19	130	104	2	1	13	18	18	20
近所に住む家族 (同居を含む)	52.4	100.0	42.9	73.7	50.0	51.9	50.0	0.0	53.8	44.4	38.9	55.0
近所に住む親族 (同居を含む)	33.8	0.0	42.9	36.8	35.4	30.8	0.0	0.0	30.8	44.4	55.6	35.0
隣近所の人	39.4	0.0	42.9	31.6	39.2	41.3	50.0	0.0	38.5	27.8	33.3	45.0
町内会の人	9.5	0.0	28.6	26.3	8.5	9.6	0.0	100.0	7.7	16.7	0.0	15.0
知人・友人	22.1	0.0	14.3	15.8	23.1	18.3	50.0	0.0	15.4	50.0	22.2	25.0
民生委員・児童委員	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親の会	1.3	0.0	0.0	0.0	0.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている事業所の職員	12.1	0.0	14.3	10.5	12.3	14.4	0.0	0.0	23.1	11.1	5.6	20.0
通っている学校や園の先生	12.1	0.0	0.0	0.0	13.1	14.4	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	15.0
その他	0.9	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.3	0.0	0.0	0.0	1.5	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0

【成人】

成人全体では、「近所に住む家族（同居を含む）」が最も多く、5割近くとなっています。次いで、「隣近所」が多くなっていますが、他の年代と比べると約9ポイント低くなっています。

障害種別で見ると、難病については「隣近所の人」が4割以上と、他の障害と比べやや多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



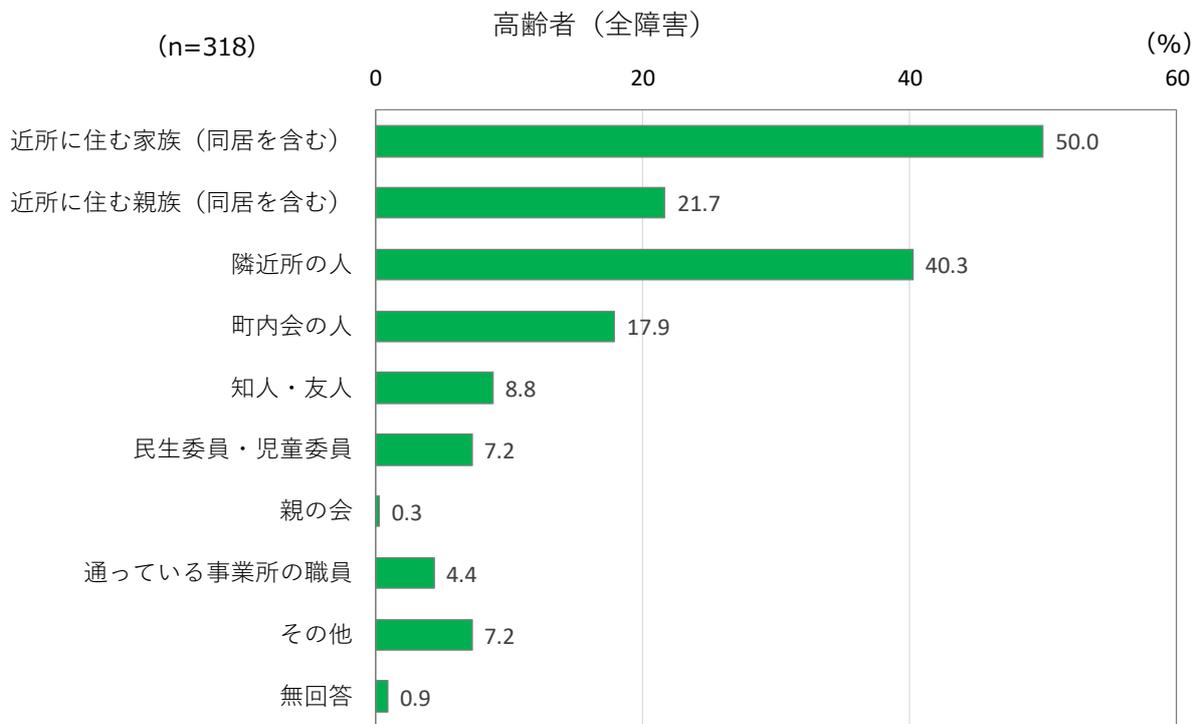
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数（人）	464	23	32	58	162	50	133	10	19	73	13	20
近所に住む家族（同居を含む）	49.1	47.8	46.9	50.0	53.1	58.0	42.1	50.0	42.1	50.7	53.8	45.0
近所に住む親族（同居を含む）	24.6	17.4	21.9	25.9	24.1	28.0	25.6	30.0	36.8	26.0	7.7	30.0
隣近所の人	31.3	39.1	43.8	29.3	22.8	24.0	30.1	20.0	31.6	41.1	69.2	30.0
町内会の人	10.3	21.7	21.9	10.3	9.3	14.0	5.3	10.0	21.1	9.6	15.4	0.0
知人・友人	17.7	17.4	28.1	15.5	8.0	10.0	17.3	10.0	21.1	27.4	38.5	15.0
民生委員・児童委員	2.6	4.3	6.3	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
親の会	1.7	8.7	0.0	3.4	4.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
通っている事業所の職員	12.3	8.7	6.3	15.5	23.5	12.0	8.3	20.0	5.3	0.0	0.0	10.0
通っている学校や園の先生	1.3	0.0	3.1	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	5.0
その他	5.6	4.3	6.3	6.9	8.6	8.0	6.0	10.0	0.0	1.4	0.0	10.0
無回答	1.7	0.0	0.0	0.0	1.2	2.0	4.5	0.0	0.0	1.4	0.0	5.0

【高齢者】

高齢者全体では、「近所に住む家族（同居を含む）」が最も多く、5割となっています。

また、高齢者では、児童・成人と比べ、「民生委員・児童委員」の割合がやや多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数（人）	318	26	35	83	6	2	29	5	86	64	12	23
近所に住む家族（同居を含む）	50.0	57.7	54.3	42.2	66.7	50.0	34.5	40.0	47.7	60.9	41.7	39.1
近所に住む親族（同居を含む）	21.7	23.1	17.1	25.3	50.0	50.0	20.7	0.0	23.3	21.9	33.3	17.4
隣近所の人	40.3	34.6	40.0	32.5	16.7	50.0	44.8	20.0	46.5	45.3	33.3	52.2
町内会の人	17.9	30.8	20.0	14.5	16.7	0.0	10.3	20.0	20.9	15.6	25.0	17.4
知人・友人	8.8	7.7	8.6	9.6	0.0	0.0	10.3	0.0	8.1	6.3	0.0	8.7
民生委員・児童委員	7.2	7.7	8.6	7.2	16.7	0.0	6.9	0.0	8.1	4.7	8.3	0.0
親の会	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている事業所の職員	4.4	0.0	2.9	7.2	33.3	0.0	13.8	40.0	2.3	0.0	8.3	4.3
通っている学校や園の先生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.2	3.8	5.7	12.0	0.0	0.0	10.3	20.0	7.0	3.1	8.3	17.4
無回答	0.9	0.0	2.9	1.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0

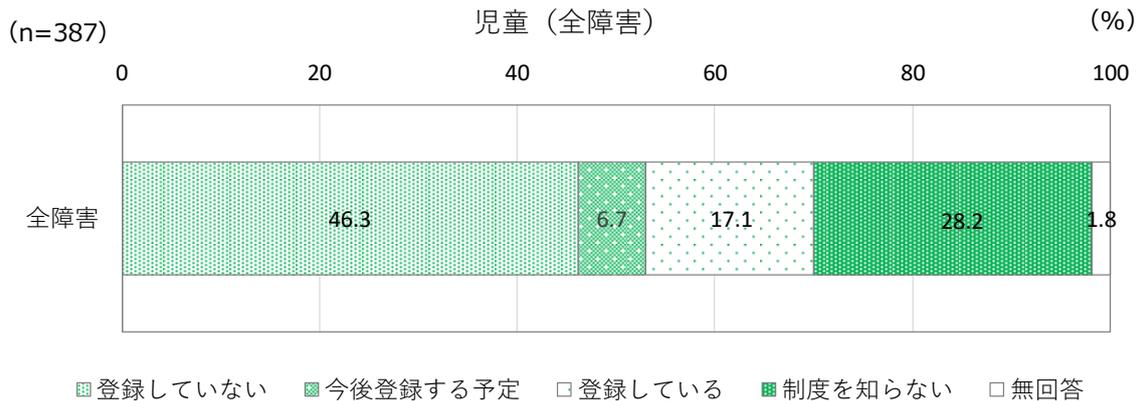
問 63. K-N e t に登録していますか (○はひとつだけ)。

【児童】

児童全体では、「登録していない」が4割以上となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「登録していない」が、他の障害と比べやや低くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

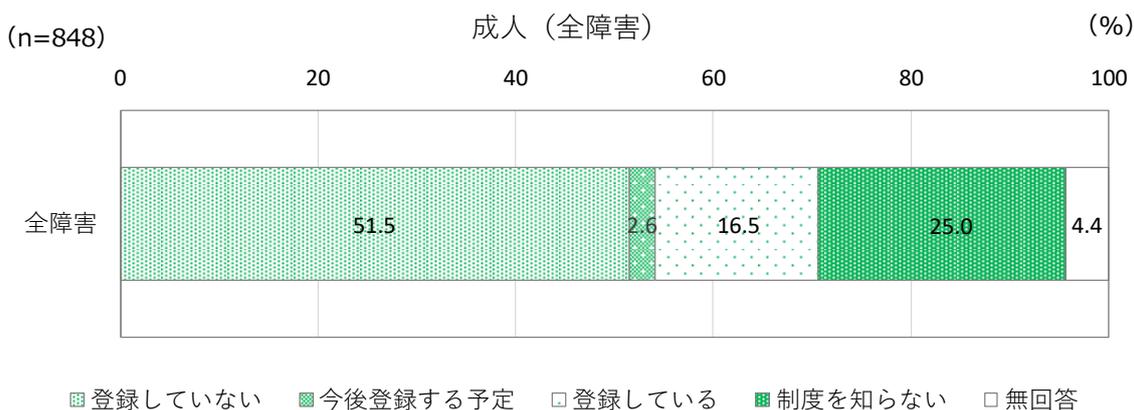
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数 (人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
登録していない	46.3	0.0	46.2	24.2	45.9	45.0	25.0	0.0	50.0	36.4	56.5	39.3
今後登録する予定	6.7	0.0	7.7	12.1	7.9	7.6	12.5	0.0	10.0	9.1	0.0	3.6
登録している	17.1	0.0	46.2	54.5	23.6	15.8	0.0	0.0	25.0	22.7	0.0	3.6
制度を知らない	28.2	66.7	0.0	9.1	20.7	30.4	62.5	100.0	15.0	31.8	34.8	53.6
無回答	1.8	33.3	0.0	0.0	2.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0

【成人】

成人全体についても、「登録していない」が5割以上となっています。

障害種別でみると、難病については、「登録していない」が6割と、他の障害と比べ多くなっています。また、精神障害については、「制度を知らない」が他の障害と比べ多くなっています。

前回調査との比較では、「登録していない」は約5ポイント減少しています。



(単位：%)

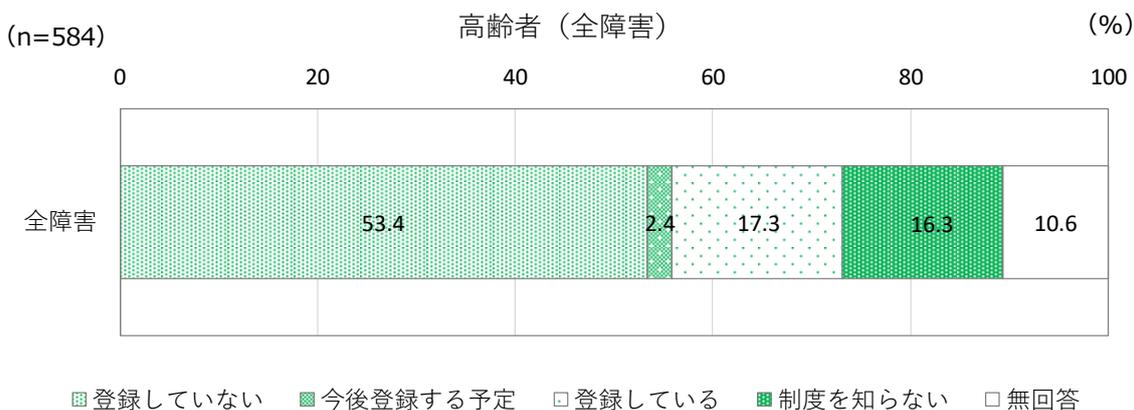
成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
登録していない	51.5	48.6	39.0	35.2	46.5	50.0	52.4	43.8	54.5	60.0	61.9	57.9
今後登録する予定	2.6	2.9	5.1	5.6	4.2	2.0	1.5	6.3	0.0	0.9	0.0	0.0
登録している	16.5	34.3	33.9	37.0	29.9	19.4	4.4	18.8	21.2	10.9	0.0	7.9
制度を知らない	25.0	11.4	15.3	16.7	11.8	25.5	38.2	25.0	15.2	27.3	38.1	23.7
無回答	4.4	2.9	6.8	5.6	7.6	3.1	3.6	6.3	9.1	0.9	0.0	10.5

【高齢者】

高齢者全体についても、「登録していない」が5割以上となっています。

障害種別でみると、内部機能障害、難病については、「登録していない」が、他の障害と比べて多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

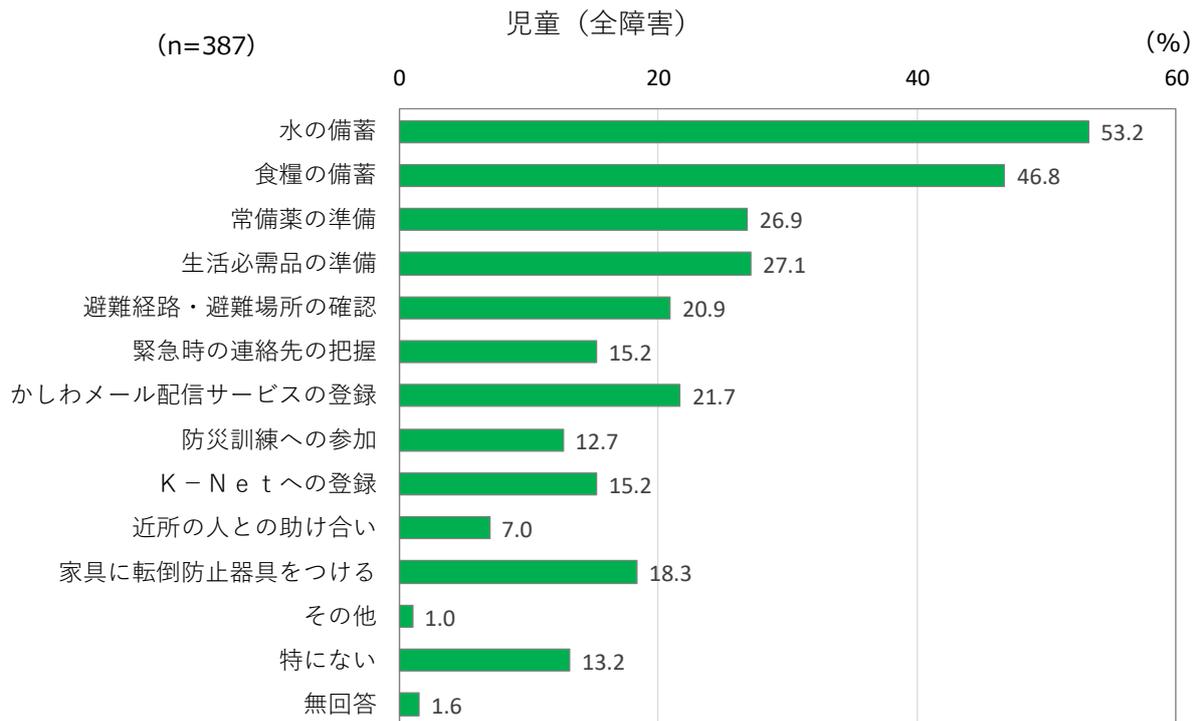
高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
登録していない	53.4	36.8	45.9	44.5	28.6	25.0	53.3	44.4	57.4	63.2	72.2	55.8
今後登録する予定	2.4	3.5	4.1	3.9	0.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.9	5.6	0.0
登録している	17.3	33.3	20.3	19.4	57.1	25.0	6.7	33.3	19.9	13.7	0.0	11.6
制度を知らない	16.3	12.3	16.2	15.5	14.3	25.0	26.7	11.1	13.2	13.7	16.7	18.6
無回答	10.6	14.0	13.5	16.8	0.0	25.0	11.7	11.1	8.1	8.5	5.6	14.0

問 64. 災害に備えていることはありますか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「水の備蓄」が5割以上と最も多く、次いで「食糧の備蓄」となっています。障害種別でみると、肢体不自由については、「K-Net への登録」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

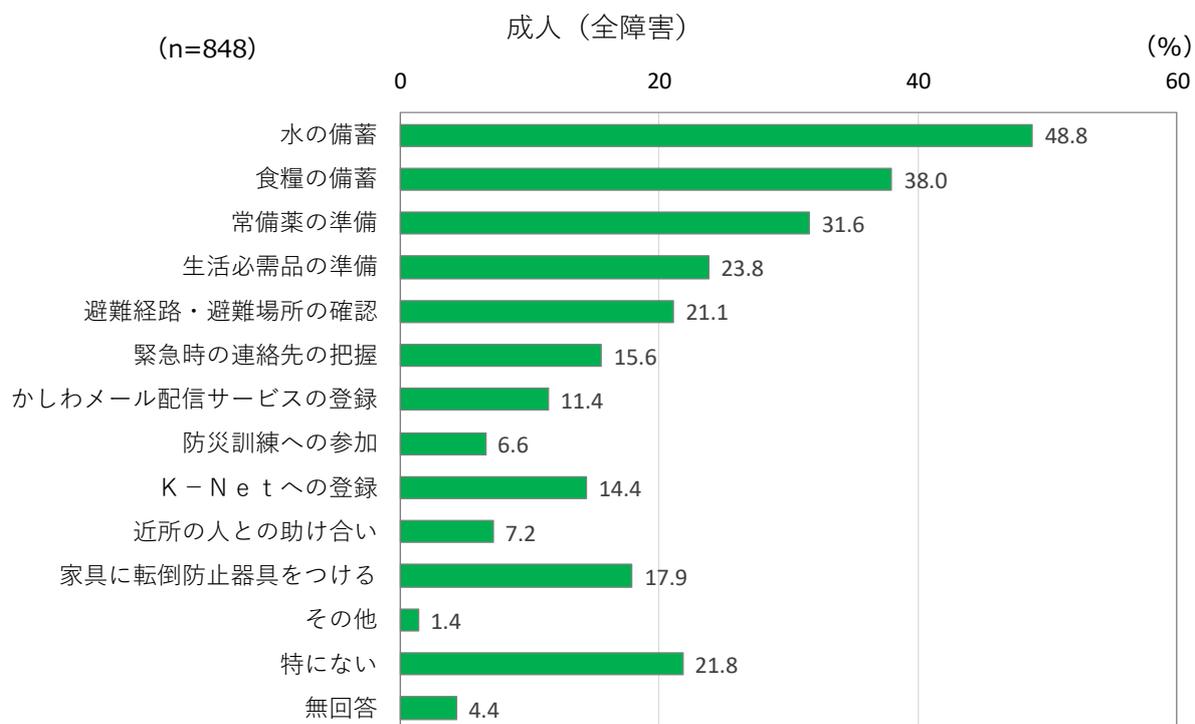
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
水の備蓄	53.2	66.7	53.8	60.6	52.9	53.2	25.0	0.0	75.0	54.5	52.2	57.1
食糧の備蓄	46.8	0.0	53.8	45.5	45.5	45.6	25.0	100.0	70.0	59.1	52.2	50.0
常備菜の準備	26.9	33.3	7.7	33.3	23.1	22.2	12.5	100.0	80.0	63.6	13.0	32.1
生活必需品の準備	27.1	33.3	46.2	33.3	29.8	25.7	12.5	0.0	50.0	40.9	17.4	32.1
避難経路・避難場所の確認	20.9	33.3	15.4	24.2	19.0	21.1	12.5	0.0	35.0	18.2	26.1	32.1
緊急時の連絡先の把握	15.2	33.3	15.4	15.2	13.2	15.8	12.5	0.0	25.0	9.1	4.3	25.0
かしわメール配信サービスの登録	21.7	0.0	46.2	42.4	24.4	21.6	62.5	0.0	25.0	27.3	4.3	25.0
防災訓練への参加	12.7	66.7	15.4	6.1	12.4	11.7	12.5	0.0	15.0	22.7	17.4	14.3
K-Netへの登録	15.2	0.0	46.2	45.5	21.1	13.5	0.0	0.0	30.0	27.3	0.0	7.1
近所の人との助け合い	7.0	0.0	15.4	6.1	5.8	8.2	12.5	0.0	10.0	4.5	8.7	3.6
家具に転倒防止器具をつける	18.3	0.0	38.5	12.1	18.6	19.9	12.5	0.0	15.0	18.2	17.4	17.9
その他	1.0	0.0	0.0	3.0	0.8	0.6	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
特にない	13.2	0.0	7.7	3.0	11.2	14.6	25.0	0.0	0.0	9.1	17.4	10.7
無回答	1.6	0.0	0.0	0.0	1.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0

【成人】

成人全体についても、「水の備蓄」が最も多く、5割近くとなっています。また、児童・高齢者と比較すると、「特にない」の割合がやや多くなっています。

障害種別でみると、難病では「常備薬の準備」の割合が、肢体不自由では「K-Net への登録」が、他の障害と比べやや多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

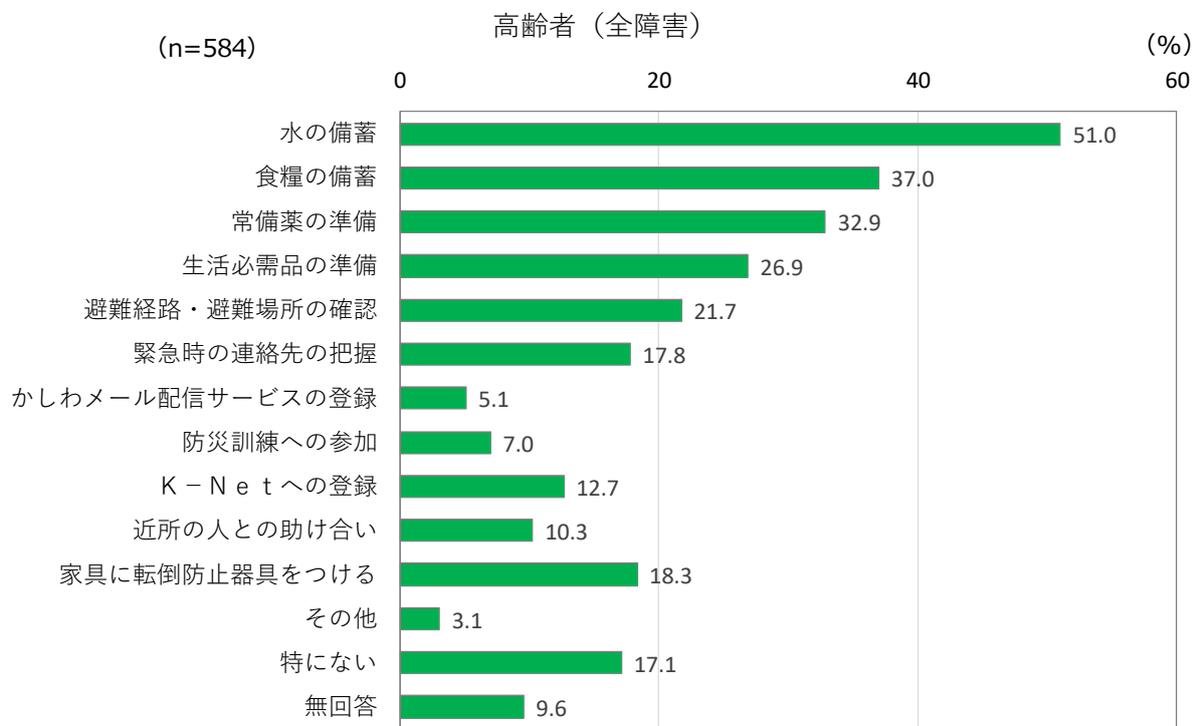


(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	その他・わからない
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
水の備蓄	48.8	71.4	55.9	58.3	47.9	53.1	41.8	56.3	54.5	64.5	52.4	42.1
食糧の備蓄	38.0	51.4	35.6	47.2	38.9	44.9	31.6	43.8	42.4	49.1	42.9	47.4
常備薬の準備	31.6	48.6	32.2	38.0	25.7	28.6	29.8	37.5	42.4	46.4	38.1	36.8
生活必需品の準備	23.8	42.9	20.3	34.3	23.6	27.6	21.8	25.0	21.2	30.9	23.8	26.3
避難経路・避難場所の確認	21.1	28.6	22.0	19.4	16.7	23.5	21.1	18.8	15.2	24.5	14.3	26.3
緊急時の連絡先の把握	15.6	22.9	20.3	16.7	11.1	14.3	14.2	6.3	9.1	20.9	9.5	18.4
かしわメール配信サービスの登録	11.4	14.3	18.6	17.6	10.4	10.2	7.3	0.0	9.1	14.5	14.3	10.5
防災訓練への参加	6.6	17.1	10.2	7.4	7.6	7.1	4.4	6.3	6.1	9.1	19.0	0.0
K-Netへの登録	14.4	31.4	28.8	34.3	26.4	18.4	3.6	18.8	21.2	11.8	0.0	5.3
近所の人との助け合い	7.2	14.3	13.6	9.3	9.4	7.1	5.8	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0
家具に転倒防止器具をつける	17.9	28.6	16.9	22.2	19.1	20.4	14.9	25.0	27.3	28.2	23.8	13.2
その他	1.4	0.0	1.7	1.9	2.1	2.0	1.5	0.0	0.0	1.8	0.0	5.3
特になし	21.8	14.3	16.9	9.3	19.8	14.3	29.5	18.8	24.2	10.9	19.0	13.2
無回答	4.4	0.0	5.1	1.9	6.9	6.1	3.6	6.3	3.0	0.0	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体についても、「水の備蓄」が5割以上と最も多くなっています。
前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
水の備蓄	51.0	33.3	54.1	45.8	35.7	25.0	53.3	33.3	52.9	61.5	61.1	65.1
食糧の備蓄	37.0	24.6	40.5	38.7	21.4	25.0	38.3	11.1	33.8	47.0	61.1	34.9
常備菜の準備	32.9	21.1	32.4	34.2	35.7	25.0	33.3	0.0	31.6	41.0	50.0	30.2
生活必需品の準備	26.9	15.8	27.0	27.1	28.6	0.0	25.0	11.1	24.3	29.9	55.6	30.2
避難経路・避難場所の確認	21.7	22.8	25.7	23.2	28.6	0.0	31.7	11.1	16.2	27.4	11.1	20.9
緊急時の連絡先の把握	17.8	28.1	17.6	18.7	14.3	0.0	20.0	11.1	14.7	19.7	22.2	16.3
かしわメール配信サービスの登録	5.1	12.3	6.8	1.3	0.0	25.0	3.3	0.0	4.4	7.7	0.0	7.0
防災訓練への参加	7.0	8.8	8.1	6.5	7.1	0.0	6.7	0.0	7.4	8.5	5.6	11.6
K-Netへの登録	12.7	26.3	12.2	15.5	35.7	50.0	6.7	0.0	13.2	10.3	0.0	7.0
近所の人との助け合い	10.3	1.8	12.2	11.6	21.4	25.0	6.7	0.0	8.8	14.5	5.6	16.3
家具に転倒防止器具をつける	18.3	12.3	23.0	19.4	0.0	0.0	11.7	0.0	16.9	24.8	22.2	18.6
その他	3.1	0.0	4.1	3.9	14.3	25.0	3.3	0.0	4.4	1.7	0.0	4.7
特になし	17.1	17.5	13.5	13.5	28.6	0.0	20.0	33.3	22.1	11.1	11.1	11.6
無回答	9.6	12.3	12.2	14.8	14.3	0.0	11.7	11.1	6.6	6.0	0.0	11.6

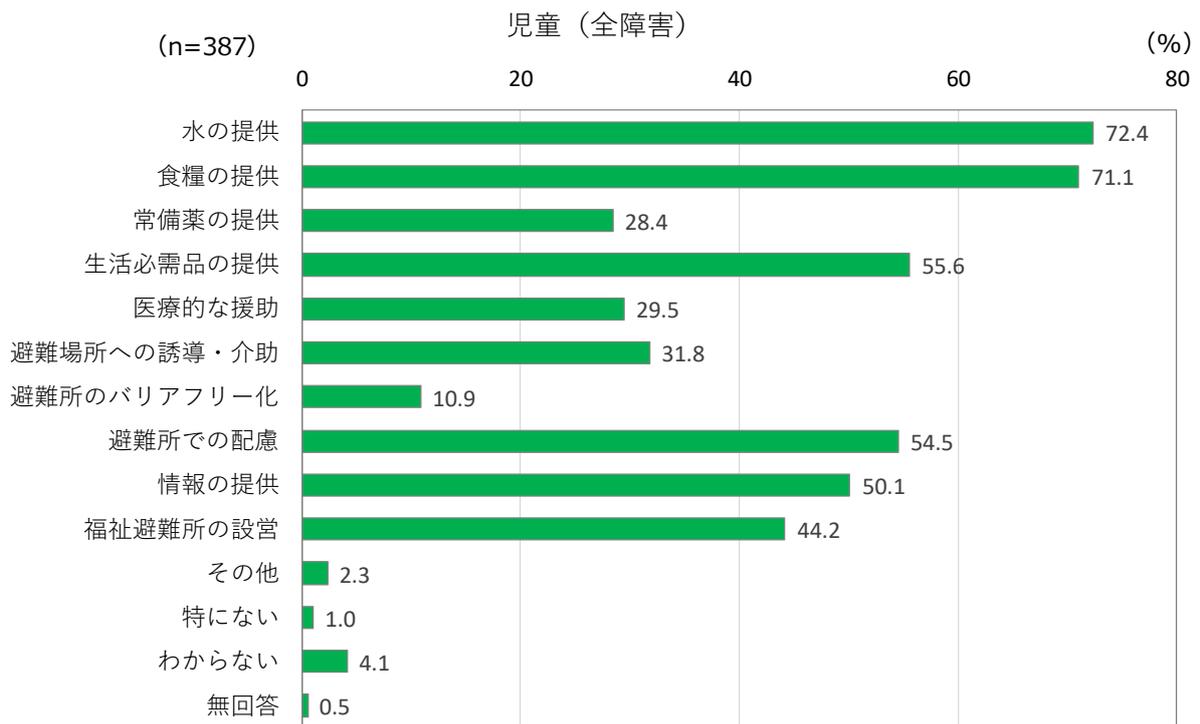
問 65. 災害が起きた時に支援してほしいことは何ですか（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「水の提供」「食糧の提供」の割合が多く、どちらも7割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由は「生活必需品の提供」「避難場所への誘導・介助」「避難所のバリアフリー化」が、それぞれ他の障害と比べ比較的多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

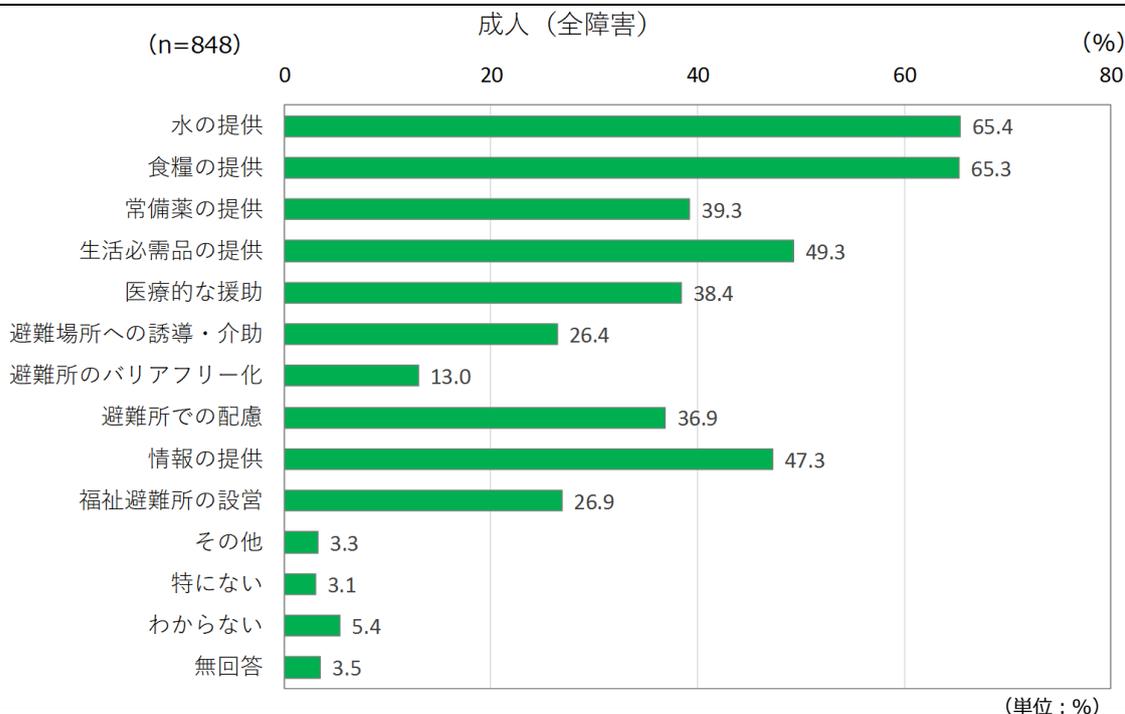
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
水の提供	72.4	100.0	76.9	75.8	74.0	70.2	87.5	100.0	70.0	72.7	69.6	60.7
食糧の提供	71.1	100.0	69.2	66.7	72.7	71.3	87.5	100.0	70.0	59.1	73.9	60.7
常備薬の提供	28.4	66.7	15.4	27.3	26.4	25.7	37.5	0.0	55.0	54.5	30.4	10.7
生活必需品の提供	55.6	66.7	69.2	75.8	58.3	52.6	50.0	0.0	45.0	54.5	69.6	42.9
医療的な援助	29.5	0.0	30.8	36.4	26.4	26.3	37.5	0.0	65.0	36.4	34.8	28.6
避難場所への誘導・介助	31.8	66.7	69.2	54.5	38.8	29.2	25.0	0.0	35.0	36.4	13.0	10.7
避難所のバリアフリー化	10.9	33.3	23.1	48.5	13.2	8.8	25.0	0.0	25.0	18.2	0.0	7.1
避難所での配慮	54.5	66.7	53.8	66.7	60.7	63.2	25.0	0.0	45.0	40.9	30.4	39.3
情報の提供	50.1	33.3	69.2	66.7	50.8	54.4	50.0	0.0	35.0	50.0	47.8	50.0
福祉避難所の設営	44.2	33.3	53.8	66.7	51.7	53.2	62.5	0.0	30.0	36.4	17.4	28.6
その他	2.3	0.0	0.0	12.1	2.5	1.2	0.0	0.0	10.0	4.5	0.0	7.1
特になし	1.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
わからない	4.1	0.0	0.0	0.0	2.9	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	10.7
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【成人】

成人全体についても、児童と同様に「水の提供」「食糧の提供」の割合が多く、それぞれ6割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由は「避難所のバリアフリー化」と「福祉避難所の設営」が、他の障害と比べ多くなっています。

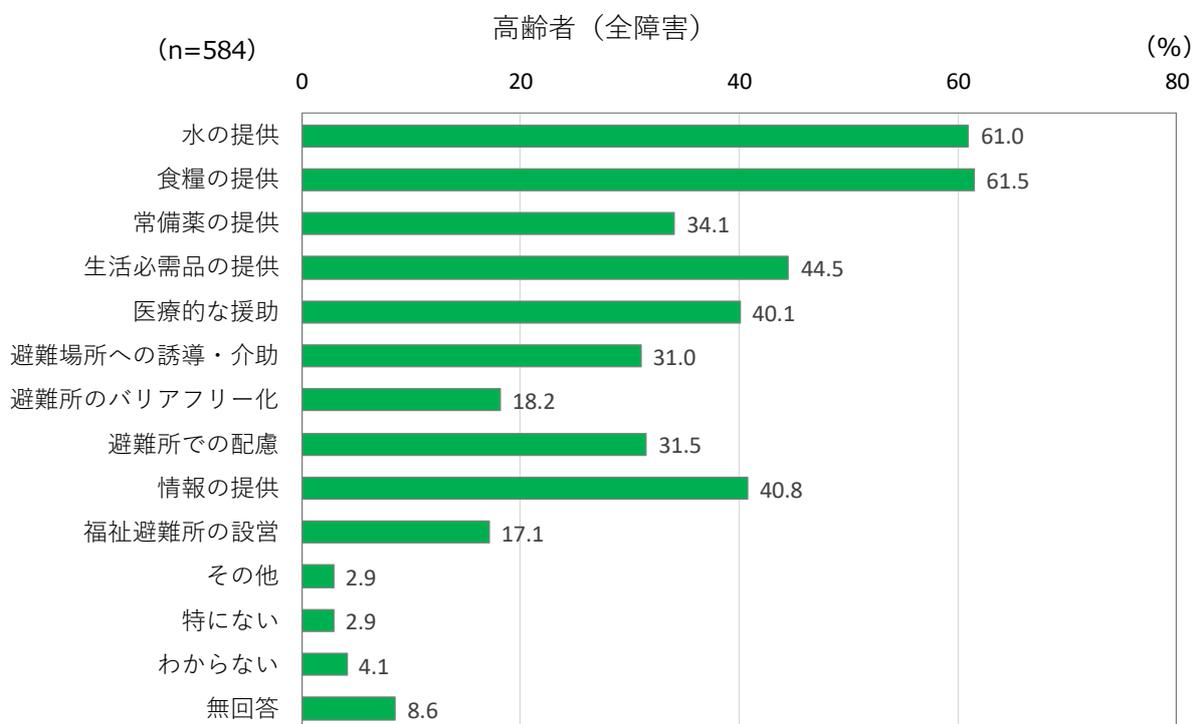
前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
水の提供	65.4	74.3	61.0	73.1	61.8	60.2	68.7	56.3	57.6	73.6	66.7	60.5
食糧の提供	65.3	68.6	67.8	74.1	64.2	64.3	67.3	68.8	57.6	68.2	66.7	60.5
常備薬の提供	39.3	34.3	23.7	42.6	32.3	36.7	51.3	56.3	42.4	50.0	28.6	39.5
生活必需品の提供	49.3	48.6	49.2	57.4	49.0	52.0	53.1	50.0	36.4	46.4	47.6	52.6
医療的な援助	38.4	34.3	37.3	45.4	30.6	36.7	50.9	43.8	45.5	44.5	33.3	34.2
避難場所への誘導・介助	26.4	37.1	33.9	38.0	35.8	25.5	24.0	43.8	15.2	21.8	14.3	31.6
避難所のバリアフリー化	13.0	48.6	25.4	42.6	14.9	8.2	8.7	31.3	12.1	10.9	4.8	10.5
避難所での配慮	36.9	57.1	37.3	48.1	43.1	45.9	35.6	31.3	36.4	28.2	38.1	42.1
情報の提供	47.3	60.0	67.8	50.0	41.0	44.9	47.6	50.0	42.4	45.5	52.4	50.0
福祉避難所の設営	26.9	45.7	37.3	48.1	39.9	38.8	23.3	31.3	15.2	18.2	4.8	15.8
その他	3.3	8.6	3.4	6.5	3.8	6.1	3.3	6.3	0.0	5.5	0.0	10.5
特にない	3.1	2.9	1.7	2.8	2.4	1.0	3.6	0.0	3.0	2.7	4.8	2.6
わからない	5.4	2.9	3.4	1.9	6.6	9.2	6.9	0.0	9.1	1.8	0.0	7.9
無回答	3.5	2.9	1.7	5.6	5.9	4.1	1.5	12.5	3.0	0.0	4.8	7.9

【高齢者】

高齢者全体では、児童・成人と同様「水の提供」「食糧の提供」が多くなっています。
 前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数（人）	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
水の提供	61.0	49.1	66.2	56.8	50.0	50.0	51.7	66.7	61.0	64.1	72.2	76.7
食糧の提供	61.5	52.6	64.9	59.4	57.1	50.0	56.7	55.6	58.1	62.4	77.8	74.4
常備薬の提供	34.1	33.3	31.1	31.6	35.7	0.0	35.0	22.2	32.4	40.2	50.0	34.9
生活必需品の提供	44.5	33.3	33.8	43.2	57.1	50.0	33.3	33.3	47.8	45.3	77.8	51.2
医療的な援助	40.1	33.3	40.5	41.3	35.7	25.0	21.7	22.2	43.4	50.4	55.6	44.2
避難場所への誘導・介助	31.0	43.9	27.0	39.4	42.9	25.0	23.3	44.4	25.0	29.1	33.3	20.9
避難所のバリアフリー化	18.2	38.6	16.2	27.7	14.3	0.0	3.3	11.1	8.1	24.8	16.7	16.3
避難所での配慮	31.5	33.3	40.5	36.1	50.0	0.0	23.3	44.4	24.3	36.8	27.8	34.9
情報の提供	40.8	40.4	41.9	31.6	28.6	25.0	40.0	44.4	39.7	46.2	66.7	51.2
福祉避難所の設営	17.1	22.8	16.2	16.8	42.9	25.0	10.0	11.1	16.9	16.2	33.3	14.0
その他	2.9	1.8	1.4	1.9	7.1	0.0	1.7	0.0	5.1	4.3	5.6	4.7
特にない	2.9	5.3	1.4	2.6	0.0	0.0	1.7	0.0	3.7	1.7	0.0	0.0
わからない	4.1	1.8	4.1	4.5	21.4	0.0	6.7	0.0	2.9	1.7	11.1	2.3
無回答	8.6	14.0	10.8	10.3	7.1	50.0	11.7	11.1	7.4	6.0	0.0	11.6

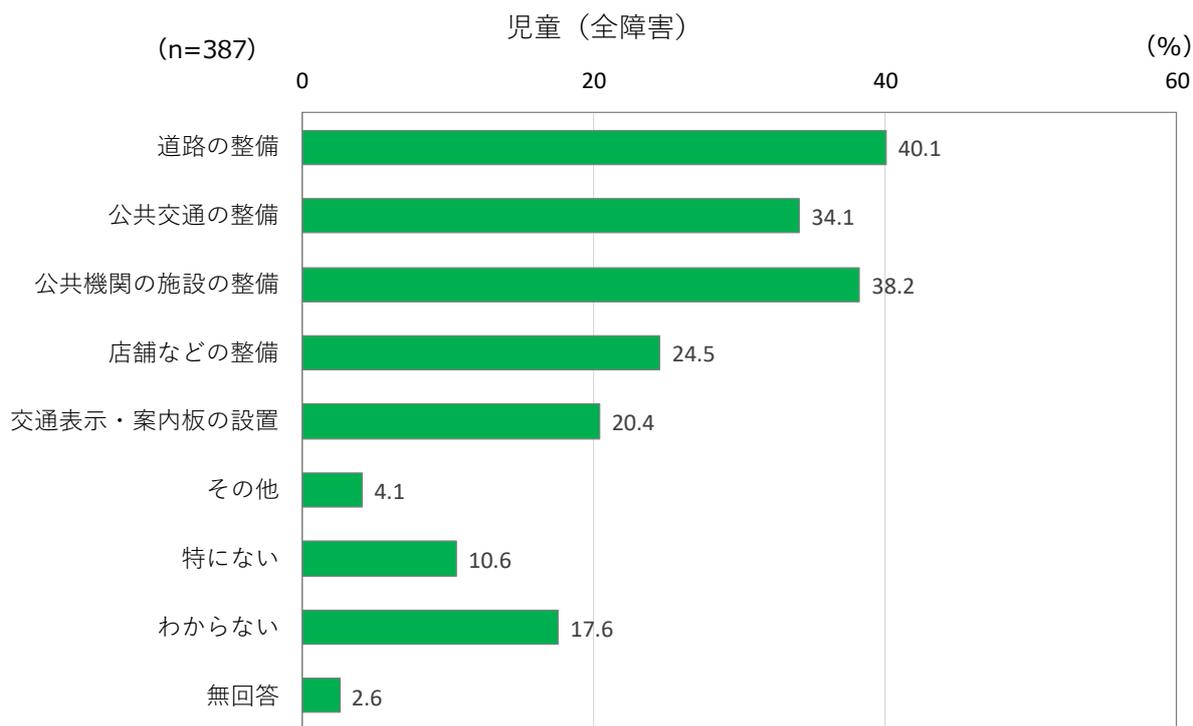
問 66. 今後バリアフリー化を進めていくうえで力を入れてほしい部分はどこですか
(〇はいくつでも)。

【児童】

児童全体では、「道路の整備」が4割以上と最も多く、次いで「公共機関の施設の整備」が4割近くとなっています。

障害種別で見ると、肢体不自由については「道路の整備」「公共機関の施設の整備」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

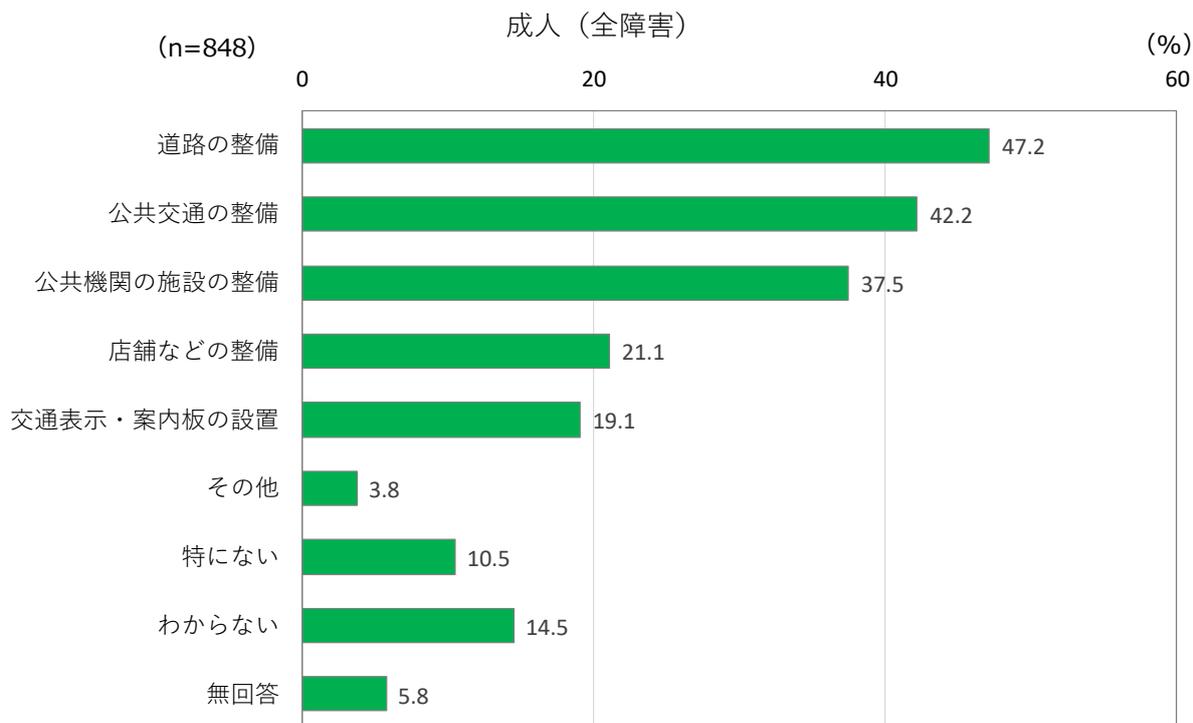
児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
道路の整備	40.1	33.3	46.2	60.6	40.1	38.0	75.0	100.0	45.0	59.1	39.1	42.9
公共交通の整備	34.1	33.3	23.1	45.5	33.9	31.0	62.5	100.0	40.0	31.8	21.7	39.3
公共機関の施設の整備	38.2	66.7	46.2	72.7	38.4	38.0	37.5	0.0	45.0	36.4	34.8	35.7
店舗などの整備	24.5	33.3	53.8	45.5	25.6	26.3	12.5	0.0	15.0	22.7	17.4	28.6
交通表示・案内板の設置	20.4	33.3	15.4	21.2	21.1	24.6	12.5	0.0	10.0	4.5	13.0	14.3
その他	4.1	0.0	7.7	21.2	5.0	1.2	12.5	0.0	15.0	13.6	0.0	10.7
特にない	10.6	0.0	0.0	0.0	9.9	9.9	0.0	0.0	20.0	18.2	8.7	14.3
わからない	17.6	33.3	7.7	0.0	14.9	19.3	12.5	0.0	15.0	9.1	30.4	21.4
無回答	2.6	0.0	0.0	3.0	2.5	2.3	0.0	0.0	0.0	4.5	8.7	0.0

【成人】

成人全体では、「道路の整備」が5割近くと最も多く、次いで「公共交通の整備」となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は、「道路の整備」「公共交通の整備」「公共機関の施設の設備」のそれぞれが、他の障害に比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



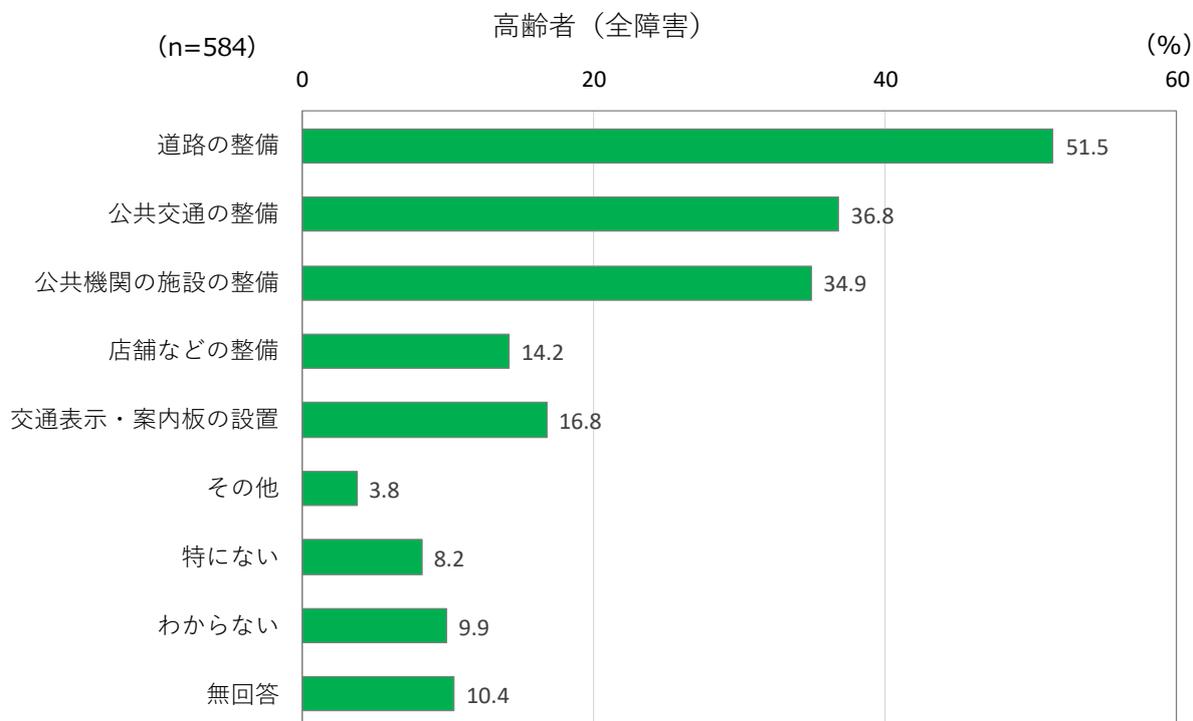
(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
道路の整備	47.2	71.4	47.5	68.5	44.4	36.7	43.6	87.5	45.5	58.2	57.1	42.1
公共交通の整備	42.2	60.0	49.2	53.7	38.2	35.7	41.8	62.5	45.5	43.6	33.3	23.7
公共機関の施設の整備	37.5	51.4	47.5	50.9	38.5	35.7	36.4	43.8	45.5	39.1	28.6	26.3
店舗などの整備	21.1	31.4	30.5	32.4	17.0	20.4	21.5	31.3	39.4	22.7	9.5	15.8
交通表示・案内板の設置	19.1	31.4	45.8	16.7	17.7	20.4	18.2	18.8	12.1	16.4	9.5	23.7
その他	3.8	8.6	6.8	5.6	3.1	7.1	3.6	6.3	0.0	3.6	0.0	10.5
特にない	10.5	5.7	3.4	6.5	10.8	12.2	13.8	6.3	3.0	6.4	14.3	10.5
わからない	14.5	8.6	6.8	3.7	15.6	15.3	16.7	0.0	12.1	13.6	14.3	18.4
無回答	5.8	2.9	3.4	4.6	8.7	6.1	4.7	6.3	6.1	2.7	4.8	13.2

【高齢者】

高齢者全体では、「道路の整備」が5割以上と最も多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



(単位：%)

高齢者	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
道路の整備	51.5	57.9	44.6	52.9	35.7	25.0	35.0	55.6	45.6	55.6	77.8	48.8
公共交通の整備	36.8	29.8	25.7	36.1	35.7	25.0	33.3	44.4	37.5	41.9	55.6	37.2
公共機関の施設の整備	34.9	29.8	31.1	38.7	50.0	50.0	26.7	33.3	30.1	42.7	38.9	37.2
店舗などの整備	14.2	15.8	10.8	18.1	7.1	0.0	3.3	22.2	14.0	18.8	16.7	11.6
交通表示・案内板の設置	16.8	15.8	20.3	12.3	14.3	0.0	11.7	22.2	16.9	22.2	44.4	14.0
その他	3.8	8.8	2.7	2.6	7.1	25.0	1.7	0.0	6.6	0.9	5.6	4.7
特にない	8.2	5.3	9.5	5.8	0.0	0.0	15.0	11.1	10.3	6.0	0.0	2.3
わからない	9.9	10.5	12.2	8.4	7.1	0.0	10.0	0.0	9.6	6.8	11.1	14.0
無回答	10.4	14.0	13.5	14.2	21.4	25.0	18.3	11.1	8.1	6.8	0.0	14.0

全体を通して

問 67. 柏市の資源や財源は限られており、特に必要な取組みから優先して実施していかなければなりません。今後、柏市の障害福祉の取組みについて、特に優先して力を入れてほしいものは何ですか（〇は5つまで）。

【児童】

児童全体では、「就労支援の充実」が最も多く、5割以上となっています。

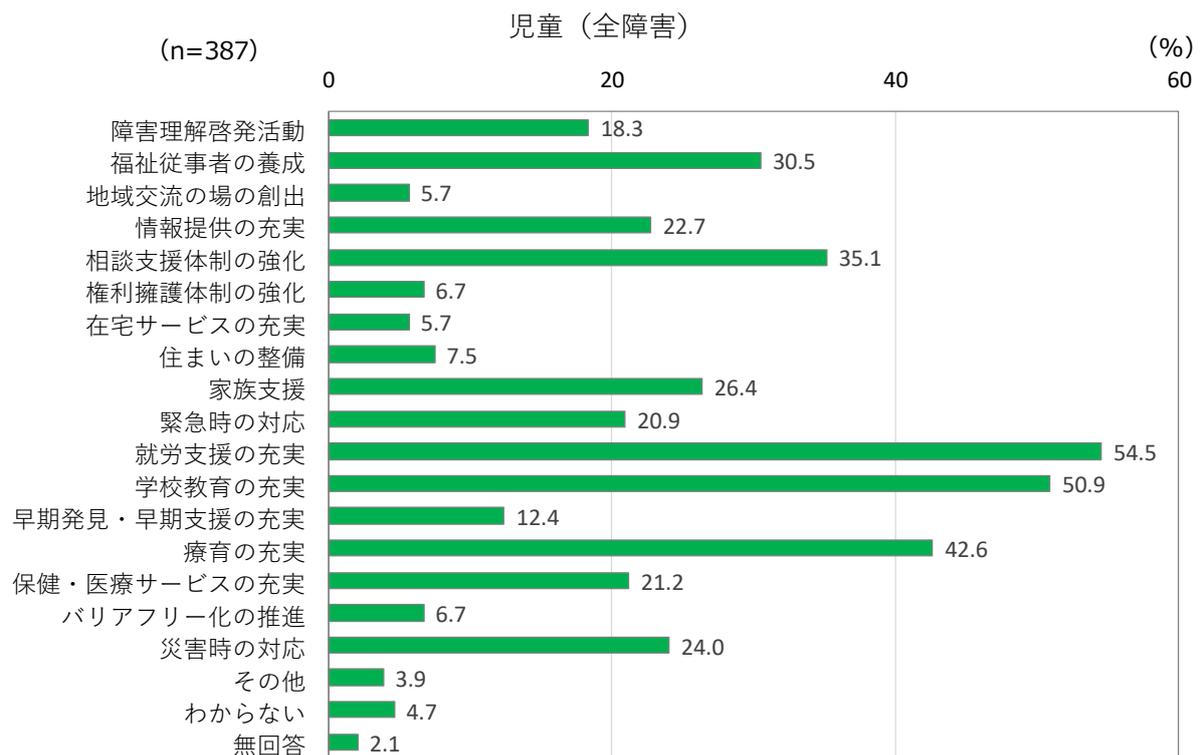
障害種別でみると、以下の項目が他の障害と比べ多くなっています。

○ 肢体不自由：「災害時の対応」「保健・医療サービスの充実」

○ 知的障害：「就労支援の充実」

○ 発達障害：「就労支援の充実」「学校教育の充実」「療育の充実」「相談支援体制の強化」

前回調査で最も多かった「学校教育の充実」は約 7 ポイント減少し、「就労支援の充実」は約 5 ポイント増加しています。



(単位：%)

児童	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	387	3	13	33	242	171	8	1	20	22	23	28
障害理解啓発活動	18.3	66.7	0.0	12.1	21.5	25.1	62.5	0.0	0.0	0.0	4.3	14.3
福祉従事者の養成	30.5	33.3	23.1	39.4	35.5	28.7	0.0	0.0	15.0	27.3	26.1	14.3
地域交流の場の創出	5.7	0.0	7.7	6.1	5.8	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.6
情報提供の充実	22.7	66.7	23.1	18.2	21.1	25.1	25.0	0.0	25.0	18.2	21.7	10.7
相談支援体制の強化	35.1	33.3	53.8	36.4	39.3	43.3	37.5	0.0	10.0	27.3	17.4	25.0
権利擁護体制の強化	6.7	0.0	15.4	3.0	9.9	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
在宅サービスの充実	5.7	0.0	7.7	12.1	7.0	5.3	12.5	0.0	10.0	13.6	0.0	0.0
住まいの整備	7.5	33.3	7.7	15.2	9.5	6.4	0.0	0.0	0.0	18.2	4.3	7.1
家族支援	26.4	66.7	30.8	21.2	30.6	32.2	12.5	100.0	10.0	31.8	26.1	10.7
緊急時の対応	20.9	66.7	23.1	18.2	22.7	21.6	25.0	100.0	25.0	18.2	13.0	17.9
就労支援の充実	54.5	66.7	76.9	39.4	59.1	59.6	75.0	0.0	35.0	45.5	43.5	39.3
学校教育の充実	50.9	0.0	61.5	45.5	46.3	58.5	50.0	0.0	45.0	31.8	56.5	64.3
早期発見・早期支援の充実	12.4	33.3	7.7	3.0	8.3	16.4	0.0	0.0	5.0	0.0	21.7	10.7
療育の充実	42.6	0.0	61.5	39.4	42.1	50.9	12.5	0.0	25.0	18.2	43.5	50.0
保健・医療サービスの充実	21.2	33.3	23.1	36.4	23.6	17.5	25.0	100.0	35.0	40.9	21.7	17.9
バリアフリー化の推進	6.7	0.0	23.1	27.3	8.3	2.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	3.6
災害時の対応	24.0	33.3	53.8	39.4	26.4	24.0	0.0	0.0	20.0	27.3	13.0	25.0
その他	3.9	0.0	0.0	12.1	5.0	2.9	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	3.6
わからない	4.7	0.0	0.0	3.0	2.9	2.3	0.0	0.0	5.0	4.5	4.3	17.9
無回答	2.1	0.0	0.0	0.0	1.7	2.3	0.0	0.0	5.0	9.1	4.3	0.0

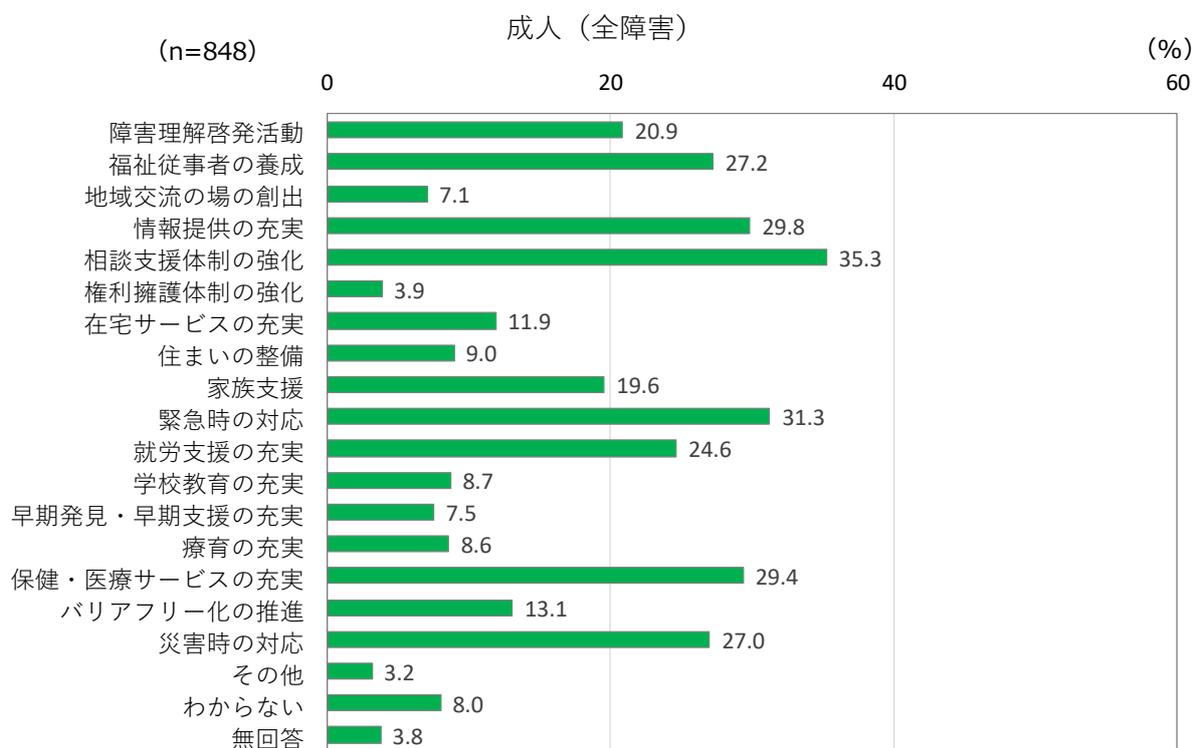
【成人】

成人全体では、「相談支援体制の強化」が最も多く、次いで、「緊急時の対応」「情報提供の充実」「保健・医療サービスの充実」となっています。

障害種別でみると、以下の項目が他の障害と比べ高い割合となっています。

- 肢体不自由：「保健・医療サービスの充実」「緊急時の対応」「バリアフリー化の推進」
- 発達障害：「福祉従事者の養成」「相談支援体制の強化」「就労支援の充実」
- 精神障害：「情報提供の充実」「相談支援体制の強化」

前回調査で最も多かった「災害時の対応」は約 10 ポイント減少し、3 割以下となっています。



(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	848	35	59	108	288	98	275	16	33	110	21	38
障害理解啓発活動	20.9	22.9	33.9	15.7	23.6	27.6	23.6	12.5	9.1	13.6	9.5	13.2
福祉従事者の養成	27.2	37.1	32.2	35.2	37.5	48.0	21.8	18.8	21.2	20.0	28.6	23.7
地域交流の場の創出	7.1	5.7	3.4	1.9	7.3	12.2	10.5	12.5	0.0	1.8	4.8	2.6
情報提供の充実	29.8	42.9	40.7	25.0	26.4	27.6	34.5	31.3	33.3	25.5	28.6	28.9
相談支援体制の強化	35.3	31.4	16.9	24.1	37.5	46.9	43.3	18.8	24.2	27.3	38.1	39.5
権利擁護体制の強化	3.9	11.4	5.1	3.7	3.1	7.1	6.2	6.3	3.0	1.8	0.0	2.6
在宅サービスの充実	11.9	22.9	22.0	27.8	12.8	7.1	12.7	31.3	9.1	14.5	0.0	2.6
住まいの整備	9.0	5.7	10.2	14.8	7.3	6.1	8.7	6.3	9.1	10.9	0.0	7.9
家族支援	19.6	20.0	18.6	19.4	23.6	24.5	21.5	18.8	6.1	18.2	19.0	18.4
緊急時の対応	31.3	42.9	44.1	40.7	33.7	30.6	29.8	50.0	42.4	30.9	28.6	36.8
就労支援の充実	24.6	8.6	18.6	10.2	21.5	38.8	29.8	25.0	15.2	17.3	33.3	18.4
学校教育の充実	8.7	8.6	8.5	7.4	5.9	11.2	9.8	12.5	3.0	11.8	9.5	7.9
早期発見・早期支援の充実	7.5	2.9	1.7	9.3	2.4	8.2	11.3	6.3	6.1	11.8	23.8	7.9
療育の充実	8.6	5.7	3.4	4.6	13.9	13.3	6.5	12.5	3.0	7.3	14.3	0.0
保健・医療サービスの充実	29.4	25.7	32.2	38.9	20.1	24.5	32.0	37.5	33.3	53.6	47.6	10.5
バリアフリー化の推進	13.1	45.7	25.4	34.3	6.3	4.1	10.5	37.5	15.2	22.7	0.0	2.6
災害時の対応	27.0	40.0	25.4	31.5	27.8	24.5	23.3	31.3	42.4	32.7	14.3	36.8
その他	3.2	2.9	5.1	4.6	3.1	3.1	3.3	18.8	0.0	2.7	0.0	5.3
わからない	8.0	5.7	5.1	4.6	7.6	3.1	7.3	0.0	12.1	7.3	9.5	13.2
無回答	3.8	2.9	1.7	8.3	6.6	4.1	1.8	12.5	0.0	0.9	0.0	2.6

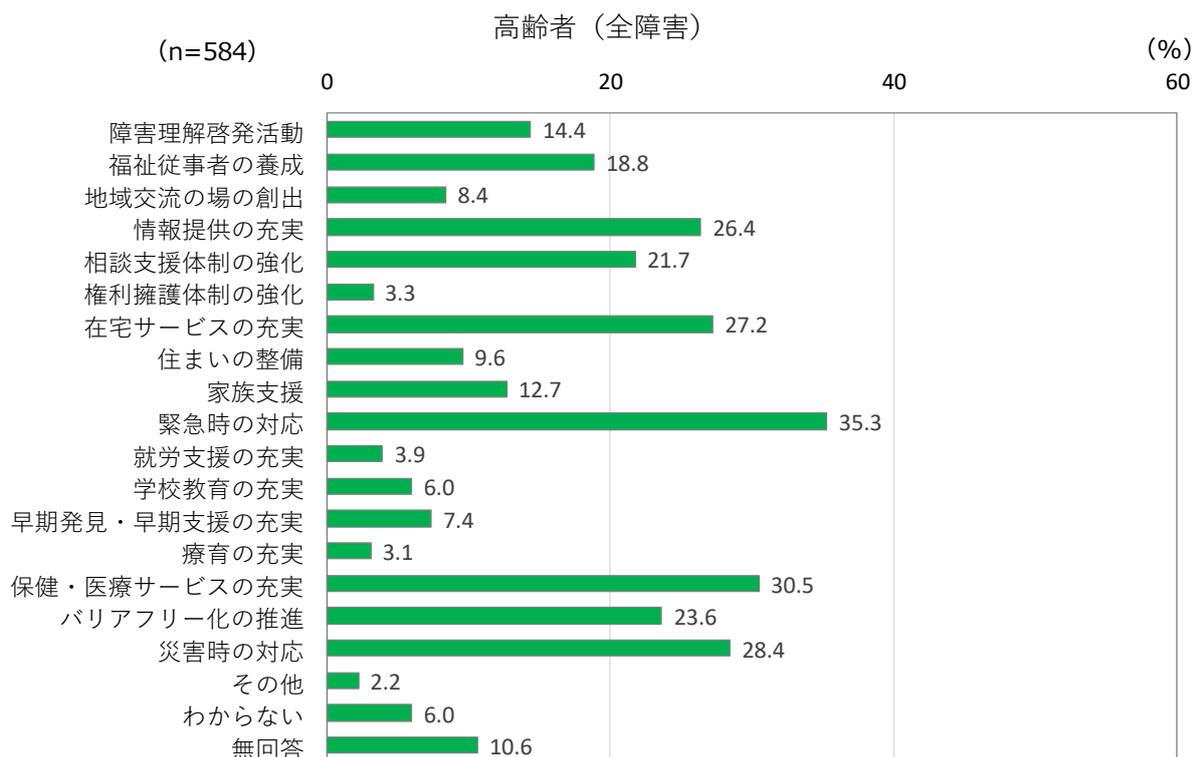
【高齢者】

高齢者全体では、「緊急時の対応」が最も多く、次いで「保健・医療サービスの充実」「災害時の対応」となっています。

障害種別でみると、以下の項目が他の障害と比べ高い割合となっています。

- 視覚障害：「バリアフリー化の推進」「地域交流の場の創出」
- 聴覚障害：「地域交流の場の創出」
- 難病：「保健・医療サービスの充実」

前回調査で最も高い割合であった「災害時の対応」は約5ポイント減少しています。



(単位：%)

成人	全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	584	57	74	155	14	4	60	9	136	117	18	43
障害理解啓発活動	14.4	31.6	21.6	10.3	42.9	50.0	16.7	22.2	11.0	8.5	22.2	4.7
福祉従事者の養成	18.8	26.3	17.6	15.5	57.1	75.0	21.7	33.3	19.1	13.7	22.2	18.6
地域交流の場の創出	8.4	12.3	13.5	3.9	7.1	25.0	6.7	33.3	6.6	4.3	22.2	2.3
情報提供の充実	26.4	28.1	28.4	17.4	28.6	50.0	21.7	44.4	27.9	27.4	61.1	20.9
相談支援体制の強化	21.7	28.1	23.0	23.2	35.7	25.0	23.3	11.1	16.2	23.1	16.7	14.0
権利擁護体制の強化	3.3	5.3	2.7	2.6	14.3	25.0	10.0	0.0	1.5	2.6	5.6	0.0
在宅サービスの充実	27.2	29.8	21.6	27.1	14.3	0.0	21.7	0.0	27.9	31.6	22.2	25.6
住まいの整備	9.6	10.5	14.9	11.6	0.0	0.0	10.0	11.1	5.9	7.7	5.6	4.7
家族支援	12.7	7.0	17.6	11.6	14.3	25.0	18.3	11.1	7.4	17.1	22.2	14.0
緊急時の対応	35.3	31.6	36.5	30.3	50.0	50.0	33.3	44.4	35.3	33.3	66.7	51.2
就労支援の充実	3.9	3.5	2.7	2.6	7.1	0.0	8.3	0.0	2.9	3.4	11.1	0.0
学校教育の充実	6.0	3.5	4.1	4.5	0.0	0.0	5.0	0.0	4.4	9.4	22.2	0.0
早期発見・早期支援の充実	7.4	1.8	6.8	6.5	0.0	0.0	8.3	0.0	5.9	8.5	16.7	18.6
療育の充実	3.1	1.8	2.7	1.9	7.1	25.0	3.3	0.0	5.1	3.4	5.6	0.0
保健・医療サービスの充実	30.5	22.8	23.0	32.9	7.1	0.0	20.0	11.1	30.1	37.6	44.4	32.6
バリアフリー化の推進	23.6	35.1	23.0	31.0	7.1	0.0	8.3	22.2	16.9	23.9	38.9	18.6
災害時の対応	28.4	22.8	29.7	26.5	28.6	25.0	26.7	11.1	31.6	24.8	55.6	39.5
その他	2.2	0.0	4.1	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	2.2	3.4	0.0	4.7
わからない	6.0	7.0	4.1	4.5	7.1	0.0	6.7	0.0	6.6	5.1	5.6	4.7
無回答	10.6	12.3	16.2	16.1	0.0	25.0	10.0	22.2	10.3	9.4	0.0	9.3

4. 自由意見のまとめ

問 68. 全体を通して、また、親や介護者の立場として何かご意見があればご自由に記入してください。

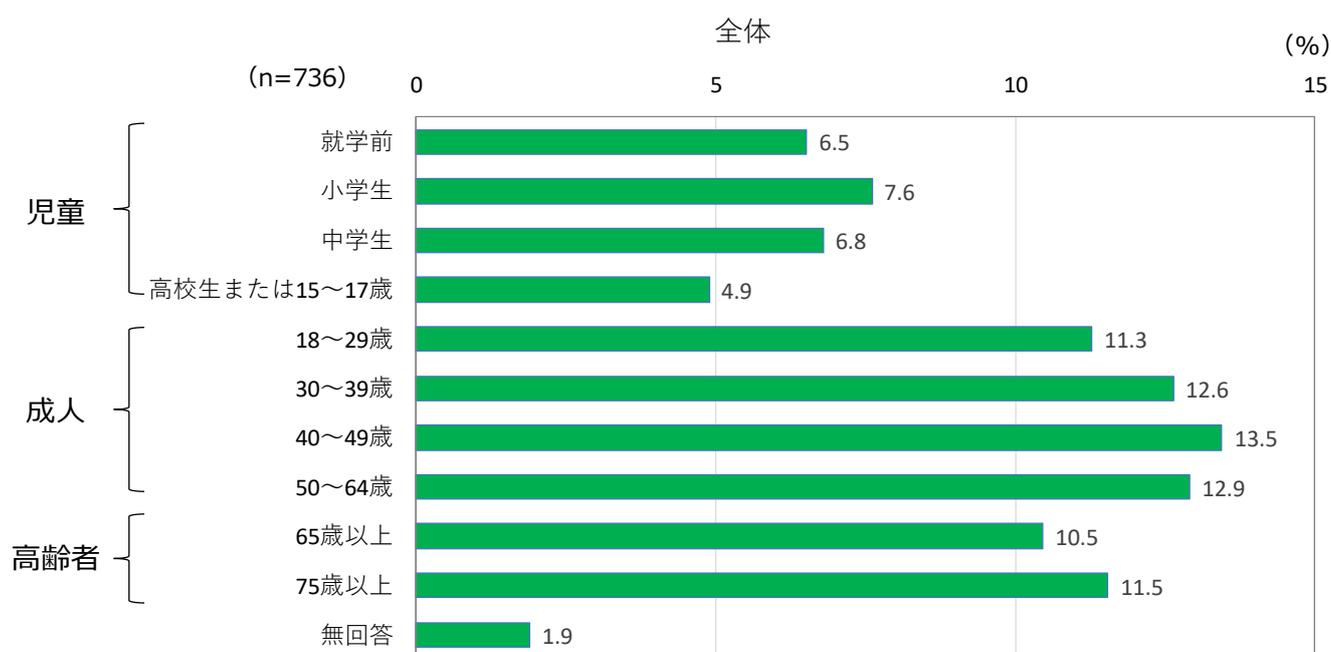
問 68 での自由記述欄には、多くの方からご意見をいただきました。これら意見を分類し、代表的な回答を抜粋して概要をまとめました。

※ 一人の回答につき、複数の意見を含む場合は、それぞれ分類し件数としてカウントしています。

※ ご意見は、できる限り原文のまま掲載しています。

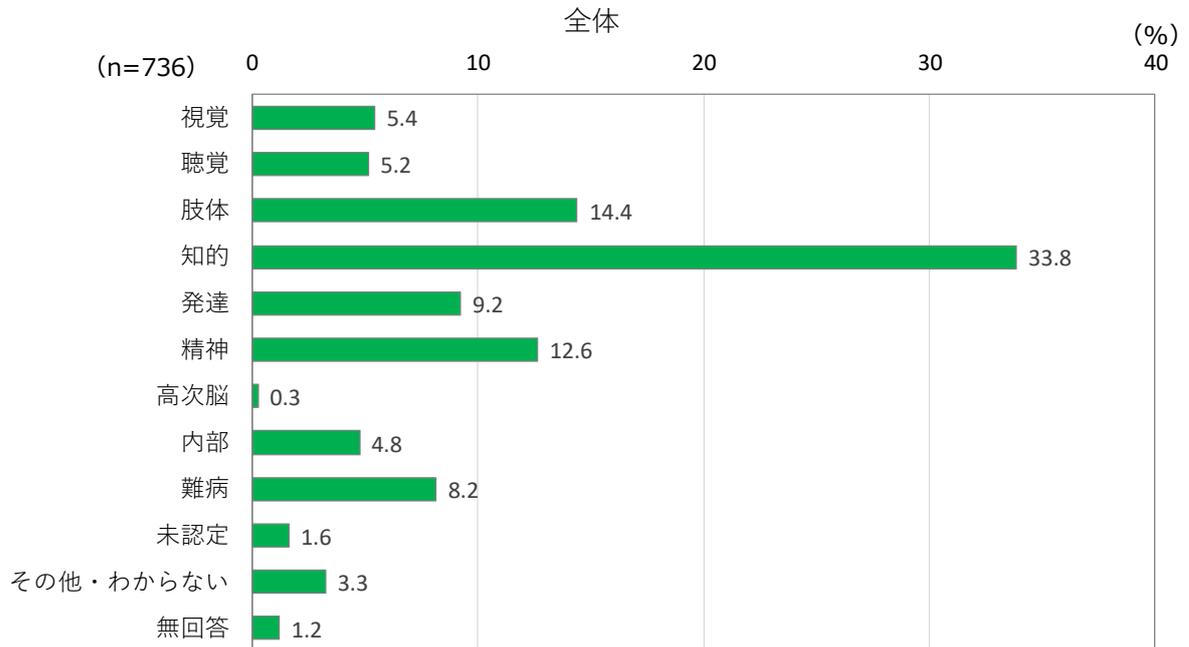
(1) 年齢別回答者数

自由記述欄の回答者数は 736 人でした。うち、17 歳以下の子どもは 3 割近く、成人は 5 割、高齢者は 2 割になります。



(2) 障害別回答者数

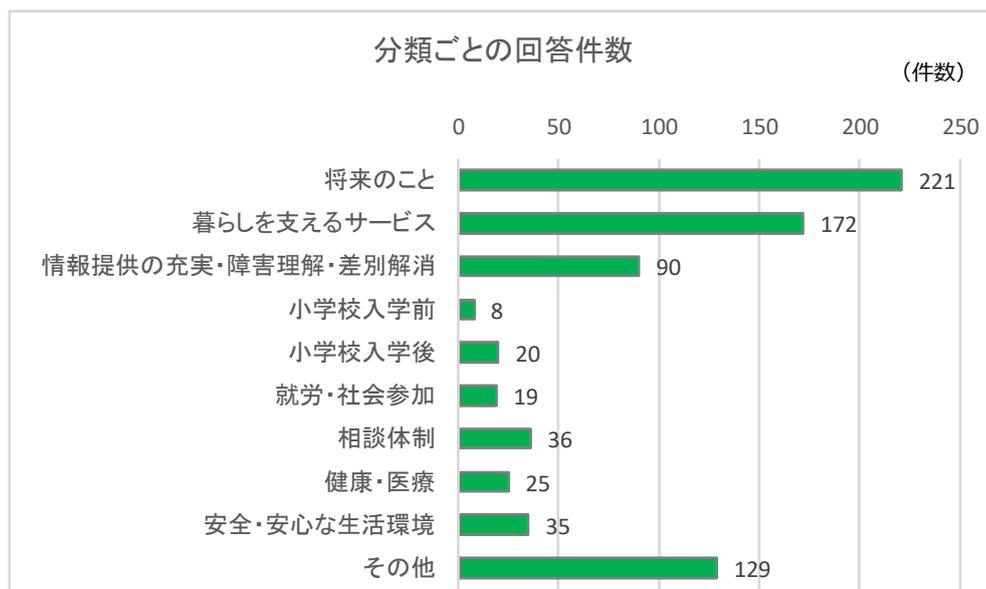
回答者数のうち、知的障害が全体の3割以上と最も多くなっています。



(3) 分類ごとの回答件数

分類ごとの回答件数の内訳は以下の通りです。

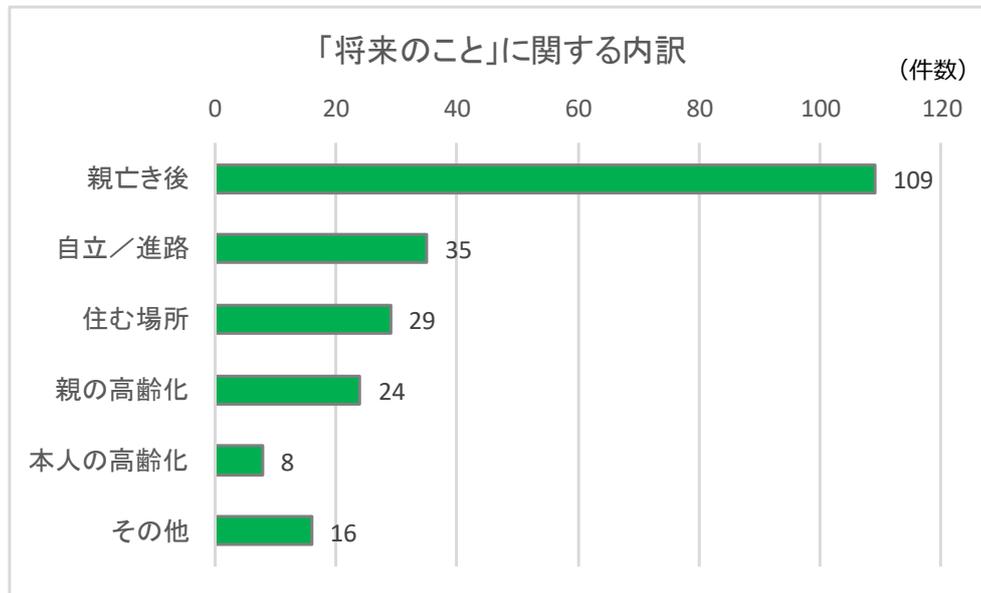
「将来のこと」に関する意見が最も多く、221件となっています。次いで、「暮らしを支えるサービス」が172件です。



(4) 分類ごとの意見のまとめ

① 将来のこと (221 件)

「親亡き後」に関する意見が最も多く、109 件ありました。他に、「自立／進路」「住む場所」「親の高齢化」に関する意見も多くありました。



「親亡き後」(109 件)

「親亡き後への不安」や「親亡き後のための福祉サービスの充実」を求める意見が多くありました。

<ul style="list-style-type: none">今は親も元気で子どもの面倒を見てあげられるが、高齢になってきていつまで一緒に暮らせるのか不安です。親が倒れたり、死んだ後、子どもが安心して暮らせるグループホームやケアホームを願っています。親亡き後に安心して暮らせる場所を充実させて下さい。
<ul style="list-style-type: none">将来一人になった時、どのようにしたら良いか、今から考えている。
<ul style="list-style-type: none">自宅で生活しているが、親が年をとっているので面倒を見られなくなったときに生活していけるところがすぐに見つかって入所できるか心配です。
<ul style="list-style-type: none">先のことかとても気になっている。親がいなくなったときにはとか。そういう不安を少しでも減らせるようにしていきたい。
<ul style="list-style-type: none">全ての親は自分が亡くなったあとのことを心配していると思います。親亡き後の福祉サービスの情報提供がほしい。
<ul style="list-style-type: none">まだ親が元気ですが、親亡き後のことを考えると不安です。限られる資源、財源の中で厳しいとは思いますが、障がい者が地域の中で生活できるようお力添えをお願いしたいです。
(他 103 件)

「自立／進路」(35件)

「将来の自立や進路」への不安や希望に関する意見が多くありました。

<ul style="list-style-type: none">今は自宅で生活しているが、いずれは一人で暮らせるようになりたいと思います。結婚もしてみたいと思います。
<ul style="list-style-type: none">現在の住居に本人は不満をもっているが、一人暮らしをする自信はなさそう。近い将来の一人暮らしに向けて、引きこもる息子をどうすればいいか、悩みます。
<ul style="list-style-type: none">配偶者との2人暮らし。今、夫は元気で生活の全てを支えてくれているが、将来が不安。地域で自立した生活ができるような支援の充実を切望する。
<ul style="list-style-type: none">将来への不安があります。就労への道があるのか、1人で生活していくことが出来るのかどうか、気軽に本人が相談できる場所や集まれる場所がほしいと思います。
(他 31件)

「住む場所」(29件)

「将来の住む場所に関する不安」についての意見が多くありました。

<ul style="list-style-type: none">いつまでも親が介護し続けられないので、早いうちに自分の居場所を作ってあげられたらと思っています。グループホーム等入所に関して空きがない状態。
<ul style="list-style-type: none">子どもの将来の生活の場について不安がある。
<ul style="list-style-type: none">視覚障害のため、将来一人になったとき、本人に最も暮らしやすい施設を紹介してください。
<ul style="list-style-type: none">両親が見られなくなったとき、近くに入所施設のような所がほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none">子どもはまだ小さいが、将来成人した時に一人で暮らすことは難しいと思うので施設が十分に入れる状況なのかが心配。仮に施設に入れない場合、グループホームの数は十分なのか。まだまだ先のこととは言えとても心配です。その辺りを色々相談できる機関があると助かるし心強いです。
(他 24件)

「親の高齢化」(24件)

「親の高齢化により生じる困難への不安」に関する意見が多くありました。

<ul style="list-style-type: none">近所に住む両親はまだ元気だが、介護等が必要となった場合、自分が動かないといけないので、不安がある。
<ul style="list-style-type: none">親の高齢化に伴う今後の生活環境の変化が不安。
<ul style="list-style-type: none">今は親が丈夫なので良いが、将来親も高齢化となり、他の兄妹にも負担になるようになったら心配である。一人で生活は出来ないで、その時どうしたらいいか、ずっと考えている。
(他 21件)

「本人の高齢化」(8件)

「本人の高齢化により生じる困難に対する不安」についての意見がありました。

• 今は特にないが、高齢化により、買い物・家事が困難になった時が心配。
• 私は今、一人で住んでいます。これから体が思うように行かなくなったときのことを考える、と全ての面で不安になります。高齢のため、ボランティアも出来ません。せめて少しでも皆様に迷惑をかけないですむようにと願っています。
(その他6件)

「その他」(16件)

「将来の見通しが持てないことへの不安」や「子どもの将来への希望」等の意見が寄せられました。

② 情報提供の充実・障害理解・差別解消(90件)

「障害理解・差別解消」に関する意見が最も多く、46件の意見がありました。また、「情報提供の充実」(29件)、「申請手続」に関する意見(15件)が挙げられています。

「障害理解・差別解消」(46件)

「誰もが住みやすい柏市になってほしい」といった意見のほか、「精神障害や高次脳機能障害等、外見では分からない障害への理解の促進」「幼少期からの福祉教育の充実」「ヘルプマークの活用促進」に関する意見が多くありました。

• だれもが安心して暮らせる町に柏市もなってほしい。やさしい都市づくりをお願いします。
• 障害理解がまだまだ遅れていることに不安を感じております。特別ではなく、普通に接して頂ける世の中にしていただけることを願っています。
• 障がいというものをもっと広めて、色んな人がいて良いんだということを市民全体が理解できるようになれば良い。
• 学校や通所先では手厚い支援を受けることが出来ていますが、地域では偏見が強く生活しづらいです。
• 障害の有無に関らず、色々な人と関わる機会がある世の中になったら、「みんな違ってみんないい」という意識をもった人が増え、みんなが暮らしやすい社会になると思います。
• 公共の場では特に、杖をついている人、車いすに乗る人への心配りがなさ過ぎる。
• 精神障害に関しては、ちょっと見ただけではわかってもらえない。又、自分から他人に言うこともないので、つらさをわかってもらえない。
• 病気や障害は目に見えるものだけではない(健康に見えても病気を抱えている人がいる)ということがもっと広まってくるとよい。
• 私は高次脳機能障害者です。見た目では分かりづらいので、いつも周囲の理解を得られず、大変な思いをしながら生活しています。

<ul style="list-style-type: none"> 障害児・者も健常者も同じ人間だということを幼い頃から学習してほしい。「かわいそうだから、大変だから」ではなく、自然と手をかせる世の中になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者が日常を暮らしやすくなるために、小学校からの福祉教育の実施、充実で未来へつなげる。
<ul style="list-style-type: none"> 障がい理解を「学校」から発信してほしい。学校からなら年齢の小さいうちから、また、大人数の人たちに（子どもや保護者含めて）障がい特性などが伝わりやすいのではないかと思うから。
<ul style="list-style-type: none"> 偏見を持ってみられるのが一番辛いです。子どもの頃から障害に対する理解が必要だと思います。子どもへの障害に対する教育を充実させてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 保育園、幼稚園への理解、受け入れの拡大をしなないとこの差別の連鎖は続くと思います。幼い子どもの頃から多様な人と関わることは健常児にとってもプラスになると思います。
<ul style="list-style-type: none"> （障害のある方が）私たちと変わらないただの個人としてみることが出来るようになるには、まずは知ること、親しくなることがとても大切だと思います。是非小さいうちから一緒に過ごせる機会を自然と持っていけるような支援をしてくださることを希望します。
<ul style="list-style-type: none"> ヘルプマークが知られていないので電車が苦痛です。派遣社員でヘルプマークをつけていると仕事が来なくなるのが辛い。
<ul style="list-style-type: none"> ヘルプカードはあるが、知的障害を示すものがないのであればいいと思います。
<p>(他 29 件)</p>

「情報提供の充実」(29 件)

障害福祉サービスに関する情報について、「よく分からない」「もっと分かりやすくしてほしい」といった意見が多くありました。

<ul style="list-style-type: none"> 何も知らない当事者の気持ちを理解し、「わかりやすく」説明してもらえたことが、一番ほっとします。ぜひ、お願いします。
<ul style="list-style-type: none"> 様々な制度やサービスがあるが、自分で調べて、言わないと使えない。
<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスで知らないサービスがある。他の障害者の方も知らないサービスが有ると思うので、もっと情報提供が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 障害者に対する柏市の取り組みや情報を発信してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 免除されるお金のことや、支援してくれる場所がよく分からない。分かりやすく教えてくれると助かります。
<ul style="list-style-type: none"> 受けられるサービスを知るためにネットで情報を集めているが大変です。
<ul style="list-style-type: none"> 小学校の支援学級に在籍しているが、進学に関する情報を周知させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 子は未就学児なので、節目ごとにサービスや相談できるところの一覧や冊子があると良いと思う（今後の見通しが全く想像できていない）
<p>(他 21 件)</p>

「申請手続」(15件)

「福祉サービスの申請手続の簡素化や一元化」を求める意見が多くありました。

• 障害福祉サービスを受けるにあたり、提出する申請書や現況届等、相当件数が多く、介護者の負担となっている。
• 支援を受ける際の手続の簡素化を望みます。
• 県・市・保健所・年金等の提出書類が多すぎる。視覚障害者の為、記入・提出が別格困難。
• 本人の移動が難しい場合、市役所の方が本人のいるところに来ていただけたら、代理人で住むように配慮していただけたらと助かります。
• 市の相談窓口や申請手続を一括で出来るようにしてほしい。役所内の各部署間での連携が出来ていないので、何度も同じ事を話すということが多すぎて、精神的ストレスが強い。
(他 10 件)

③ 暮らしを支えるサービス (172件)

「サービスの充実」に関する意見が最も多く、28件の意見がありました。ほかには、「グループホーム」(27件)、「入所施設」(19件)、「福祉従事者」(15件)に関する意見がありました。また、「年代別の意見」(28件)と「障害種別の意見」(10件)もあります。

「サービスの充実」(28件)

「地域で安心して暮らすためにサービスを充実してほしい」、「必要とするサービスが十分でない」といった意見が多くありました。

• 老いていく中、近い将来、支援相談員の力添えを得ながら、多様な福祉サービスを利用し、地域での生活を考えています。重度障害者に対する福祉サービスの充実を速やかに活用できれば助かります。
• 障害(視覚障害)全盲になっても、不安なく一人暮らしが出来る対応がほしい。
• 就職先、デイサービスなどが開設と同時に申し込みしなければ入れないほど、枠が不足していると感じます。充実してほしいと思います。選択をする余地や幅がないに等しい。
• 卒業後の生活が不安です。生活介護や日中一時支援の施設を利用したいけど、既に定員がいっぱいで入所できないので、どこへ行けば良いのか分かりません。もっと施設を増やしてほしいです。
• 親がけがをしてショートステイを利用する時も自分で色々電話して大変だった。
• 利用したい支援(サービス)は一応存在するものの、実際は機能していなかったり定員いっぱいでは利用できないなど。結局利用できないことが非常に多いと感じます。情報もなかなか入ってこず、見つけるのにも苦労します。
(他 22 件)

「グループホーム」(27件)

グループホームの拡充を求める意見が多くありました。

• こどもが1人でも生活していけるようグループホームを充実して欲しい。
• こどももグループホームで生活したいと望んでいるが数が全く少なく、どこのグループホームにも入所できない。
• 質の良いグループホームを増やしてほしい。
• 現在は親と同居ですが、本人が一人になったときに入りたいグループホームが少ないので不安です。
• 親は年老いていき、こどもが安心して暮らせる、障害が重度のレベルに対応したグループホームが少ないため、市でも重度レベルのグループホームを増やして頂きたい。
• 知的障害のグループホームが少ないので、設立するのが難しいのであれば、高齢者のグループホームに知的障害者も入居できる枠を何人か確保できる体制をとってほしい。
(他 21 件)

「入所施設」(19件)

入所施設の拡充を求める意見が多くありました。

• 入所施設の数少なく新しい開所も認められにくいいため、自宅介護が親の高齢化で苦しくなっている。
• 色々な障害のある人が(もちろん重度の人も)、安心して生活できる入所施設があると良いと思います。
• 施設入所を考えていますが、入所する場所がありません。早急にほしいです(重度身体障害者専用)。
(他 16 件)

「福祉従事者」(15件)

「福祉従事者の不足」や「福祉従事者の待遇改善」に関する意見が多くありました。また、「福祉従事者の質の向上」についても意見が出されています。

• 施設で働くスタッフの方々の賃金、待遇を良くし、今の職員不足がなくなり、より健全な施設運営が出来るよう祈るばかりです。
• 色々サービスが多くても、それを行うヘルパーや支援者が少ないのが現実です。
• 福祉従事者の人数が少ない。全く足りてない。人がいなさすぎて、ショートステイの入浴介助者がおらず、男性利用者は自宅で風呂に入ってきてくれと言われるほどです。

<ul style="list-style-type: none"> 作業所や行動援護などでお世話になっている事業所の職員さんは、とてもよくやってくれていて感謝しています。でも、どこの事業所も人手不足で職員さんの負担も大きいと思います。職員さんのお給料をもっと増やしてあげられるような仕組みを作ってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者支援者にはもう少し障害特性に対する知識をつけ、当事者に寄り添ってほしいです。不適切な支援は当事者にマイナスとなる。
<ul style="list-style-type: none"> 職員の育成にも力を入れていただきたい。質の高いスタッフを育ててほしい。
(他 9 件)

「年代別の意見」(31 件)

児童は「放課後等デイサービス」、成人は「余暇や日中活動の充実」に関する意見が多くありました。

児童 (17 件)

<ul style="list-style-type: none"> 我が子は自閉症児のなかでも大変な部類の子で、一緒にいると心が休まる時がありません。放課後デイサービスのおかげでなんとか育てられているなど感じています。小学校に上がるまでは放課後デイサービスはなく、療育園は 14 時には終わっていたのでかなりしんどかったです。未就学児の預かり体制がもっと充実したらいいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 放課後デイサービスを利用しているが、夏休みなどは時間が 16 時までとかなることが多く、朝も受け入れ時間が 9 時からと遅いので、なかなか正社員として働けない。経済的にも困るのでなんとかしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 放課後デイサービスを利用しているが、どこもいっぱい利用したい日に利用できないことが多々あるのでもっと充実してほしい。
(他 14 件)

成人 (13 件)

<ul style="list-style-type: none"> 成人になって余暇を楽しめる場所が少ない。トライアングルのように成人デイサービスを増やしてほしい。スポーツを楽しめる障がい者が優先的に使える施設を作してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 18 歳以降の対応も考えていただきたいです。親も高齢になりますと子どもと一緒に動くことができないときもあります。毎日出なくても仕事上から寄れるところなど、また、休日に過ごせる場がほしいです。
(他 11 件)

高齢者 (1 件)

<ul style="list-style-type: none"> 今、家族総出で援助しているが、障害のある高齢者が受けられるサービスの拡大を お願いしたい。

「障害種別の意見」(10件)

「医療的ケア児」に関する意見が多くありました。ほかには、肢体不自由、精神障害、難病、小児慢性特定疾病に関する意見が寄せられました。

• 医療的ケアが必要でも利用できる放課後等デイサービス、ヘルパー事業所の持続・拡充、また通学のサポートを是非お願いします。
• 医療的なケアがあっても健常者の子たちと同様、通うことの出来る施設がほしいです。
• 地域の支援センターは、かつて「精神障害」のみの受け入れだったが、障害の種類を区別することなく受け入れるようになってから、元々いた私たち「精神障害者」がいづらい場所になってしまった。
• 柏市小児慢性特定疾病医療受給証が20歳で終わってしまうことに不満を感じます。小児から発症し完治しない病気については、その他の方法を考えてほしい。
(他6件)

「その他」(42件)

「経済面や精神面での家族への支援」や「成年後見制度」の充実に関すること、また「サービス利用費用の負担」「障害認定」「介助の負担」等の意見がありました。

• 乳幼児期から保護者や兄姉のメンタル面のサポートをお願いします。
• 医療的ケアがあったり、体調が安定しないため、介護者(母)も経済的に働きたいがかなり難しい。
• 法人後見制度をひろめて欲しい。親戚なきあとの全員の問題です。
• 本人の老後が心配。収入も年金(障がい者)が現在不足で心配です。自宅以外で生活の場合の費用に不足がないようにしていただけたらと思います。
• 現在補聴器を使用しているが、市の補助が受けられるタイプは決まっており、自分が使用したい補聴器購入には全額自己負担になっております。上限は必要と思いますが、自分の希望する補聴器購入時も補助をお願いします。
• 障がい者の日帰り旅行の際、ガイドヘルパーの費用を本人が負担しなければならない現状ですが、今後市で負担していただけると助かります。
• 障害等級が不自由さの割に低いと思う。見直しの機会を作ってほしい
• 自分では何も出来ないので、食事・日常生活(排尿排便時に負担)全ての妻の手を必要としているが、気軽に替わって手伝ってくれる人が近くにいないのが辛い。
• 現在子どもはグループホームで生活していますが、通院やリハビリ等は親が連れて行きます。親の高齢化で車の乗降等の負担が大きいです(その間のトイレ介助もあります)。
(他33件)

④ 子ども (28 件)

小学校入学前では「療育の充実」、学齢期では「学校での支援の充実」「学校の専門性・理解の向上」に関する意見が多くありました。

④-1 小学校入学前 (乳幼児期) (8 件)

「療育の充実」(6 件)

<ul style="list-style-type: none">面談や支援に繋がるまで時間がかかりすぎる。療育機関が少ない。定員がいっぱい。幼児専門の ST (言語聴覚士) が少ない。
<ul style="list-style-type: none">療育は早く受けた方が良いと思いますが、その場所が限られている。療育を受けられるところ、または相談できるところが増えると良いと思います。
(他 4 件)

「保育園・幼稚園」(2 件)

<ul style="list-style-type: none">保育園, 幼稚園に看護師さんを配置してほしいです。
<ul style="list-style-type: none">保育園等は入園するにあたり応諾義務があると思うので, 障害がある園児の入園に対して積極的に行ってほしい。

④-2 小学校入学後 (学齢期) (20 件)

「学校での支援の充実」(8 件)

<ul style="list-style-type: none">これから中学生になりますが, 学校によって支援の仕方がまちまちで困惑しています。小学校では充実していた支援体制 (それでも十分ではありません) が, 中学校ではほぼなくなるというほど手薄になります。
<ul style="list-style-type: none">小中学校の不登校問題, 特に書字学習障害への無理解からの学校の対応不足や教員の障害特性への無理解が目立ちます。学校と福祉が一緒に動ける体制が必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none">公立の特別支援学級の教員は何かの理由で通常級を持ってない方や定年を迎えて再雇用で学校に残る方が受け持っているように感じます。それでもおかれたところで精一杯していただければ良いですが, 知識のなさ, やる気のなさが子どもを預ける立場としては不安で心配です。
<ul style="list-style-type: none">支援級在籍で普通級に行くことを交流学級という呼び名が嫌だ。それこそ通いに行ってるクラスなので通級という名を使ってほしい。基本みんな普通級在籍で支援級には通いに行くというスタンス, まさに通級という名であってくれる方が抵抗なく入りやすい。
(他 4 件)

「学校の専門性・理解の向上」(6件)

<ul style="list-style-type: none">• 学校教育で、障がいについて専門知識のある先生を充実させてほしいです。
<ul style="list-style-type: none">• 学校の子供達は障害の子供たちには手を差し伸べてくれます。しかし、先生方は他のクラスだからなのかありません。もう少し先生方全員が障害の理解をしてほしいです。
(他4件)

「その他」(6件)

<ul style="list-style-type: none">• インクルーシブ教育について、先進地の見学や新しい考え方に添ってほしいと思います。新しい時代を切り開いてほしいです。
(他5件)

⑤ 就労・社会参加(19件)

「就労支援」や「社会参加」の機会の充実に関して、多くの意見がありました。また、「ピアや家族同士の交流の場」がを求める意見も寄せられました。

「就労」(8件)

<ul style="list-style-type: none">• 働く意思があっても就労の機会がない。
<ul style="list-style-type: none">• 障害者で働くために従業員の理解も必要だと思うので、それぞれの会社に専門的な人をおいたら良いと思います。
<ul style="list-style-type: none">• もっと働いてみたいが、身体が悪くなるのではないかと不安です。安心して働ける場所がほしいです。
<ul style="list-style-type: none">• 仕事はしたいが、人が怖くて働けない。
(他4件)

「社会参加」(7件)

<ul style="list-style-type: none">• 同じ障害を持った方の相談相手になる等、自らが助けを必要とするより、誰かに必要とされる人間になれるように、ボランティアからでも何か働ける環境がほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none">• デイサービスを利用しておりますが、失語症があり、なかなか自分から利用者の皆さんと話が出来ず、体も自由に動けないので、何か楽しいことがひとつでもでき、楽しみに通えたらと思うこの頃です。
<ul style="list-style-type: none">• 障がい者が外に出られる様なイベント等企画してほしい。
(他4件)

「仲間・交流の場」(4件)

<ul style="list-style-type: none">障がい者の家族として親が集まる地域家族会は、色々な意味で親たちの勉強の場であり、憩の場でもあります(何でも話せて)。当事者同士が集まれる場を是非作っていただきたいと思います。親では無理だと思うので、行政側のご理解の下、回数は少なくとも集まれる機会があれば「引きこもり」対策にもなるのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none">息子に今一番大事なものは友達、ピアサポーター等の話し相手。
(他2件)

⑥ 相談体制 (36件)

相談支援の充実を求める意見で、具体的には、「どこに相談したらよいか分からない」「気軽に相談できる場所がほしい」といった意見が多くありました。また、「成人以降の相談の場の充実」「親亡き後のことの相談」に関する意見も寄せられました。

<ul style="list-style-type: none">家族が精神的に苦しい時に、大人になった息子を一緒につれて出かけられず、私一人で動けないので、気軽に相談できたら気持ちが楽になるのでは…と何度も思った。でも、実際はどこに話せば良いかわからない。
<ul style="list-style-type: none">子どもが大変なとき、誰かに助けてもらいたいと思うことが多々あります。どうにもならないとき、ただ話を聞いてもらうだけでは済まないとき、すぐに駆けつけてくれるような支援の体制があったらと思うことがあります。
<ul style="list-style-type: none">今は相談員さんに相談できていますが、相談員さんの存在も知らない頃は、本当に誰に相談したらいいかも分からず八方塞がりのような状況でした。
<ul style="list-style-type: none">困った時に気軽に相談できる場所(1か所)で全てそこで済むように、あちこちたらい回しにされるとかなり混乱します。
<ul style="list-style-type: none">継続的に相談できる場所がないように感じる。引っ越した当初、不登校について役所へ電話して聞くとたらい回しだった。障害福祉課へ行くとフリースクールを紹介されたがそこへはもうすでに行っていて合わなかった。その後長期間引きこもるしかない状態だった。唯一の保護者の私が亡き後は助けてと声を出せない者はどうすればいいのだろうか?不安しかない。
<ul style="list-style-type: none">入学後普通級から支援級に移動させていただいたが、相談先が多く紹介していただくものの、実際には1ヶ月後、2ヶ月後とかなり時期が空いてしまうため、もう少しカジュアルに相談したい。
<ul style="list-style-type: none">障害者の日常生活の中でぶつかる様々なハードルを、気軽に友達感覚で話ができる場が重要と思います。
<ul style="list-style-type: none">進学、受験、就労についての情報がなくいつも不安に思っている。相談するところがない。

<ul style="list-style-type: none"> • 成人になると相談できる場所がほぼなく、何かあった時や親の具合が悪くなったりした時、どうすればいいのかと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> • 18歳以上になった時に親も子も相談する場所がなくなるのが現状です。地域に暮らしているのに、障害がなくなるわけでもないのに、長い支援体制があればと願っています（そのまま情報を引き継ぐような）。
<ul style="list-style-type: none"> • 実際にグループホームで暮らしている方や、一人暮らしをされている方の生活ぶりや、どんな支援があるのか、どのくらいお金がかかるかなど、具体的な情報を知りたい。勉強会や相談会があると良いなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> • 福祉サービス事業所で定期的に相談にのって頂いているのですが、単なる相談で終わっている。
(他 24 件)

⑦ 健康・医療（25 件）

「医療費の負担が大きいこと」「医療機関での障害者への配慮」に関する意見が多くありました。

「医療費の負担」（9 件）

<ul style="list-style-type: none"> • 医療費の補助額（難病）を増額してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> • 難病につき、ほぼ生きているうちは薬を飲み続けないと体調が悪化する状態なので、その薬代が毎回死ぬまでかかると思うとしんどいです
<ul style="list-style-type: none"> • 持病が多く医療費の出費がかさむので金銭的補助をしてほしい。
(他 6 件)

「医療機関での配慮」（6 件）

<ul style="list-style-type: none"> • 未就学の子どもの健診での待ち時間が長く大変だった。多動の子どもなど別枠で時間を設けてもらえると助かります。
<ul style="list-style-type: none"> • 病院からの連絡について、電話しかできない病院が多い。電話は出来ない（耳が不自由）と言ってもダメと言う。それっておかしいです。
<ul style="list-style-type: none"> • 障害者が利用、行きやすい内科部門があれば良いと思います。
(他 3 件)

「その他」（10 件）

<ul style="list-style-type: none"> • 介護保険が適用された場合費用が心配です。
<ul style="list-style-type: none"> • 障害者も早くからフレイル予防が出来るような場所がほしい（出来れば親が付き添わなくても本人が楽しめる支援もあると嬉しい）。
<ul style="list-style-type: none"> • 都内の病院に通院しています。柏市内でも十分な医療を受けられるように取組んでほしい。
(他 7 件)

⑧ 安全・安心な生活環境（35件）

バリアフリーに関する意見が最も多く、14件ありました。「交通手段」に関することでは、「公共交通機関の充実」に関する意見が複数ありました。「災害への対応」については、その充実を求める意見が多く寄せられました。

「バリアフリー」（14件）

<ul style="list-style-type: none">歩道が狭くて、また、斜めになっており、障害児バギーで通行するのが危ない道が結構ある。
<ul style="list-style-type: none">歩道橋があってもその下に歩行者用信号機を作ってほしい。
<ul style="list-style-type: none">移動は車いすを利用。柏市の道路はひどい。狭く、車いすで転倒したこともある。特に千代田町の道路。早急なる改善をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none">気象台前の道路は車や自転車が結構なスピードを出していく。危険な箇所は他にもあると思うので、実際に歩いて確認してほしいです。柏は歩きやすい街を目指してほしいと思っています。
<ul style="list-style-type: none">バス通りの安全化を早急にやって欲しい。
<ul style="list-style-type: none">ユニバーサルトイレの設置もまだ全然なく困っています。
(他8件)

「交通手段」（12件）

<ul style="list-style-type: none">本人は現在、自転車も車も運転できず、移動手段は徒歩だけである。バスの本数や通行路線を広げてほしい。
<ul style="list-style-type: none">車がない、運転できない等の事情があるため、病院、駅、市役所、学校等、公共機関だけを周回するバスがあると助かる。
<ul style="list-style-type: none">加齢のためか足腰肩の不具合があり、外出時の移動に困っています。病院は福祉タクシー券を利用していますが、日常の買い物やイベントなどでのタクシー券の使用に少々戸惑いがあります。行動はすごく狭くなっています。
(他8件)

「災害への対応」（9件）

<ul style="list-style-type: none">いざという時、障害のある人は簡単に逃げられないということを前提に考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none">障がい者と家族が気兼ねなく避難する場所を要望します。
<ul style="list-style-type: none">災害時に避難所に行くことが困難な障害者の福祉避難所や、自宅に避難している障がい者へのサポート体制など、情報が分かるようにしていただきたいです。
<ul style="list-style-type: none">K-Netに登録しているが、近所の方が支援して下さるとのことですが、どういう立場の方が支援して下さるのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none">防災無線は風で流れ、非常に聞きづらいです。災害時は尚更、役に立たないと思います。
(他4件)

⑨ その他（129件）

その他では、「アンケートに関すること」（25件）、「市役所への要望」（11件）に関する意見が寄せられました。他には、「市の障害福祉サービスへの感謝」や「個別の状況」に関すること等の意見がありました。

Ⅲ. 各種ヒアリング結果について

1. 障害福祉関係団体ヒアリング

(1) ヒアリング対象団体

以下の9団体を対象に調査を実施しました。()内は略称です。

- ・ 柏市肢体不自由児者を育てる会 (育てる会)
- ・ 柏市手をつなぐ育成会 (育成会)
- ・ 柏市聴覚障害者協会 (柏聴協)
- ・ 柏市身体障害者福祉会 (身体)
- ・ 千葉県中途失聴者難聴者協会柏地区会 (中難協)
- ・ 柏市視覚障害者協会 (視覚)
- ・ 柏市自閉症協会 (自閉症)
- ・ 精神障害者家族会よつば会 (よつば)
- ・ 東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」 (高次脳)

(2) 優先的に市に取り組んでほしいと挙げられた事項

各団体から市に対し優先的に取り組んでほしいと求める事項について7項目に分けて整理したところ、下記のようになりました。

《障害理解の促進に向けた取り組みの充実》

- ・ 障害理解の促進について (高次脳, 中難協, 育成会, 柏聴協)
- ・ 障害に配慮した市の窓口での対応, 情報提供について (視覚, 中難協, 柏聴協)

《相談支援の充実やライフステージに応じた切れ目の無い支援》

- ・ 親や家族への相談支援の充実について (育てる会, 高次脳)
- ・ 医ケア児への相談支援の充実について (育てる会)
- ・ ライフステージに応じた相談支援の構築について (育成会, 自閉症)
- ・ 学齢期や思春期における教育と福祉の連携した支援について (自閉症)

・生まれてから看取りまで総合的な、切れ目のない支援について
(視覚)

《人材育成の仕組みづくり》

・支援者の自宅への派遣について
(よつば)

・障害について理解の深い支援者の養成について
(高次脳, 自閉症)

《居住環境の充実》

・障害特性に応じた住まいの受け皿拡充, 支援体制の構築について
(高次脳)

・適正な福祉サービスの提供について
(身体)

《居場所づくりと社会参加の支援》

・放課後デイや成人向けの日中一時支援など, ライフステージに合わせたサービス,
余暇支援の充実について
(育てる会, 身体, 自閉症)

・障害者が参加しやすい生涯学習, 就労の場の提供について
(中難協, 育成会, 柏聴協)

《高齢化に向けた備え》

・当事者の高齢化に伴う自立生活の支援について
(よつば)

・移動等の日常生活への支援について
(視覚, 身体, 柏聴協)

・団体会員の高齢化に対し若年層の加入等の運営支援について
(身体)

《災害対応の体制整備》

・災害時の情報保障について
(身体, 柏聴協)

・災害時の避難所等の対応について
(自閉症)

2. 各団体からの意見

聞き取りの際に各団体から挙げられた意見を調査票の質問項目ごとに整理をしました。

障害保健福祉の全般に渡る活動やサービスについて、障害別に加え高齢化への対応や切れ目の無い支援の充実といった年齢やライフステージに応じたきめ細やかな対応を求める意見が多くありました。

個別の項目についての各団体の意見は次の通りです。

① 啓発・広報・協働による障害理解の推進を含む福祉活動の充実について

障害理解の促進を求める意見や、団体の活動を広く PR の機会及び当事者が社会に出る機会の創出を求める声が多くありました。

【障害理解のための啓発について】

- 高次脳機能障害については知らない方が多い。言葉は知っているが、実態は知られていない。高次脳機能障害は赤ちゃんから高齢者に至るまで、いつ、誰でも起こり得ること。一般社会がもっと知るべきである。 (高次脳)
- 就労の場での理解促進も必要である。 (高次脳)
- 誰もが聴覚障害について理解し、気づいてもらえる柏市であってほしいと願っている。 (中難協)
- 柏市役所を含め、柏市民が聴覚障害のことを理解してくれるようになってほしい。 (中難協)

【団体が実施する啓発・広報について】

- 学校から障害理解の出前講座が依頼されているが、数校に留まる。これを広げていきたい。小中学生の学齢期の時期に障害理解を進めることが重要なので、積極的にできればよい。出前講座では、知的障害や発達障害について扱うことは難しい場合もある一方、知的障害の理解が進んだと実感したような実例もある。障害理解は難しい内容ではなく、通じ合える機会や身体で覚えていく機会をつくれるとよい。 (育成会)
- 柏祭りのようなイベントは、そこを通る市民が団体について知る機会となる。会だけでバザーを実施しても、売れにくい。会独自でできるのは広報活動くらいである。大きなイベントの中で出店して広報を行うことが効果的だと思う。 (育てる会)

【協働・交流について】

- 会では聞こえる人も聞こえない人も一緒に交流し、活動をしている。そのような形で交流や勉強の機会を充実できるとよい。 (中難協)
- 中途失聴者・難聴者の方で一人暮らしの場合、家にいても誰ともコミュニケーションの機会がない。会の集まりに来ると仲間に会い交流ができるは重要である。 (中難協)

② 情報提供の方法や体制の充実，意思疎通支援の充実について

年代に応じたきめ細やかな情報提供及び手話・代読等の情報保障の充実を求める声が多くありました。

【情報提供の方法，媒体について】

- 高齢者はスマホやパソコンを持っていない。先般の台風災害でも情報が入ってこなかった。テレビや有線の活用等について検討することが可能ではないか。テレビは全国の情報に留まるので，柏市の情報が迅速に得られたらよい。（身体）
- 障害福祉のしおりは，市役所の人にとっては使いやすいであろうが，一般の人にとっては使い勝手が大変悪い。しおりは読んでほしいと思って作られているのではなく，辞書的要素が強い。どのページを開いたら良いのか分からないし，用語も難しく意味を理解するのが大変である。知的や自閉症といった分野別に，わかりやすく，平易に伝えてもらえるといい。パンフレットが良いと言っているのではない。（育成会）
- 情報伝達の媒体は，印刷，インターネット等，様々あるといい。（育成会）

【意思疎通支援の充実について】

- 一般の講演会などに，手話通訳者がいない場合があるので，もっと自由に参加できるように，文字や手話での情報保障を必ずつけることが重要。（柏聴協）
- 市役所窓口到手話通訳者がいない場合，筆談で対応してもらっているが，片言の手話，身振り手ぶりなど聾者に通じる方法を理解して対応を工夫してほしい。（柏聴協）
- 聞こえない方の中では，若い方は文章になじんでいて筆談は可能だが，高齢の方は筆談が中々難しいことがある。分からない聾者も分かったふりをして帰ってしまう場合もある。（柏聴協）
- 父親が全盲障害者で，人工呼吸器をつけなくてははいけなくなり，その父親の大事な文書の代読を依頼され困ったことがあった。連絡があったのは金曜日の夕方だったため対応が大変であった。読んでよいものとそうでないものの判別は難しい。（視覚）
- 「聞こえない」と伝えても，しゃべっていると聞こえるように見えて，なかなか理解してもらえない。しゃべらないで，耳カードを見せているという人もいる。耳マーク表示版の設置拡大についても同じような理由で求めている。（中難協）
- 市役所全体（各課）で耳マーク表示板を設置してほしい。市役所の職員にも障害について理解を持ってもらいたい。（中難協）

③ 相談支援及びケアマネジメント体制の充実，権利擁護体制の充実について

ライフステージや当事者以外の家族への支援といったきめ細やかな相談支援を求める意見や相談支援専門員の質の向上を求める声がありました。

【ライフステージに合わせた相談体制について】

- 肢体・医ケア児の相談支援事業所，相談支援専門員が不足している。医ケア児が増えており，それに合わせて専門員の数も増やしてほしい。（育てる会）
- 生まれてから看取りまでの総合的な，切れ目のない支援。65歳での線引きはやめてほしい。（視覚）
- キッズルームこすもすやひまわりのお母さんと話す機会があるが，「何もわからない」と言う。相談支援専門員もいるが，分からない状況のようである。どんな風に，どのサービスを得て，子どもを育てていけばよいか分からない。「相談支援専門員を頼ってください」と伝えている状況である。（育成会）

【相談支援専門員の質の向上について】

- 相談支援専門員は若い方が多く，また事業所によってはある特定の年齢のサービスしか提供していないため，知識が十分ではない場合がある。市役所の相談支援専門員の場合，すぐに他課に問合せが可能であったりするが，相談する側がそこまで相談していないことも考えられる。（育成会）
- 今は福祉サービスが充実しているため，自分から動けない人が多いかもしれない。なので，相談支援専門員の質が重要となる。相談支援専門員に親と一緒に動くことの重要性を伝えてほしい。（育てる会）
- 親は子どもの特性に応じた療育的な支援を非常に望んでいる。それにも関わらず，市は行く場所（ハコモノ）をつくる方向に進みがちで，親のニーズとのギャップを感じている。（自閉症）

【家族へのケアマネジメント体制整備について】

- 昨年実施した市民公開講座でも講師が話されたが，家族は家族でリフレッシュが必要。共倒れにならないような支援が必要。（高次脳）
- 若い人の高次脳機能障害者が増えている。若い方については，病気ではなく，事故等で突発的に発生する。そういう場合，本人の障害受容が難しく対応が困難なこともあるため，家族への支援が重要である。家庭内暴力につながることもある。若い方の高次脳機能障害の対策が重要であり，相談業務，福祉関係，医療関係，家族等の複合的なネットワークが必要である。これについては，千葉県にも要望を挙げている。（高次脳）

【相談時の合理的配慮について】

- (乳幼児健診や就学時相談での合理的配慮について) ある母親が、1歳児と3歳児健診に行ったが、発達が遅れているということと言われただけで、何ら助言も得られず、傷ついていたということがあった。3歳児健診では事前に尿を採ったり、視覚検査をする必要があるが、対応できず苦慮する中で健診を受けた。行くべきものかどうかの判断も難しいとのことであった。このようなことさえ相談できる場もないのかと思った。健診については保護者によって意向は異なるが、行っても行かなくても良いということを伝えてもらえると良いであろう。(育てる会)

④ 暮らしの場(住まい)の充実及び日常生活を支援するサービスについて(主に障害福祉サービスについて)

地域で暮らしていける住環境の整備やサービスの充実を求める声が多くありました。

【暮らしの場(住環境)の充実について】

- 開放型のグループホームに住むことは難しかった。閉鎖的な環境が落ち着く精神障害者も多いのではないか。(よつば)
- 沼南地域に住んでいるが、点字誘導ブロックがほとんどない。音声信号も2つしかなく、歩行困難である。16号に横断歩道があるが、長い距離で危険である。点字誘導ブロックについては地域でばらつきがあるので改善が必要。(視覚)
- 親亡き後のことが気になっている。今は親がすべて関わっているが、親亡き後に子どもがどのようにサービスを利用できるのか気になっている。(自閉症)

【日常生活を支援するサービスについて】

- 障害福祉サービスにつながっている方は少ない。背景としては、外部との接触をしたくない、苦手ということがある。作業所や会合に行きたくない。精神障害の特徴である。サービスにつながらないことが大きな課題である。(よつば)
- 成人の日中一時支援事業所が不足している。半径10キロメートル以内に必要なサービスを得られると良い。(育てる会)
- 放課後等デイサービスを使っている場合、成人後も同様のサービスを求めざるを得ない場合がある。親が継続して就労したり、資格を活かして社会貢献をするためには、成人のサービスの充実も必要である。(育てる会)
- (利用可能なサービスや施設が少なく)施設やグループホームは知的や精神を対象とするところが多い。高次脳機能障害を対象とした施設はなく、発達障害に近いということでそのサービスを利用している。しかし、高次脳機能障害は中途障害であり発達障害と異なる。高次脳機能障害に対応したサービスや施設であれば、本人も家族も楽。別の障害と一緒にした施設やサービスは無理がある(高次脳)

- 総合的な支援体制の整備が望まれる。お金がないから施設は作れない、サービスは提供できないというのではなく、近隣各市と連携し、知恵を出し合って支援方法を検討していただきたい。近隣の近場で支援を受けることが完結できるように。 (高次脳)

【家族やヘルパーの支援について】

- 家族会は本人だけではなく家族も参加することにより、リフレッシュすることができる。担当する例会では、家族だけで集まる場を設けたりもしている。こうした場は家族にとって大変貴重である。例会も当事者中心から家族中心に集まるようになってきている。 (高次脳)
- 目に見える障害ではないため、当事者、家族も大変困っている。家族が鬱状態になってしまっている方も多い。これは障害者を増やすことにもつながる。 (高次脳)
- ヘルパーによる支援、マンツーマンの支援は限られた方しか利用できない。市内の担い手が少なく増えていかない。 (自閉症)

⑤ 就労支援の充実及び社会参加の機会（余暇や生涯学習活動）の充実について

就労支援については障害種別に応じた工夫を求める声や、社会参加については参加する機会を充実するだけでなく一般の人と当事者が共に活動出来る場の確保を求める声が多くありました。

【就労支援の充実について】

- グループホームが主体となり、住と食を確保した上で、作業所につなげるのが良いのではないか。作業所は福祉的な要素として居場所を提供。よつば会のサービスはそれとは反対で、作業所が先にあり、必要に応じグループホームを提供している形である。 (よつば)
- (就労の場における手話通訳派遣について) 民間の会社では認めない場合が多いが、聾者の就労のために認めてほしい。息子の職場では、パソコンを使って文字で伝達している。また打ち合わせなどの時は筆談ボードなどで筆談してくれる人がいる。 (柏聴協)

【社会参加（余暇や生涯学習活動）について】

- 健康の確保と安心・安全の生活につながる「余生の活動」(カラオケや外出、スポーツ等)の充実を福祉社会でも重点課題として取り組んでいく予定である。激励会、ふれあい大会等で意見交換を行っているところ。 (身体)
- 社会参加するための勇気を持ってない人が多い。自身もそうであったし、みんな最初は同じ状況だと思う。人と話すことが苦手で、外出すると声をかけられたりして怖くなる。家で呼び鈴が鳴っても知らない人の場合は答えない人が多い。 (中難協)
- 一般の趣味の教室やイベントでの障害者受け入れが促進されるとよい。障害のある人に

とって、障害のない人と比べると趣味や余暇の選択肢はかなり限られていることから、一般の教室やイベントに行けるようになるとよい。障害者といっても、障害の重い方から軽度の方まで様々であり、一般の教室に通いたい、通える人もいる。（育成会）

- 障害者のための教室やイベントもあるが、共生社会の実現に向けて、できれば「障害者のための」という枠を外していきたい。（育成会）
- 聾者と中途失聴・難聴者が一緒に集まって受けられる講座をつくってほしい。情報保障がある講座ならば聴覚障害に特化したものとする方がよい。（柏聴協）

【社会参加（日常生活）について】

- 自身の経験でも、突然訪問があり、「聞こえないんです」と伝えても、話せるので聞こえると思われ一方的に話されたことがある。今は文章で「聞こえないです」と書いて伝えている。（中難協）
- 社会参加にあたっては周囲の理解も重要である。（中難協）
- 聞こえないことにより、人とのコミュニケーションが難しくなる。本当はしゃべりたいけれど、聞こえないために家に閉じこもったりしている人が多い。このような意味で、同じ仲間が集まる場は重要である。（中難協）
- 会員全体で閉じこもっている人が多いかどうかはわからないが、（聴覚障害になった）最初は、皆閉じこもってしまう。市役所で会を紹介してもらったりして、集会に勇気をもって参加することにより、変わっていく。（中難協）

⑥ 18歳未満のお子さん（児童）を対象とした、発達支援と医療的ケアを含む療育体制の充実について（こどもの成長への支援について）

当事者（お子さん）の支援の充実だけでなく、保護者のケアを求める声が多くありました。また、学校が移った際や卒業後の切れ目の無い支援の充実を求める声がありました。

【親への支援体制について】

- 子どもだけの支援体制ではなく、親も含めた支援体制の充実が必要。親の相談、親の心のケア。親も含めたトータルケアが重要である。（育てる会）
- 親同士の情報交換の場が少ない。会としてこすもすに行く回数を増やすことを検討している。若いお母さんたちを送り、身近に話せる環境を作るのがよいのではと話している。（育てる会）
- 親のネットワークがほしい人とそうでない人が分かれる。若い世代は親のネットワークがない。親同士が会う機会がないので、学齢期に入り会に入るケースが増えている。（育てる会）

【お子さん（児童）への発達支援について】

- 聞こえない子どもだとわかったら、理解をもって対応してほしい。子どもたちも安心して勉強し、成長できるような環境を整えてほしい。（中難協）
- 以前、柏市でも読話教室があったが、聞こえない人だけではなく、聞こえる人にも参加してもらいたい。そうすれば、聴覚障害の人も口を読んで理解することができる。（中難協）
- 就学前はこども発達支援センターがあり、相談する場所や機会は充実しているが、学校に入ってしまうと、学校以外の療育相談の場がないと聞く。学校の中での療育と、学校外の相談は異なる。（育成会）

【相談場所の提供について】

- 個人的な体験からも、話を聞いてもらえる場が必要だと思う。サービスに関する相談とカウンセリング的な役割の両方が必要である。（育成会）
- 相談の場がいろいろなところにあるということ伝えるだけでも有効であろう。その人に合うところに相談に行くことができる。（育成会）
- 肢体不自由または医ケアが必要な乳幼児で、事業所にはつながっていない子どもは把握していないため、会員をどのように開拓していくかも課題である。会につながっていない人が大変なのではないか。（育てる会）

【放課後児童デイサービス等について】

- 高等部2年の子どもがいる。今は放課後児童デイを利用し満足しているが、卒業して18歳以上になると途端に日中に一時利用できる場所がなくなってしまう16時～18時の支援がなく、親が仕事を続けることが難しいと聞いている。18歳以上には放課後デイに代わるサービスが必要である。（自閉症）
- 義務教育を終えた16～18歳に対するサービスや支援が必要。思春期は精神疾患を発症する割合が高い。親子ともども見捨てられ感がある。（自閉症）
- （県から市に権限が移譲された）放課後デイについては、これまで利用できていたのに利用できなくなったなど、親が不安になった、困ったという声をよく聞く。親の困った感が子どもに伝わると、変化に弱い子どもは翻弄される。せっかく市のサービスが充実してきたので、利用者の使い方にあったサービスに変更してほしい。（自閉症）

⑦ 精神保健の充実及び精神障害者の方が地域で生活できる支援体制の構築について

地域や社会とのつながり、福祉サービスや医療へとスムーズにつなげられるようにしてほしいという声が多くありました。

【精神保健の充実について】

- 引きこもりの方に対する支援体制をお願いしたい。市内にどれだけいるのか、実態をはっきりさせてほしい。 (自閉症)
- 障害がある人の受診を積極的に推進するよう、医療機関に働きかけてほしい。 (自閉症)
- 精神障害者の方には、うつや統合失調症など従来型の方と、高次脳機能障害など器質性精神障害の方がいる。両者を分けて整理してほしい。 (高次脳)
- 障害者本人のつらさ、生きにくさを地域の人理解して、排除の目で見ないことが、とても大切なことだと思う。 (育成会)

【地域で生活できる支援体制について】

- 精神障害当事者は、親亡き後にも住み慣れた住居で住み続けるものだと思っている。一方で、買い物、食事、ゴミ出し、隣近所との付き合い等難しく、親亡き後はすぐに生活が破綻してしまうことが予想される。当事者の地域生活の希望と実態はかけ離れているのが現状。 (よつば)
- 会員の3分の1は自宅に引きこもっている。通院以外の外出はしていない場合が多い。仕事をせず親元にいる。会員の中で作業所に通っている人は一握り。本人も親亡き後の不安は持っているであろうが、どうしたら良いか分からないというのが実態。 (よつば)
- 多くの方が地域の中で孤立している中で、地域社会に溶け込みたいが、実態は難しい。 (よつば)

⑧ 障害の重度化防止や加齢に伴う身体の衰えに備えた健康管理の充実について

高齢者のニーズに応じた移動手段や活動場所の確保を求める声の他、各団体の高齢化が進んでおり団体運営の支援を求める声がありました。

【高齢化に伴う移動手段の確保について】

- 会員の高齢化や独居化に伴い、地域とつながりが持てる場や社会貢献につながる活動の場の確保が重要である。そのためにも、移動手段の確保は課題。 (視覚)
- 聾者も高齢化していて、歩くことが難しい人がたくさんいる。免許を返納して車を使わない人が増えており、タクシー利用しないと移動が難しいので、タクシー券の助成を考えてほしい。視覚障害の人には補助があると聞いている。 (柏聴協)

- 現在、福祉バスを借りられるのは年2回。主要行事への参加は5回ほどあり、高齢障害者が車を運転して、他の会員を運ばなければならぬ状況にある。(身体)
- 教育福祉会館のリニューアルにあたり、高齢者はじめ、駅から市役所まで来るのが大変なので、シャトルバスや巡回バスを考えてほしい。(柏聴協)

【支援者の育成について】

- 保護者の立場として、これまで関わってきた人が変わったり、辞めることが不安。支援者には長く関わってほしい。障害理解や重度化防止には理解者がたくさん必要。市で養成することまで望まなくても、人材育成に困っている事業所に対して、情報提供するなど、まだまだできることがあるのではないかと。先進事例や他市町村でやっている良い事例などを提供してもらえたらよい。県で支援者の養成研修をしているが、柏市は中核都市なので、市独自の取組があってもよいのではないかと。(自閉症)

【会員の高齢化について】

- 今後の課題として、会の高齢化に伴い後継者が必要であるが、役員を引き受ける人がいない点が挙げられる。経理処理についても難しく、パソコンがない状況で大変である。こうした状況を見ているため、尚更、引き継ぐ人がいない。関東下の組織すべて同じ状況。障害当事者だけで運営していくのは難しいと感じており、市や社協の人の手を借りながら続けていくしかないと思っている。(身体)

⑨ 安心・安全の対策の推進，福祉のまちづくりについて

台風等の風水害だけでなく地震等の様々な災害に対応した準備が必要との声が多くありました。地域共生社会のまちづくりに向けては、ハード面のバリアフリーに加えて当事者が一般の方と交わる機会の創出が必要との声がありました。

【災害対応について】

- 様々な災害時の対応強化が必要。ガイドラインの作成や要支援者の個別支援計画の作成等、前もってできる対策もあるので市に取組みをお願いしたい。(育てる会)
- 災害の時を考えても、障害理解の促進が重要である。(高次脳)
- (災害時の対応について) 視覚障害者の場合は、基本的には自宅待機となる。転倒防止用のストッパーやガラスの飛散防止フィルム等、ハード面のアドバイスや助成金があると良い。安否確認も重要である。(視覚)
- K-Net に登録しているが、実際に必要な時にはどのような対応となるのか、こちら側が必要な対応等、避難訓練も含めて具体的に教えてほしい。(視覚)
- 先日の台風で、大雨の恐怖を実感した。指定避難所はあるが、自閉症のある人が安心できるスペースは皆無なので、居室の確保をお願いしたい。広域に1か所だけでなく、複数用

意してほしい。福祉サービスの利用計画に、災害時の対策を盛り込んでほしい。いつ災害が来ても対応できるように、できるだけ備えをしてほしい。(自閉症)

- 先日の台風の際は、テレビから情報を得た。コミュニケーションセンターかしわ経由で災害情報がメールで届いた。ファックスでの情報発信もあったと聞く。東日本大震災の時はメールがしばらく通じず大変だった。(柏聴協)

【福祉のまちづくり，共生社会について】

- 共生社会を作っていくために、福祉だけでは限界がきていると考える。地域共生社会の実現と高齢化への対応として、福祉の枠を超えて、柏をつくっていくための具体的な取り組みを検討し、核となるものを作り動いていかなければならない。(育成会)
- 共生社会の実現に向けて、地域の中で生きる仕組みをつくってほしい。地域の中で、公的だけではなく、私的な支援も受けながら、他の人と交じり合っ、生活していけるような取り組みが必要。(育成会)
- 家からなかなか出ない人や引きこもっている人を掘り起こすことはできないが、独居の人の生活が心配。行事参加など約束したのに連絡がなく、一人で倒れているのではないかと心配なこともあった。関わり方をどうしたらよいか心配している。(柏聴協)

⑩ その他の意見

- 「障害者」について、公文書でも「害」を使っている。「障がい者」の使用について検討をお願いしたい。(高次脳)
- 昔の福祉課と今の福祉課は全然違う。受付がスムーズに進まない。相談者もかなりの人数がいる。(視覚)
- 他部署、警察署、保健関係との連携も必要なことがあるので、引き続きの支援をお願いしたい。(視覚)
- ヘルプマークのおかげか、車がゆっくり進んでくれた気がした。そんな風に、気づいてもらえたら嬉しい。(中難協)
- 毎月の会合で福祉会館を利用させてもらっている。新しくなる教育福祉会館も集える場所とし利用したい。(自閉症)
- 教育福祉会館の聾者対応を知りたい。(柏聴協)